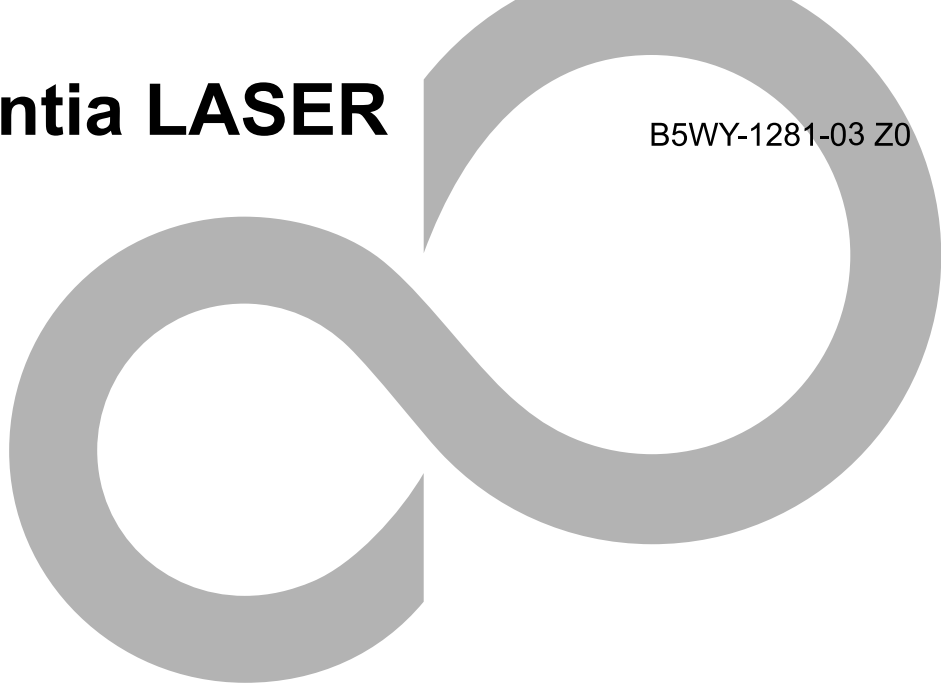
Color Printia LASER

B5WY-1281-03 Z0

Color Printia LASER XLシリーズ

オンラインマニュアル

ソフトウェア編

はじめに

本マニュアルでは、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本マニュアルで使用する画面表示例では、プリンタ名を XL-xxxx と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名と読み替えてください。また、機種やソフトウェアのバージョン、OS によっては表示内容が一部異なることがあります。

2010 年 10 月

本マニュアルの構成

本マニュアルの構成を以下に説明します。

目次		内容
セットアップ編		
第 1 章	お使いになる前に	ソフトウェアの機能やインストール手順の概要について説明しています。
第 2 章	ネットワークを利用しないプリンタの接続	ネットワークを利用せずにプリンタを接続した場合のプリンタドライバのインストール手順を説明しています。
第 3 章	ネットワークを利用したプリンタの接続	ネットワークを利用してプリンタを接続した場合のソフトウェアとプリンタドライバのインストール手順を説明しています。
第 4 章	プリンタ共有の設定	プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明しています。
運用編		
第 5 章	プリンタドライバの機能と利用方法	プリンタドライバの詳細と機能の利用方法について説明しています。
第 6 章	添付ソフトウェアの機能と利用方法	ネットワークに接続されたプリンタの情報を表示、設定に反映できるNetwork Extension、カラー調整ユーティリティ、色見本印刷ユーティリティの詳細と機能の利用方法について説明しています。
第 7 章	Web サーバ機能（Color Printia LASER Internet Service）	Web ブラウザからインターネットや LAN（TCP/IP）に接続されたXLプリンタの状態監視やネットワークに関する設定を行うことができる Color Printia LASER Internet Service の使い方について説明しています。
第 8 章	こんなときには	プリンタドライバ、添付ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明しています。
付録		プリンタドライバや添付ソフトウェアを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明しています。

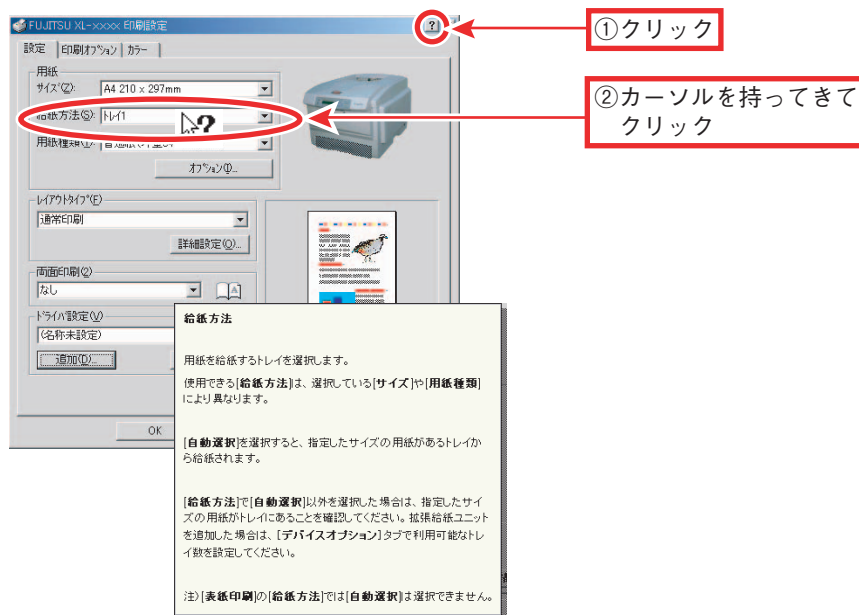
オンラインヘルプの見かた

オンラインヘルプを参照する方法を、以下に示します。

> **ガイド**
>
> Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 環境では、オンラインヘルプを使用できません。

● [?] をクリックする

ダイアログの右上にある ? をクリックするとカーソルの形が ?? に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。

（例）プリンタドライバの給紙方法についてのヘルプを見る場合

● [ヘルプ] ボタンをクリックする

[ヘルプ] ボタンがあるダイアログで [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのダイアログに関する詳細なヘルプが表示されます。

本マニュアルの表記

本マニュアルでは、説明する内容により、以下の記号を使用しています。

記号	説明
お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本マニュアル内で参照していただきたい参照先を示します。
参照	取扱説明書内で参照していただきたい参照先を示します。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

製品名称	本文中の表記	
Windows® 7 Ultimate（64 ビット版／32 ビット版）	7	Windows
Windows® 7 Enterprise（64 ビット版／32 ビット版）		
Windows® 7 Professional（64 ビット版／32 ビット版）		
Windows® 7 Home Premium（64 ビット版／32 ビット版）		
Windows® 7 Starter		
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	2008 R2	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard（64-bit/32-bit）	2008 （R2 以外）	
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™（64-bit/32-bit）		
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise（64-bit/32-bit）		
Microsoft®® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™（64-bit/32-bit）		
Windows Vista® Ultimate（64 ビット版／32 ビット版）	Vista	
Windows Vista® Enterprise（64 ビット版／32 ビット版）		
Windows Vista® Business（64 ビット版／32 ビット版）		
Windows Vista® Home Premium（64 ビット版／32 ビット版）		
Windows Vista® Home Basic（64 ビット版／32 ビット版）		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	2003	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition		
Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition	XP	
Microsoft® Windows® XP Professional		
Microsoft® Windows® XP Home Edition		
Microsoft® Windows® 2000 Professional	2000	
Microsoft® Windows® 2000 Server		
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0	Windows NT 4.0	
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0		
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me	
Microsoft® Windows® 98	Windows 98	

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows® 95	Windows 95	Windows
Microsoft® Windows® Version 3.1	Windows 3.1	
Microsoft® Internet Explorer	Internet Explorer	
Netscape® Communicator	Netscape	
Adobe® Reader®	Adobe Reader	
Color Printia LASER Internet Service	Internet Service	

注：Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008
のように併記する場合があります。

目 次

セットアップ編

第 3 章　ネットワークを利用したプリンタの接続 59

運　用　編

第6章　添付ソフトウェアの機能と利用方法 197

セットアップ編

第１章

お使いになる前に

この章では、ソフトウェアの機能やインストール手順の概要について説明します。

添付 CD-ROM のご紹介

本製品には「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM が添付されています。この CD-ROM には、プリンタドライバ、ネットワークに接続して使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するためのソフトウェアが格納されています。
これらのソフトウェアは、次のメインメニュー（インストーラ）からインストールできます。インストーラは、添付 CD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると自動的に表示されます。

●「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」のメニュー

（画面は OS により異なります）

1. はじめにお読みください
   CD-ROM に格納されているソフトウェアの留意事項が表示されます。
2. プリンタドライバのインストール
   プリンタドライバをインストールします。

   参照「第 2 章　ネットワークを利用しないプリンタの接続」（25 ページ）参照

   参照「第 3 章　ネットワークを利用した プリンタの接続」（59 ページ）参照

3. Printianavi2 セットアップ

双方向プリンティングシステム「Printianavi2」を手動でインストールします。（通常は「プリンタドライバ」メニューでセットアップ時に「Printianavi2 を使用する」を選択すると同時にインストールされますが、プラグアンドプレイでプリンタドライバのみインストールした場合や、「Printianavi2 を使用しない」を選択した場合に、後から個別にインストールします。

参照『オンラインマニュアル』「Printianavi2 編」参照

4. FJRAW ポートモニタ

Printianavi2 を使用するために必要となる FJRAW ポートモニタをインストールします。

参照『オンラインマニュアル』「Printianavi2 編」参照

5. FUJITSU LPR ユーティリティ（Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003）

LPR 印刷時に、プリンタの状態を確認したり、ジョブを管理したりするためのツールをインストールします。

参照「FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合」（198 ページ）参照

6. Network Extension

本製品に取り付けられたオプションの情報やプリンタの情報を取得し、プリンタの「プロパティ」ウィンドウ内に反映するためのツールをインストールします。

参照「Network Extension」（212 ページ）参照

7. 色見本印刷ユーティリティ

プリンタで RGB 色の色見本を印刷するためのユーティリティです。

参照「色見本印刷ユーティリティ」（227 ページ）参照

8. カラー調整ユーティリティ

ディスプレイに表示される色とプリンタで出力される色が近づくように色を調整するソフトウェアです。

参照「カラー調整ユーティリティ」（215 ページ）参照

9. PrintBarrier お試し版（Windows Vista/XP/2000 専用）

「PrintBarrier お試し版」をインストールします。

参照「PrintBarrier の概要」（332 ページ）参照

10. RepoAgent お試し版

「Rapo Agent お試し版」をインストールします。

参照「RepoAgent の概要」（333 ページ）参照

11. かんたんバーコード Lite

「かんたんバーコード Lite」をインストールします。

参照「かんたんバーコード Lite の概要」（334 ページ）参照

12. 画面で見るマニュアル

「画面で見るマニュアル」を選択するウィンドウが表示されます。

ガイド

・「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」メインメニューが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」メインメニューが表示されます。
・Windows Vista をお使いの場合、インストール前に管理者権限でログオンしてください。
・Windows Vista/7/Windows Server 2008 の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、次の「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

ソフトウェアの機能概要

Color Printia LASER プリンタユーティリティ(CD-ROM)には、以下のソフトウェアが入っています。
プリンタをより快適にお使いいただくためにご活用ください。
ここでは、プリンタドライバおよびネットワーク関連ソフトウェアの機能の概要を説明します。

● Printia XL プリンタドライバ

対応 OS	対応パソコン
Windows 98/Me/NT 4.0(Service Pack 3 以上)/ 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008	FMV シリーズおよび AT 互換機

●ネットワークユーティリティ

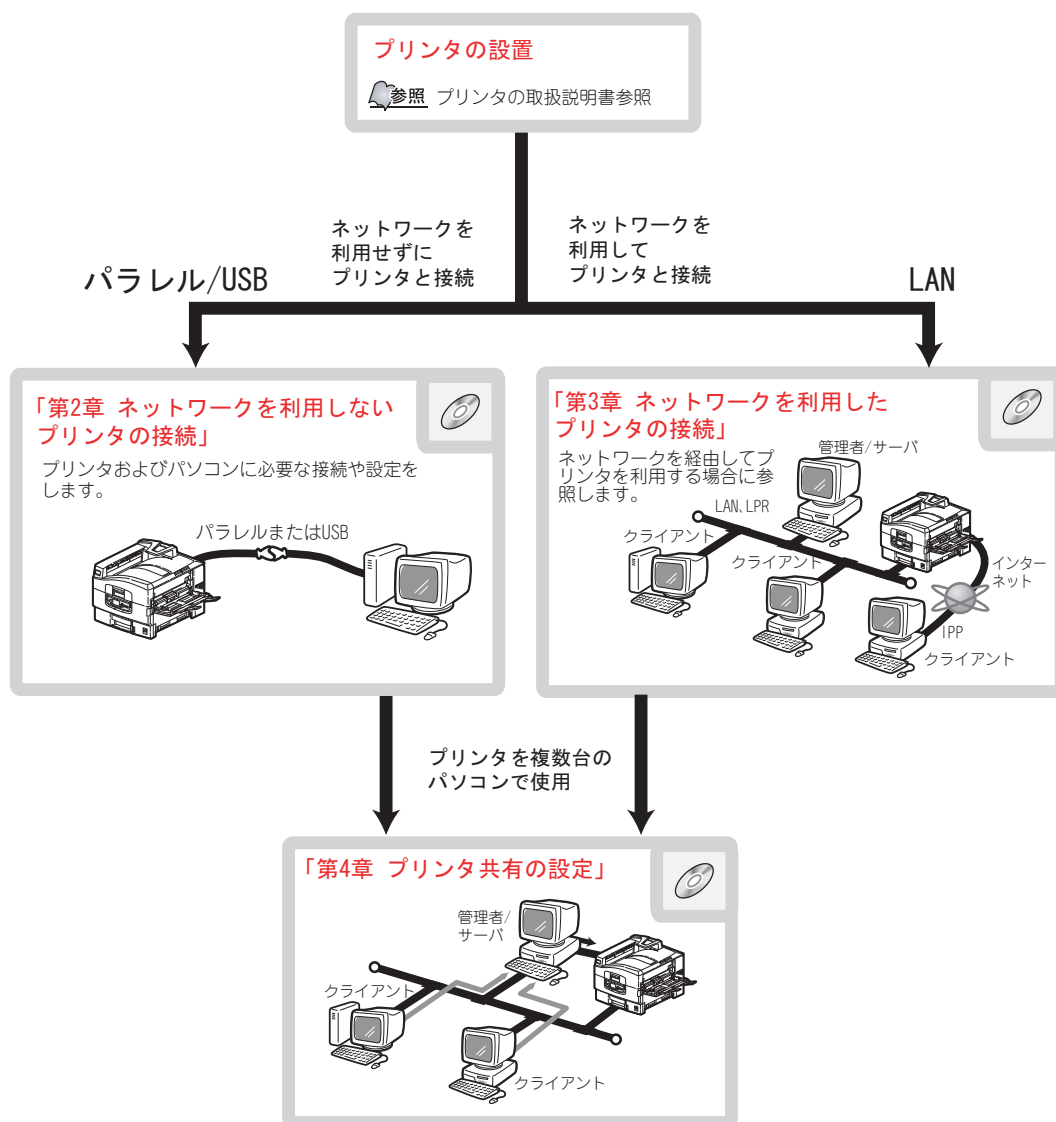
名称	機能	対応 OS	対応パソコン
FUJITSU LPR ユーティリティ	ネットワーク上のプリンタに印刷するためのユーティリティです。プリントサーバを介さずに直接ネットワーク上のプリンタに印刷できます。その他プリンタ検索機能、ジョブ転送機能、同報印刷機能などを装備しています。	Windows 98/Me/NT 4.0(Service Pack 3 以上)/ 2000/XP (Windows XP x64 Edition は未対応)/ Windows Server 2003(Windows Server 2003 x64 Edition は未対応)	FMV シリーズおよび AT 互換機
ネットワークエクステンション (Network Extension)	ネットワークに接続された XL-C8360G プリンタのオプション、各トレイ内の用紙サイズ、トナー残量などのプリンタ情報を表示、設定に反映できます。	Windows 98/Me/NT 4.0(Service Pack 3 以上)/ 2000/XP/Vista/7/ Windows Server 2003/2008	FMV シリーズ および AT 互換機

●カラーユーティリティ

名称	機能	対応 OS	対応パソコン
カラー調整ユーティリティ	画面に表示される色とプリンタから印刷される色の調整や、明るさ、彩度、色相、ガンマなどの色全体的な傾向を調整し、近づけることができます。	Windows 98/Me/NT 4.0(Service Pack 3 以上)/ 2000/XP/Vista/7/ Windows Server 2003/2008	FMV シリーズおよび AT 互換機
色見本印刷ユーティリティ	プリンタで RGB 色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された見本を基にアプリケーション上で希望する色の RGB 成分値を指定することができます。	Windows 98/Me/NT 4.0(Service Pack 3 以上)/ 2000/XP/Vista/7/ Windows Server 2003/2008	FMV シリーズおよび AT 互換機

参照 Printianavi2 の機能概要は『オンラインマニュアル』「Printianavi2 編」「第 2 章 Printianavi2 のインストール」参照

インストール手順の概要

プリンタの設置後、パソコンから印刷するために必要な設定が完了するまでの流れを説明します。プリンタの接続・運用形態によって手順が異なります。次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

機能の利用法

XL プリンタとプリンタドライバやソフトウェアの機能を活用すると、より便利な印刷や運用管理が行えるようになります。それぞれの場合に合わせて、各機能の設定を行ってください。

印刷に関する機能

●部単位印刷

「部単位印刷機能」を利用すると、複数部数を部単位（ソート）で印刷することができます。
アプリケーションで部単位印刷をサポートしていない場合に、部単位で印刷することができます。

参照 「[印刷オプション] ダイアログ」(155 ページ) 参照

参照 「同じ文書を 2 部以上印刷する」(176 ページ) 参照

●拡大縮小印刷

作成したデータを拡大または縮小して印刷することができます。
・ドキュメントサイズと違うサイズの用紙に印刷することができます。

参照 「[設定] ダイアログ」(146 ページ) 参照

参照 「ドキュメントサイズと違うサイズの用紙に 拡大 / 縮小して印刷する」(182 ページ) 参照

・印刷する用紙サイズを変えずに、イメージを拡大縮小して印刷することができます。

参照 「[印刷オプション] ダイアログ」(155 ページ) 参照

参照 「アプリケーションで作成したデータを拡大 または縮小して印刷する」(185 ページ) 参照

●ウォーターマーク印刷

「見本」「社外秘」などの文字を自由に設定しスタンプ印刷することができます。

参照 「[印刷オプション] ダイアログ」(155 ページ) 参照

参照 「［見本］［社外秘］などの文字をスタンプ印刷する（ウォーターマーク印刷）」(180 ページ) 参照

●節約したい

プリンタドライバで以下の設定をすると、用紙やトナーを節約することができます。
・N-up 印刷する
　2 ページから 16 ページ分の文書を、1 枚の用紙に印刷することができます。

参照 「[設定] ダイアログ」(146 ページ) 参照

参照 「複数ページを 1 枚の用紙に印刷する」(171 ページ) 参照

・両面印刷する
用紙の両面に印刷することができます。

参照 「[設定] ダイアログ」(146 ページ)参照
参照 「用紙の両面に印刷をする」(173 ページ)参照

・トナーを節約する(トナーセーブ)
トナーセーブ機能があります。

参照 「[カラー] ダイアログ」(162 ページ)参照
参照 「トナーを節約して印刷する」(188 ページ)参照

●よりきれいに印刷したい

プリンタドライバの[印刷オプション]ダイアログで以下の設定をすると、よりきれいに印刷できるようになります。
・プリンタの持つ最高の画質で印刷する印刷品位を設定することができます。

参照 「[印刷オプション] ダイアログ」(155 ページ)参照
参照 「よりきれいに印刷する」(186 ページ)参照

運用管理に関する機能

Color Printia LASER Internet Service から、次の設定ができます。

●プリンタのステータスが変化したときに、その情報を Email で受信したい

・消耗品の交換警告や、プリンタのエラー情報などを Email で受信することができます。

参照 「Email(送信設定)」(271 ページ)参照
参照 「障害情報」(274 ページ)参照

●セキュリティを強化したい

・IP アドレスによるプリンタへのアクセス制限を設定することができます。

参照 「IP フィルタリング」(289 ページ)参照

第2章

ネットワークを利用しないプリンタの接続

この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。

パソコンとの接続とプリンタドライバのインストール

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、パソコンがサポートしているインターフェースによって異なります。

参照　パソコンとプリンタのケーブルの接続方法は、『取扱説明書』「第 2 章　プリンタ本体の設置」「ケーブルの接続」参照

●パラレルインターフェースによる接続

・パソコン
双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 日本語版
・セットアップ方法
インストーラによるセットアップ
（Windows 98/Me/2000 の場合）
プラグアンドプレイによるセットアップ
（Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 の場合）

● USB による接続

・パソコン
USB インターフェースを内蔵する PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 日本語版
・セットアップ方法
プラグアンドプレイによるセットアップ

お願い

・プリンタドライバは機種に合ったものをインストールしてください。
参照　パソコンとプリンタのケーブル接続の方法は、『取扱説明書』「第 2 章　プリンタ本体の設置」「ケーブルの接続」参照
・お使いの OS が Windows 7 または、Windows Server 2008 R2 の場合
・プリンタとパソコンを接続する前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。セットアッププログラムで「プリンタをインストールする準備ができました。」と表示されてから、プリンタとパソコンを接続してください。
詳しくは「プリンタドライバをインストールする（USB によるプラグアンドプレイ：Windows 7/Windows Server 2008 R2）」（56 ページ）をご覧ください。
・プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合、セットアッププログラムによるプリンタドライバのインストールはできません。この場合は「USB インターフェースのときにプリンタが検出されない」（303 ページ）の手順でインストールを行ってください。

パラレルインターフェースによる接続時のインストール

プリンタドライバをインストールする(パラレル接続:Windows 98/Me/NT 4.0/2000)

ここでは、添付の CD-ROM に収められているインストーラを使用して、プリンタドライバをインストールする手順について説明します。

準備

プリンタをパラレルケーブルで接続し、プリンタの電源を入れてからパソコンの電源を入れ、Windows を起動してください。
Windows がすでに起動している場合は、必ず再起動してください。

ガイド

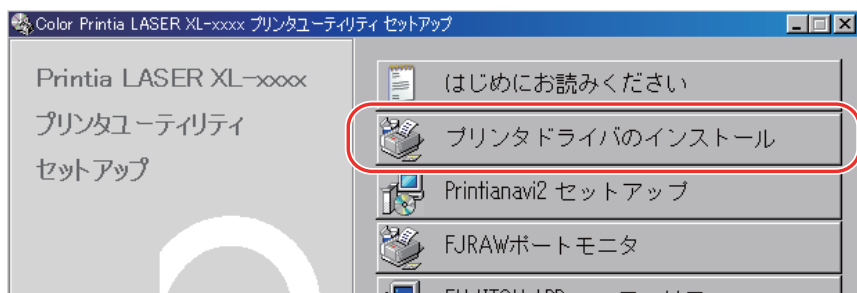
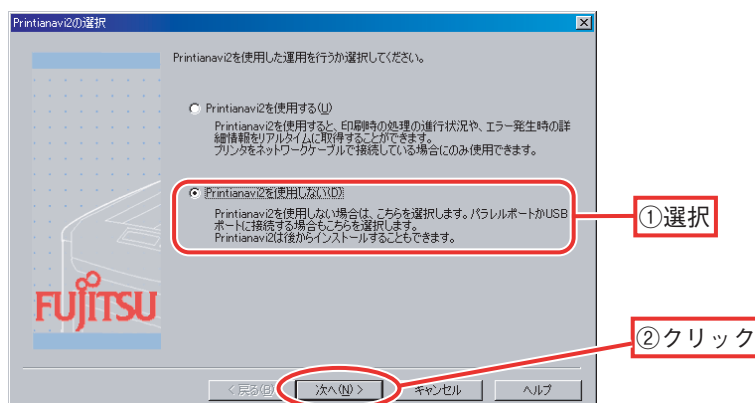
- Windows NT 4.0/2000 のときは、管理者権限でログオンしてください。
- Windows 起動後、プラグアンドプレイにより「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されることがあります。このときは[キャンセル]をクリックしてください。

1 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

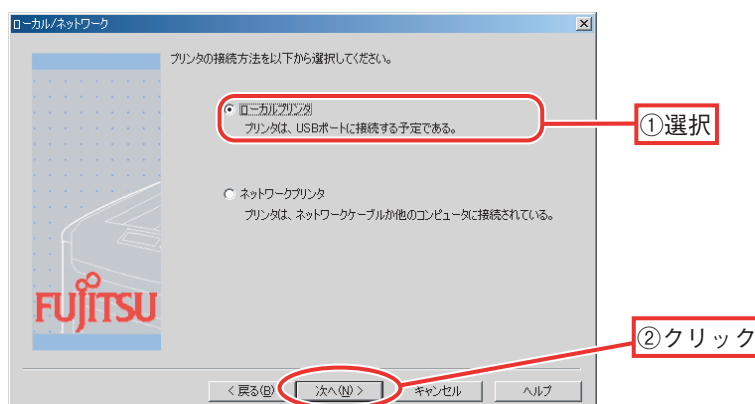
ガイド

インストーラの画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

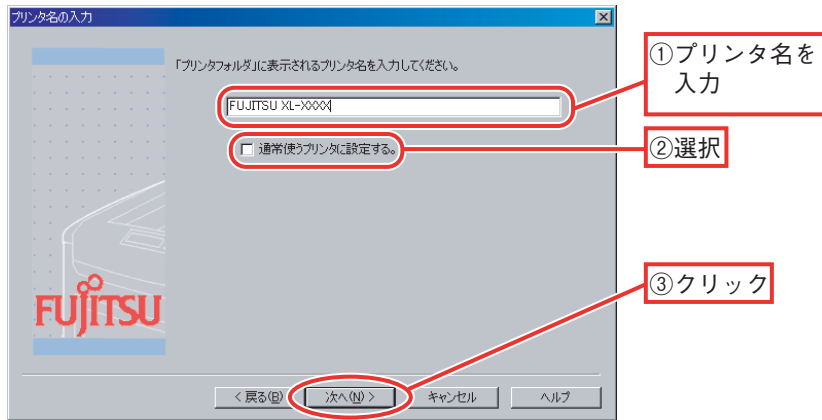
2 「プリンタドライバのインストール」を選択し、[選択]をクリックする

Windows 2000 で、次のダイアログが表示されたときは、「Printianavi2 を使用しない」を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

Printianavi2 は、プリンタがネットワーク接続（ネットワークケーブルで接続）されている場合のみ使用することができます。

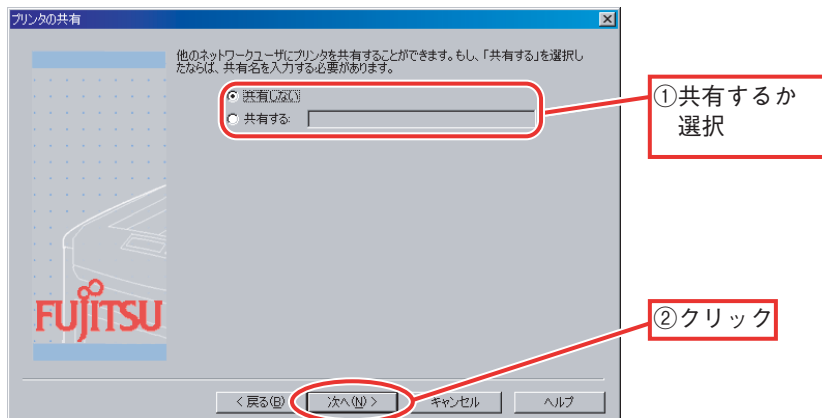
参照　Printianavi2 の詳細は、『オンラインマニュアル』「Printianavi2 編」参照

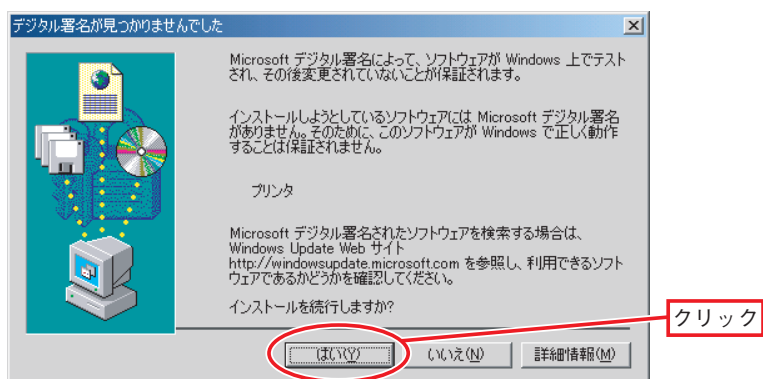
3 「ローカルプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックする

4 「ポートの選択」画面で「LPT1:」を選択し、［次へ］をクリックする

5 「モデルとエミュレーションの選択」画面で、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックする

6 プリンタ名を入力し、通常使うプリンタにするかどうかを選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

- プリンタドライバをはじめてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」になります。
- インストールされているプリンタが1台もない場合は、「□ 通常使うプリンタに設定する。」は表示されません。

Windows NT 4.0/2000の場合、「プリンタの共有」画面が表示されるので、共有するかどうか選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

・Windows 2000 で、次のダイアログが表示されたときは、［はい］をクリックしてください。

・「ファイルの上書き確認」ダイアログが表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

［完了］をクリックする

以上でインストールは完了です。

お願い

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、「再起動する」を選択し、［完了］をクリックしてください。

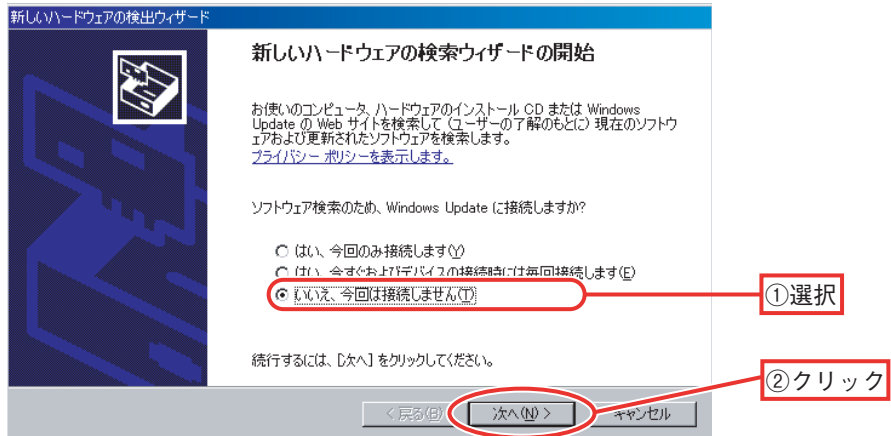
プリンタドライバをインストールする (パラレル接続 : Windows XP/Windows Server 2003)

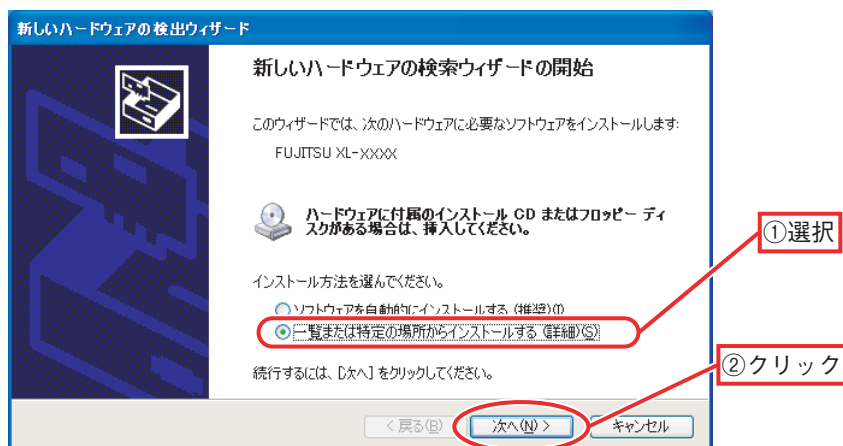
Windows XP/Windows Server 2003 のときに、プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

ガイド
管理者権限でログオンしてください。

準備

プリンタをパラレルケーブルで接続し、プリンタの電源を入れてからパソコンの電源を入れ、Windows を起動してください。
Windows がすでに起動している場合は、必ず再起動してください。

プラグアンドプレイによる「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ] をクリックする

環境によってはこの画面が表示されない場合があります。そのときは、2 へ進んでください。

2 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックする

3 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、［終了］をクリックして閉じてください。

4 「次の場所を含める」を☑にし、「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003（Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64）」（CD-ROM ドライブが D: の場合）を入力し、［次へ］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

ガイド

環境によっては、次のダイアログが表示される場合があります。
・「バージョン」が新しい方を選択し、［次へ］をクリックしてください。

・次のダイアログが表示されたときは、［続行］をクリックしてください。

・「ファイルが必要」ダイアログが表示されたときは、「コピー元」に「D:¥Fjxldrv¥2KXP2003（Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64）」（CD-ROM ドライブが D: の場合）を入力し、［OK］をクリックしてください。

5 **必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックする**

6 **［スタート］－［シャットダウン］または［終了オプション］（Windows Server 2003 の場合は「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択）を選択し、Windows を再起動する**

以上でインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合には［スタート］から［プリンタと FAX］を選択し、［FUJITSU XL-XXXX］アイコンをダブルクリックし、「プリンタ」メニューの「通常使うプリンタに設定」を選択します。

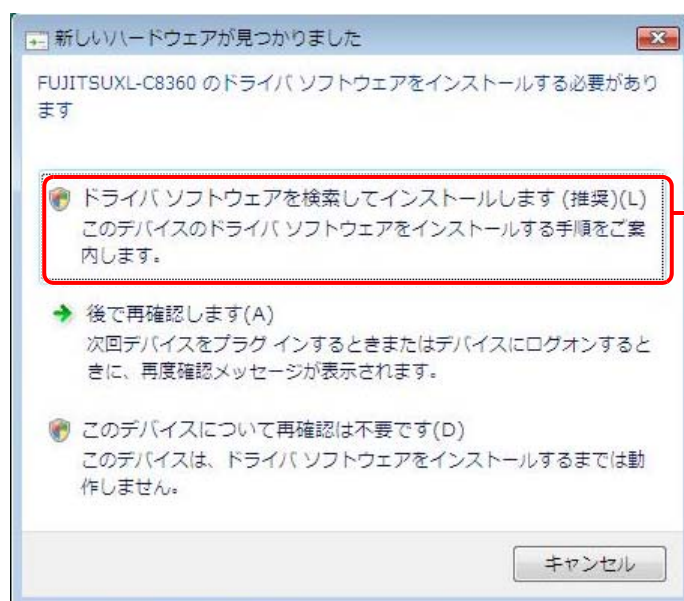
プリンタドライバをインストールする（パラレル接続：Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外））

Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）のときに、プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

ガイド
管理者権限でログオンしてください。

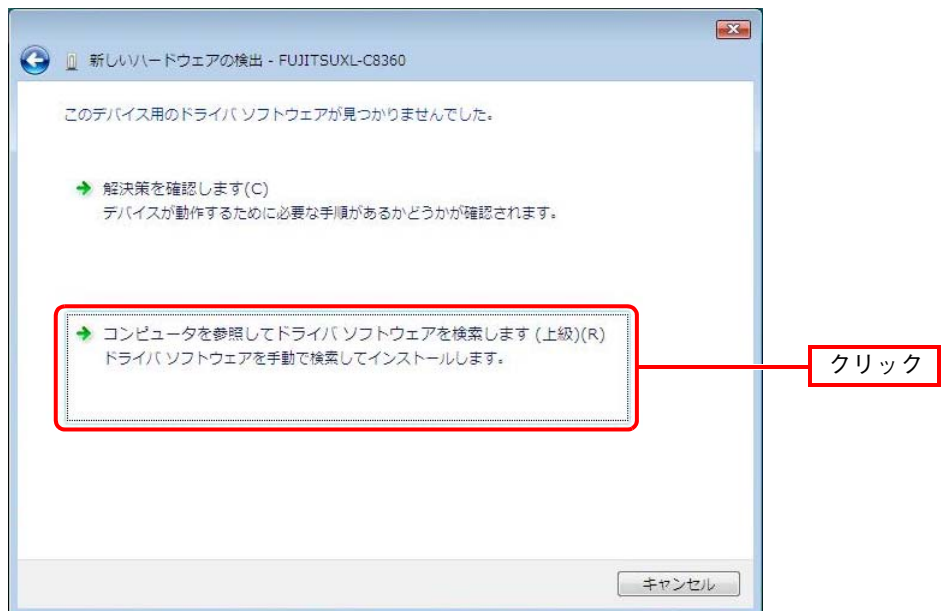
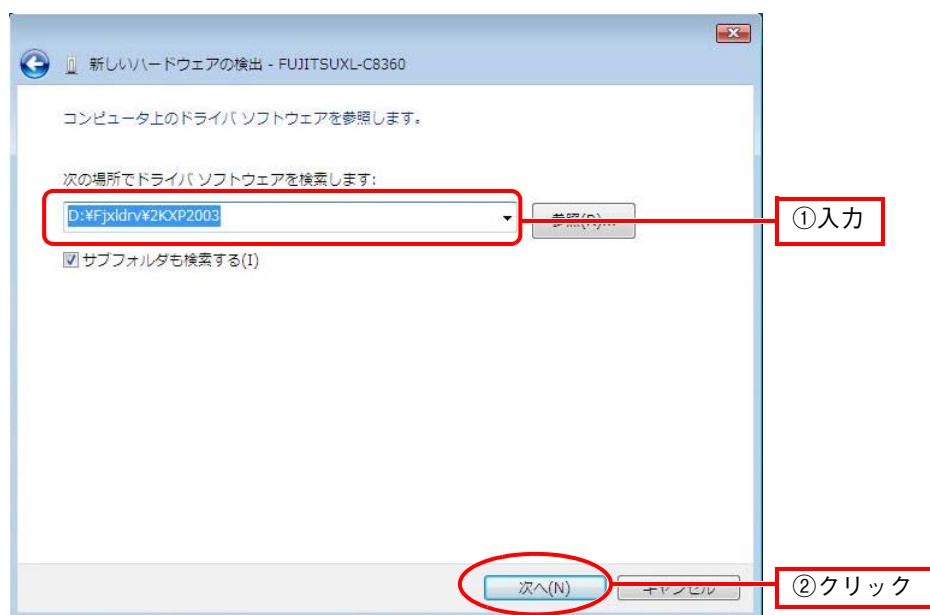
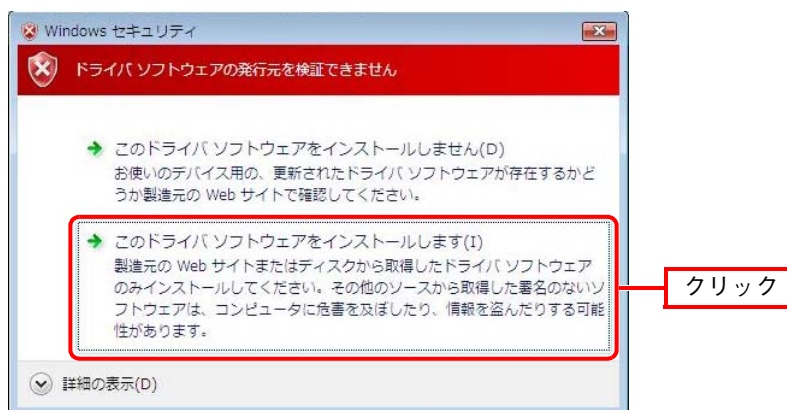
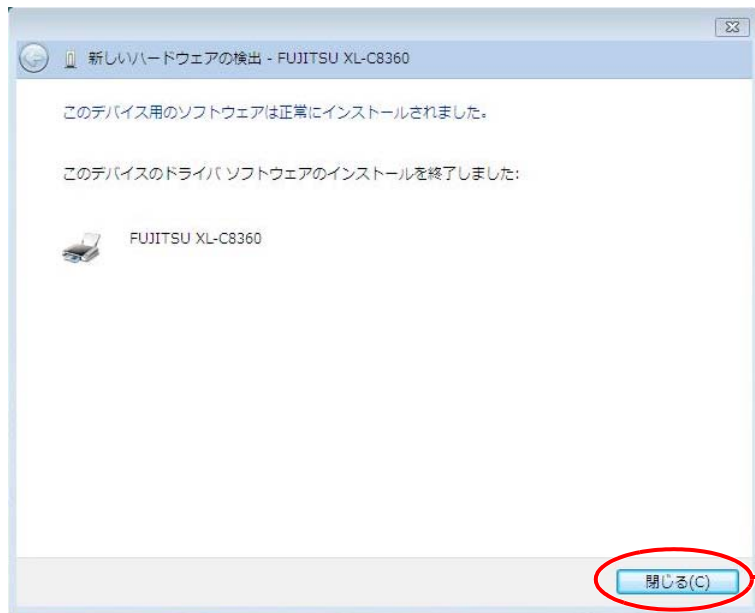
準備

プリンタをパラレルケーブルで接続し、プリンタの電源を入れてからパソコンの電源を入れ、Windows を起動してください。
Windows がすでに起動している場合は、必ず再起動してください。

プラグアンドプレイによる「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログが表示される場合、「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックする

2 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックする

ガイド
Windows Server 2008（R2 以外）の場合は、この画面は表示されません。

3 「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックする

4 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックする

プリンタドライバが格納されている「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003（Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」（CD-ROM ドライブが D: の場合）を入力し、［次へ］をクリックする

6 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックする

「閉じる」をクリックする

プリンタドライバをインストールする（パラレル接続：Windows 7/Windows Server 2008 R2）

「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。
インストール手順は、USB 接続の場合と、パラレルインターフェース接続の場合で、共通です。

「プリンタドライバをインストールする （USB によるプラグアンドプレイ：Windows 7/Windows Server 2008 R2）」（56 ページ）参照

USB による接続時のインストール

プリンタドライバをインストールする (USB によるプラグアンドプレイ：Windows 98)

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

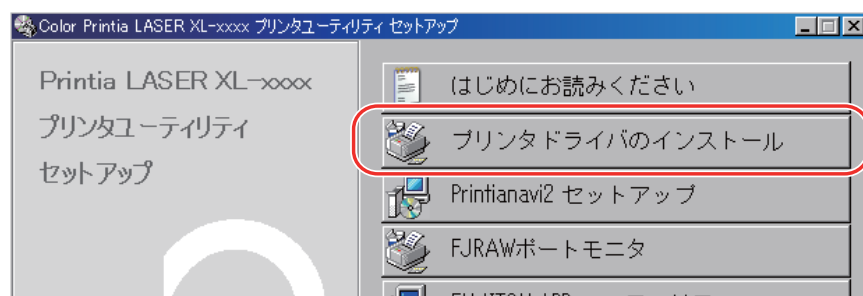
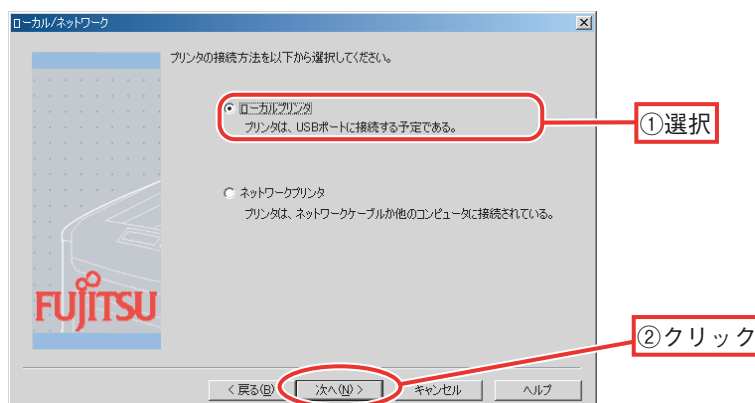
準備

プリンタの電源を切り、USB ケーブルでパソコンと接続してください。

1 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

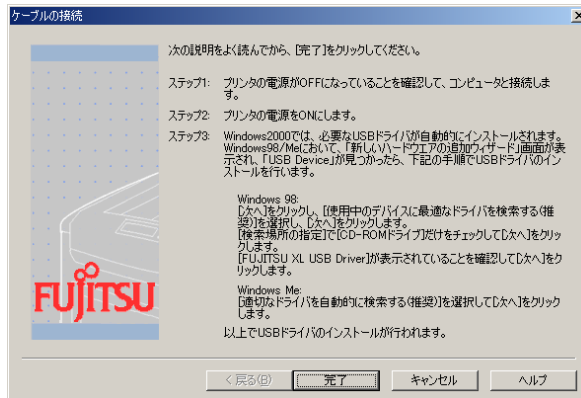
インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

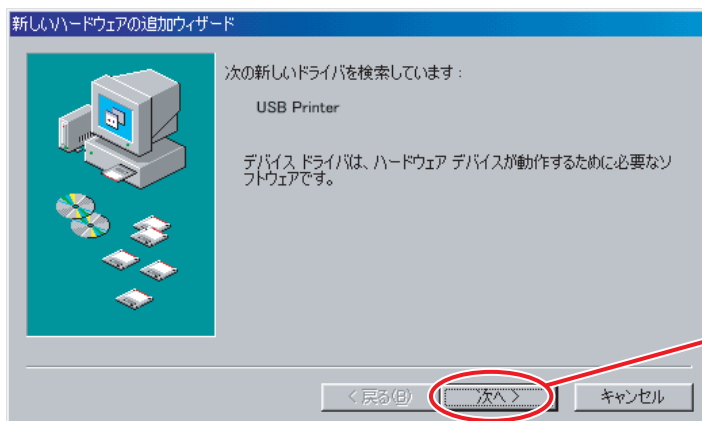
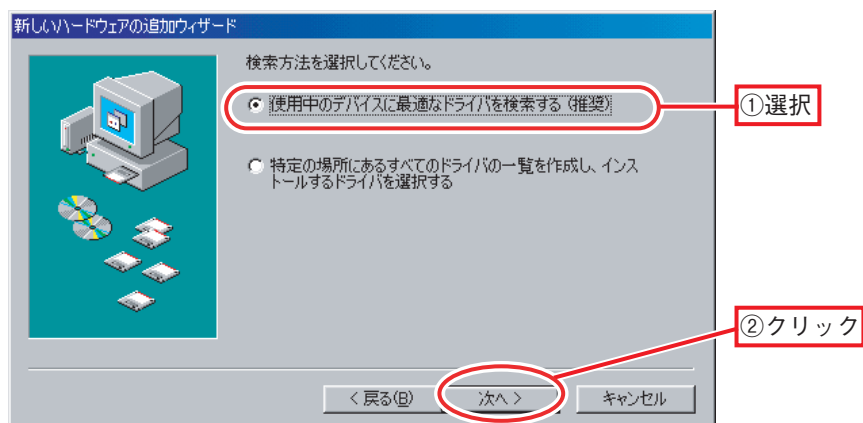
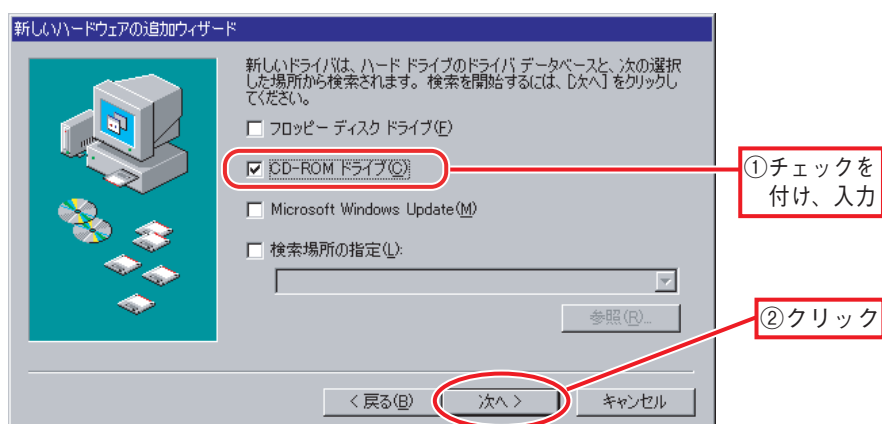
> **ガイド**
> インストーラの画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

2 「プリンタドライバのインストール」を選択し、[選択] をクリックする

3 「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックする

4 「ポートの選択」画面で「USB」を選択し、［次へ］をクリックする

5 「モデルとエミュレーションの選択」画面で、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

6 「ケーブルの接続」画面が表示されたら、内容をよく読んで［完了］をクリックする

7 プリンタの電源を入れる

8 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されたら、［次へ］をクリックする（画面が表示されるまで数分かかることもあります。）

9 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックする

10 「CD-ROM ドライブ」を☑にし、［次へ］をクリックする

11 このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックする

12 インストールが終了したら、［完了］をクリックする

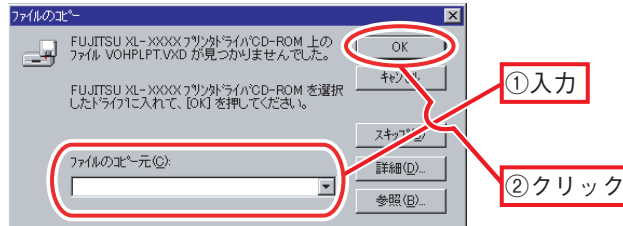
USB ケーブルに接続しているプリンタが自動的に検出されます。

ガイド

「ディスクの挿入」が表示されたときは、次の操作をしてください。
① 添付の CD-ROM をセットし、[OK] をクリックします。
CD-ROM をセットした後にインストーラが自動的に起動した場合は、[終了] を選択して閉じてください。
②「ファイルのコピー元」に「D:¥FJXLDRV¥WIN9XME」（CD-ROM ドライブが D: の場合）と入力し、[OK] をクリックします。

[スタート] ー [Windows の終了] を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合には [スタート] から [プリンタと FAX] を選択し、[FUJITSU XL-XXXX] アイコンをダブルクリックし、「プリンタ」メニューの「通常使うプリンタに設定」を選択します。

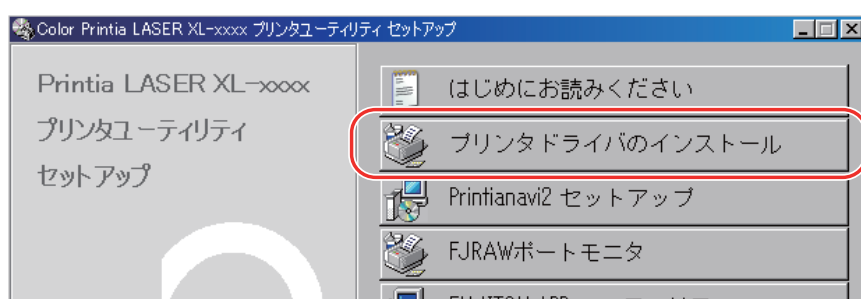
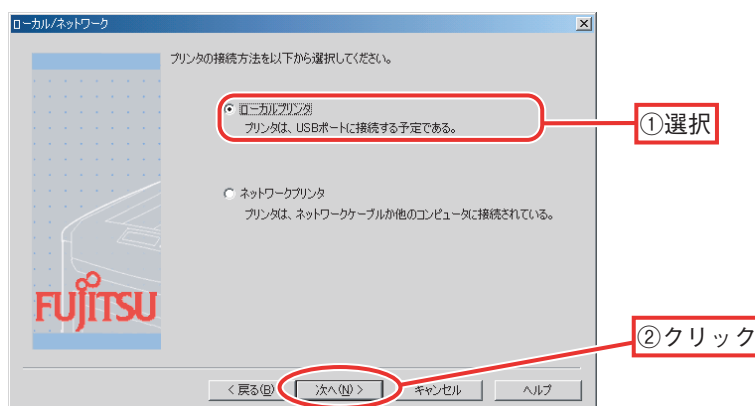
プリンタドライバをインストールする（USB によるプラグアンドプレイ：Windows Me）

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

準備

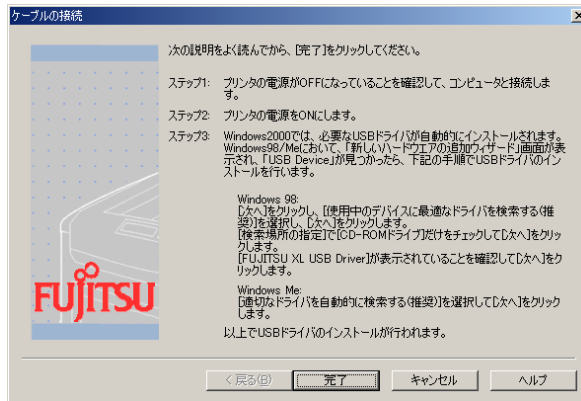
プリンタの電源を切り、USB ケーブルでパソコンと接続してください。

1. 添付の CD-ROM をパソコンにセットする
   インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

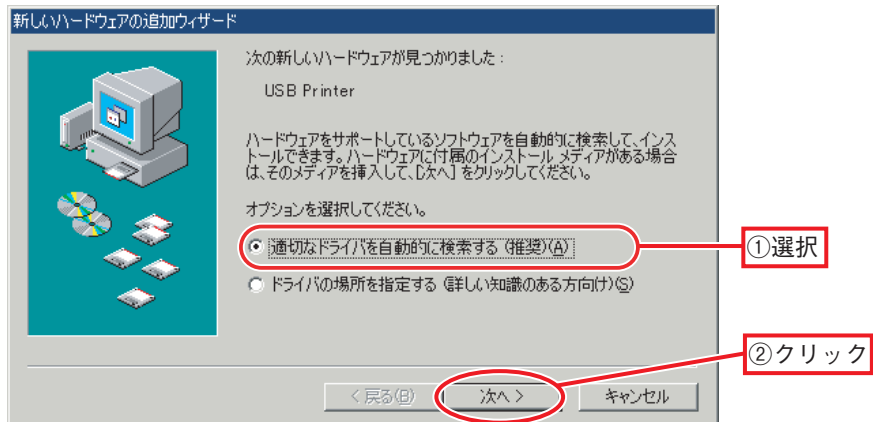
2. 「プリンタドライバのインストール」を選択し、［選択］をクリックする

3. 「ローカルプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックする

4. 「ポートの選択」画面で「USB」を選択し、［次へ］をクリックする

5. 「モデルとエミュレーションの選択」画面で、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックする

6 「ケーブルの接続」画面が表示されたら内容をよく読んで、［完了］をクリックする

お願い

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、「再起動する」を選択し、［完了］をクリックしてください。

7 プリンタの電源を入れる

8 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されたら、「適切なドライバを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックする

インストールが終了したら、[完了] をクリックする

USB ケーブルに接続しているプリンタが自動的に検出されます。

ガイド

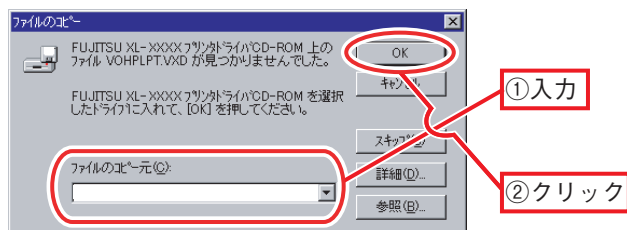
「ディスクの挿入」が表示されたときは、次の操作をしてください。

① 添付の CD-ROM をセットし、[OK] をクリックします。
CD-ROM をセットした後にインストーラが自動的に起動した場合は、[終了] を選択して閉じてください。

② 「ファイルのコピー元」に「D:¥FJXLDRV¥WIN9XME」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力し、[OK] をクリックします。

[スタート] ー [Windows の終了] を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合には [スタート] から [プリンタと FAX] を選択し、[FUJITSU XL-XXXX] アイコンをダブルクリックし、「プリンタ」メニューの「通常使うプリンタに設定」を選択します。

プリンタドライバをインストールする（USB によるプラグアンドプレイ：Windows 2000）

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

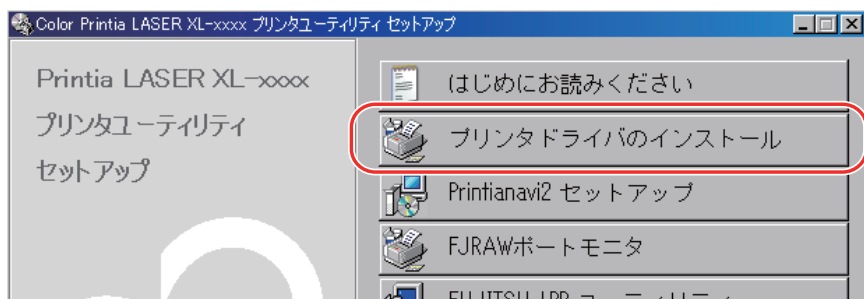
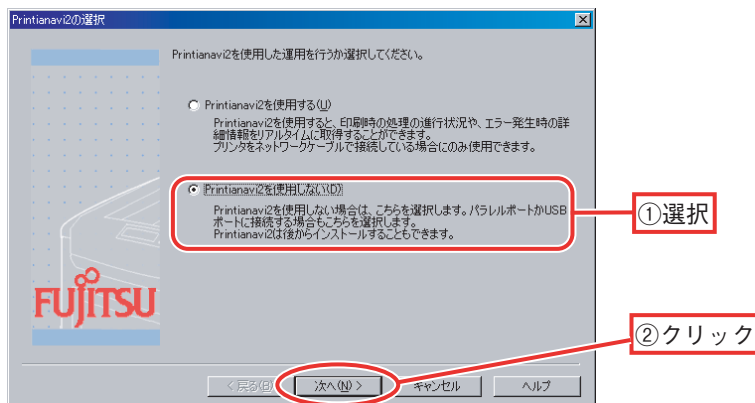
ガイド

管理者権限でログオンしてください。

準備

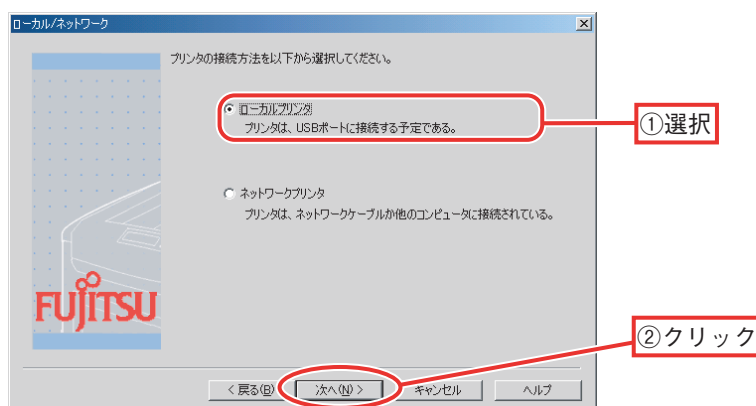
プリンタの電源を切り、USB ケーブルでパソコンと接続してください。

1. 添付の CD-ROM をパソコンにセットする
インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

2. 「プリンタドライバのインストール」を選択し、［選択］をクリックする

3. 「Printianavi2 を使用しない」を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

Printianavi2 は、プリンタがネットワーク接続（ネットワークケーブルで接続）されている場合のみ使用することができます。

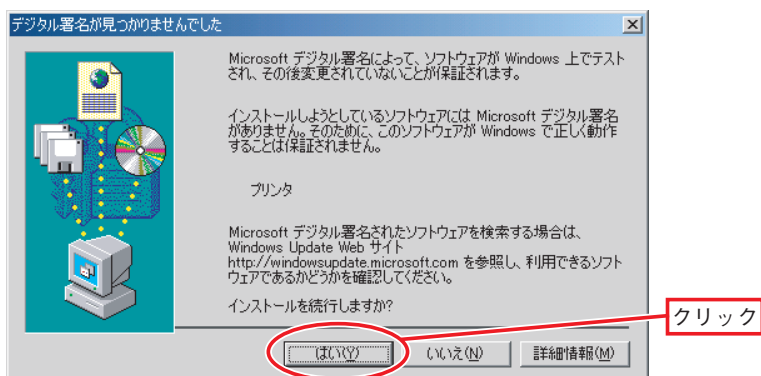
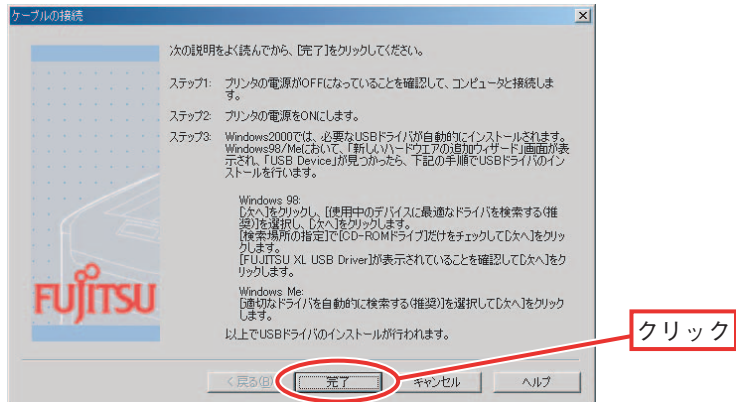
参照 Printianavi2 の詳細は、『オンラインマニュアル』「Printianavi2 編」参照

4 「ローカルプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックする

5 「ポートの選択」画面で「USB」を選択し、［次へ］をクリックする

6 「モデルとエミュレーションの選択」画面で、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

ガイド

次のダイアログが表示されたときは、［はい］をクリックしてください。

「ケーブルの接続」画面が表示されたら、内容をよく読んで［完了］をクリックする

8 プリンタの電源を入れる

USB ケーブルに接続しているプリンタが自動的に検出されます。

以上でインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合には［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［FUJITSU XL-XXXX］アイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］を選択します。

お願い

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、「再起動する」を選択し、［完了］をクリックしてください。

プリンタドライバをインストールする (USBによるプラグアンドプレイ：Windows XP/Windows Server 2003)

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。
（※画面は Windows XP の場合です。）

ガイド

管理者権限でログオンしてください。

準備

プリンタの電源を入れ、USB ケーブルでパソコンと接続してください。次のダイアログが表示され、プラグアンドプレイによる USB ドライバのインストールが始まります。

以降の手順に従ってプリンタドライバをインストールしてください。

1 **プラグアンドプレイによる「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、［次へ］をクリックする**

環境によってはこの画面が表示されない場合があります。そのときは、2へ進んでください。

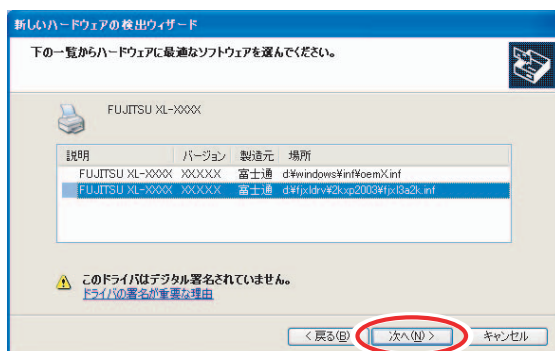
2 **「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックする**

3 **添付の CD-ROM をパソコンにセットする**

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、［終了］をクリックして閉じてください。

「次の場所を含める」を☑にし、「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003(Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、[次へ] をクリックする

ガイド

環境によっては、次のダイアログが表示される場合があります。

・「バージョン」が新しい方を選択し、[次へ] をクリックしてください。

・次のダイアログが表示されたときは、[続行] をクリックしてください。

・「ファイルが必要」ダイアログが表示されたときは、「コピー元」に「D:¥Fjxldrv¥2KXP2003 (Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合)を入力し、[OK] をクリックしてください。

5 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックする

6 ［スタート］－［シャットダウン］または［終了オプション］（Windows Server 2003の場合は「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択）を選択し、Windowsを再起動する

以上でインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合には［スタート］から［プリンタとFAX］を選択し、［FUJITSU XL-XXXX］アイコンをダブルクリックし、「プリンタ」メニューの「通常使うプリンタに設定」を選択します。

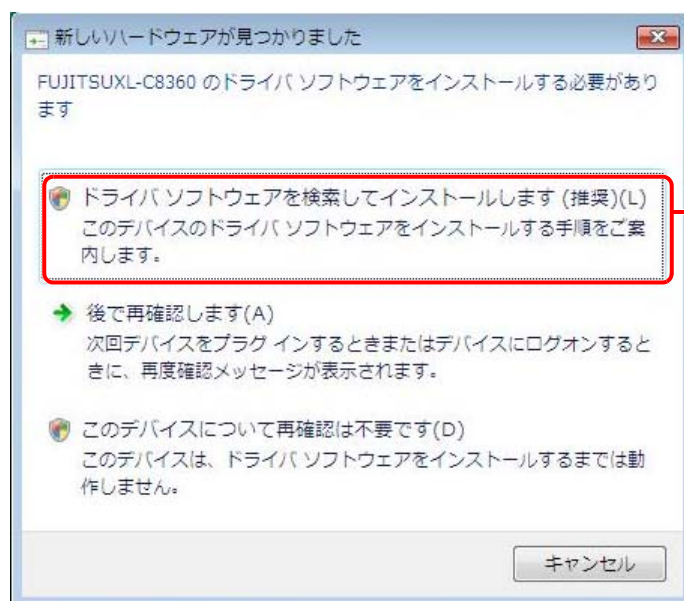
プリンタドライバをインストールする（USBによるプラグアンドプレイ：Windows Vista/Windows Server 2008（R2以外））

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

ガイド
管理者権限でログオンしてください。

準備

プリンタの電源を入れ、USB ケーブルでパソコンと接続してください。「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログが表示され、プラグアンドプレイによるUSBドライバのインストールが始まります。
以降の手順に従ってプリンタドライバをインストールしてください。

1. 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックする

2. 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、［続行］をクリックする

ガイド
Windows Server 2008（R2 以外）の場合は、この画面は表示されません。

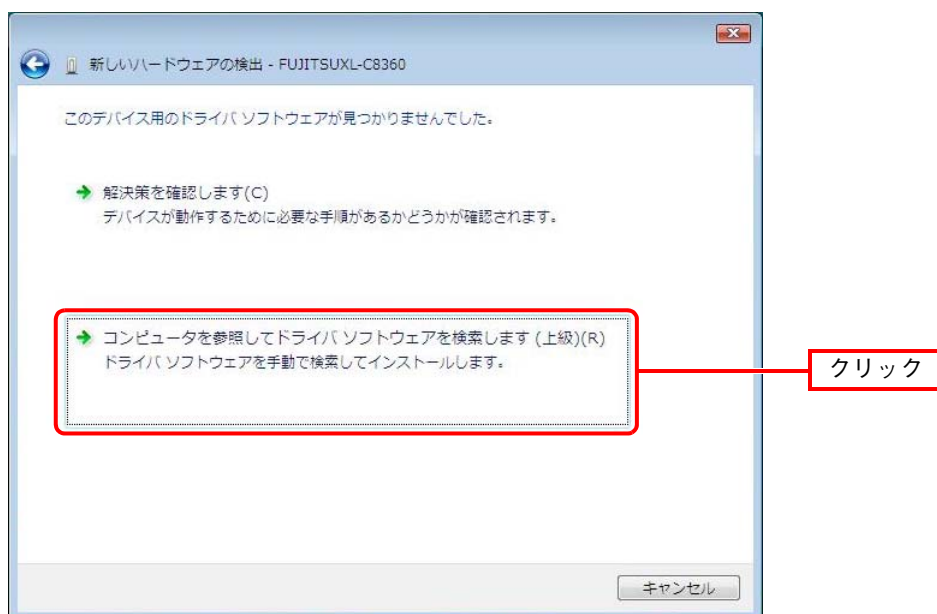
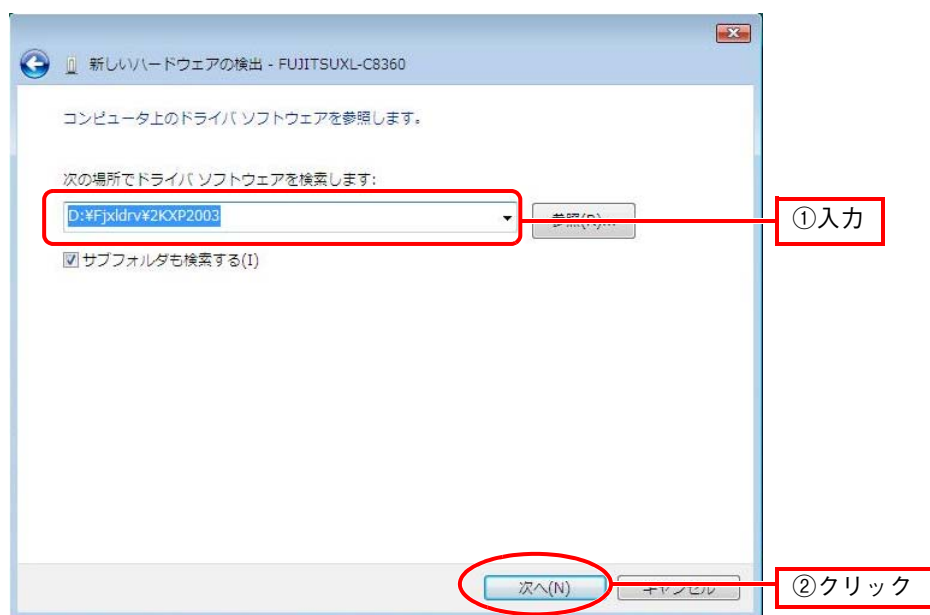
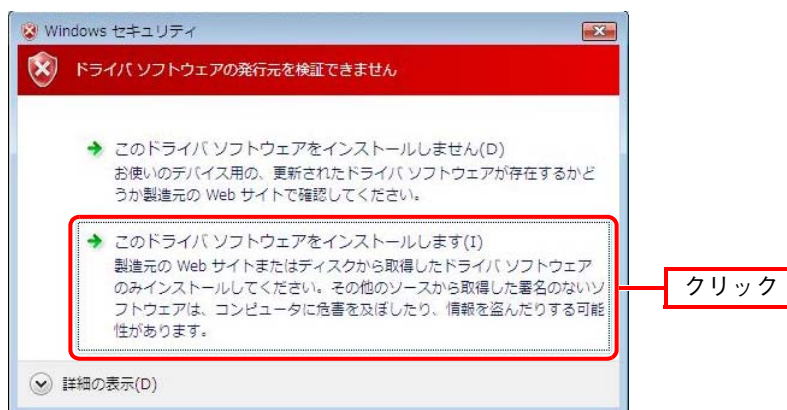
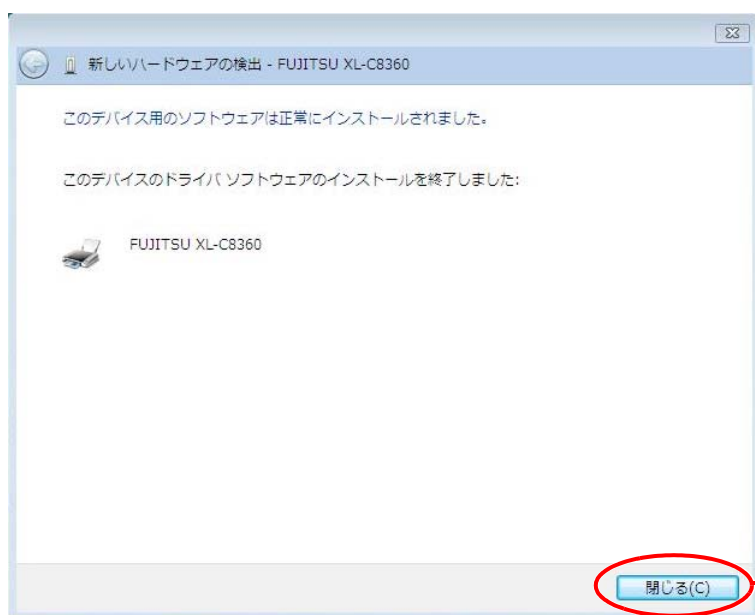
3 「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックする

4 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックする

プリンタドライバが格納されている「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003（Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合）を入力し、[次へ] をクリックする

6 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックする

「閉じる」をクリックする

新しいハードウェアの検出 - FUJITSU XL-C8360
このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。
このデバイスのドライバ ソフトウェアのインストールを終了しました:
FUJITSU XL-C8360
閉じる(C)
クリック

プリンタドライバをインストールする（USB によるプラグアンドプレイ：Windows 7/Windows Server 2008 R2）

「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。
インストール手順は、USB 接続の場合と、パラレルインターフェース接続の場合で、共通です。

お願い

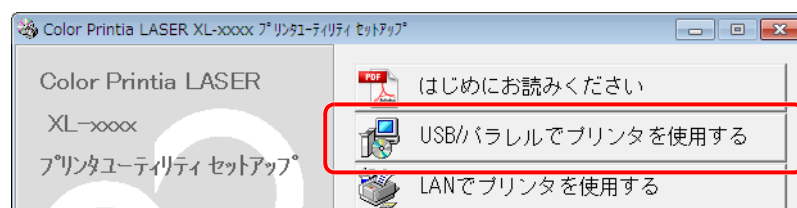
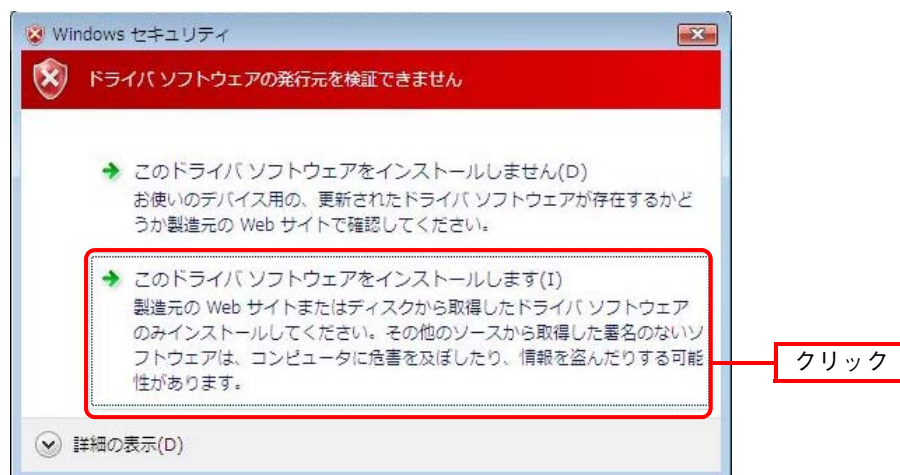
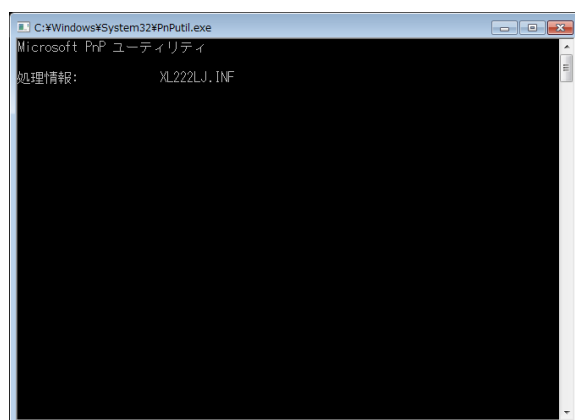
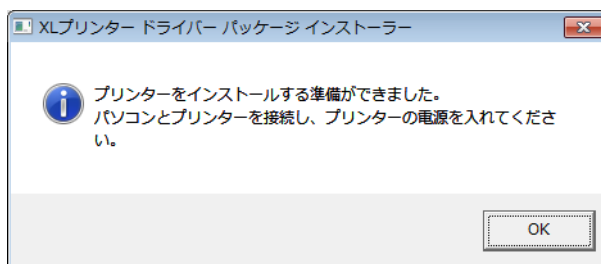
- プリンタとパソコンを接続する前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。セットアッププログラムで「プリンタをインストールする準備ができました。」と表示されてから、プリンタとパソコンを接続してください。
- プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合、セットアッププログラムによるプリンタドライバのインストールはできません。この場合は、「USB インターフェースのときにプリンタが検出されない」（303 ページ）の手順で、インストールを行ってください。

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

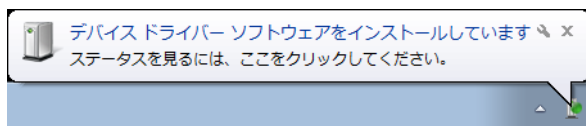
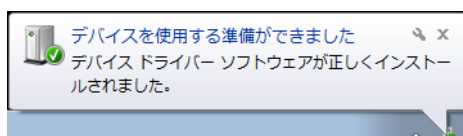
2 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM をパソコンにセットします。
インストーラの「メインメニュー」が表示されます。

ガイド

- インストーラの「メインメニュー」が自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- 自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。
- 「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

3 「USB/ パラレルでプリンタを使用する」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は「はい」をクリックします。

4 「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示された場合には､「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックします。

5 インストール処理が完了するまで(コマンドプロンプトの画面が閉じるまで)待ちます。

6 プラグアンドプレイの準備が完了したことを示すメッセージが表示されます。

7 プリンタの電源を入れてから、パソコンとプリンタを USB ケーブルで接続します。

プリンタに USB ケーブルを接続する方法については、『取扱説明書』の「第 2 章 プリンタ本体の設置」をご覧ください。

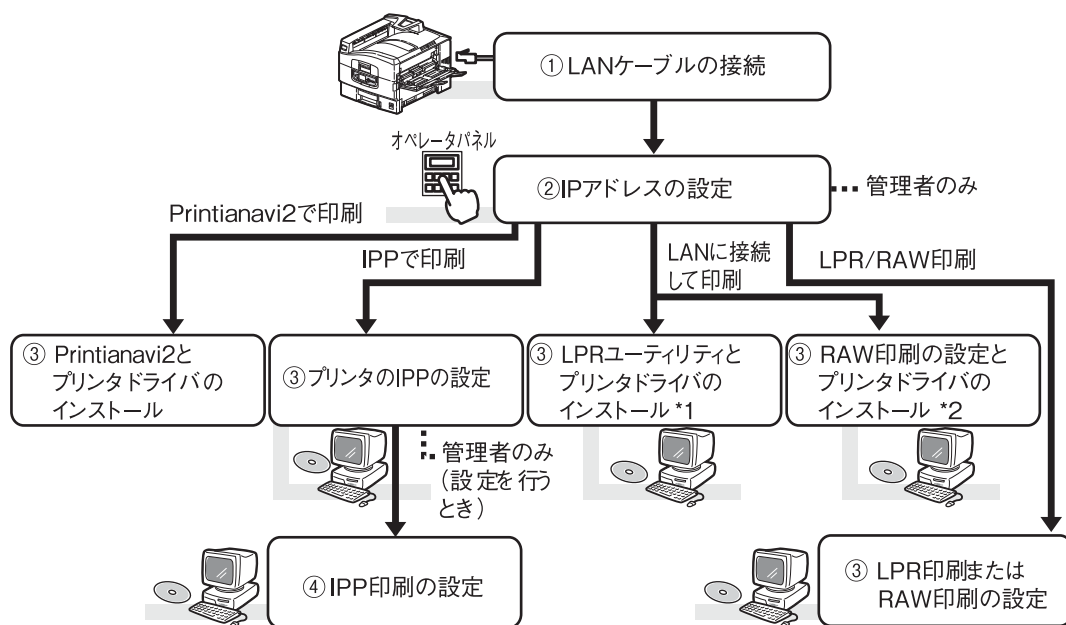
8 画面右下の通知領域に「デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています」と表示されます。

9 しばらくすると、「デバイス ドライバー ソフトウェアが正しくインストールされました」と表示されます。

10 「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンターアイコンが追加されていれば、プリンタードライバーのインストールは完了です。

第3章

ネットワークを利用したプリンタの接続

この章では、ネットワークを使用して、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。

LAN による接続時のインストール

プリンタに LAN ケーブルを接続して印刷する場合には、以下の方法があります。
・ LAN に接続して印刷
・ インターネットを利用した IPP による印刷
・ LPR 印刷
・ RAW 印刷
プリンタに LAN ケーブルを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順は、以下のとおりです。

 LAN ケーブルの接続方法は『取扱説明書』「第 3 章　プリンタ本体の設置」「ケーブルの接続」参照

ガイド

・ Printianavi2 を使用しての印刷では、印刷中のプリンタの状態をパソコンから確認したり、印刷中止操作を行ったりすることができます。
参照 Printianavi2 のインストール方法は『オンラインマニュアル』「Printianavi2 編」「第 2 章　Printianavi2 のインストール」参照
・ Windows x64 Edition では、OS 添付の Standard TCP/IP Port の RAW 印刷または LPR 印刷のみ対応しています。また Printianavi2 には対応しておりません。

IP アドレスの設定

ここでは、本製品に IP アドレスを設定する方法について説明します。

設定方法の種類

IP アドレスを設定する方法には、プリンタに直接設定する手動設定と、プリンタの電源投入時に DHCP サーバから自動的に取得する自動取得設定の 2 つがあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。
IP アドレスの設定はプリンタのオペレータパネルから直接操作して行います。

IP アドレスの設定方法は、『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール

ここでは、添付の CD-ROM に収められているネットワークソフトウェアを使用して、パソコンに必要なソフトウェアおよびプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

・Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 の場合は、プリンタドライバをインストールすると、ネットワーク接続に必要な Network Extension のインストールと、印刷ポート（RAW）の設定が自動的に行われます。
・Windows 98/Me/NT 4.0 の場合は、プリンタドライバをインストールすると、ネットワーク接続に必要な FUJITSU LPR ユーティリティ、Network Extension のインストールと、印刷ポート（FJLPR）の設定が自動的に行われます。

FUJITSU LPR ユーティリティの詳細は「FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合」（198 ページ）参照

Network Extension の詳細は「Network Extension」（212 ページ）参照

準備

あらかじめプリンタの IP アドレスを設定しておいてください。

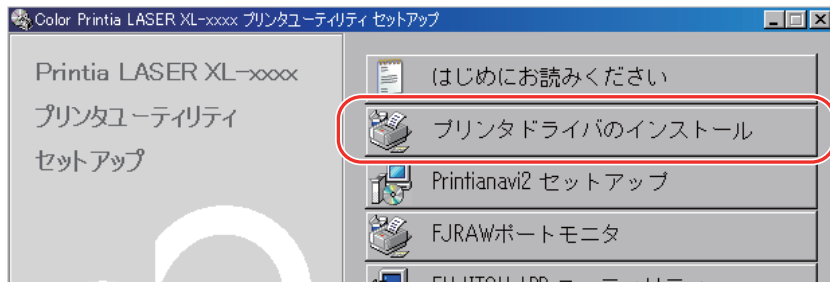
IP アドレスの設定方法は、『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

インストールを行う

プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

「プリンタドライバのインストール」または「LAN でプリンタを使用する」をクリックする

（画面は OS により異なります）

・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
　①メニューから「LAN でプリンタを使用する」をクリックします。
　②「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
　①メニューから「プリンタドライバインストール」をクリックします。
　②「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

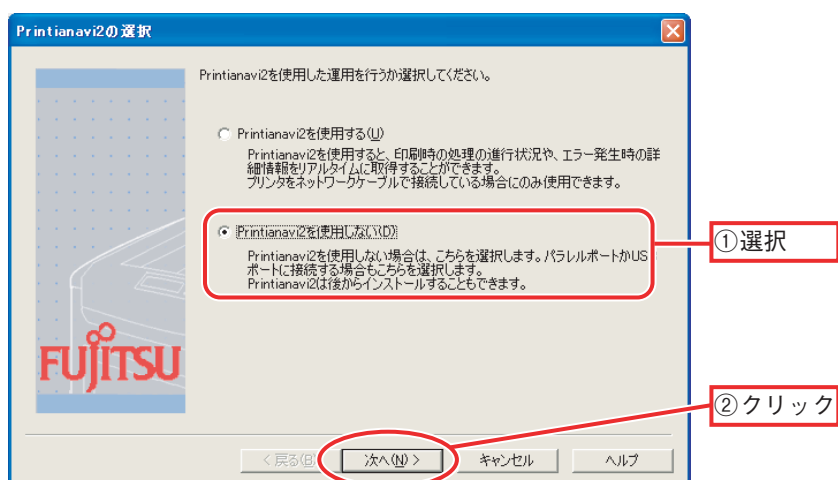
・Windows XP/2000/Windows Server 2003 の場合
　①メニューから「プリンタドライバのインストール」をクリックします。

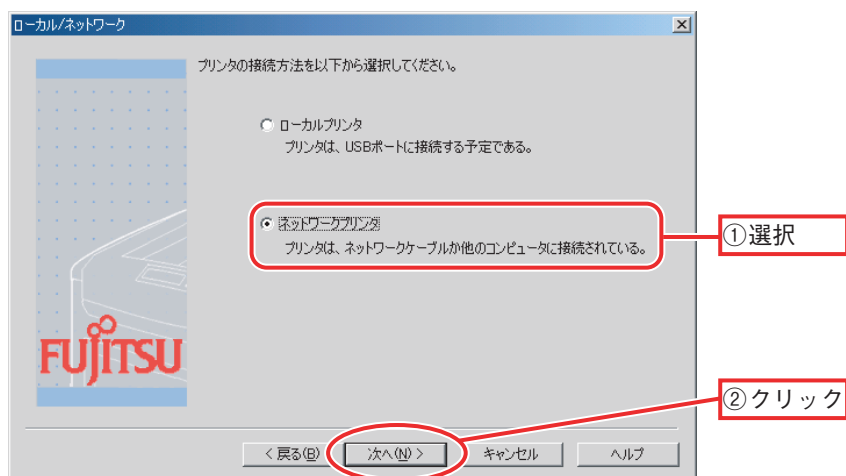
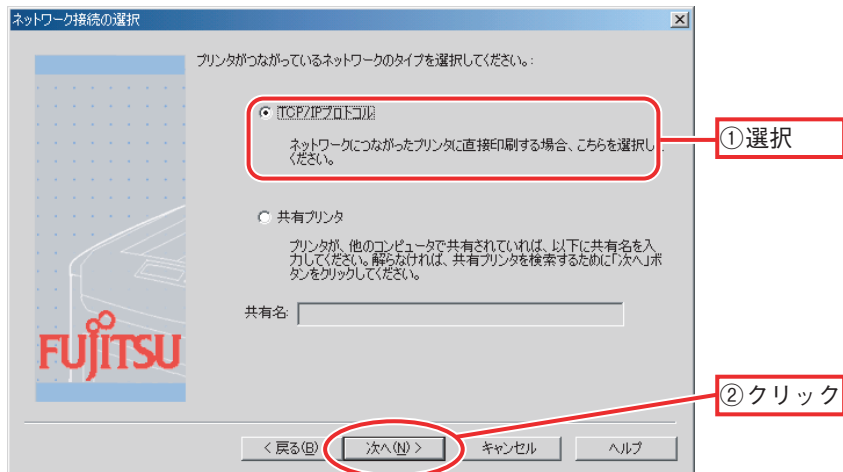
インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 の場合、「Printianavi2 の選択」画面が表示されるので、「Printianavi2 を使用しない」を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

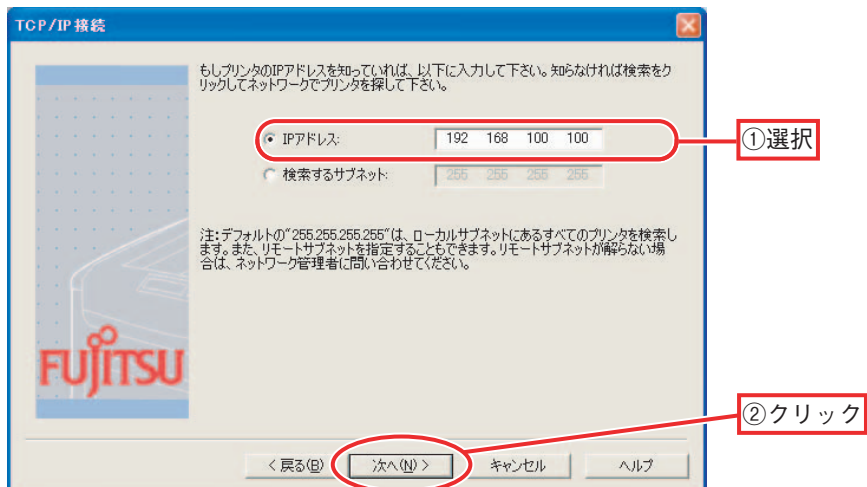
Printianavi2 は、Windows x64 Edition には対応していません。そのため、Windows x64 Edition の場合は、「Printianavi2 の選択」画面は表示されません。

ガイド

参照 「Printianavi2 を使用する」を選択するインストール手順は『オンラインマニュアル』「Printianavi2 編」参照。

3 「ネットワークプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックする

4 「TCP/IP プロトコル」を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

「共有プリンタ」は、サーバ経由で印刷する場合に選択します。

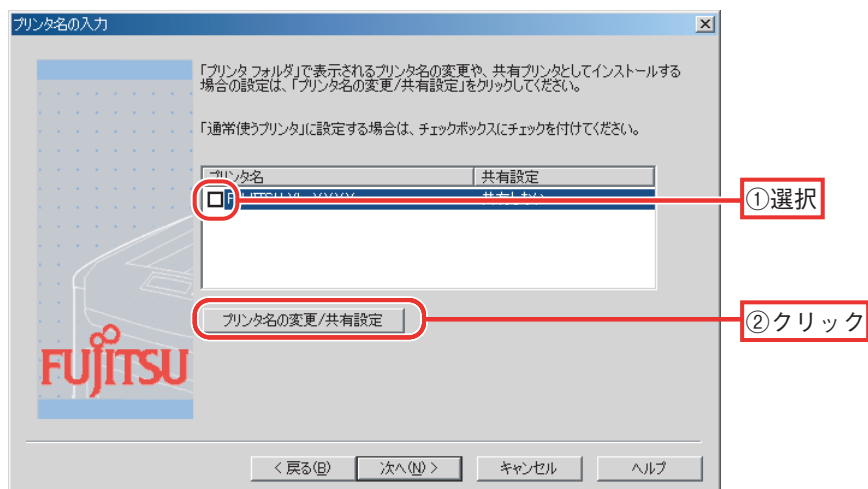
5 プリンタの「IP アドレス」を入力し［次へ］をクリックする

（※画面は IP アドレス 192.168.100.100 の設定例です。）

ガイド

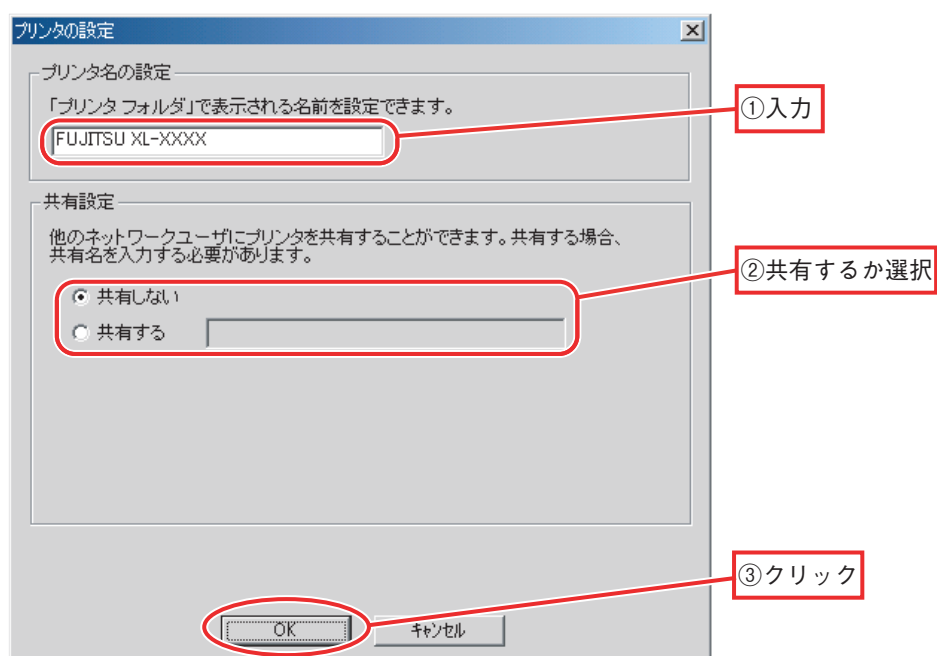
「検索するサブネット」を使用して検索を行う場合は、以下のアドレスを入力します。

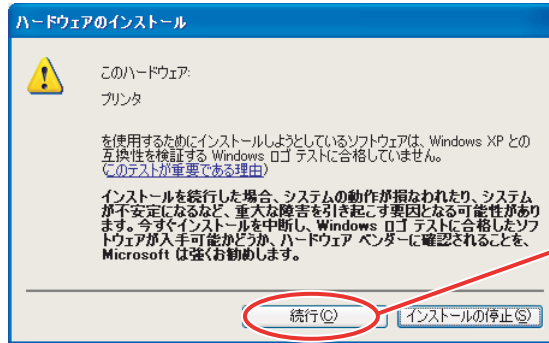
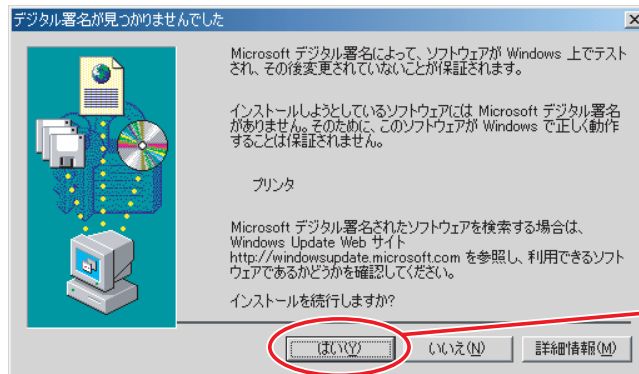
- プリンタがローカルサブネットにある場合：255.255.255.255
- プリンタが別のサブネットにある場合：サブネットのブロードキャストアドレスを入力します。ブロードキャストアドレスはネットワーク管理者にご確認ください。

6 通常使うプリンタにするかどうかを選択し、[プリンタ名の変更／共有設定] をクリックする

ガイド

プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」になります。

7 プリンタの設定画面でプリンタ名を入力し、プリンタを共有するかどうかを選択してから、[OK] をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

8 プリンタの入力画面で設定内容を確認し、［次へ］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

9 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックする

お願い

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、「再起動する」を選択し、［完了］をクリックしてください。

印刷ポートの設定を変更する

■ Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 の場合

RAW 印刷ポートの変更

① プリンタを選択する

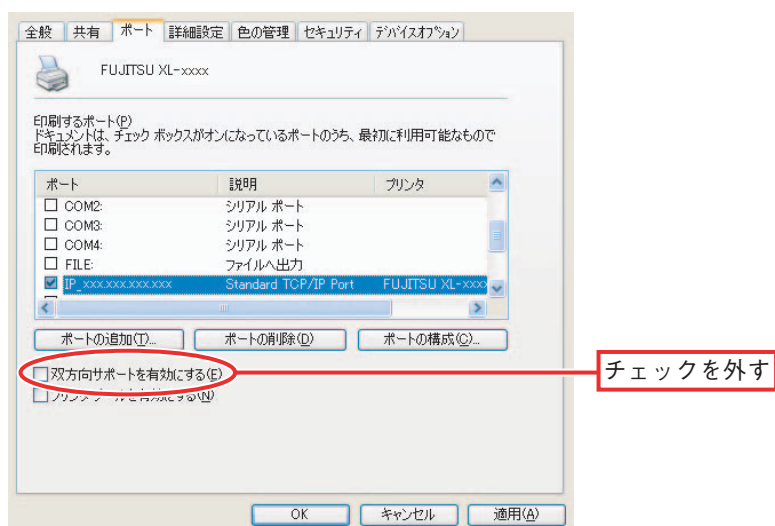
・Windows 2000 の場合
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、RAW 印刷を行うプリンタを選択する

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックし、RAW 印刷を行うプリンタを選択する

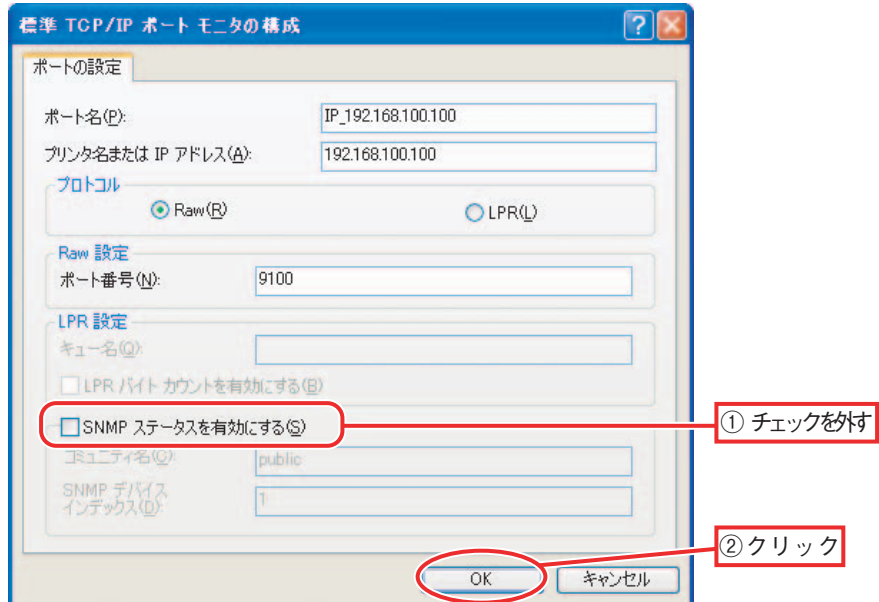
・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックし、RAW 印刷を行うプリンタを選択する

・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックし、RAW 印刷を行うプリンタを選択する

② ［ファイル］メニュー－［プロパティ］を選択し、プリンタのプロパティを表示する

③ ［ポート］タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を□にする

④ ［ポートの構成］をクリックする

⑤「SNMP ステータスを有効にする」を☐にし、[OK] をクリックする

標準 TCP/IP ポート モニタの構成
ポートの設定
ポート名(P): IP_192.168.100.100
プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.100.100
プロトコル
Raw(R) LPR(L)
Raw 設定
ポート番号(N): 9100
LPR 設定
キュー名(Q):
LPR バイト カウントを有効にする(B)
SNMP ステータスを有効にする(S)
コミュニティ名(C): public
SNMP デバイス インデックス(D): 1
OK キャンセル
① チェックを外す
② クリック

以上で設定は完了です。

ガイド

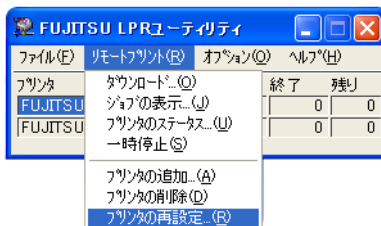
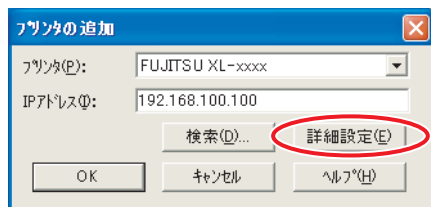
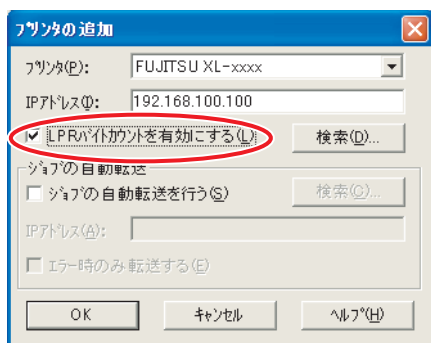
FUJITSU LPR ユーティリティをインストールしプリンタポートを設定することにより、LPR 印刷ができます（Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 および Windows x64 Edition を除く）。

参照 FUJITSU LPR ユーティリティについて、詳しくは「FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合」（198 ページ）参照

■ Windows 98/Me/NT 4.0 の場合

LPR バイトカウントの設定変更

①FUJITSU LPR ユーティリティを起動する
[スタート] － [プログラム]（Windows XP/Window Server 2003 のときは、[すべてのプログラム]）－ [FUJITSU] － [FUJITSU LPR ユーティリティ] の順にクリックし、[FUJITSU LPR ユーティリティ] をクリックする

②イントールしたプリンタを選択し、[リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択する

③［詳細設定］をクリックする

④「LPR バイトカウントを有効にする」を☑にし、［OK］をクリックする

以上でインストールは完了です。

RAW 印刷の設定

ここでは、Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 環境からの RAW 印刷の設定について説明します。

ガイド

ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストールを使用した場合は、RAW 印刷は設定されています。

参照 「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（62 ページ）参照

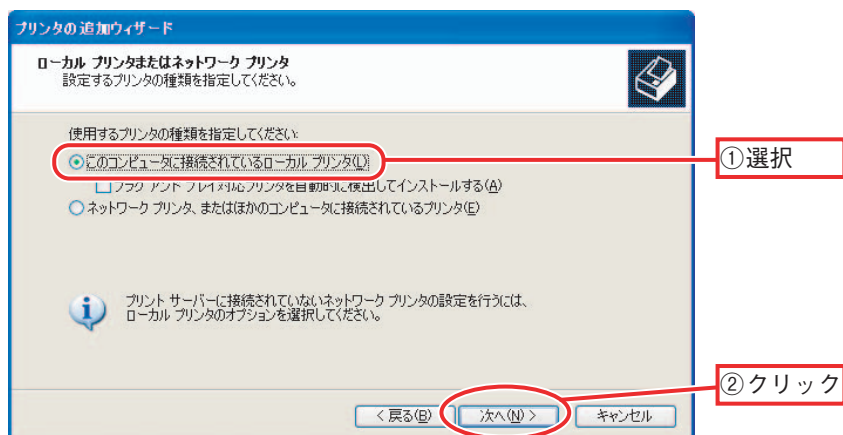
プリンタの IPアドレス設定

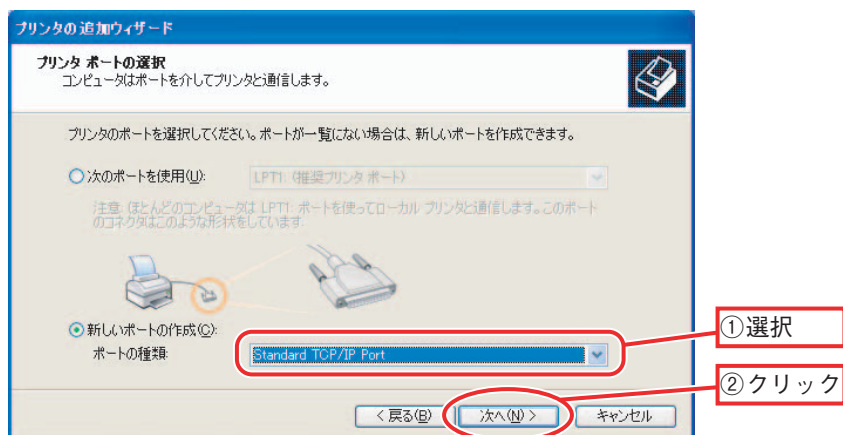
プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

参照 IP アドレスの設定方法は、『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のときの設定手順

1. Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し、管理者権限でログオンする
2. ［プリンタ］フォルダを開き、「プリンタの追加ウィザード」画面を表示する
   - Windows 2000 の場合
     ①［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
     ②［プリンタの追加］をダブルクリックする
   - Windows XP/Windows Server 2003 の場合
     ①［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックする
     ②［プリンタのインストール］をクリックする
3. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されたら、［次へ］をクリックする

「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」が□になっていることを確認し、［次へ］をクリックする

プリンタポートのポートを設定する

①「新しいポートの作成」を◉にし、「Standard TCP/IP」を選択し、［次へ］をクリックする

②「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されたら、［次へ］をクリックする

③「プリンタ名または IP アドレス」を入力し、[次へ] をクリックする

プリンタの IP アドレスは半角とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
「ポート名」には、「プリンタ名または IP アドレス」で入力した IP アドレスが自動的に反映されます。
(※画面は IP アドレス 192.168.100.100 の設定例です。)

④「カスタム」を選択し、[設定] をクリックする

⑤「ポート名」「IP アドレス」を確認し、「プロトコル」を「RAW」、「ポート番号」を「9100」、「SNMP ステータスを有効にする」を□にし、[OK] をクリックする

⑥ ④の画面に戻るので、[次へ] をクリックする

⑦「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」画面で、[完了] をクリックする

以上でプリンタポートの設定は完了です。
引き続き、プリンタドライバをインストールします。

6 「プリンタの追加ウィザード」画面で、[ディスク使用] をクリックする

7 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、[終了] をクリックして閉じてください。

8 「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003（Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合）と入力し、[OK] をクリックする

ガイド

［参照 ..］をクリックして、「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003（Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64）」を指定することもできます。

9 プリンタを選択し、［次へ］をクリックする

10 「プリンタ名」と「通常使うプリンタ」にするかどうかを設定し、［次へ］をクリックする

ガイド

・プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」になります。
・インストールされているプリンタが 1 台もない場合は「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか ?」は表示されません。

11 プリンタを共有するかどうかを設定し、［次へ］をクリックする

テストページの印刷をするかどうかを設定し、［次へ］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

ガイド

環境によっては次のダイアログが表示される場合があります。

・次のダイアログが表示されたときは［続行］をクリックしてください。

ハードウェアのインストール

このハードウェア:
プリンタ
を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XP との互換性を検証する Windows ロゴ テストに合格していません。(このテストが重要である理由)

インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり、システムが不安定になるなど、重大な障害を引き起こす要因となる可能性があります。今すぐインストールを中断し、Windows ロゴ テストに合格したソフトウェアが入手可能かどうか、ハードウェア ベンダーに確認されることを、Microsoft は強くお勧めします。

続行(C)　インストールの停止(S)

クリック

・Windows 2000 で次のダイアログが表示されたときは、［はい］をクリックしてください。

デジタル署名が見つかりませんでした

Microsoft デジタル署名によって、ソフトウェアが Windows 上でテストされ、その後変更されていないことが保証されます。

インストールしようとしているソフトウェアには Microsoft デジタル署名がありません。そのために、このソフトウェアが Windows で正しく動作することは保証されません。

プリンタ

Microsoft デジタル署名されたソフトウェアを検索する場合は、Windows Update Web サイト http://windowsupdate.microsoft.com を参照し、利用できるソフトウェアであるかどうかを確認してください。

インストールを続行しますか?

はい(Y)　いいえ(N)　詳細情報(M)

クリック

・「ファイルの上書き確認」ダイアログが表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

［完了］をクリックする

プリンタポートの設定を変更する

①プリンタを選択する

・Windows 2000 の場合

［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、RAW 印刷を行うプリンタを選択する

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合

［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックし、RAW 印刷を行うプリンタを選択する

②［ファイル］メニュー－［プロパティ］を選択し、プリンタのプロパティを表示する

③[ポート] タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を□にする

全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理 セキュリティ デバイスオプション

FUJITSU XL-xxxx

印刷するポート(P)
ドキュメントは、チェック ボックスがオンになっているポートのうち、最初に利用可能なもので印刷されます。

ポート	説明	プリンタ
□ COM2:	シリアル ポート	
□ COM3:	シリアル ポート	
□ COM4:	シリアル ポート	
□ FILE:	ファイルへ出力	
☑ IP_xxx.xxx.xxx.xxx	Standard TCP/IP Port	FUJITSU XL-xxxx

ポートの追加(T)... ポートの削除(D) ポートの構成(C)...

□双方向サポートを有効にする(E)
□プリンタ プールを有効にする(N)

チェックを外す

OK キャンセル 適用(A)

④[OK] をクリックする

以上で設定は完了です。

Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008のときの設定手順

1 Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 を起動し、管理者権限でログオンする

2 [プリンタ] フォルダを開き、「プリンタの追加」画面を表示する

・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

①[スタート] − [デバイスとプリンター] の順にクリックする

②[プリンターの追加] を選択する

・Windows Vista/Windows Server 2008(R2 以外)の場合

①[スタート] − [コントロールパネル] − [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順にクリックする

②[プリンタのインストール] をクリックする

「ローカルプリンタを追加します」をクリックする

プリンタポートを設定する

「新しいポートの作成」を◉にし、「Standard TCP/IP Port」を選択し、［次へ］をクリックする

5 「ホスト名または IP アドレス」を入力し、［次へ］をクリックする

プリンタの IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
「ポート名」には「ホスト名または IP アドレス」で入力した IP アドレスが自動的に反映されます。
（※画面は IP アドレス 192.168.100.100 の設定例です。）

6 「カスタム」を選択し、［設定］をクリックする

「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、「プロトコル」を「Raw」、「ポート番号」を「9100」、「SNMP ステータスを有効にする」を□にし、[OK] をクリックする

6 の画面に戻るので、[次へ] をクリックする

以上でプリンタポートの設定は完了です。
引き続き、プリンタドライバをインストールします。

「プリンタ ドライバのインストール」画面で [ディスク使用] をクリックする

10 プリンタドライバが格納されている「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003（Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」（CD-ROM ドライブが D: の場合）を入力し、[OK] をクリックする

11 プリンタを選択し、[次へ] をクリックする

12 「プリンタ名」の入力と「通常使うプリンタに設定する」の設定を行い、[次へ] をクリックする

「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックする

ガイド

Windows Server 2008 の場合は、この画面は表示されません。

「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックする

プリンタを共有するかどうかを設定し、[次へ] をクリックする

ガイド

Windows Vista の場合は、この画面は表示されません。

テストページを印刷する場合は［テストページの印刷］をクリックし、［完了］をクリックする

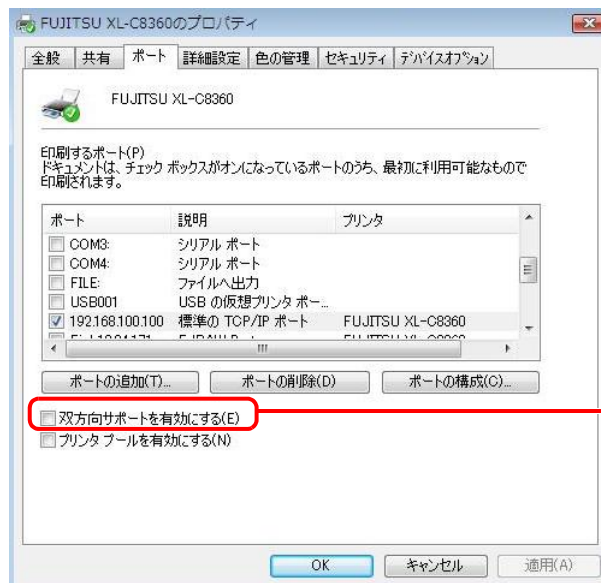
プリンタドライバは正しく追加されました。

プリンタポートの設定を変更する

①プリンタを設定する

［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックし、RAW 設定を行うプリンタを選択する

②右クリックして「プロパティ」（または「プリンターのプロパティ」）をクリックする

③［ポート］タブをクリックし、「双方向ポートを有効にする」を □ にする

④［OK］をクリックする

以上で設定は完了です。

LPR 印刷の設定

ここでは、Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 からの LPR 印刷の設定について説明します。

Windows NT 4.0 の LPR Port による設定

準備

●プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

IP アドレスの設定方法は、『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

●サービスの組み込み

「Microsoft TCP/IP 印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1. ［ネットワーク］ダイアログを表示する

   ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。

2. 「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか確認する

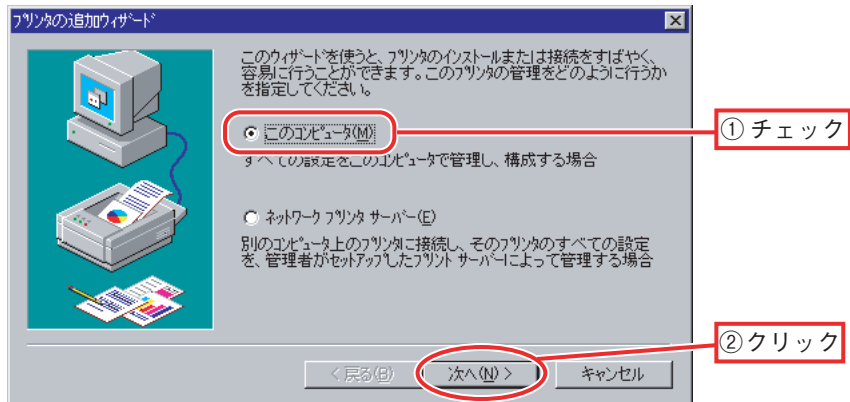
   ［サービス］タブをクリックし、「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が表示されるか確認します。
   組み込まれていないときは、［追加］をクリックし、［ネットワークサービスの選択］ダイアログのネットワークサービス一覧から「Microsoft TCP/IP 印刷」を選択します。
   続けて、同じ手順で「簡易 TCP/IP サービス」を選択します。

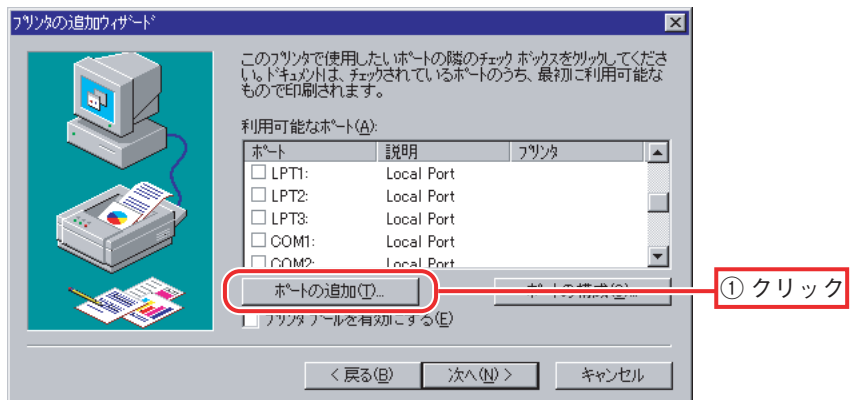
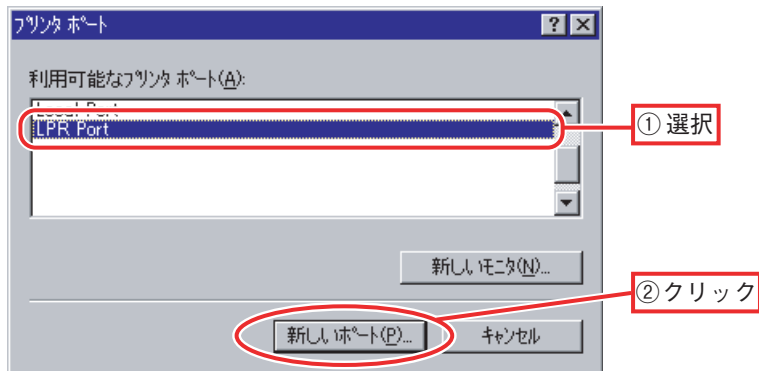
LPR Portによる設定手順

1. Windows NT 4.0 を起動し、管理者権限でログオンする

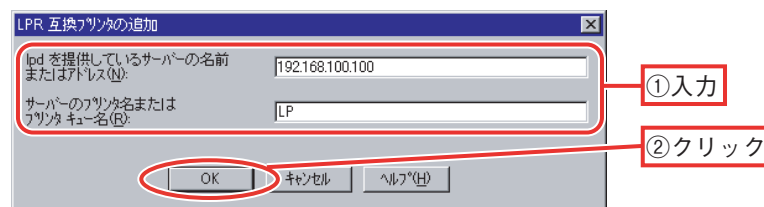
2. ［プリンタ］フォルダを開き、「プリンタの追加ウィザード」画面を表示する

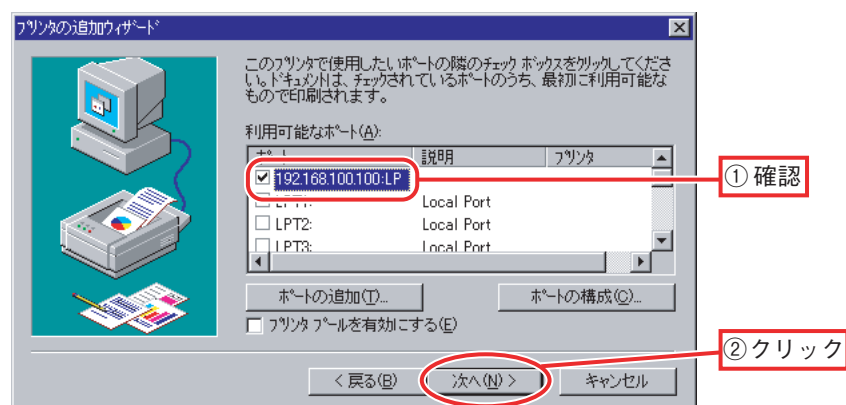
   ①［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
   ②［プリンタの追加］をダブルクリックする

3 ［プリンタの追加ウィザード］が表示されたら、「このコンピュータ」を◉にし、［次へ］をクリックする

4 プリンタポートを設定する

①［ポートの追加］をクリックする

②「LPR Port」を選択し、［新しいポート］をクリックする

③次の内容を入力し、[OK] をクリックする

プリンタの IP アドレスは半角とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力します。

(※画面は IP アドレス 192.168.100.100 の設定例です。)

④ ②に戻るので、[閉じる] をクリックする

⑤ ①の画面で、設定したポートに ☑ されていることを確認し 、[次へ] をクリックする

以上でプリンタポートの設定は完了です。

引き続き、プリンタドライバをインストールします。

5 「プリンタウィザード」画面で、[ディスク使用] をクリックする

6 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

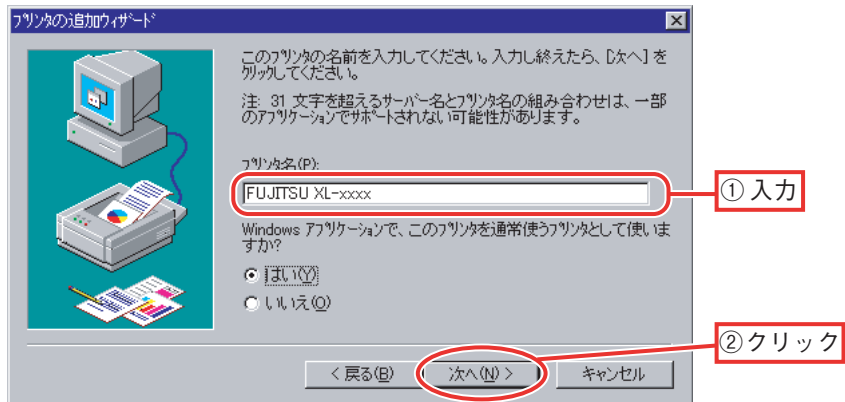
インストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、[終了] をクリックして閉じてください。

7 「配布ファイルのコピー元」に「D:¥FJXLDRV¥WINNT」(CD-ROM ドライブが D: の場合) と入力し、[OK] をクリックする

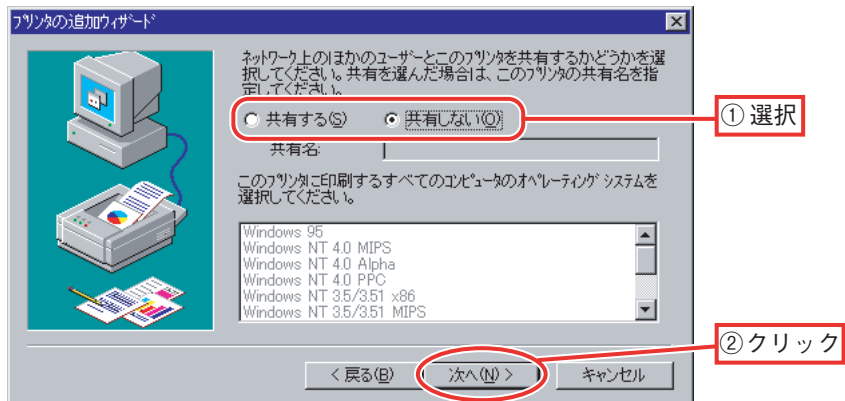
ガイド

[参照 ..] をクリックして、「D:¥FJXLDRV¥WINNT」を指定することもできます。

8 「プリンタウィザード」画面でプリンタを選択し、［次へ］をクリックする

9 「プリンタ名」を入力し、［次へ］をクリックする

ガイド

- プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」になります。
- インストールされているプリンタが 1 台もない場合は、「Windows アプリケーションで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか?」は表示されません。

10 プリンタを共有するかどうかを選択し、［次へ］をクリックする

11 テストページの印刷をするかどうかを設定し、［完了］をクリックする

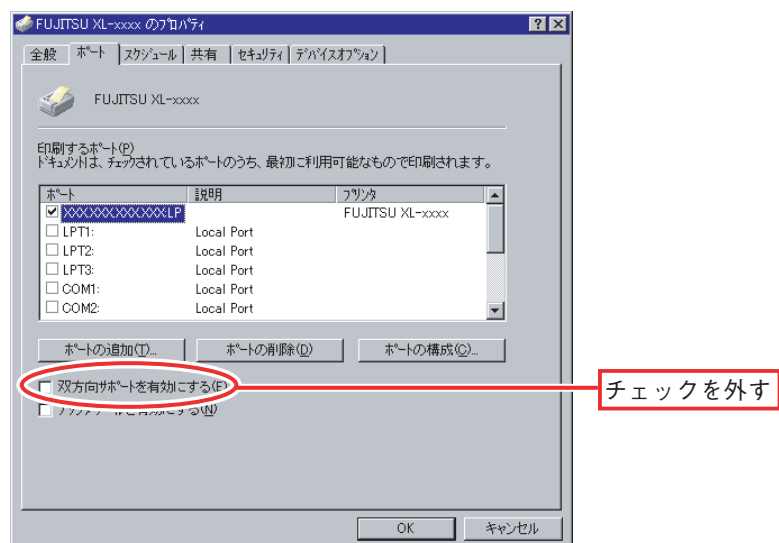
ファイルのコピーが開始されます。

12 プリンタポート、印刷データのスプール方法をそれぞれ変更する

①プリンタを選択する

［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、LPR 印刷を行うプリンタを選択する

②[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択し、プリンタのプロパティを表示する

③[ポート] タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を □ にする

引き続き、印刷データのスプール方法を変更します。

④[スケジュール] タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」、「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」の 2ヶ所を ◉ にする

⑤[OK] をクリックし、プリンタのプロパティを終了する

以上で設定は完了です。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の TCP/IP Port による設定

準備

●プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

参照　IP アドレスの設定方法は、『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

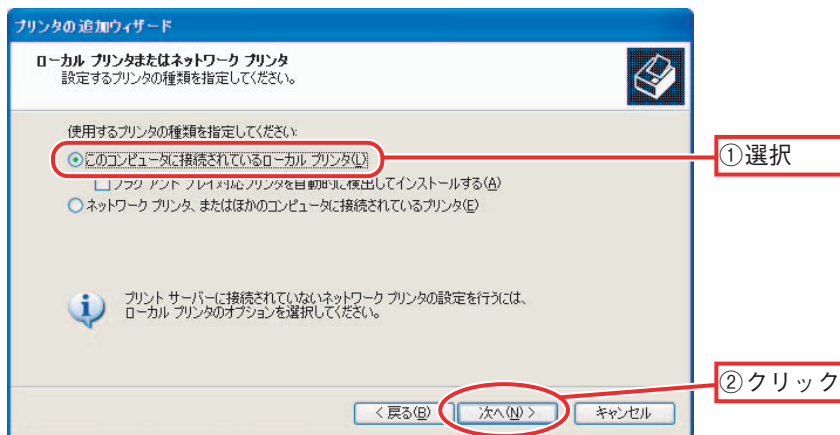
Standard TCP/IP Port による設定手順

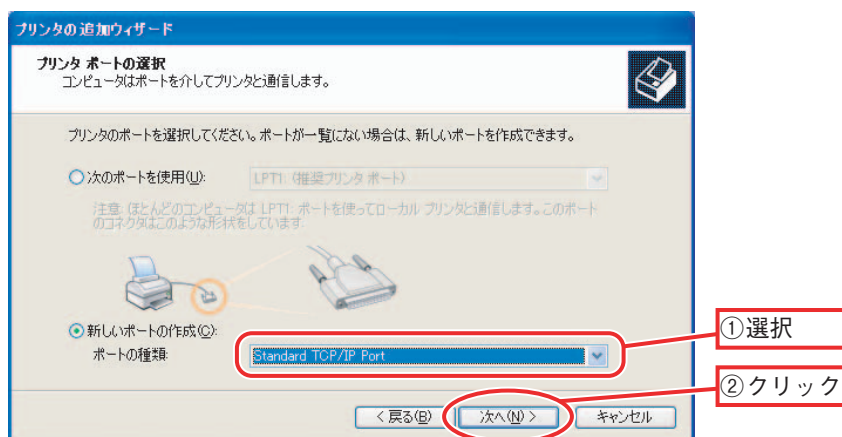
1 Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し､管理者権限でログオンする

2 ［プリンタ］フォルダを開き、「プリンタの追加ウィザード」画面を表示する

・Windows 2000 の場合
  ①［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
  ②［プリンタの追加］をダブルクリックする
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
  ①［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックする
  ②［プリンタのインストール］をクリックする

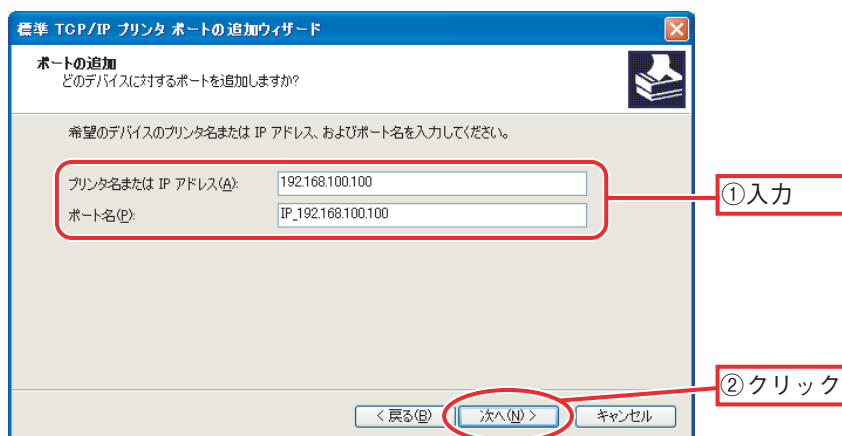
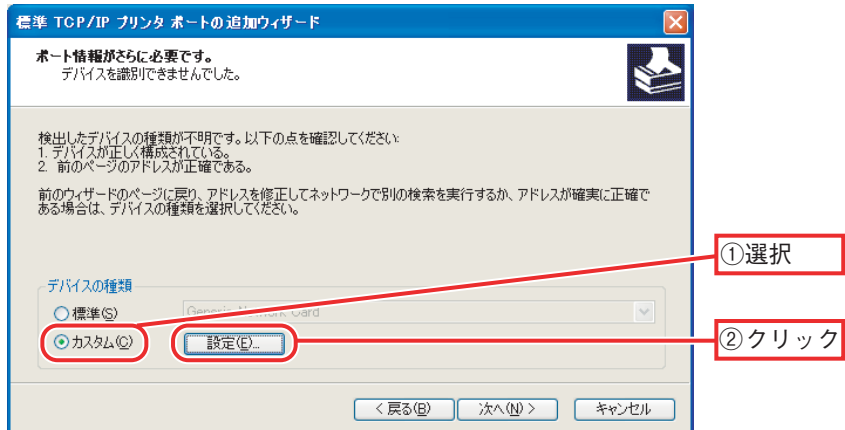
3 「プリンタの追加ウィザード」が表示されたら、［次へ］をクリックする

4 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」が□になっていることを確認し、［次へ］をクリックする

プリンタポートを設定する

①「新しいポートの作成」を◉にし、「Standard TCP/IP」を選択し、［次へ］をクリックする

②「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されたら、［次へ］をクリックする

③「プリンタ名または IP アドレス」を入力し、［次へ］をクリックする

プリンタの IP アドレスは半角とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。「ポート名」には、「プリンタ名または IP アドレス」で入力した IP アドレスが自動的に反映されます。

（※画面は IP アドレス 192.168.100.100 の設定例です。）

④「カスタム」を選択し、［設定］をクリックする

⑤「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、「プロトコル」を「LPR」、「キュー名」を「LP」、「LPR バイトカウンタを有効にする」を☑にし、［OK］をクリックする

⑥ ④の画面に戻るので、［次へ］をクリックする

⑦「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」画面で、［完了］をクリックする

以上でプリンタポートの設定は完了です。
引き続き、プリンタドライバをインストールします。

6 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［ディスク使用］をクリックする

7 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、[終了]をクリックして閉じてください。

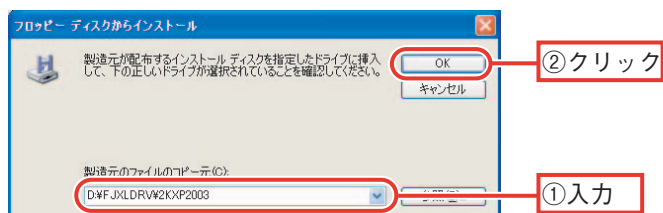
8 「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003(Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力し、[OK]をクリックする

ガイド

[参照 ..]をクリックして、「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003(Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」を指定することもできます。

9 プリンタを選択し、[次へ]をクリックする

10 「プリンタ名」と「通常使うプリンタ」にするかどうかを設定し、[次へ]をクリックする

ガイド

・プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」になります。
・インストールされているプリンタが 1 台もない場合は「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか ?」は表示されません。

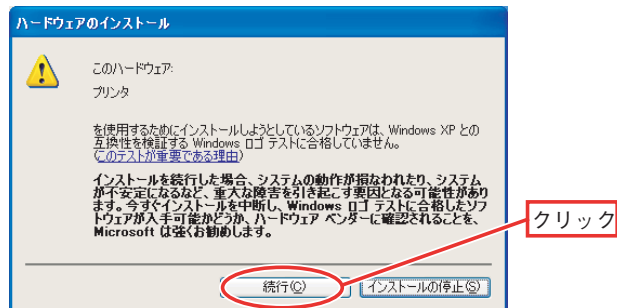
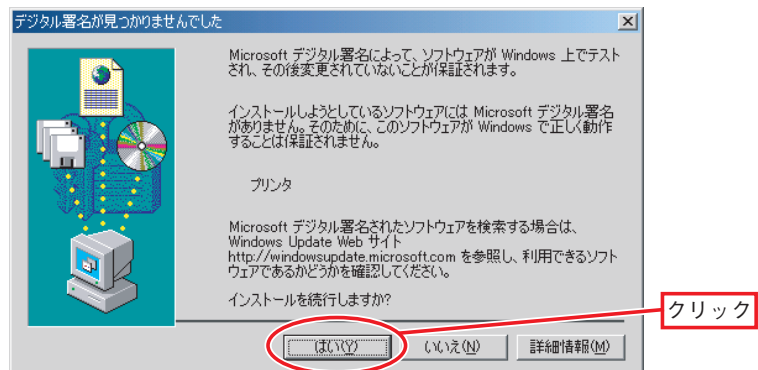
11 プリンタを共有するかどうかを設定し、［次へ］をクリックする

12 テストページの印刷をするかどうかを設定し、［次へ］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

ガイド

環境によっては次のダイアログが表示される場合があります。

・次のダイアログが表示されたときは［続行］をクリックしてください。

・Windows 2000 で次のダイアログが表示されたときは、［はい］をクリックしてください。

・「ファイルの上書き確認」ダイアログが表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

［完了］をクリックする

プリンタのポートの設定を変更する

①プリンタを選択する

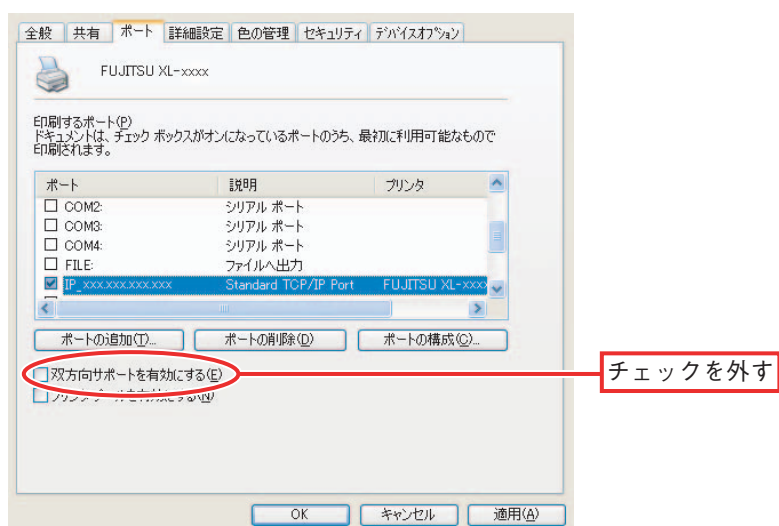
・Windows 2000 の場合

［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、LPR 印刷を行うプリンタを選択する

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合

［スタート］－［プリンタとFAX］の順にクリックし、LPR印刷を行うプリンタを選択する

②［ファイル］メニュー－［プロパティ］を選択し、プリンタのプロパティを表示する

③［ポート］タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を □ にする

④［OK］をクリックする

以上で設定は完了です。

Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 の TCP/IP Port による設定

準備

●プリンタの IP アドレス設定

プリンタの IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

参照　IP アドレスの設定方法は、『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

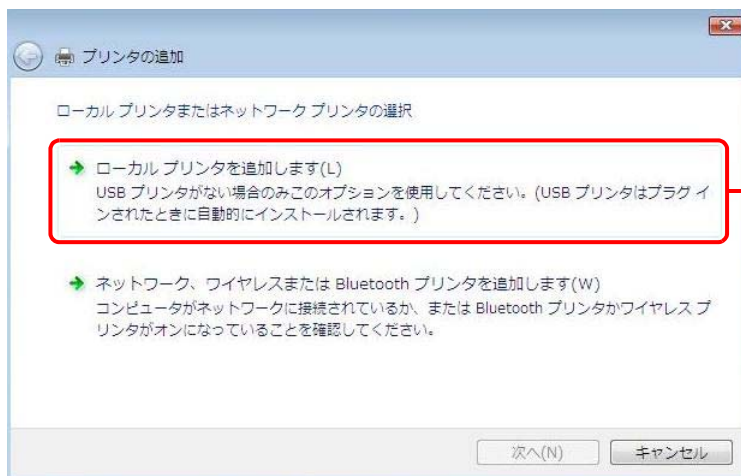
Standard TCP/IP Portによる設定手順

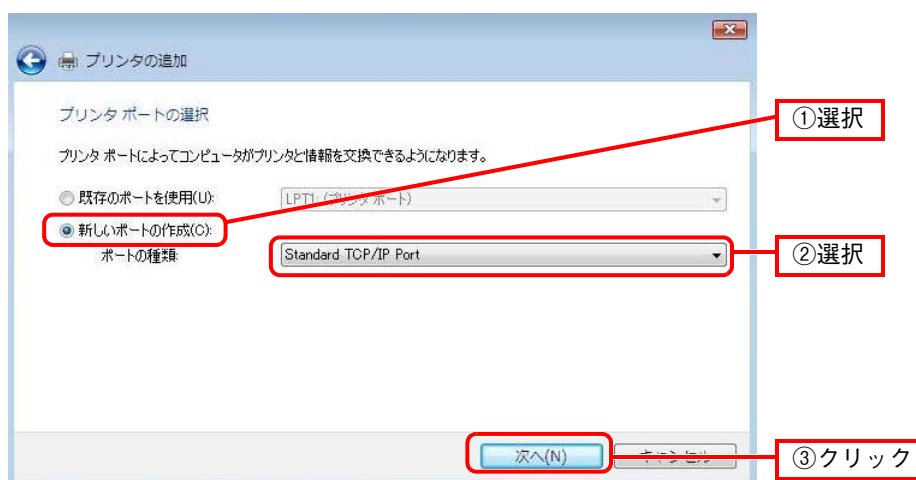
1 Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 を起動し、管理者権限でログオンする

2 ［プリンタ］フォルダを開き、「プリンタの追加」画面を表示する

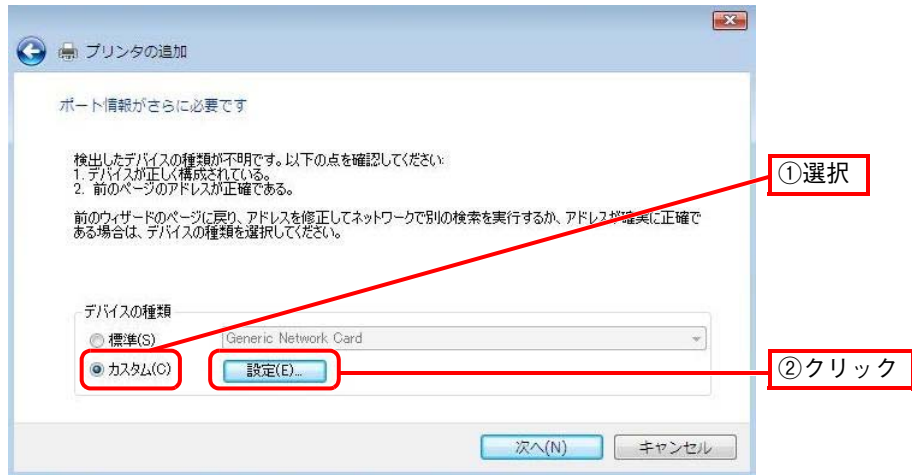
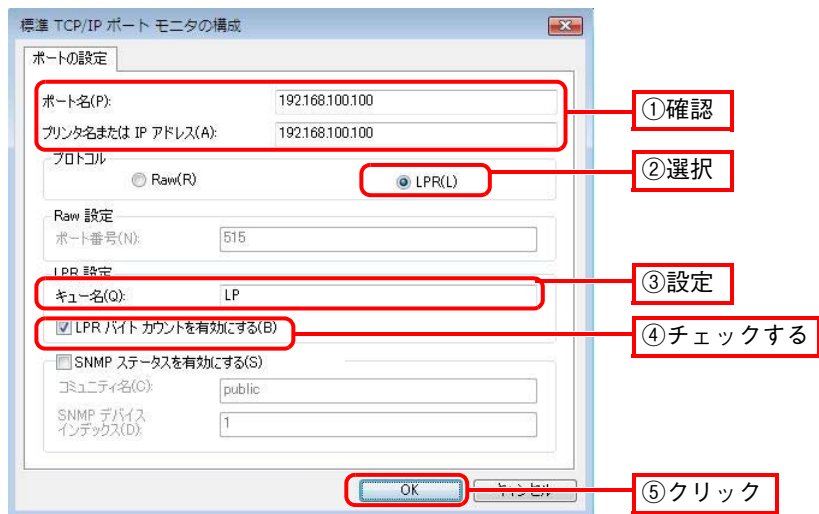
・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
① ［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックする
② ［プリンターの追加］を選択する

・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
① ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする
② ［プリンタのインストール］をクリックする

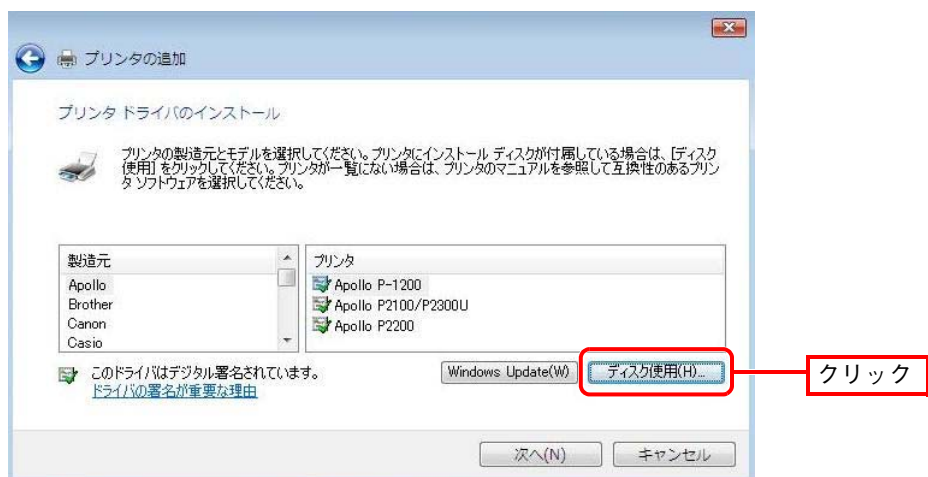
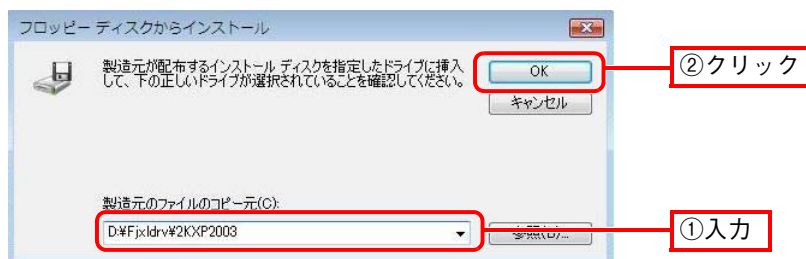
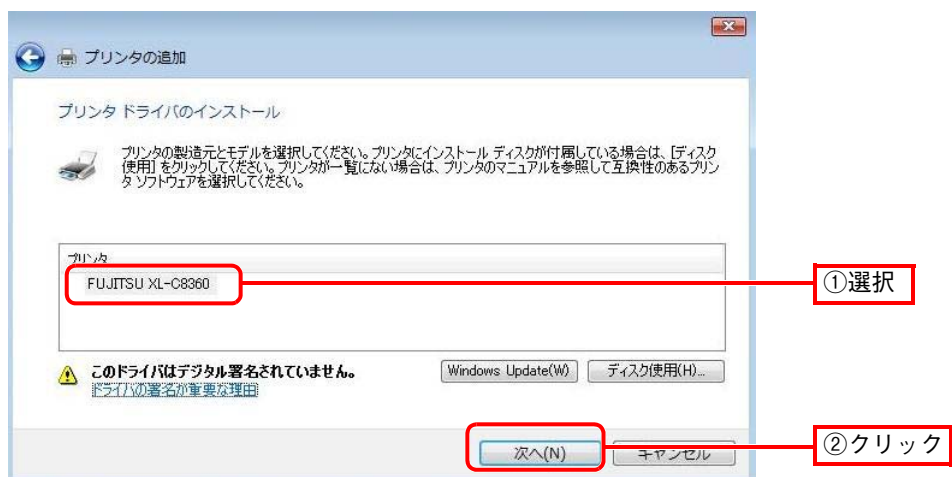
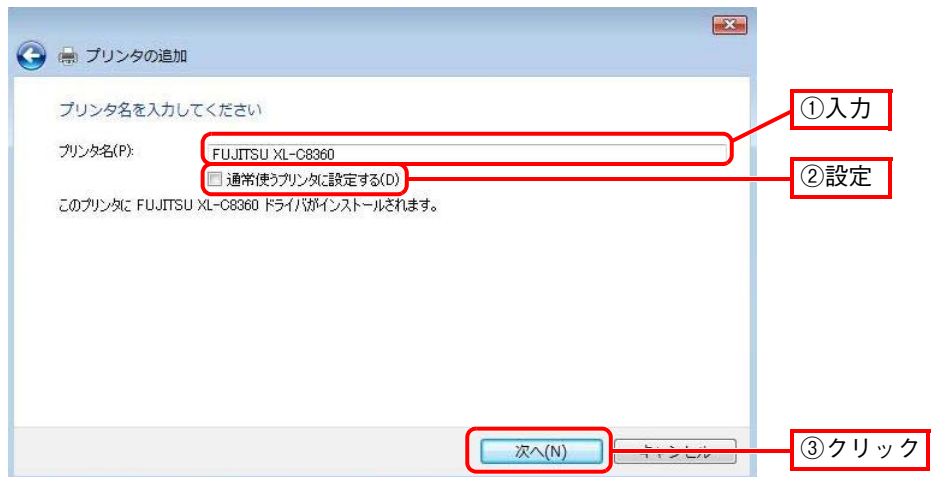
3 「ローカルプリンタを追加します」をクリックする

プリンタポートを設定する

「新しいポートの作成」を◉にし、「Standard TCP/IP Port」を選択し、［次へ］をクリックする

「ホスト名または IP アドレス」を入力し、［次へ］をクリックする

プリンタの IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
「ポート名」には「ホスト名または IP アドレス」で入力した IP アドレスが自動的に反映されます。
（※画面は IP アドレス 192.168.100.100 の設定例です。）

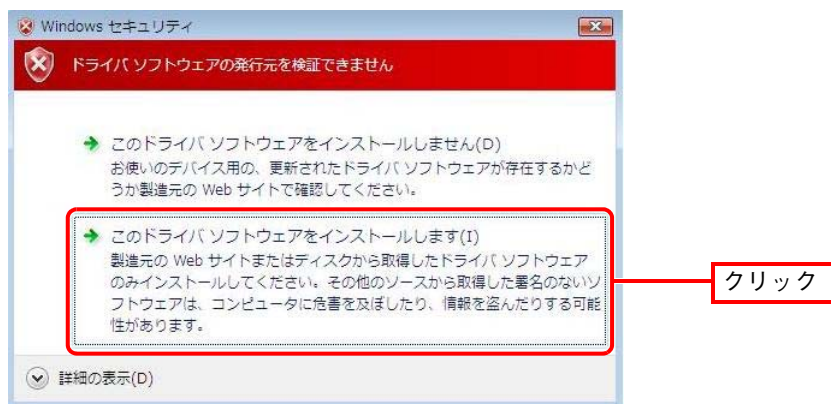
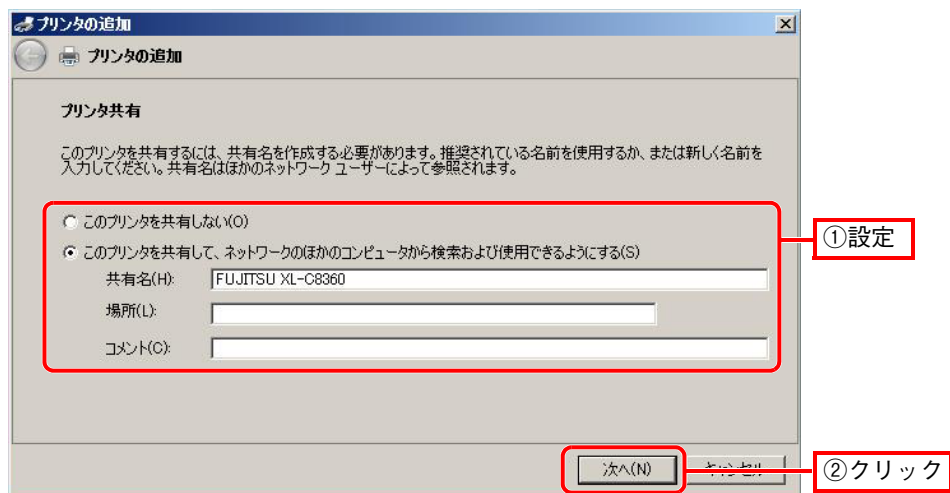
6 「カスタム」を選択し、[設定] をクリックする

7 「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、「プロトコル」を「LPR」、「キュー名」を「LP」、「LPR バイトカウントを有効にする」を☑にし、[OK] をクリックする

8 6の画面に戻るので、[次へ] をクリックする

以上でプリンタポートの設定は完了です。
引き続き、プリンタドライバをインストールします。

9 「プリンタドライバのインストール」画面で［ディスク使用］をクリックする

10 プリンタドライバが格納されている「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003（Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」（CD-ROM ドライブが D: の場合）を入力し、［OK］をクリックする

11 プリンタを選択し、［次へ］をクリックする

12 「プリンタ名」の入力と「通常使うプリンタに設定する」の設定を行い、［次へ］をクリックする

13 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、［続行］をクリックする

ガイド

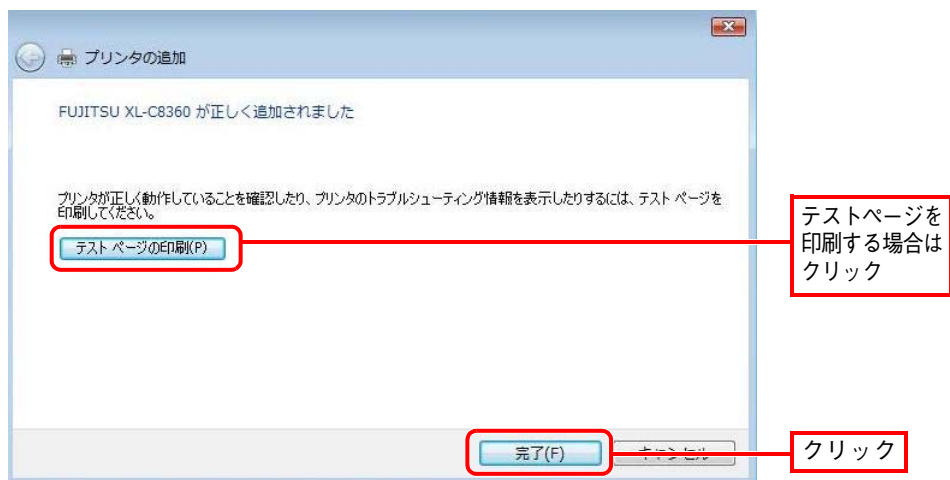
Windows Server 2008 の場合は、この画面は表示されません。

14 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックする

プリンタを共有するかどうかを設定し、［次へ］をクリックする

ガイド

Windows Vista の場合は、この画面は表示されません。

テストページを印刷する場合は［テストページの印刷］をクリックし、［完了］をクリックする

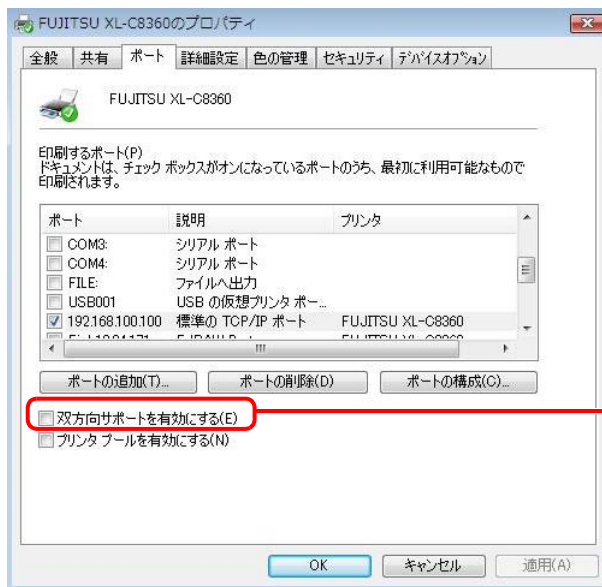
プリンタドライバは正しく追加されました。

プリンタポートの設定を変更する

①プリンタを選択する

・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックする

・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする

②LPR 設定を行うプリンタを右クリックして「プロパティ」（または「プリンターのプロパティ」）をクリックする

③［ポート］タブをクリックし、「双方向ポートを有効にする」を☐にする

④［OK］をクリックする

以上で設定は完了です。

IPP 印刷の設定

本製品は、IPP（Internet Printing Protocol）をサポートしています。
ここでは、IPP を使って Windows Me/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008（R2 以外）から IPP 印刷を利用する場合の設定方法を説明します。

ガイド

Windows Server 2008 R2 では、プリンタの追加ウィザードから「ネットワークプリンタを追加します」で共有プリンタの URL を指定して印刷を行う「IPP 印刷」を使用することができません。

準備

●プリンタの IP アドレス設定

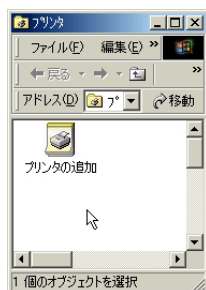
プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

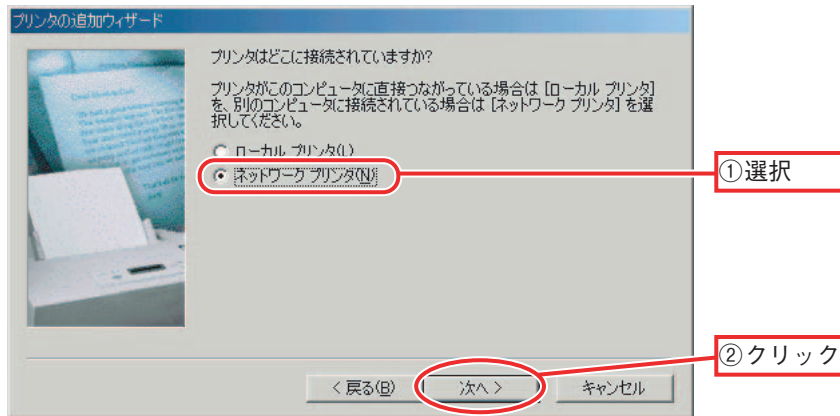
参照　IP アドレスの設定方法は、『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

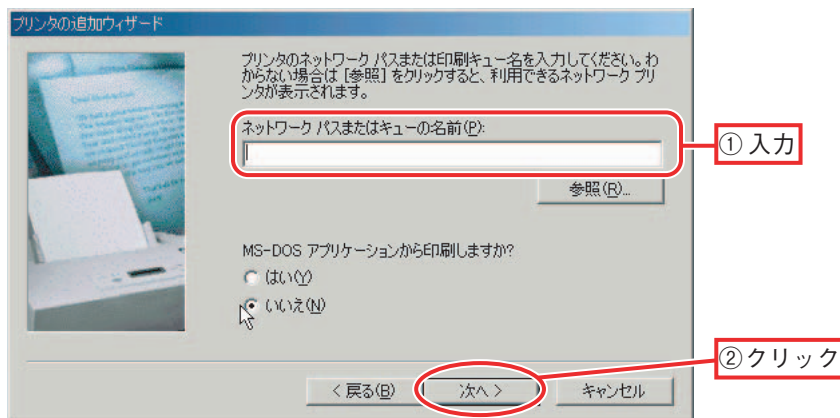
プリンタドライバをインストールする

次の手順に従って、プリンタドライバをインストールしてください。

Windows Me の場合

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
2. ［プリンタの追加］をダブルクリックする

3. ［プリンタの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックする

4 「ネットワークプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックする

5 「ネットワークパスまたはキューの名前」に以下の URL を入力し、［次へ］をクリックする

http://［プリンタの IP アドレス］/ipp

ガイド

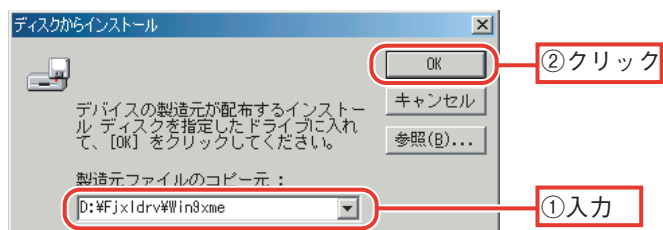
ホスト上で DNS 設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。

6 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［ディスク使用］をクリックする

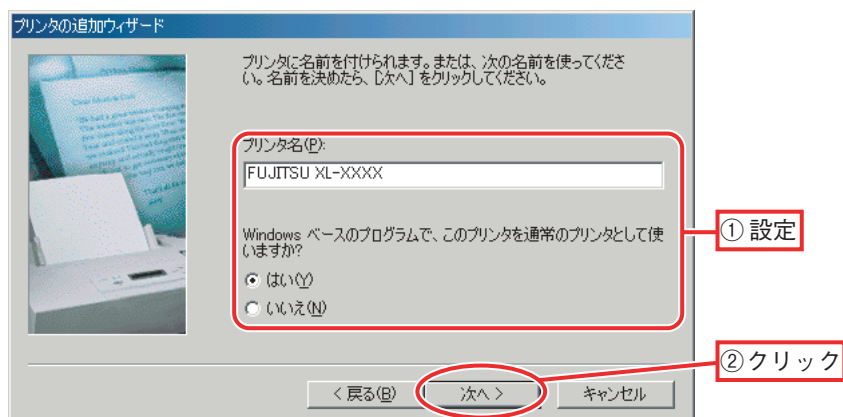
7 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、［終了］をクリックして閉じてください。

8 「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥FJXLDRV¥WIN9XME」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力し、[OK] をクリックする

ガイド

[参照 ...] をクリックして、「D:¥FJXLDRV¥WIN9XME」フォルダを指定することもできます。

9 プリンタを選択し、[次へ] をクリックする

10 「プリンタ名」と「通常のプリンタ」にするかどうかを設定し、[次へ] をクリックする

ガイド

- プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」になります。
- インストールされているプリンタが 1 台もない場合は、「Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか?」は表示されません。

11 テストページの印刷をするかどうかを設定し、[次へ] をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

12 [完了] をクリックする

以上でインストールは完了です。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合

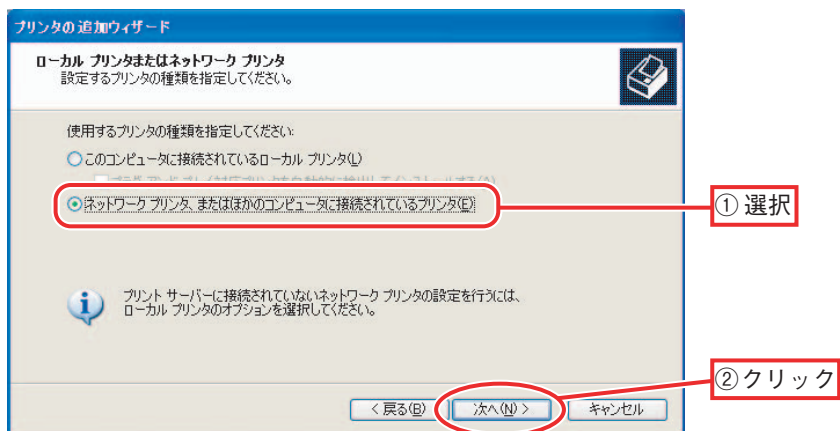
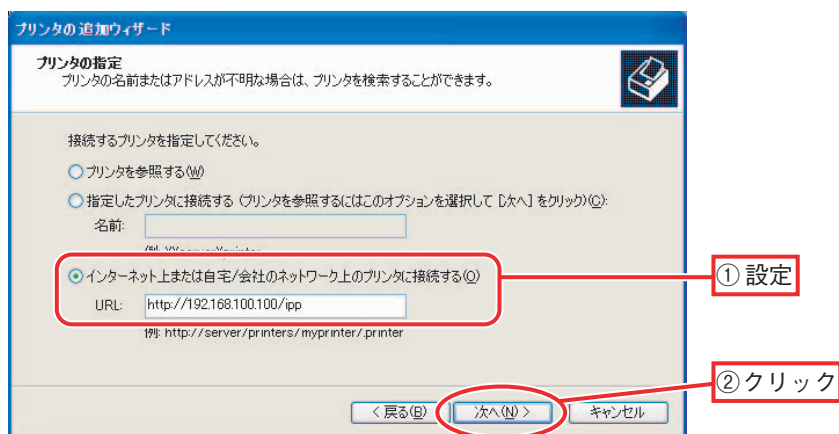
ここでは、Windows XP を例に説明します。Windows 2000/Windows Server 2003 をご使用の場合も同様の手順でインストールを行ってください。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し、管理者権限でログオンする

2 ［プリンタ］フォルダを開き、「プリンタの追加ウィザード」画面を表示する

・Windows 2000 の場合
　① ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
　② ［プリンタの追加］をダブルクリックする
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
　① ［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックする
　② ［プリンタのインストール］をクリックする

3 ［プリンタの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックする

4 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックする

5 「インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する」を選択し、「URL」に以下の URL を入力して、［次へ］をクリックする

http://［プリンタの IP アドレス］/ipp

（※画面は、IP アドレス：192.168.100.100 の設定例です。）

ガイド

ホスト上で DNS 設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。

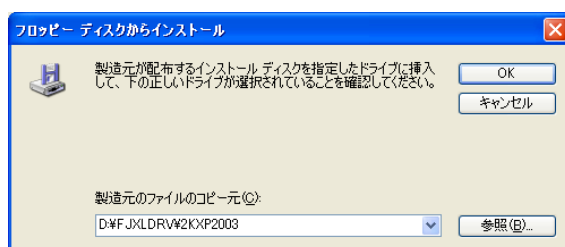
6 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［ディスク使用］をクリックする

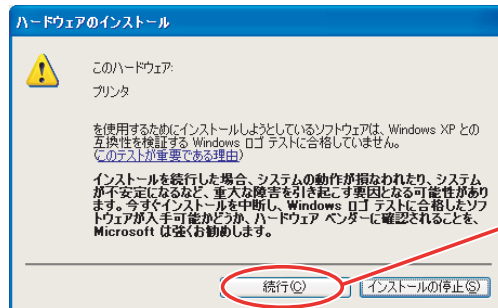
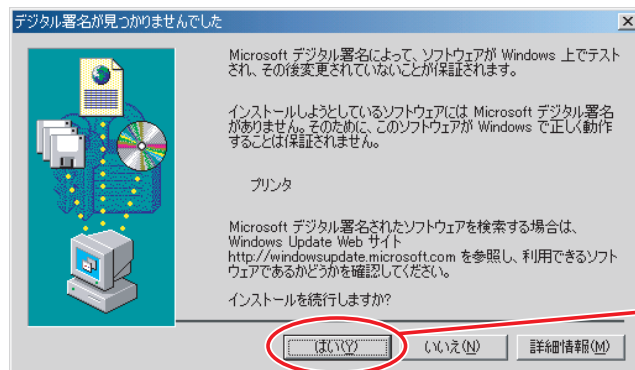
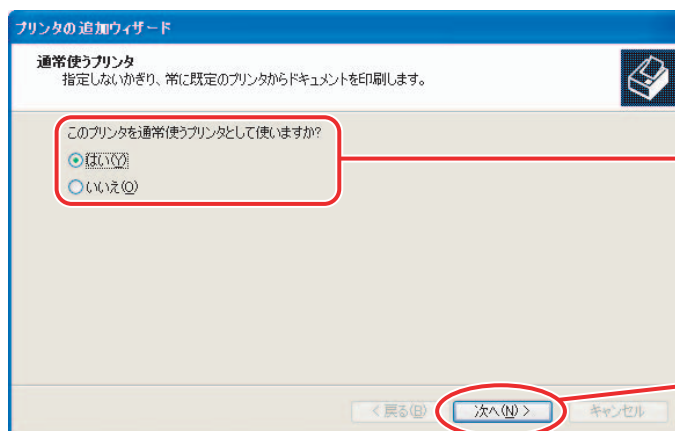
7 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、［終了］をクリックして閉じてください。

8 「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003」（CD-ROM ドライブが D：の場合）と入力し、［OK］をクリックする

プリンタを選択する画面が表示されます。

ガイド

［参照 ...］をクリックして、「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003」フォルダを指定することもできます。

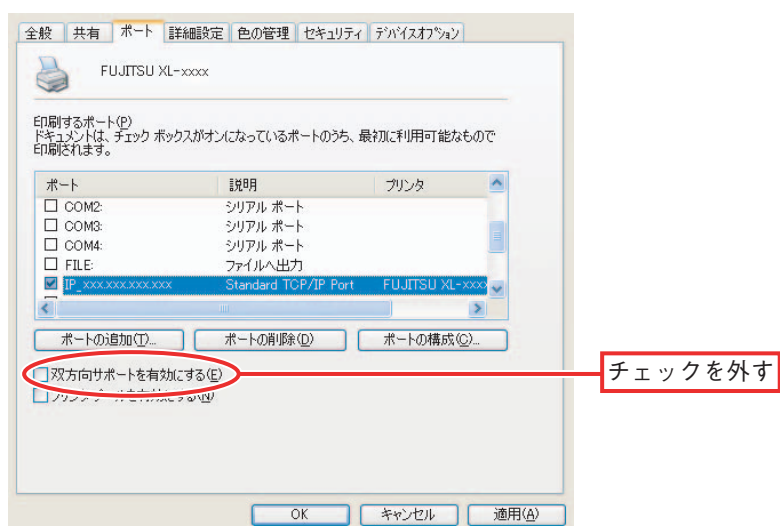
9 プリンタを選択し、[OK] をクリックする

10 「通常のプリンタ」にするかどうかを設定し、[次へ] をクリックする

［完了］をクリックする

プリンタのポートの設定を変更する

①プリンタを選択する

- Windows 2000 の場合
  ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、IPP 印刷を行うプリンタを選択する
- Windows XP/Windows Server 2003 の場合
  ［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックし、IPP 印刷を行うプリンタを選択する

②［ファイル］メニュー－［プロパティ］を選択し、プリンタのプロパティを表示する

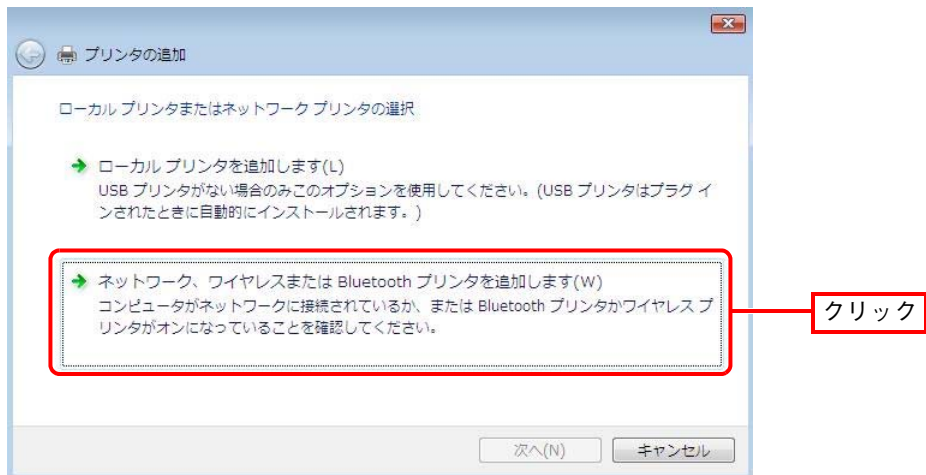
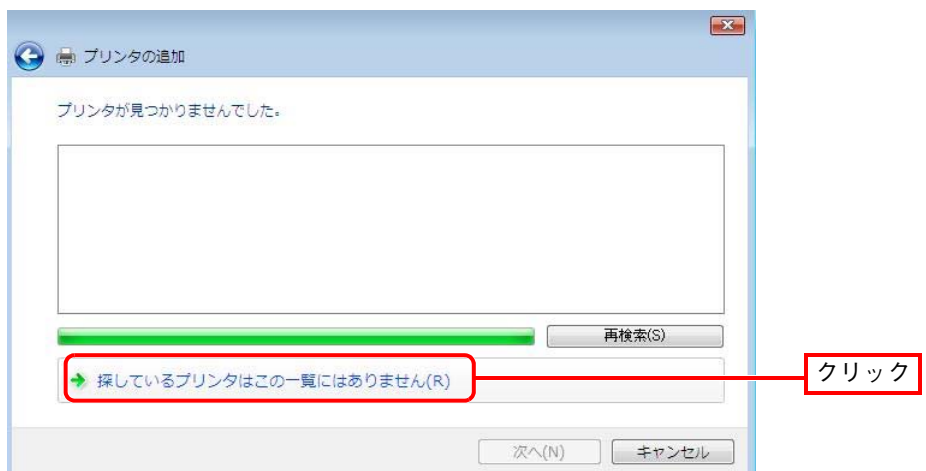
③［ポート］タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を ☐ にする

④［OK］をクリックする

以上でインストールは完了です。

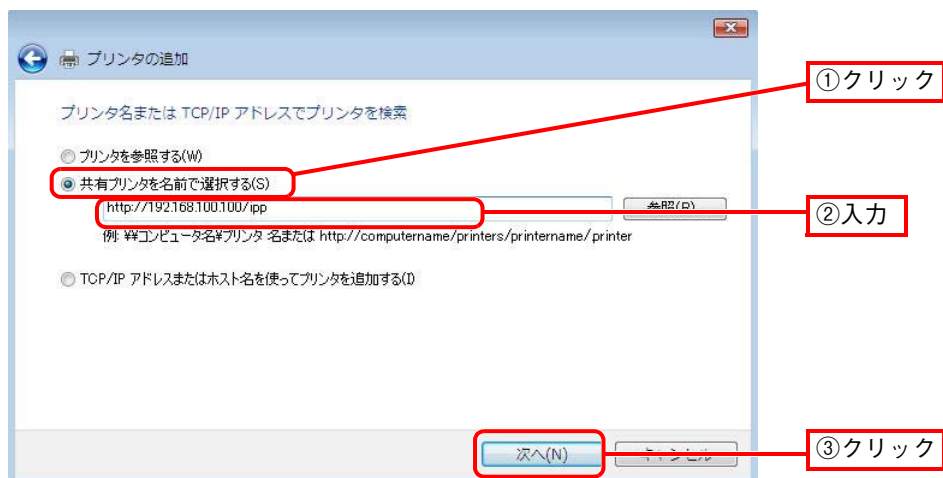
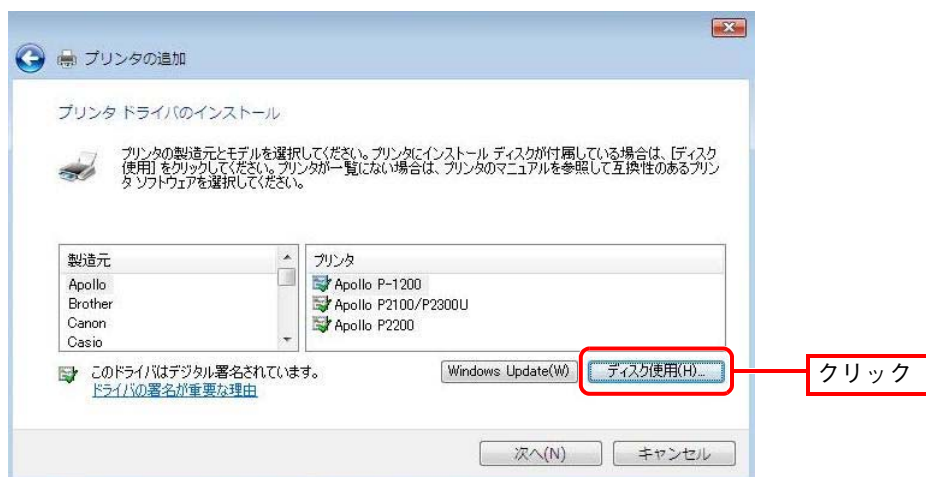
Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008(R2 以外)の場合

1. Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008（R2 以外）を起動し、管理者権限でログオンする

2. ［プリンタ］フォルダを開き、「プリンタの追加」画面を表示する
   - Windows 7 の場合
     ①［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックする
     ②［プリンターの追加］をクリックする
   - Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
     ①［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする
     ②［プリンタのインストール］をクリックする

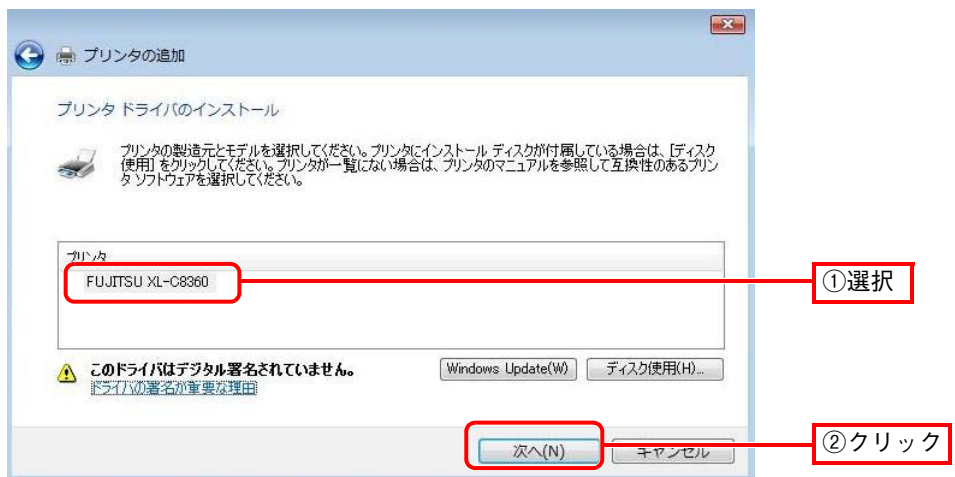
3. 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックする

4. 「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックする

「共有プリンタを名前で選択する」を選択し、以下の URL を入力して、[次へ] をクリックする

http://［プリンタの IP アドレス］/ipp

（※画面は、IP アドレス：192.168.100.100 の設定例です。）

[ディスク使用] をクリックする

添付の CD-ROM をパソコンにセットする

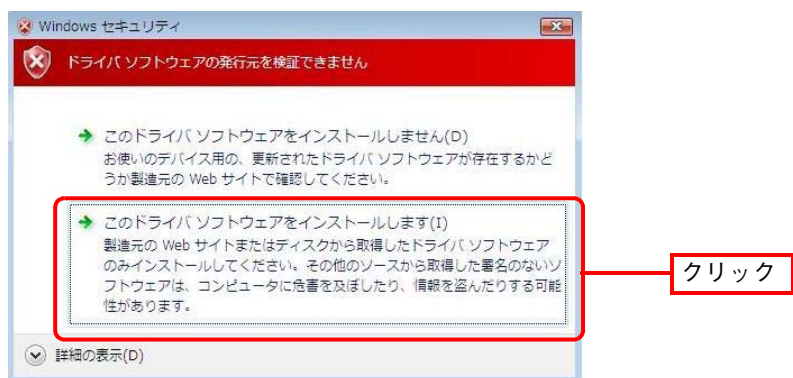
インストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、[終了] をクリックして閉じてください。

8 プリンタドライバが格納されている「D:¥FJXLDRV¥2KXP2003（Windows x64 Edition の場合は D:¥FJXLDRV¥x64)」（CD-ROM ドライブが D: の場合）を入力し、[OK] をクリックする

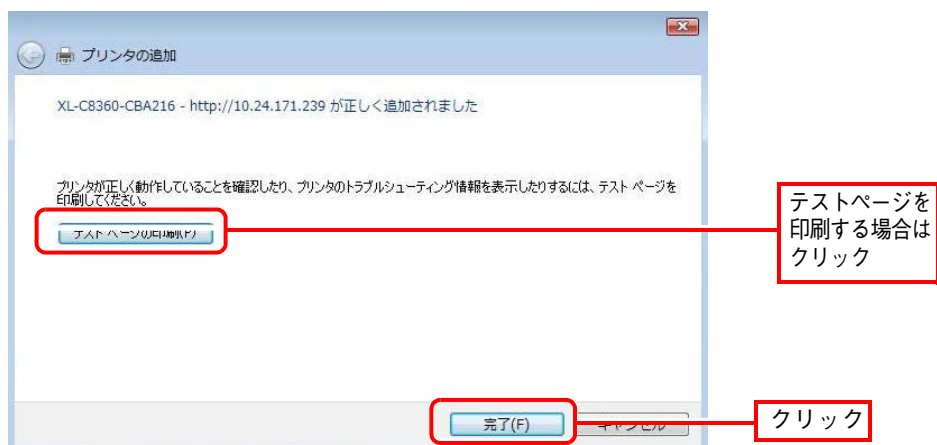
9 プリンタを選択し、[次へ] をクリックする

10 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックする

ガイド

Windows Server 2008 の場合は、この画面は表示されません。

「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックする

12 「通常使うプリンタに設定する」の設定を行って、[次へ] をクリックする

13 テストページを印刷をする場合は [テストページの印刷] をクリックし、[完了] をクリックする

プリンタドライバは正しく追加されました。

プリンタポートの設定を変更する

①プリンタを選択する

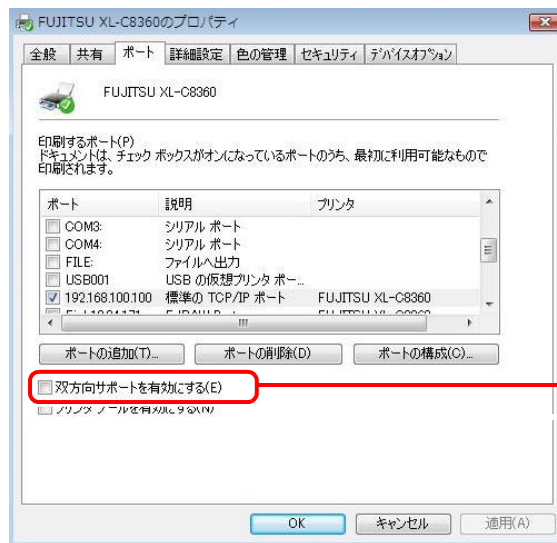
・Windows 7 の場合

［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックする

・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合

［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする

② IPP 印刷を行うプリンタを右クリックして「プロパティ」（または「プリンターのプロパティ」）をクリックする

③［ポート］タブをクリックし、「双方向ポートを有効にする」を□にする

④［OK］をクリックする

以上で設定は完了です。

アカウントの使用について (Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008(R2 以外)のみ対応)

Color Printia LASER Internet Service（管理者モード）を利用してあらかじめプリンタにユーザ名とパスワードを登録しておくことで、IPP 印刷を行うユーザを制限することができます。

お願い

Windows Me/2000 をお使いの場合は、アカウント機能がないため、Internet Service で設定を変更すると印刷ができなくなります。

プリンタへユーザ名とパスワードを登録する

プリンタへのユーザ名をパスワードの登録は、Color Printia LASER Internet Service を利用して設定します。

参照 「第 7 章　Web サーバ機能（Color Printia LASER Internet Service)」(233 ページ)

パソコンの設定

1. IPP 印刷を行うプロパティを開く

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックし、IPP 印刷を行うプリンタを右クリックして［プロパティ］を選択する

・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックし、IPP 印刷を行うプリンタを右クリックして［プロパティ］を選択する

・Windows 7 の場合
［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックし、IPP 印刷を行うプリンタを右クリックして［プリンターのプロパティ］を選択する

2. ［ポート］タブをクリックし、「印刷するポート」(http://xxx.xxx.xxx.xxx./ipp）を選択し、［ポートの構成］をクリックする

「指定されたユーザーアカウントを使う」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックする

（※画面は、IP アドレス：192.168.100.100 の場合の設定例です。）

指定されたユーザーアカウントを使う	この画面で入力した「ユーザー名」「パスワード」を使って認証を行います。 Internet Service（管理者モード）[ネットワーク] タブー [IPP] メニュー ー [認証] 設定で、登録されている「ユーザー名」「パスワード」と一致した場合のみ印刷ができます。

IPP 印刷の認証について、詳しくは「第 7 章　Web サーバ機能（Color Printia LASER Internet Service）」「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」（266 ページ）参照

[OK] をクリックする

お 願 い

「匿名アカウントを使う」「Windows ログオン名とパスワード（必要であればドメイン名も）も自動的に使う」の設定は、本製品ではサポートしていません。

第4章
プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

Windows 98/Me のとき

ここでは、OS が Windows 98/Me のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側を設定する

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

ガイド

プリンタドライバのセットアップで共有プリンタとしてインストールした場合は「■準備」の手順だけを行ってください。

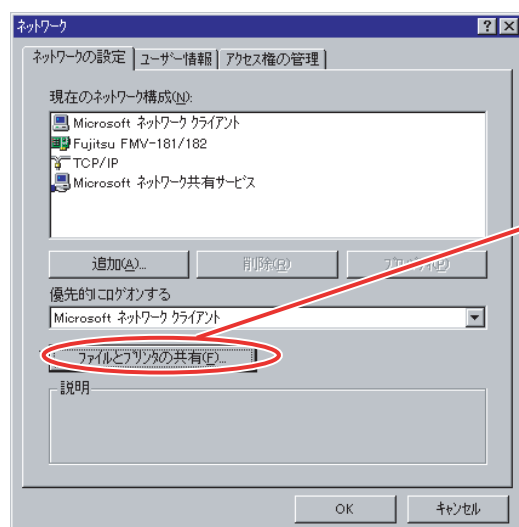
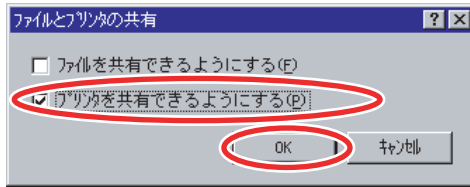
参照 操作方法については、
「第 2 章　ネットワークを利用しないプリンタの接続」(25 ページ)参照
「第 3 章　ネットワークを利用した プリンタの接続」(59 ページ)参照

準備

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

1. [ネットワーク] プロパティを開く

[スタート] − [設定] − [コントロールパネル] の順にクリックし、[ネットワーク] をダブルクリックします。

2. [ファイルとプリンタの共有] をクリックする

3 「プリンタを共有できるようにする」を選択し、[OK] をクリックする

4 [ネットワーク] ダイアログの [OK] をクリックして閉じ、OS を再起動する

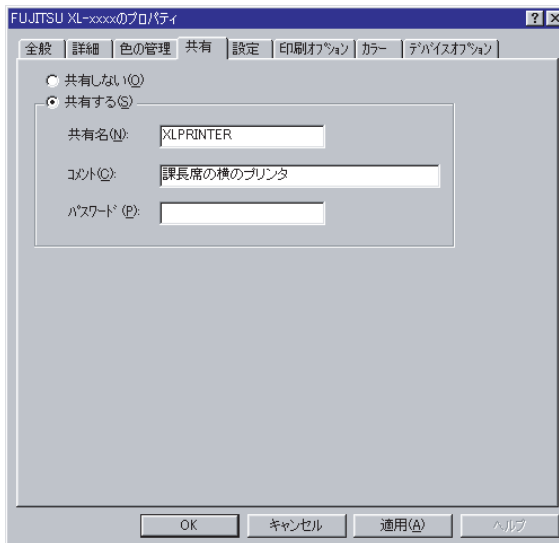
設定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1 [スタート] ー [設定] ー [プリンタ] の順にクリックし、共有するプリンタをクリックする

2 [ファイル] メニューー [共有] をクリックする

3 「共有する」を選択し、共有名を入力する

必要に応じてコメント、パスワードを入力します。

・共有名
　共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。
・コメント
　プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。
・パスワード
　他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。
　パスワードを使わないときは、空白のままにします。

4 入力が終わったら、[OK] をクリックする

クライアント側を設定する

Windows 98/Me をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

ネットワークインストールが行えない場合は、「CD-ROM からの共有プリンタのインストール」(133 ページ)を参照してください。

Windows 98/Me のクライアントから Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

代替インストールについては、「サーバ側を設定する」(118 ページ)参照
(Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合(121 ページ)、Windows NT 4.0 のとき(129 ページ))

準備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows 98/Me が動作するパソコンです。

設定

1 エクスプローラを起動する

[スタート] - [プログラム] - [エクスプローラ](Windows Me は [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エクスプローラ])の順にクリックします。

2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

[ネットワークコンピュータ](Windows Me は [マイネットワーク])をクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、ダイアログの指示に従ってインストールする

ファイルがコピーされ、[プリンタ] フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 のとき

ここでは、OS が Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側を設定する

Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。（画面の例は Windows 2000 の場合）

ガイド

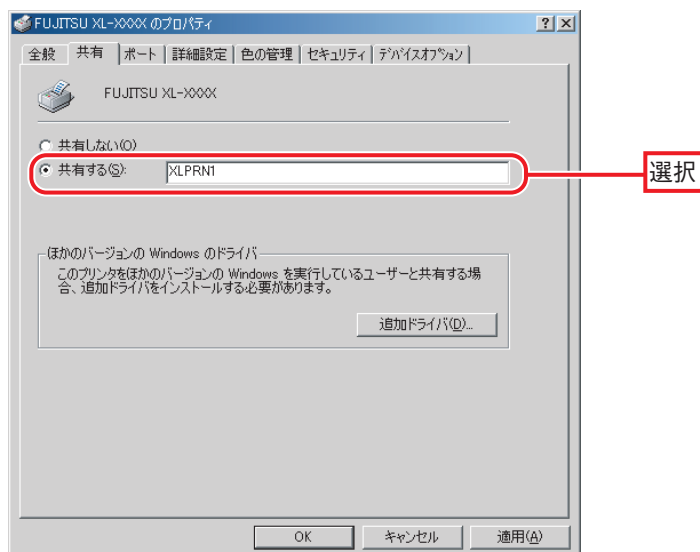
LAN 接続の場合は、プリンタドライバのセットアップで共有プリンタとしてインストールすることができます。

参照 操作方法については、
「第 3 章　ネットワークを利用した プリンタの接続」（59 ページ）参照

1. Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し、管理者権限でログオンする

2. 共有プリンタを選択する
   - Windows 2000 の場合
     ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、共有するプリンタをクリックする
   - Windows XP/Windows Server 2003/Windows x64 Edition の場合
     ［スタート］ － ［プリンタと FAX］ をクリックし、共有するプリンタをクリックする

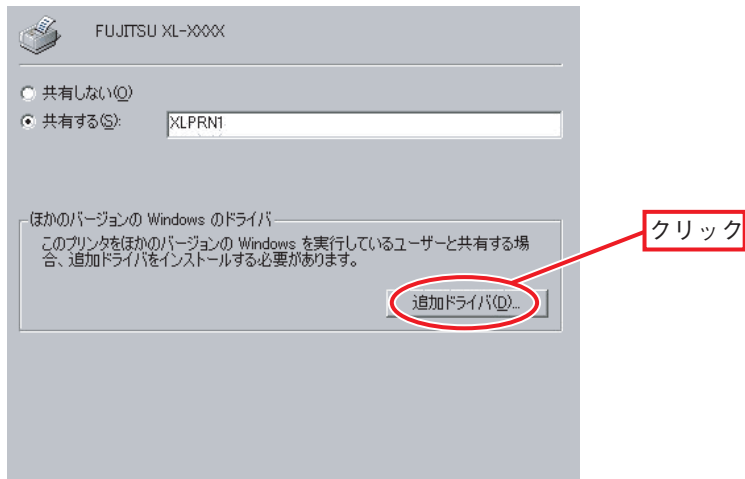
3. ［ファイル］ メニュー－ ［共有］ をクリックする

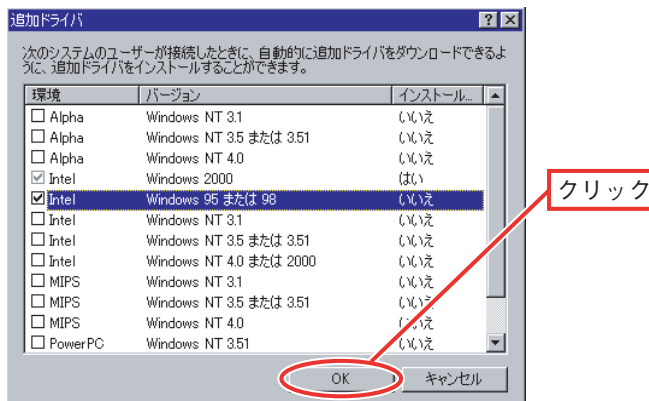
「共有する」(Windows XP/Windows Server 2003 は「このプリンタを共有する」) を選択し、共有名を入力する

共有する	共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。 ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 98/Me のパソコン(クライアント)からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

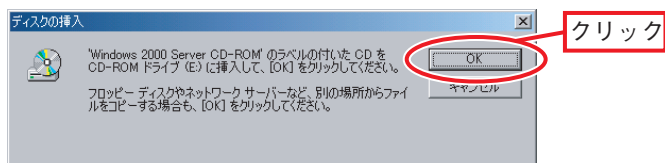
クライアントの OS が Windows 98/Me/NT 4.0 の場合は、引き続き 5 以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。

ガイド

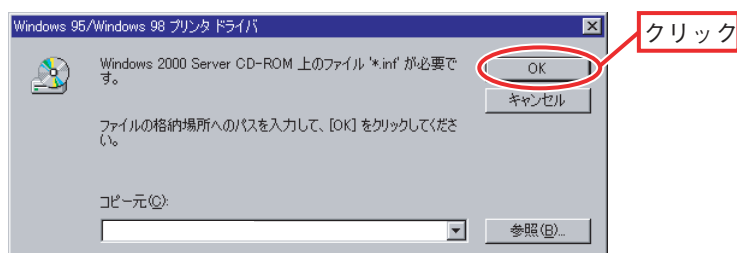
・追加ドライバをインストールしないときは、[OK] をクリックして設定を終了します。
・共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリンタドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールすることはできません。

5 ［追加ドライバ］をクリックする

6 「追加ドライバ」リストからクライアントのOSを☑にし、[OK]をクリックする

（ダイアログはクライアントが Windows 98/Me 用のとき）

ガイド

・Windows x64 Edition のクライアントから接続できる共有プリンタのサーバーは、Windows XP/Windows Server 2003/Windows x64 Edition のみです。
・クライアントが Windows x64 Edition 用のとき、「環境」(Windows Server 2003 の場合は「プロセッサ」)は「x64」になります。
・次のダイアログが表示されたら、添付の CD-ROM をパソコンにセットして、[OK] をクリックしてください。

「使用許諾契約について」が表示されたら、内容をよくお読みください。[同意する] をクリックするとインストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、[終了] をクリックして閉じてください。

「コピー元」にクライアントの OS 用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または [参照] をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、[開く] をクリックする

入力が終わったら [OK] をクリックします。

ガイド

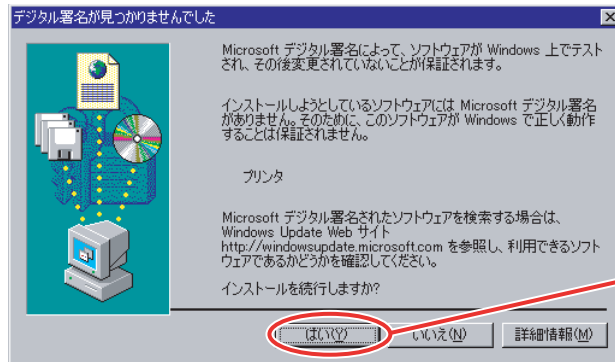
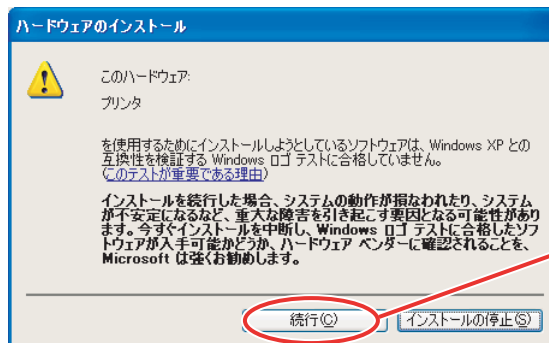
プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。(CD-ROM ドライブが D: の場合)

クライアントの OS	フォルダ名
Windows 98/Me	D:¥FJXLDRV¥WIN9XME
Windows NT 4.0	D:¥FJXLDRV¥WINNT

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

ガイド

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、必要に応じて次の操作をします。

・Windows 2000 の場合
［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログが表示されたときは、［はい］をクリックします。

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［ハードウェアのインストール］ダイアログが表示されたときは、［続行］をクリックします。

Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008の場合

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 を起動し、管理者権限でログオンする

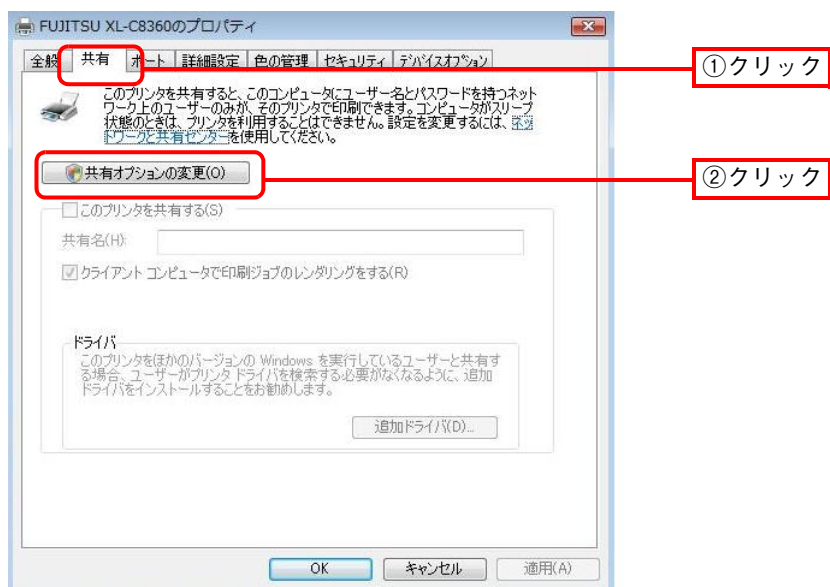
共有プリンタを選択する

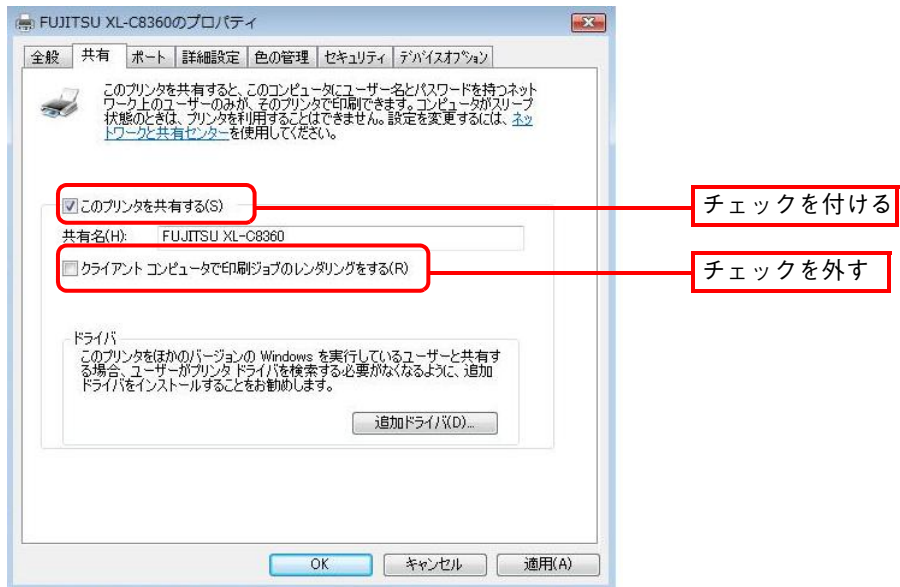
・Windows 7/2008 R2 の場合
①［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックする
②共有するプリンタを右クリックして「プリンターのプロパティ」をクリックする
・Windows Vista/2008（R2 以外）の場合
①［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする
②共有するプリンタを右クリックして、プロパティを表示する

［共有］タブをクリックし、［共有オプションの変更］をクリックする

Windows Server 2008 の場合は、［共有］タブをクリックすると、5の画面が表示されます。

「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、［続行］をクリックする

ガイド

Windows Server 2008 の場合は、この画面は表示されません。

5 「このプリンタを共有する」を☑にし、「クライアントコンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする」を☐にする

6 ［OK］をクリックする

クライアント側を設定する

Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008のクライアントからWindows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 サーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

お願い

サーバが Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「CD-ROM からの共有プリンタのインストール」（133 ページ）でインストールしてください。

●準備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンです。

●設定

共有プリンタのサーバを検索する

■ Windows 2000 の場合

①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順にクリックする

②［マイネットワーク］を右クリックして［コンピュータの検索］を選択し、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する

■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順にクリックする

②［マイネットワーク］を右クリックして［コンピュータの検索］を選択し、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する

■ Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合

①［スタート］－［ネットワーク］の順にクリックする

②ネットワークフォルダの右上にある検索ボックスに共有プリンタのサーバ名を入力して検索する

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順にクリックする

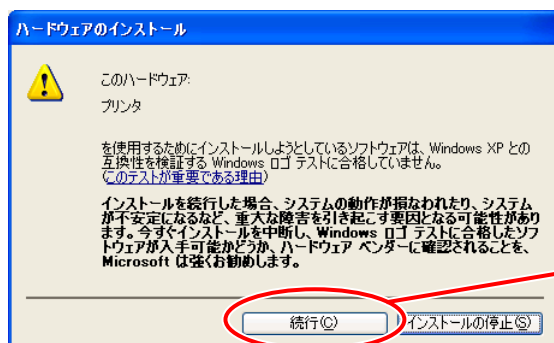
②「ネットワーク」をクリックする

③ウィンドウ右上の検索ボックスに共有プリンタのサーバ名を入力し、検索する

2 検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックする

利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、ダイアログの指示に従ってインストールする

ファイルがコピーされ、［プリンタ］フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows NT 4.0 のとき

ここでは、OS が Windows NT 4.0 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側を設定する

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

ガイド

パラレル、LAN 接続の場合は、プリンタドライバのセットアップで共有プリンタとしてインストールすることができます。

参照　操作方法については、
「第 2 章　ネットワークを利用しないプリンタの接続」（25 ページ）参照
「第 3 章　ネットワークを利用した プリンタの接続」（59 ページ）参照

設定

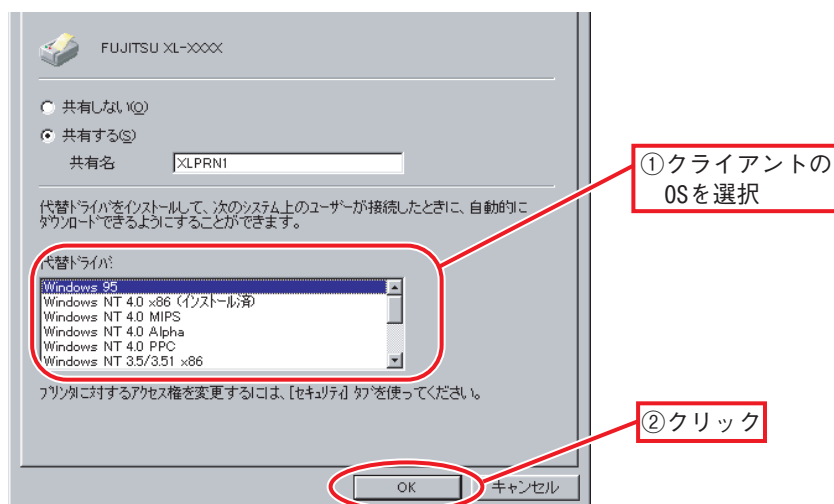
共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1. Windows NT 4.0 を起動し、管理者権限でログオンする
2. ［スタート］ー［設定］ー［プリンタ］の順にクリックし、共有するプリンタをクリックする
3. ［ファイル］メニューー［共有］をクリックする
4. 「共有する」を選択し、共有名を入力する

共有名	共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。 ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。 クライアントの OS が Windows 98/Me の場合は、引き続き 5 以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。

ガイド

代替ドライバをインストールしないときは、[OK] をクリックして設定を終了します。

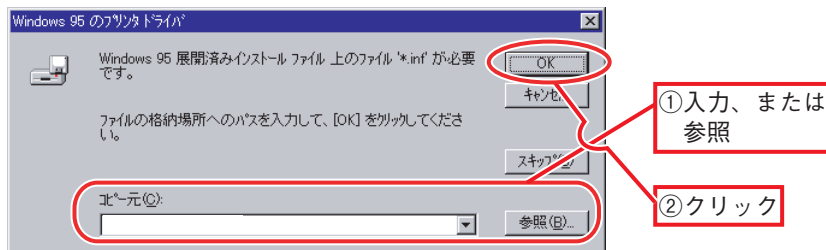
5 「代替ドライバ」リストからクライアントの OS を選択し、[OK] をクリックする

ガイド

Windows 98/Me の代替ドライバをインストールするときは、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

6 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されますが、[終了] をクリックして閉じてください。

「コピー元」に「D:¥FJXLDRV¥WIN9XME」と入力する、または[参照]をクリックして「D:¥FJXLDRV¥WIN9XME」を選択する(CD-ROM ドライブが D: のとき)

入力が終わったら[OK]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

クライアント側を設定する

Windows NT 4.0 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows NT 4.0 のクライアントから Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行えます。

ガイド

サーバが Windows 98/Me の場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールは CD-ROM から行う必要があります。

参照 操作方法については、「CD-ROM からの共有プリンタのインストール」(133 ページ)参照

準備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows NT 4.0 が動作するパソコンです。

設定

1. [スタート] ー [プログラム] ー [Windows NT エクスプローラ] の順にクリックする

2. [ネットワークコンピュータ] をクリックし、一覧から共有プリンタのサーバをクリックする

   利用可能な共有プリンタが表示されます。

3. 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、ダイアログの指示に従ってインストールする

   ファイルがコピーされ、[プリンタ] フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

CD-ROM からの共有プリンタのインストール

クライアントからサーバの共有プリンタのネットワークインストールが行えない場合は、次の方法でクライアントに共有プリンタのインストールを行ってください。

●準備

あらかじめ、サーバに共有プリンタの設定を行っておいてください。
また、Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 の場合は管理者権限でログオンしてください。

添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

ガイド

・インストーラの画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
・2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

2 「プリンタドライバのインストール」または「LAN でプリンタを使用する」をクリックする

（画面は OS により異なります）

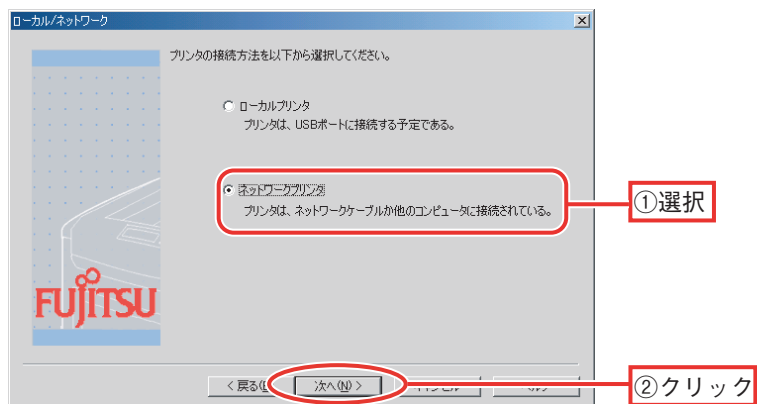
・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
①メニューから「LAN でプリンタを使用する」をクリックします。
②「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。
・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
①メニューから「プリンタドライバのインストール」をクリックします。
②「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。
・Windows XP/2000/Windows Server 2003 の場合
①メニューから「プリンタドライバのインストール」をクリックします。

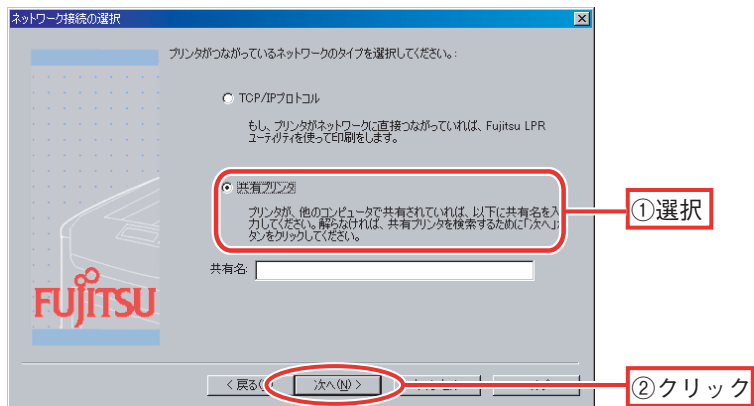
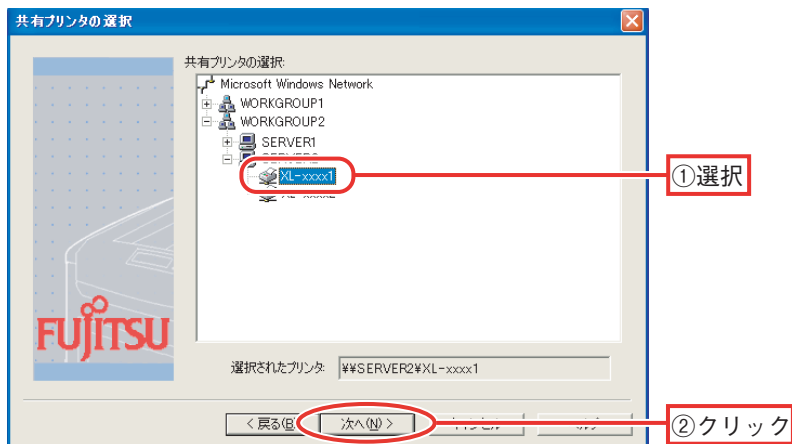
インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 の場合、「Printianavi2 の選択」画面が表示されるので、「Printianavi2 を使用しない」を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

Printianavi2 は、Windows x64 Edition には対応していません。そのため、Windows x64 Edition の場合は、「Printianavi2 の選択」画面は表示されません。

3 「ネットワークプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックする

4 「共有プリンタ」を選択し、「共有名」がわかる場合は入力し、[次へ] をクリックする

わからない場合は空白のまま [次へ] をクリックしてください。

5 ネットワーク上の共有プリンタを選択し、[次へ] をクリックする

6 「モデルとエミュレーションの選択」画面でプリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ] をクリックする

プリンタ名を入力し、通常使うプリンタにするかどうかを選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、必要に応じて次の操作をします。

・Windows 2000 の場合
［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログが表示されたときは、［はい］をクリックします。

デジタル署名が見つかりませんでした

Microsoft デジタル署名によって、ソフトウェアが Windows 上でテストされ、その後変更されていないことが保証されます。

インストールしようとしているソフトウェアには Microsoft デジタル署名がありません。そのために、このソフトウェアが Windows で正しく動作することは保証されません。

プリンタ

Microsoft デジタル署名されたソフトウェアを検索する場合は、Windows Update Web サイト http://windowsupdate.microsoft.com を参照し、利用できるソフトウェアであるかどうかを確認してください。

インストールを続行しますか?

はい(Y)　いいえ(N)　詳細情報(M)

クリック

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［ハードウェアのインストール］ダイアログが表示されたときは、［続行］をクリックします。

ハードウェアのインストール

このハードウェア:

プリンタ

を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XP との互換性を検証する Windows ロゴ テストに合格していません。(このテストが重要である理由)

インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり、システムが不安定になるなど、重大な障害を引き起こす要因となる可能性があります。今すぐインストールを中断し、Windows ロゴ テストに合格したソフトウェアが入手可能かどうか、ハードウェア ベンダーに確認されることを、Microsoft は強くお勧めします。

続行(C)　インストールの停止(S)

クリック

お願い

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、「再起動する」を選択し［完了］をクリックしてください。

以上でインストールは完了です。

運　用　編

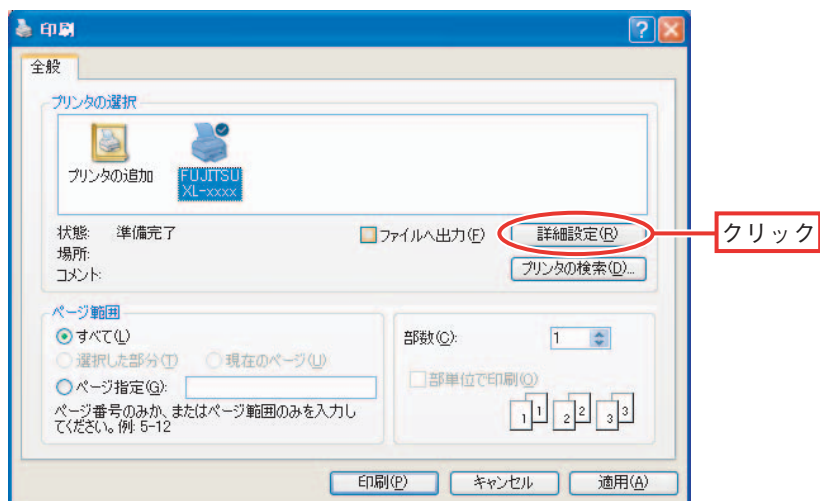
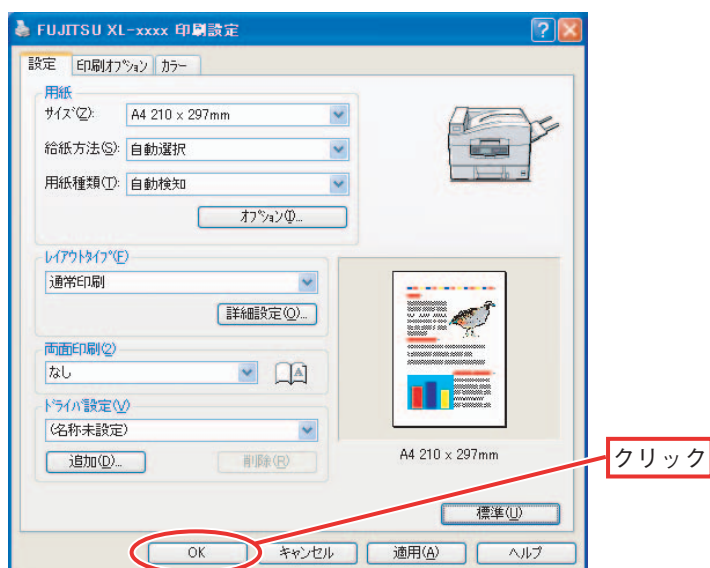
第5章

プリンタドライバの機能と利用方法

この章では、プリンタドライバの詳細と機能の利用方法について説明しています。

印刷手順

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1. ワードパッドでデータを作成する
2. ［ファイル］メニューから「印刷」を選択する
3. プリンタが正しく選択されていることを確認し、［詳細設定］をクリックする（Windows 98/Me/NT 4.0/2000 のときは［プロパティ］をクリックする）

各項目を設定し、[OK] をクリックする

参照　各設定項目について、詳しくはプリンタドライバの「ヘルプ」または「プリンタドライバで設定できる内容」（145 ページ）参照

参照　用紙をセットする方法については、『取扱説明書』「第 2 章　プリンタ本体の設置」「用紙のセット」参照

手順3の画面に戻ります。

5 [印刷] をクリックする

印刷が開始されます。

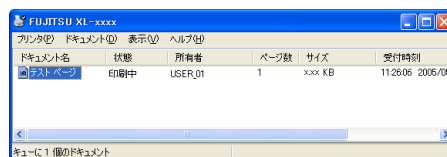
印刷の中止

印刷開始後（オンラインランプ点滅後）、印刷を中止する 2 つの方法を説明します。

パソコンの画面から中止する

Windows から中止する

Windows で印刷の指示を取り消す手順について説明します。

1. 「プリンタと FAX」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「デバイスとプリンター」フォルダを開く
   - Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合
     ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
   - Windows XP/Windows Server 2003 の場合
     ［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックする
   - Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
     ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
     ［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックする
2. 印刷を行ったプリンタのアイコンをダブルクリックする
3. 表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、削除（「Delete」キーを押す）する

Color Printia LASER Internet Service から中止する

Internet Service を使用して、プリンタに指示した印刷を中止することもできます。

参照 「第 7 章　Web サーバ機能 （Color Printia LASER Internet Service）」（233 ページ）参照

オペレータパネルから中止する

参照 『取扱説明書』「第 4 章　日常の操作」「印刷の中止」参照

プロパティの開き方

印刷に関する設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。
プロパティの開き方には、次の 2 種類があります。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時はこの方法を使います。
操作方法はアプリケーションによって異なりますが、標準的な開き方は、次のとおりです。

［ファイル］メニューから「印刷」を選択する

［印刷］ダイアログを表示し、［プロパティ］をクリックする

「プリンタと FAX」フォルダ、「プリンタ］フォルダ、または「デバイスとプリンター」フォルダから開く

［プリンタ］フォルダから開いて設定を行うと、その設定値はアプリケーションからプリンタのプロパティを開いたときの初期設定となります。

「プリンタと FAX」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「デバイスとプリンター」フォルダを開く

・Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。
・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックします。
・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックする

2 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、プロパティを表示する項目をクリックする

OS によって右クリックで表示されるメニューの項目が異なります。

・ Windows 98/Me の場合 ：「プロパティ」
・ Windows NT 4.0 の場合 ：「ドキュメントの既定値」「プロパティ」
・ Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008（R2 以外）の場合
：「印刷設定」「プロパティ」
・ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
：「プリンターのプロパティ」

ガイド

Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 で［デバイスオプション］ダイアログを開くには「プロパティ」（または「プリンターのプロパティ」）をクリックします。なお、設定変更には管理者権限が必要です。

プリンタドライバで設定できる内容

プリンタドライバで設定できる内容の概要と、詳しく説明している参照先を以下に示します。
各機能についての注意事項、設定条件によって使用できない機能については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

参照 「ドライバの機能を使ったいろいろな印刷」（167 ページ）参照

●設定

用紙サイズや種類、給紙方法等の用紙に関する設定や、レイアウトタイプ、両面印刷に関する等の設定を行います。

参照 「[設定] ダイアログ」（146 ページ）参照
参照 「任意のサイズ（ユーザ定義サイズ）に印刷する」（167 ページ）参照
参照 「はがき、往復はがきに印刷する」（170 ページ）参照
参照 「複数ページを 1 枚の用紙に印刷する」（171 ページ）参照

●印刷オプション

印刷品位（解像度）、部数や部単位印刷等の印刷形式に関する設定、拡大 / 縮小、印刷の向き、印刷した用紙の排出先、ウォーターマーク、フォントに関する設定を行います。

参照 「[印刷オプション] ダイアログ」（155 ページ）参照
参照 「[見本] [社外秘] などの文字をスタンプ印刷する（ウォーターマーク印刷）」（180 ページ）参照
参照 「ドキュメントサイズと違うサイズの用紙に 拡大 / 縮小して印刷する」（182 ページ）参照
参照 「よりきれいに印刷する」（186 ページ）参照

●カラー

カラー印刷に関する設定を行います。

参照 「[カラー] ダイアログ」（162 ページ）参照

●デバイスオプション

プリンタに追加したオプション装置の設定やプリンタ情報の取得、環境設定、バージョンの確認を行います。

参照 「[デバイスオプション] ダイアログ」（165 ページ）参照

［設定］ダイアログ

用紙やレイアウトなどを設定します。

項　目		内　容
用紙	サイズ （初期設定： A4）	アプリケーションで指定した印刷する用紙サイズを選択します。 をクリックし、表示されるリストから選択します。 ・ユーザ定義サイズ 定形用紙サイズ以外のサイズに印刷するときはユーザ定義サイズを選択します。［ユーザ定義サイズの設定］ダイアログが表示され任意の用紙サイズの指定ができます。 参照「［ユーザ定義サイズの設定］ダイアログ」（147 ページ）参照
	給紙方法 （初期設定： 自動選択）	印刷するときに始点となる給紙口を選択します。 「自動選択」を選択すると「サイズ」で指定したサイズの用紙がセットされている給紙口を自動的に選んで印刷します。トレイ 2 ～ n はオプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。 ［給紙オプション］ダイアログの「自動トレイ切り替え」が☑の場合も、選択した給紙口が始点となります。 参照「［給紙オプション］ダイアログ」（148 ページ）参照
	用紙種類 （初期設定： 自動検知）	印刷する用紙の種類（厚さ）を選択します。 「自動検知」を選択すると、プリンタで検知している用紙種類で印刷します。自動設定で検知できる用紙の厚さは 64g/ ㎡～ 216g/ ㎡です。217g/ ㎡～ 268g/ ㎡の坪量の用紙へ印刷を行う場合は、「ごく厚い紙 3」を選択してください。

項　目	内　容
［オプション］ボタン	［給紙オプション］ダイアログが表示されます。 参照「［給紙オプション］ダイアログ」（148 ページ）参照
レイアウトタイプ （初期設定：通常印刷）	通常印刷、製本印刷、ポスター印刷、N-up 印刷を設定します。 ［詳細設定］をクリックするとオプションダイアログが表示されます。 参照「［通常印刷］ダイアログ」（150 ページ）参照 参照「［製本印刷］ダイアログ」（151 ページ）参照 参照「［ポスター印刷］ダイアログ」（153 ページ）参照 両面ユニット（オプション）が取り付けられていない場合は、「製本印刷」は表示されません。
両面印刷 （初期設定：なし）	両面印刷やとじしろ位置を設定します。 両面ユニット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
ドライバ設定	ドライバの設定に設定名をつけて 14 種類まで保存できます。 参照「プリンタドライバの設定を保存する」（190 ページ）参照
［標準］ボタン	［設定］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

［ユーザ定義サイズの設定］ダイアログ

このダイアログは［設定］ダイアログの用紙サイズで、［ユーザ定義サイズ］を選択したときに表示されます。

項　目	内　容
幅	ユーザ定義サイズ用紙の幅を 100.0 ～ 328.0mm または 3.94 ～ 12.91 インチの範囲で設定できます。
長さ	ユーザ定義サイズ用紙の長さを 148.0 ～ 1200.0mm または 5.83 ～ 47.24 インチの範囲で設定できます。
単位	幅、長さの単位を「ミリ」、「インチ」で指定できます。
［標準］ボタン	幅、長さの値を標準値（幅 ：210.0　長さ：297.0［mm］または 幅：8.27　長さ：11.69［インチ］）にします。

ガイド

両面印刷ができる用紙は A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガルサイズ、ユーザ定義サイズ（幅：148.0mm ～ 328.0mm、長さ：210.0mm ～ 458.0mm）重量が 64g ～ 120g/ ㎡の用紙となります。

［給紙オプション］ダイアログ

このダイアログは、［設定］ダイアログで［オプション］をクリックすると表示されます。

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="2">内　容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙サイズ変換</td><td rowspan="2">用紙サイズを変換する
（初期設定：☐）</td><td colspan="2">「変換」のリストで指定した用紙にアプリケーションの用紙サイズを拡大 / 縮小して印刷する場合に ☑ にします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">変換「A3->A4」のように、右向き矢印とその左側に［設定］ダイアログの「用紙サイズ」で指定されている用紙のサイズ、右側に実際に印刷する用紙サイズを表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">表紙印刷</td><td rowspan="3">1 ページ目の給紙方法を指定する
（初期設定：☐）</td><td colspan="2">1 ページ目だけを別の用紙で印刷する場合に ☑ にします。☑ にすると以下の項目が表示されます。</td></tr>
<tr><td>給紙方法</td><td>表紙の給紙先を指定します。</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td>用紙の種類（厚さ）を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">給紙オプション</td><td>自動トレイ切り替え
（初期設定：☑）</td><td colspan="2">印刷時に給紙しているトレイの用紙がなくなった場合に同じ用紙のあるトレイから自動的に給紙する場合に ☑ にします。</td></tr>
<tr><td>用紙チェック
（初期設定：☑）</td><td colspan="2">プリンタ側の用紙サイズチェック機能を有効にする場合に ☑ します。
マルチパーパストレイの場合 ☑ されていても無効になります。</td></tr>
<tr><td>マルチパーパストレイ設定</td><td>手差しとして扱う
（初期設定：☐）</td><td colspan="2">マルチパーパストレイを手差しトレイとして扱う場合に ☑ にします。
オンラインスイッチを押すことで、1 枚ずつ印刷します。
複数枚の用紙を連続給紙する場合は、☐ にします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">［用紙サイズの追加］ボタン</td><td colspan="2">［追加用紙サイズ］ダイアログを表示し、任意の名称で ユーザ定義サイズの用紙を登録できます。
登録された用紙は［設定］ダイアログの「サイズ」の選択肢に追加されます。

参照「［用紙サイズの追加］ダイアログ」（149 ページ）参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">［標準］ボタン</td><td colspan="2">［給紙オプション］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。</td></tr>
</table>

●［用紙サイズの追加］ダイアログ

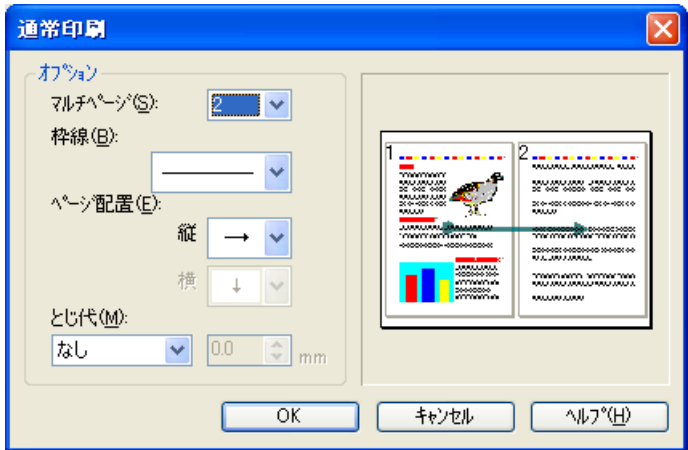
このダイアログは［設定］ダイアログの［オプション］を選択し、［用紙サイズの追加］をクリックすると表示されます

項　目	内　容
名称	追加する用紙サイズの名称を指定します。
幅	ユーザ定義サイズ用紙の幅を 100.0 ～ 328.0mm または 3.94 ～ 12.91 インチで設定できます。
長さ	ユーザ定義サイズ用紙の長さを 148.0 ～ 1200.0mm または 5.83 から 47.24 インチで設定できます。
単位	幅、長さの単位を「ミリ」、「インチ」で指定できます。
［追加］ボタン	名称、幅、長さを入力し、「名称」を入力すると有効になります。
［変更］ボタン	追加した用紙サイズを変更します。
［削除］ボタン	追加した用紙サイズを削除します。

ガイド

両面印刷ができる用紙は A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガルサイズ、ユーザ定義サイズ（幅：148.0mm ～ 328.0mm、長さ：210.0mm ～ 458.0mm）重量が 64g ～ 120g/ ㎡の用紙となります。

［通常印刷］ダイアログ

［設定］ダイアログのレイアウトタイプで「通常印刷」または「N-up」を選択し、［詳細設定］をクリックすると表示されます。

項　目		内　容
オプション	マルチページ	1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。 ［設定］ダイアログのレイアウトタイプで選択した内容が表示されます。この画面での変更もできます。 1,2,4,6,8,9,16up の 7 種類の設定ができます。 2 ページ以上を設定すると、以下のとじ代以外の項目が表示されます。
	枠線	割り付けたページの周囲に印刷する枠線について設定します。
	ページ配置　縦 （2up 以上）	割り付けたページをどのような順序で印刷するか選択します。 割り付けるページ数（N-up）、「印刷の向き」（縦横）によって設定できるページ配置が変わります。
	ページ配置　横 （4up 以上）	
	とじ代 （初期設定：なし）	とじ代の有無、位置、幅 0.0 ～ 30.0mm の設定ができます。

［製本印刷］ダイアログ

［設定］ダイアログのレイアウトタイプで［製本印刷］を選択し、［詳細設定］をクリックすると表示されます。

項　目		内　容
オプション	折丁 （初期設定：なし）	何ページで折丁を作成するか選択します。 2up が ☑ の場合は、（　）内の設定値になります。 ・なし 　紙を全部まとめて折って本を作成します。 ・4（8） 　1 枚ごとに紙を折って作成した折丁を合わせて本を作成します。 ・8（16） 　2 枚ごとに紙を折って作成した折丁を合わせて本を作成します。 ・12（24） 　3 枚ごとに紙を折って作成した折丁を合わせて本を作成します。 ・16（32） 　4 枚ごとに紙を折って作成した折丁を合わせて本を作成します。
	2up （初期設定：☐）	2-up 製本印刷をする場合に ☑ にします。
	右開き （初期設定：☐）	本を右開きにする場合に ☑ にします。
	とじ代 （初期設定：☐）	とじ代をつけるときに ☑ にします。 とじ代の幅を設定する項目が有効になります。 0.0mm ～ 30.0mm の設定ができます。

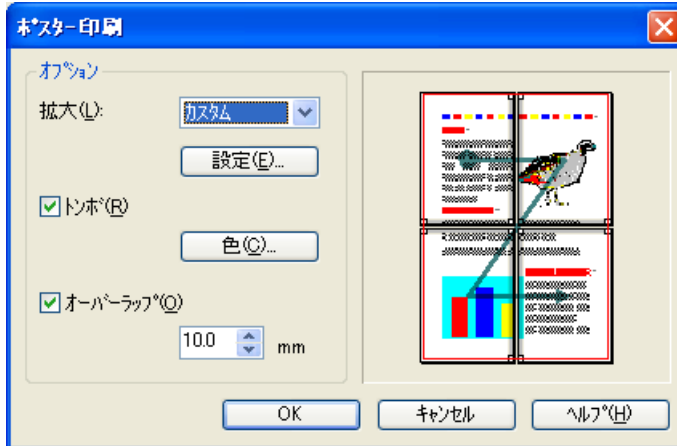
ガイド

両面ユニット（オプション）が取り付けられていない場合は、「製本印刷」は表示されません。

お願い

Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 環境で共有プリンタとして利用する場合、製本印刷ができない場合があります。
・クライアントの OS が Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、製本印刷ができません。
・クライアントの OS が Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、FUJITSU LPR ユーティリティを使用して印刷を行ってください。
製本印刷ができない場合は、次のようにプリントプロセッサの設定を変更してください。
・Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合
①[スタート]－[設定]－[プリンタ]の順にクリックする
(Windows XP/Windows Server 2003 の場合、[スタート]－[プリンタと FAX]の順にクリックする)
②印刷を行うプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ]－[詳細設定]－[プリントプロセッサ]－[XL31PP3]の順にクリックする
③[OK]をクリックする
・Windows NT 4.0 の場合
①[スタート]－[設定]－[プリンタ]の順にクリックする
②印刷を行うプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ]－[全般]－[プリントプロセッサ]－[XL31PP2]の順にクリックする
③[OK]をクリックする

［ポスター印刷］ダイアログ

［設定］ダイアログのレイアウトタイプで［ポスター印刷］を選択し、［詳細設定］をクリックすると表示されます。

項　目		内　容
拡大	（初期設定：2 枚）	1 ページを何枚に拡大して印刷するか選択します。2,4,9 枚とカスタムが設定できます。 「カスタム」を選択すると［設定］ボタンが有効になります。 参照　「［カスタム設定］ダイアログ」（154 ページ）参照
トンボ	（初期設定：☑）	トンボをつけて印刷する場合に ☑ にします。 ［色］ボタンをクリックすると、トンボの色を指定できます。
オーバーラップ	（初期設定：☑）	重なり部分をつけて印刷する場合に ☑ にします。 重なる部分は 0.1mm ～ 20.0mm の設定ができます。

お願い

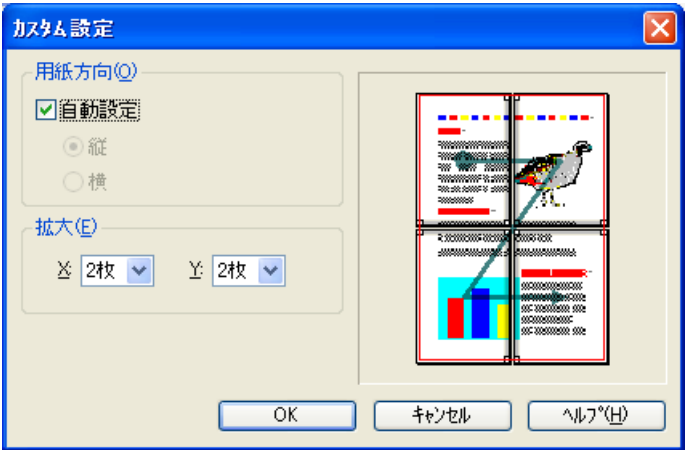
Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 環境で共有プリンタとして利用する場合、ポスター印刷ができないことがあります。
- クライアントの OS が Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、ポスター印刷ができません。
- クライアントの OS が Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、FUJITSU LPR ユーティリティを使用して印刷を行ってください。

ポスター印刷ができない場合は、次のようにプリントプロセッサの設定を変更してください。
- Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合
  ① ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする（Windows XP/Windows Server 2003 の場合、［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックする）
  ② 印刷を行うプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］－［詳細設定］－［プリントプロセッサ］－［XL31PP3］の順にクリックする
  ③ ［OK］をクリックする
- Windows NT 4.0 の場合
  ① ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
  ② 印刷を行うプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］－［全般］－［プリントプロセッサ］－［XL31PP2］の順にクリックする
  ③ ［OK］をクリックする

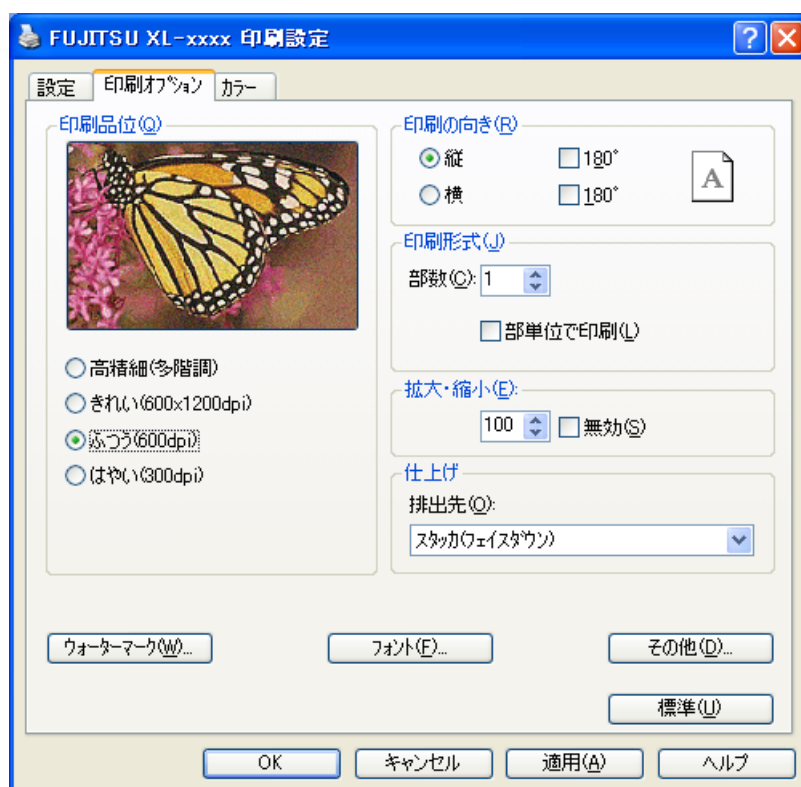
ガイド

Windows 98/Me 用プリンタドライバと Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 用プリンタドライバでは、ポスター印刷時のトンボの形状が異なります。

［カスタム設定］ダイアログ

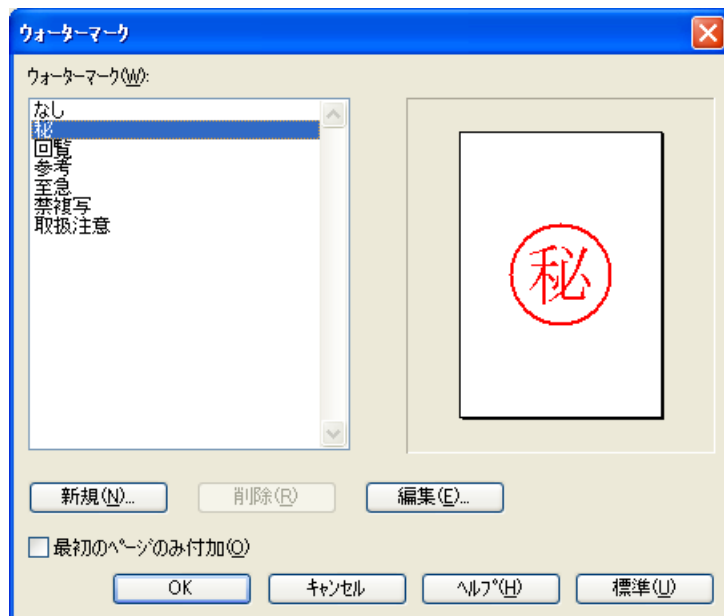
［ポスター印刷］ダイアログの［拡大］設定で、［カスタム］をし、［設定］をクリックすると表示されます。

項　目		内　容
用紙方向	自動設定	拡大率が最大になるように用紙の縦置き / 横置きを自動で設定する場合に ☑ にします。縦 / 横の指定はできません。 縦 / 横の指定をする場合は、☐ にします。
拡大	X	横に並べる枚数を選択します。1 ～ 4 枚の設定ができます。
	Y	縦に並べる枚数を選択します。1 ～ 4 枚の設定ができます。

［印刷オプション］ダイアログ

印刷品質に関する設定を行います。

項　目		内　容
印刷品位 （初期設定：ふつう（600dpi））		印刷の品位（印刷データの解像度）を高精細（多階調）、きれい（600 × 1200dpi）、ふつう（600dpi）、はやい（300dpi）の 4 種類から選択します。
印刷の向き	（初期設定：縦）	印刷するイメージの向きを縦 / 横で選択します。
	180° （初期設定：□）	印刷するイメージを上下反転します。
印刷形式	部数 （初期設定：1 部）	印刷する部数を 1 ～ 999 で設定します。
	部単位で印刷 （初期設定：□）	2 部以上印刷する場合に ☑ にします。プリンタ側で部単位、丁合印刷を行います。
拡大・縮小 （初期設定：100%、□ 無効）		拡大・縮小率を設定します。1% ～ 400% までの指定ができます。 アプリケーションに拡大・縮小する機能がないことを通知する場合は、無効を ☑ にします。

項　目		内　容
仕上げ	排出先 （初期設定： スタッカ（フェイスダウン））	排出するトレイをスタッカ（フェイスダウン）、スタッカ（フェイスアップ）から選択します。 ・ スタッカ（フェイスダウン）：プリンタ上部のフェイスダウンスタッカに排出します。 ・ スタッカ（フェイスアップ）：プリンタ側面のフェイスアップスタッカに排出します。
［ウォーターマーク］ボタン		ウォーターマーク印刷を設定します。クリックすると［ウォーターマーク］ダイアログが表示されます。 参照「［ウォーターマーク］ダイアログ」（157 ページ）参照
［フォント］ボタン		フォントを設定します。クリックすると［フォント］ダイアログが表示されます。 参照「［フォント］ダイアログ」（159 ページ）参照
［その他］ボタン		その他のオプションを設定します。 参照「［その他］ダイアログ」（160 ページ）参照
［標準］ボタン		［印刷オプション］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

［ウォーターマーク］ダイアログ

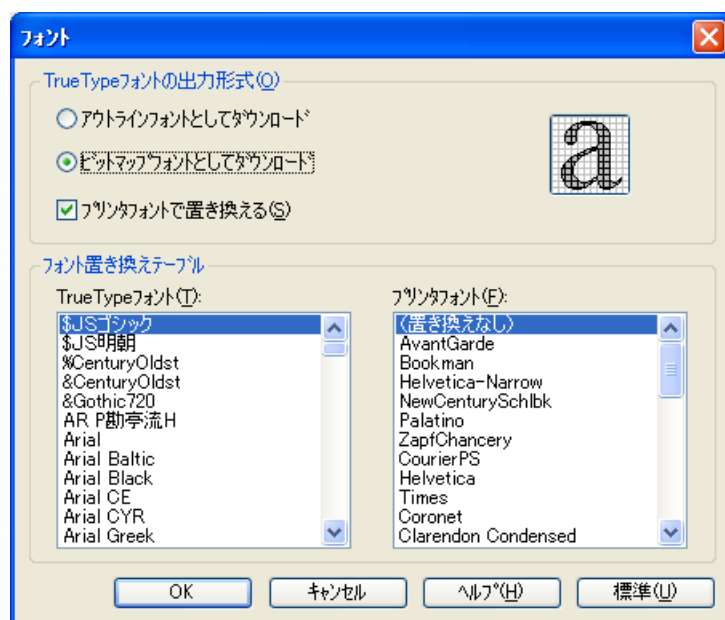
印刷結果にイメージ（ウォーターマーク）を重ね合わせる場合に設定します。［新規］または［編集］をクリックすると、［ウォーターマークの編集］ダイアログが表示されます。

項　目	内　容
［新規］ボタン	文字列、フォント、スタイルなどを入力し、新規にウォーターマークを作成します。新規に登録できる種類は 10 種類で、あらかじめ登録されている 6 種類と合わせて、最大で 16 種類のウォーターマークを登録することができます。
［削除］ボタン	登録したウォーターマークを削除します。あらかじめ登録されている 6 種類については削除することはできません。
［編集］ボタン	登録したウォーターマークを編集します。
最初のページのみ付加	チェックすると、印刷する先頭ページのみウォーターマークを付加します。

●［ウォーターマークの編集］ダイアログ

［ウォーターマーク］ダイアログの［新規］または［編集］をクリックすると表示されます。

項　目	内　容
文字列	重ね合わせる文字列やそのフォント、スタイル、サイズ、傾き、色を設定します。 ・「文字列」 　重ね合わせる文字列を指定します。 　ここで指定した文字列が登録名となります。最高で半角 63 文字まで指定できます。 ・「サイズ」 　文字列の文字サイズを 1 ～ 600 ポイントの範囲で指定します。 ・「回転角度」 　文字列の傾きを -180° ～ 180° の範囲で指定します。0° で水平になります。 ・［フォント］ボタン 　文字列のフォントを指定します。 参照「［フォント］ダイアログ」（159 ページ）参照 ・［色］ボタン 　文字列の色を指定します。
囲み枠（初期設定：なし）	ウォーターマークの文字列の囲みについて設定します。
印刷位置（初期設定：中央）	ウォーターマークの印刷位置を指定します。 ・「微調整」 　ウォーターマークの位置を設定します。 　［X］と［Y］は調整値で、-1000 ～ 1000 の範囲で入力ができます。設定された位置に対して、右方向と下方向が正の値、左方向と上方向が負の値とする座標で調整できます。 　ウォーターマークの印刷位置はプレビューに反映されます。

［フォント］ダイアログ

［印刷オプション］ダイアログの［フォント］をクリックすると表示されます。

項　目		内　容
TrueType フォントの出力形式	アウトラインフォントとしてダウンロード	TrueTypeフォントをアウトラインフォントとしてプリンタにダウンロードし、プリンタ内部で展開してフォントイメージを作成します。このため、一般的には Windows の負荷が小さくなり、プリンタの負荷が大きくなります。ただし、一部の TrueType フォントは、この設定にかかわらずビットマップフォントとしてダウンロードされる場合があります。
	ビットマップフォントとしてダウンロード	TrueTypeフォントをビットマップフォントとしてプリンタにダウンロードします。この場合、Windows でフォントイメージを作成してプリンタへ送信するため、一般的には Windows の負荷が大きくなり、プリンタの負荷が小さくなります。
	プリンタフォントで置き換える（初期設定：☑）	フォント置き換えをする場合に☑にします。フォント置き換えテーブルが有効になります。
フォント置き換えテーブル	TrueType フォント / プリンタフォント	TrueTypeフォントに対して置き換えを行うプリンタフォントを設定します。「TrueType フォント」一覧から選択したフォントを置き換えるプリンタフォントを「プリンタフォント」一覧で選択します。「プリンタフォントで置き換える」が☑されている場合のみ有効になります。

［その他］ダイアログ

［印刷オプション］ダイアログの［その他］をクリックすると表示されます。
（※画面は例です。設定条件により設定ができない項目もあります。）

項　目		内　容
画像品質	速度優先 / 画質優先	画像の印刷品位を設定します。「画質優先」を設定すると、印刷品位はよくなりますが、印刷スピードが遅くなります。
困った時には	スプールファイルのサイズを小さくする （初期設定：☑）	Windows 98/Me では表示されません。 本設定を ☐ にすると、通常のスプールファイル形式が EMF（Enhanced Metafiles）となり、印刷開始からアプリケーションに処理を戻すまでの時間が短くなります。 ただしアプリケーションによってはスプールファイルのサイズが非常に大きくなる場合や、印刷結果が画面と異なる場合がありますので、その場合には本設定を ☑ にしてください。 なお、「プリンタへ直接印刷データを送る」設定、「常に RAW データでスプールする」設定（Windows NT 4.0 の場合）、「詳細な印刷機能を有効にする」が ☐ の設定（Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合）や、Windows NT 4.0 のプリントサーバまたはクライアントを使用してネットワーク共有プリンタへ印刷する場合は、EMF 形式でスプールできないため、本設定を ☐ にした場合でも効果はありません。

項　目		内　容
困った時には	拡大・縮小を伴う印刷時に、ページレイアウトを維持する （初期設定：☐）	「マルチページ」、「用紙サイズ変換」、「とじ代」、「製本印刷機能」を使用すると一行に収まる文字数や、ページ内に収まる行数が変化し、ページレイアウトが変わることがあります。☑ にすると、ページレイアウトは変わりません。ただし、図形の塗りパターンが拡大、縮小されることで、印刷結果が変わる場合があります。一部のアプリケーションで画面上の描画結果から、ずれて印刷される場合に ☑ にすると、正常に印刷できることがあります。
	アプリケーションの部単位指定を優先する （初期設定：☑）	アプリケーションの印刷オプションで選択した部単位印刷機能を優先します。 アプリケーションで指定した部単位の設定に従った印刷を行うようにします。 アプリケーションによっては変わらない場合があります。
	黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する （初期設定：☐）	背景に色をつけて印刷した場合に黒い文字との間に色ずれによってできる白い隙間を作らないようにします。 背景の色はそのままにして、その上に黒い文字を重ねて印刷します。 「印刷品位」で「高精細」以外の設定にすると選択可能になります。
	100% の黒は常に黒（K）トナーで生成する （初期設定：☐）	［印刷品質］ダイアログの「黒の生成」で「自動」または、「CMYK トナーで生成」が指定されている場合、本設定を ☑ にすると、100% の黒（RGB（0,0,0））を、黒（K）トナーのみを使用して表現します。
	重ね合わせの描画を正確に表現する （初期設定：☐）	図形などの重ね合わせを描画するドキュメントで、重なりの部分の色が正確に表現されない場合、本設定を ☑ すると重なりの部分の色を正確に表現できることがあります。ただし、本設定を ☑ にすると印刷速度が若干遅くなることがあります。通常は、☐ でご使用ください。 「印刷品位」で「高精細」以外の設定にすると選択可能になります。一部のアプリケーションで図の背景が黒く塗りつぶされてしまう場合などに、本設定をチェックすると、正常に印刷できることがあります。
	極細線を補正する （初期設定：☑）	極端に細い線がかすれて見づらい場合に、本設定を ☑ にすると、極細線が見やすくなるように線を膨らませる補正を行います。 例えば輪郭線付きの矩形を使用したバーコードを印刷する際に、矩形の輪郭線が補正により膨らむことでバーコードがつぶれて印刷される場合に、本設定を ☐ にすると、バーコードの読み取り精度を上げることができます。
	片面時に白紙ページを印刷する （初期設定：☐）	片面印刷するデータに白紙ページが含まれているときに、このページを印刷する場合に ☑ にします。［設定］ダイアログの「両面印刷」で「なし」を選択すると選択可能になります。
	両面時に白紙ページを印刷する （初期設定：グレイアウト）	両面印刷するデータに白紙ページが含まれているときに、このページを印刷する場合に ☑ にします。［設定］ダイアログの「両面印刷」で「長辺とじ」または「短辺とじ」を選択すると選択可能になります。

［カラー］ダイアログ

4 種類のカラーモードを設定します。
「［カラー調整 詳細設定］ダイアログ」（163 ページ）、「［カラー］ダイアログ（グレースケール）」（165 ページ）を選択すると、明暗（ブライトネス、コントラスト）を調整できるようになります。

項　目		内　容
カラーモード（初期設定：推奨）	推奨	アプリケーションで指定された色をプリンタでカラー調整して印刷します。 最適なカラー印刷の設定です。通常は、この設定でお使いください。
	カラー調整	◉ にすると［詳細］ボタンが有効になります。 カラー調整を行いたい場合のみにお勧めします。 調整によっては印刷された色が画面の色と著しく異なる結果となる場合があります。 参照「［カラー調整 詳細設定］ダイアログ」（163 ページ）参照
	カラーマッチングオフ	ドライバまたはプリンタでカラー調整を行わず、指定された色のまま印刷を行います。 アプリケーションでカラーマッチングをする場合に設定します。
	グレースケール	◉ にすると［詳細］ボタンが有効になります。 カラーをグレースケール（階調を持った白黒）に変換して印刷します。 参照「［カラー］ダイアログ（グレースケール）」（165 ページ）参照

項　目		内　容
トナーセーブ （初期設定：☐）		トナーを節約した印刷を行います。☑ にすると印刷品位は落ちますが、トナーを節約することができます。カラーモードで「グレースケール」を設定している場合は、グレイアウトされます。 トナーセーブをチェックした場合、中間調の濃度に対してトナー量を 50%セーブして印刷を行います。 イエロー / マゼンタ / シアン / 黒の 100%濃度に対しては、トナーセーブを行いません。
色見本の印刷		色見本の印刷を行います。印刷には「色見本印刷ユーティリティ」が必要です。 参照「色見本印刷ユーティリティ」（227 ページ）

［カラー調整 詳細設定］ダイアログ

カラーモードで、［カラー調整］－［詳細設定］ボタンをクリックすると表示されます。

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">RGB カラー設定</td><td>カラー調整
（初期設定：モニタ（6500K）/ 自動）</td><td>カラーモードのカラーマッチング処理における色の表現方法を設定します。
お使いの RGB 入力機器に一致する条件の項目を選択します。
・モニタ（6500K）/ 自動
カラーマッチングの際に、モニタ（色温度 6500K）との相性および写真、図形、文字ごとに最適な色で印刷します。
・モニタ（6500K）/ コントラスト重視
カラーマッチングの際に、モニタ（色温度 6500K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
・モニタ（6500K）/ 鮮やかさ重視
モニタ（色温度 6500K）との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。
・モニタ（9300K）
カラーマッチングの際に、モニタ（色温度 9300K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
・デジタルカメラ
カラーマッチングの際に、写真が明るくなるように色を表現します。
撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方がよい場合があります。
・sRGB
プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域内での、外殻の色にマッチングします。
特定の色をマッチングするのに適しています。</td></tr>
<tr><td>ユーザ設定</td><td>カラー調整ユーティリティ（カラー調整、ガンマ / 色相補正）で登録された項目が選択可能になります。

参照 カラー調整ユーティリティについて、詳しくは「カラー調整ユーティリティ」（215 ページ）参照</td></tr>
<tr><td rowspan="3">黒の生成</td><td>自動</td><td>文書に最適な黒の生成を行います。</td></tr>
<tr><td>CMYK トナーで生成</td><td>黒、グレーを CMYK トナーを使って印刷します。</td></tr>
<tr><td>黒（K）トナーのみで生成</td><td>黒、グレーを K トナーのみを使って印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">明暗の調整</td><td>ブライトネス
（初期値：0）</td><td>印刷の明るさを調整します。
-50 ～ 50 まで選択できます。設定値を大きくすると明るい印刷結果になります。</td></tr>
<tr><td>コントラスト
（初期値：0）</td><td>印刷の鮮やかさを調整します。
-50 ～ 50 まで選択できます。設定値を大きくすると明暗の差がはっきりした印刷結果になります。</td></tr>
</table>

［カラー］ダイアログ（グレースケール）

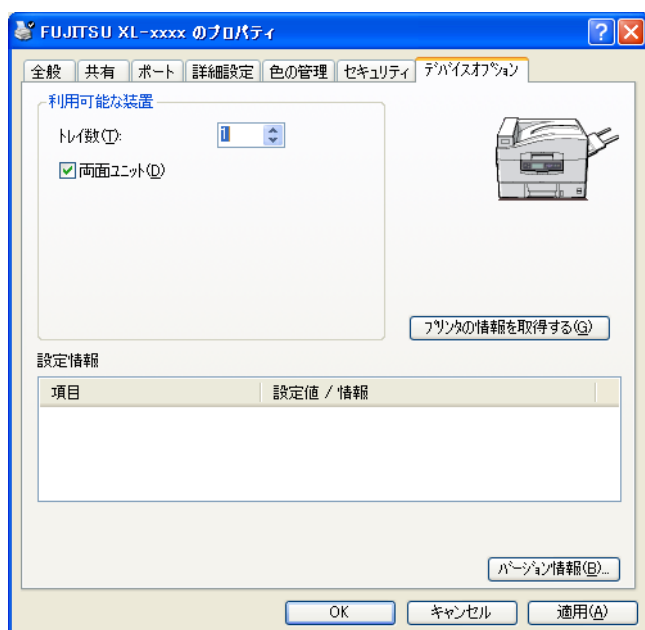
カラーモードで、［グレースケール］－［詳細設定］ボタンを選択すると表示されます。
ブライトネス（明暗）、コントラスト（濃淡）の微調整が可能です。

項　目		内　容
明暗の調整	ブライトネス（初期値：0）	印刷の明るさを調整します。 -50 ～ 50 まで選択できます。設定値を大きくすると明るい印刷結果になります。
	コントラスト（初期値：0）	印刷の鮮やかさを調整します。 -50 ～ 50 まで選択できます。設定値を大きくすると明暗の差がはっきりした印刷結果になります。

［デバイスオプション］ダイアログ

デバイスオプションの設定は、プリンタフォルダから設定するプリンタのプロパティで表示されます。
アプリケーションの印刷設定のプロパティでは表示されません。

ガイド

プリンタフォルダ の［XL-xxxx］－［プロパティ］－［デバイスオプション］の順にクリックして表示します。

項　目		内　容
利用可能な装置	トレイ数 （初期設定：1）	装着されているトレイ数を設定します。 マルチパーパストレイは数に含みません。
	両面ユニット （初期設定：□）	チェックすると、両面印刷機能が有効になります。
［プリンタの情報を取得する］ボタン		Network Extension を使用してプリンタの設定内容を読み出し、利用可能な装置を設定します。また、トレイ構成やトナー残量などのプリンタ情報を設定情報欄に表示します。 参照 「第 6 章　添付ソフトウェアの機能と利用方法」「Network Extension」（212 ページ）参照
バージョン情報		［バージョン情報］ダイアログが表示され、プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。 参照 「プリンタドライバのバージョン確認」（191 ページ）参照

ガ イ ド

ネットワークを利用した接続方法でも、Network Extensionがインストールされていない場合は、［プリンタの情報を取得する］ボタンと「設定情報」は表示されません。

ここでは、プリンタドライバの機能を使った、いろいろな印刷の手順について説明します。

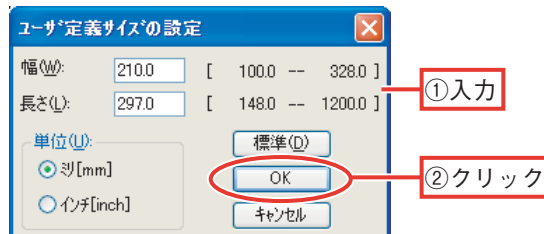
任意のサイズ（ユーザ定義サイズ）に印刷する

「用紙メニュー」の「サイズ」リストに表示されない用紙サイズを任意に設定して印刷することができます。

直接サイズを設定する方法

1 [設定] ダイアログの [サイズ] リストから、[ユーザ定義サイズ] を選択する

[ユーザ定義サイズの設定] ダイアログが表示されます。

2 印刷する用紙の幅と長さを入力して、[OK] をクリックする

1 の「サイズ」リストに、設定したサイズが表示されます。

3 ［OK］をクリックし、［設定］ダイアログを閉じる

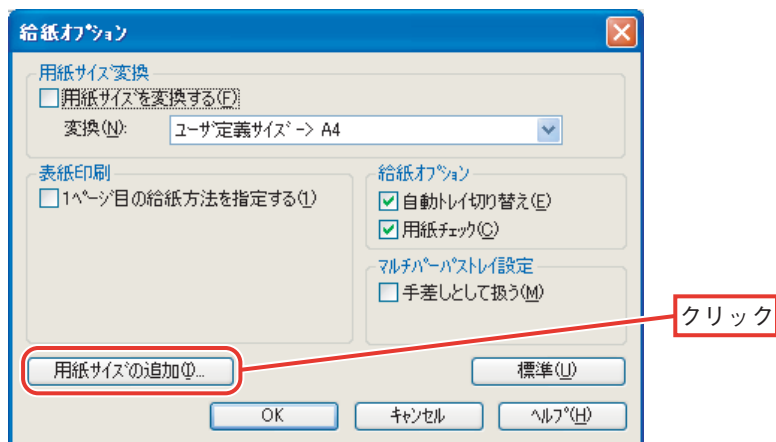
4 印刷を実行する

あらかじめサイズを登録しておく方法

1 ［設定］ダイアログの［オプション］をクリックする

［給紙オプション］ダイアログが表示されます。

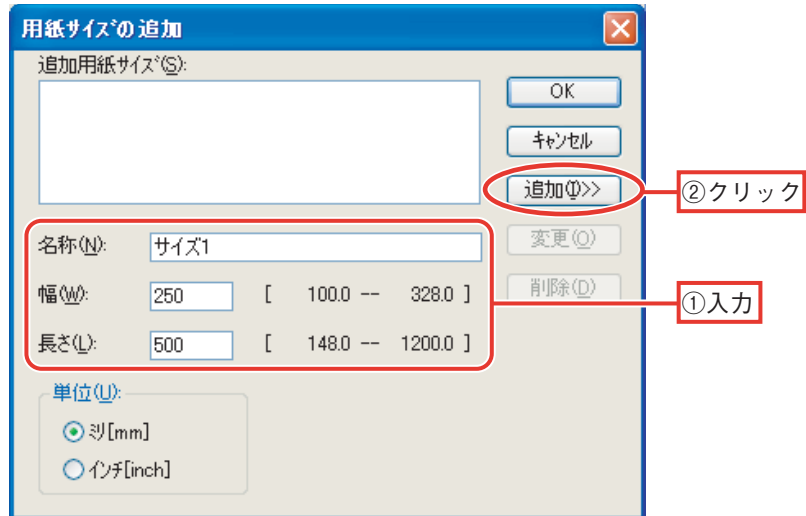
2 ［用紙サイズの追加］をクリックする

［用紙サイズの追加］ダイアログが表示されます。

3 「名称」を入力する

「名称」を入力すると、［追加］ボタンが有効になります。

4 幅と長さを入力する

5 ［追加］をクリックする

（画面は、名称：サイズ 1、幅：250mm、長さ：500mm の設定例です。）

6 ［OK］をクリックして、［用紙サイズの追加］ダイアログを閉じる

2 に戻るので、［OK］をクリックし、［給紙オプション］ダイアログを閉じる

追加した用紙サイズは［設定］ダイアログの［サイズ］のリストに追加されます。

7 ［設定］ダイアログの「サイズ」リストで、追加用紙サイズ名を選択する

8 ［OK］をクリックして、［設定］ダイアログを閉じる

9 印刷を実行する

はがき、往復はがきに印刷する

はがきや往復はがきに印刷することができます。

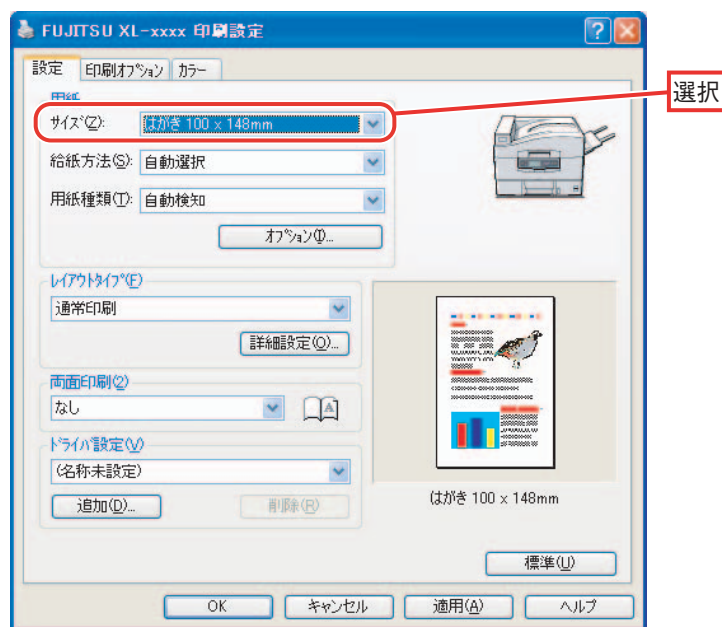
ガイド

はがき、往復はがきはマルチパーパストレイ、またはトレイ 1 から給紙します。
排出先はスタッカ（フェイスアップ）になります。
マルチパーパストレイやトレイ 1 をはがき専用で使う場合は、プリンタのオペレータパネルまたは、Internet Service でセットする用紙のサイズを設定しておくことをお勧めします。

参照 『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」「メニューモードの項目一覧」「トレイ構成」参照

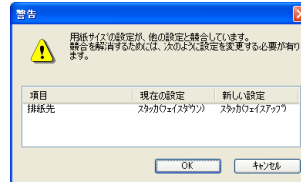
参照 「[プリンタ] タブ（管理者モードのみ）」「メディアメニュー」（260 ページ）参照

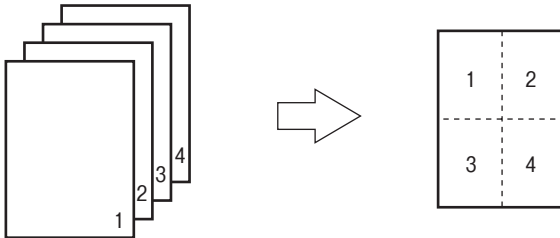
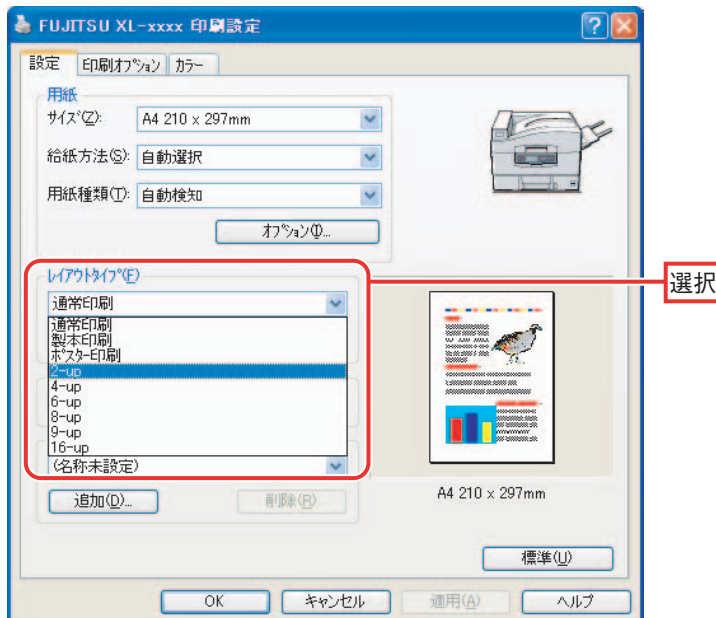
参照 『取扱説明書』「第 6 章　用紙について」参照

1. [設定] ダイアログの [サイズ] リストから、[はがき] または [往復はがき] を選択する

2. [OK] をクリックして、[設定] ダイアログを閉じる

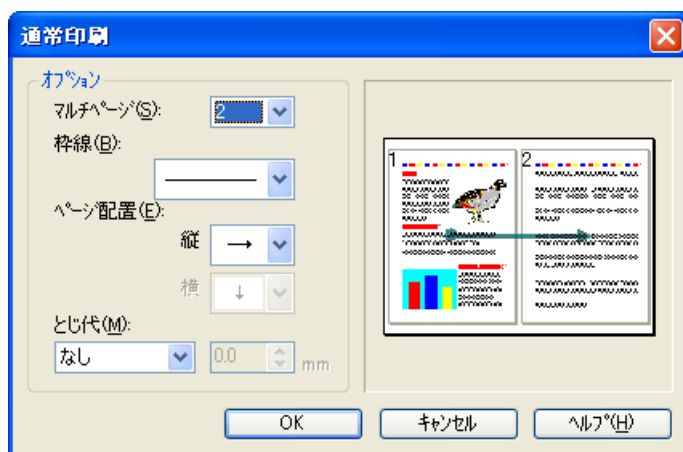
印刷を実行する

ガイド

［印刷オプション］ダイアログの［排出先］が［スタッカ（フェイスダウン）］の場合は以下の画面が表示されます。
［OK］をクリックし、排出先を［スタッカ（フェイスアップ）］に変更します。

複数ページを 1 枚の用紙に印刷する

1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷することができます。

［設定］ダイアログの［レイアウトタイプ］リストで［N-up］（N は 1 枚の用紙に印刷したいページ数）を選択する

2 ［詳細設定］をクリックする

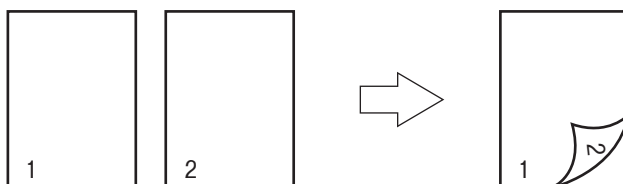
3 必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定する

とじ代は、上下左右に 0 〜 30mm まで設定できます。

4 ［OK］をクリックして、［通常印刷］ダイアログを閉じる

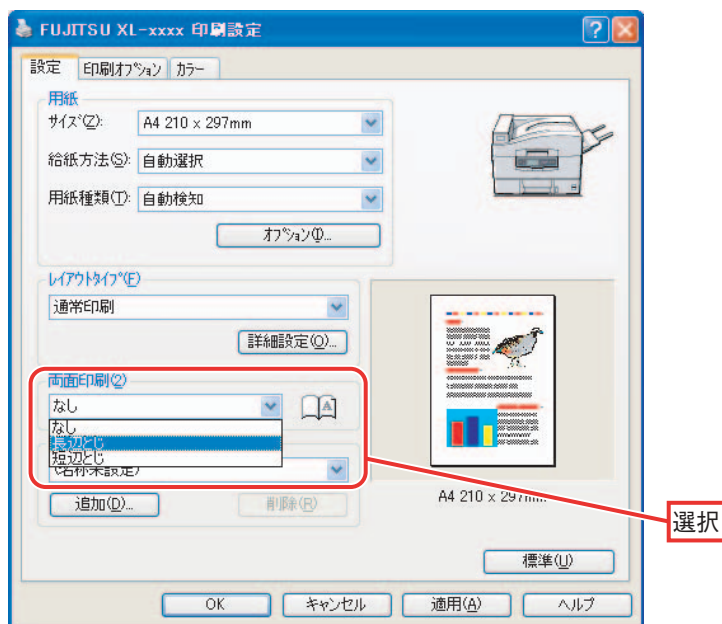
5 ［OK］をクリックして、［設定］ダイアログを閉じる

6 印刷を実行する

用紙の両面に印刷をする

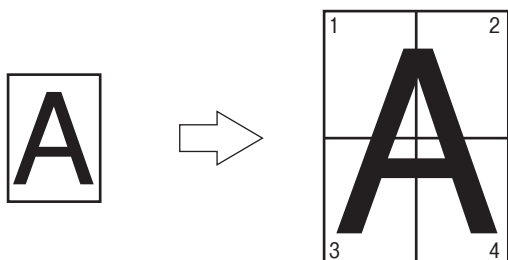
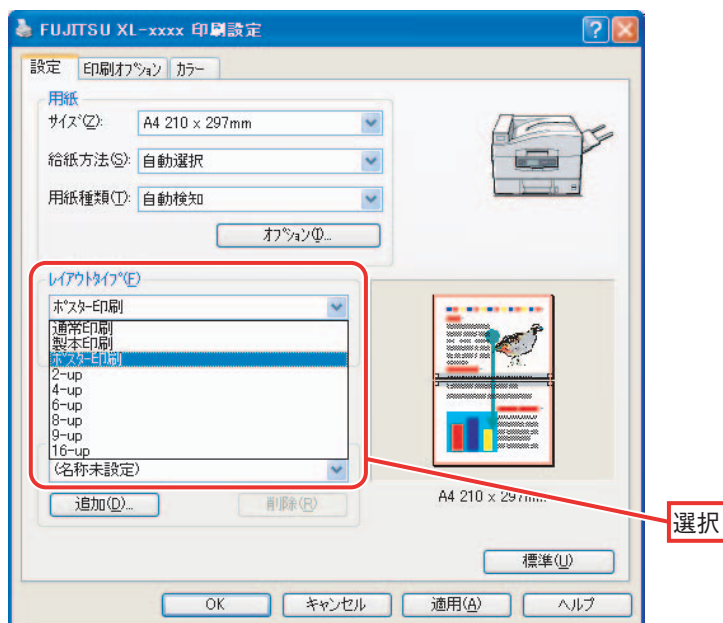
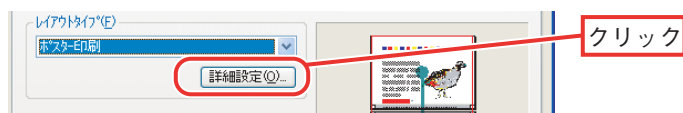
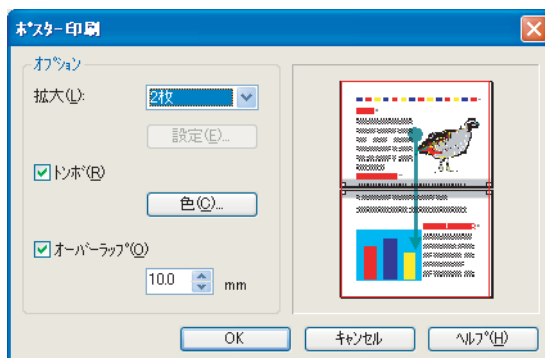
用紙の両面に印刷することができます。

ガイド

- 両面ユニット（オプション）の装着が必要です。
- プリンタドライバの［デバイスオプション］ダイアログで「両面ユニット」を装着したことをあらかじめ設定しておく必要があります。
- 両面印刷ができる用紙は A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガルサイズ、ユーザ定義サイズ（幅：148.0mm ～ 328.0mm、長さ：210.0mm ～ 458.0mm）重量が 64g ～ 120g/ ㎡の用紙となります。

1 ［設定］ダイアログの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択する

2 ［OK］をクリックして、［設定］ダイアログを閉じる

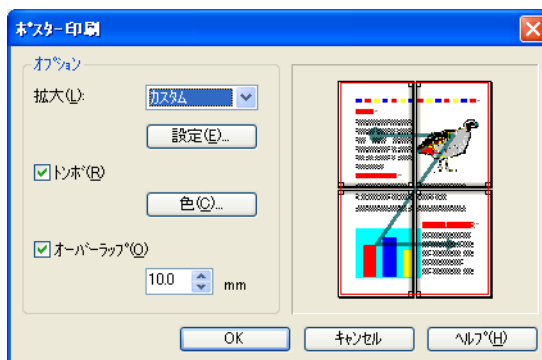
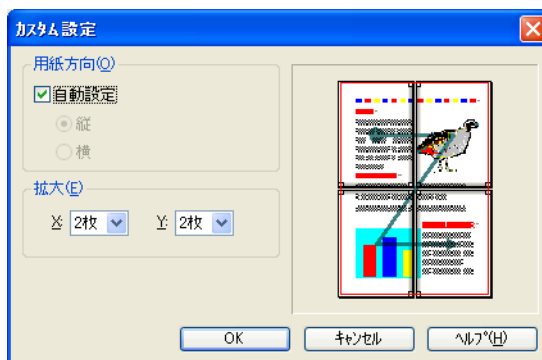
3 印刷を実行する

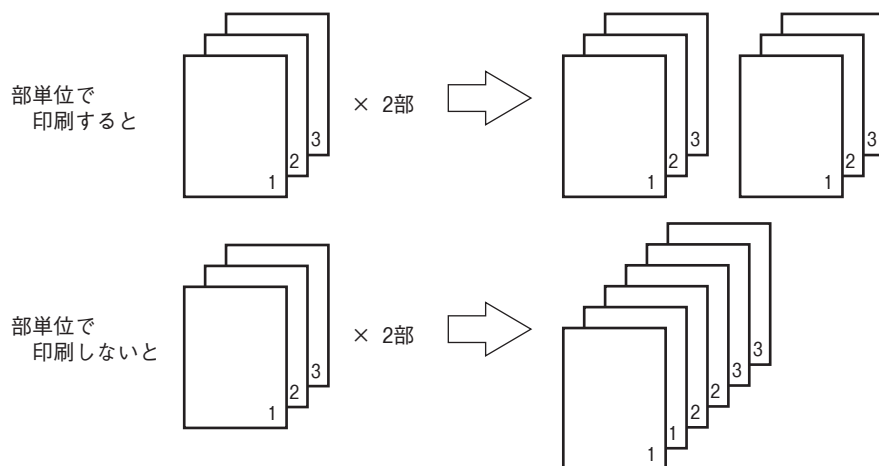
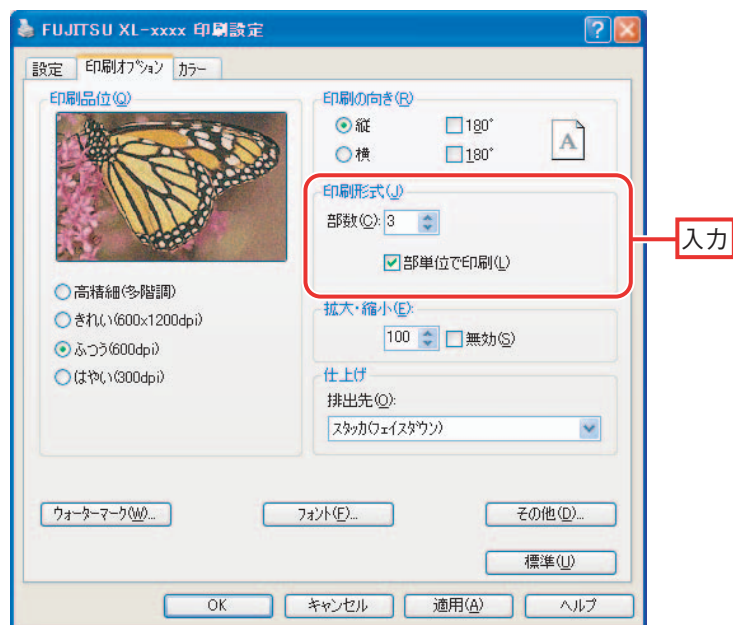
複数枚に拡大して印刷する（ポスター印刷）

印刷する際に拡大して、複数枚の用紙に分割して印刷することができます。

1. [設定]ダイアログの[レイアウトタイプ]リストで[ポスター印刷]を選択する

2. [詳細設定] をクリックする

3 必要に応じて、[拡大]（何枚に拡大するか）、[トンボ]（仕上がり位置を示す目印）［オーバーラップ］（重なる部分の幅）を設定し、[OK] をクリックする

4 [OK] をクリックして、[設定] ダイアログを閉じる

5 印刷を実行する

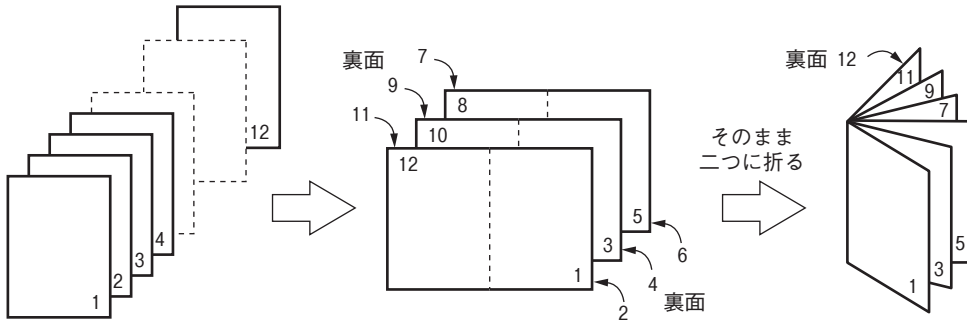
ガイド

縦横に並べる枚数を指定することもできます。
[カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。
[カスタム設定] ダイアログが表示されます。

必要に応じて、用紙方向、拡大枚数を設定し、[OK] をクリックします。

同じ文書を 2 部以上印刷する

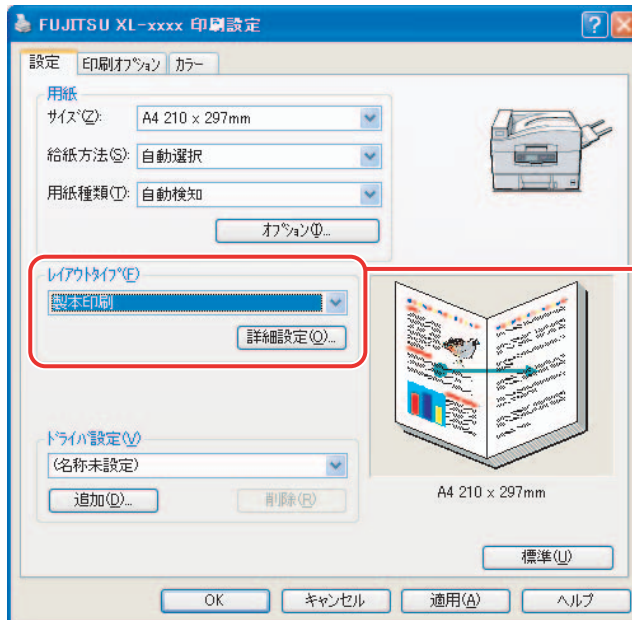
部単位で印刷することができます。部単位で印刷すると仕分けをする必要がありません。

1 ［印刷オプション］ダイアログの［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］を☑する

2 ［OK］をクリックして、［設定］ダイアログを閉じる

3 印刷を実行する

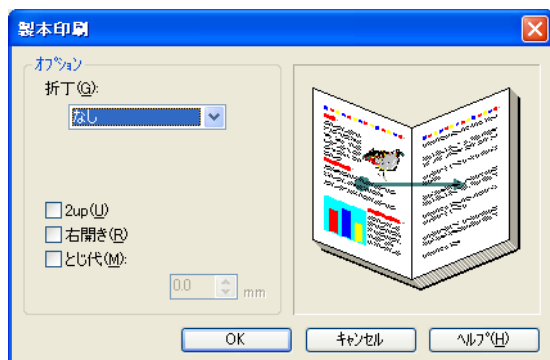
小冊子を印刷する（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を印刷することができます。

ガイド

- 両面ユニット（オプション）の装着が必要です。
- プリンタドライバの［デバイスオプション］ダイアログで「両面ユニット」を装着したことをあらかじめ設定しておく必要があります。
- 両面印刷ができる用紙は A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガルサイズ、ユーザ定義サイズ（幅：148.0mm ～ 328.0mm、長さ：210.0mm ～ 458.0mm）重量が 64g ～ 120g/ ㎡の用紙となります。

1 ［設定］ダイアログの［レイアウトタイプ］リストで［製本印刷］を選択する

2 ［詳細設定］をクリックする

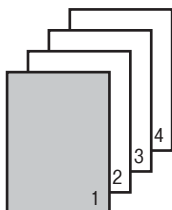
［製本印刷］ダイアログが表示されます。

3 必要に応じて、[折丁]（何ページで折丁を作成するか）、[2up]（2up で製本するか）、[右開き] にするか（初期設定は左開き）、[とじ代] を設定する

4 [OK] をクリックして、[製本印刷] ダイアログを閉じる

5 [OK] をクリックして、[設定] ダイアログを閉じる

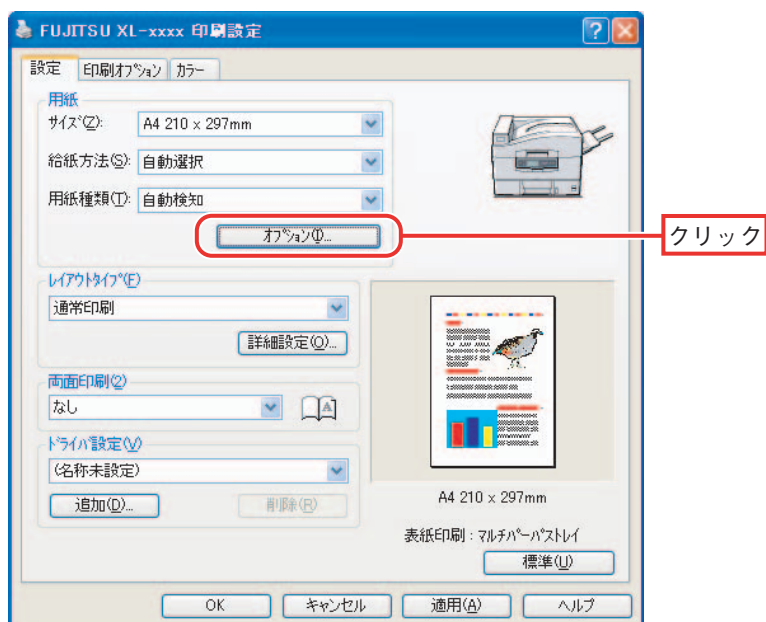
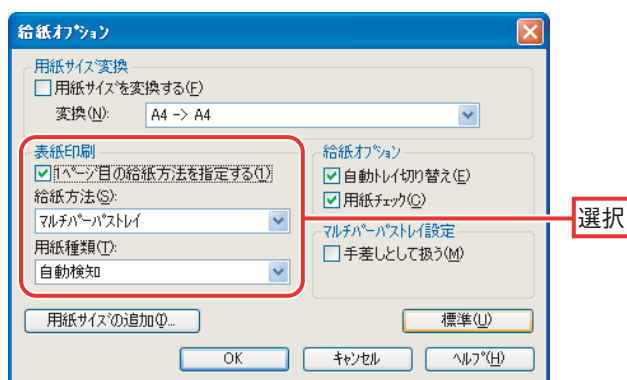
6 印刷を実行する

表紙のみ違う用紙で印刷する（表紙印刷）

表紙だけを用紙の厚さや種類を変えて印刷することができます。

ガイド

表紙に使用する用紙を、2 枚目以降を印刷するトレイとは別のトレイにセットしておきます。

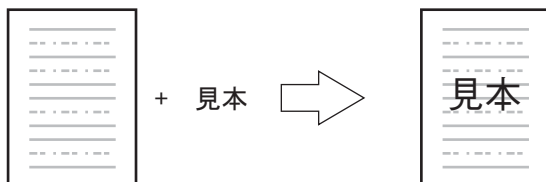
1. [設定] ダイアログの [オプション] をクリックする

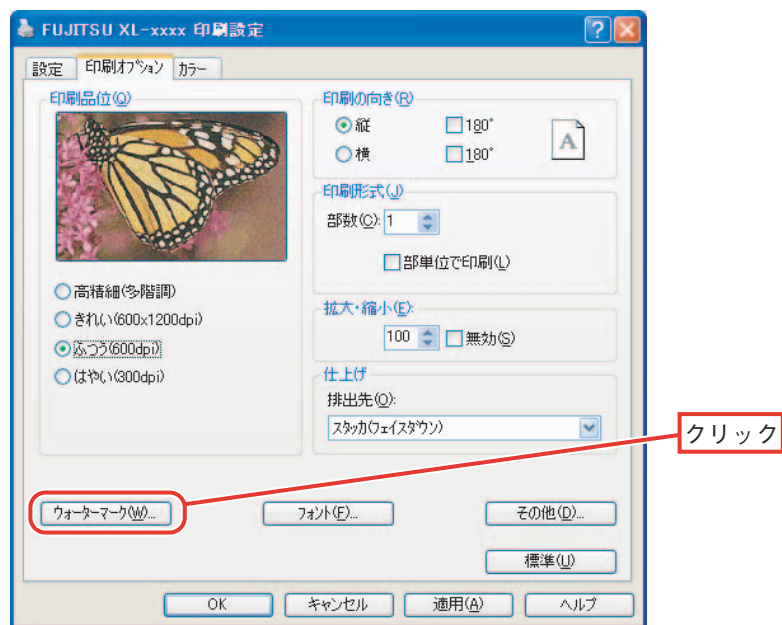
[給紙オプション] ダイアログが表示されます。

2. [1 ページ目の給紙方法を指定する] に ☑ し、[給紙方法]、[用紙種類] を選択する

3. [OK] をクリックして、[給紙オプション] ダイアログを閉じる

4. [OK] をクリックして、[設定] ダイアログを閉じる

5. 印刷を実行する

［見本］［社外秘］などの文字をスタンプ印刷する（ウォーターマーク印刷）

印刷するドキュメントには手を加えずに、文字を自由に設定しスタンプ印刷をすることができます。

［印刷オプション］ダイアログの［ウォーターマーク］をクリックする

［ウォーターマーク］ダイアログが表示されます。

2 スタンプ印刷したい「ウォーターマーク」を選択する

3 使用したい文字がない場合は［新規］または「なし」以外を選択し、［編集］をクリックする

［ウォーターマークの編集］ダイアログが表示されます。

4 必要に応じて、［文字列］、［サイズ］、［回転角度］、［囲み枠］、［印刷位置］などを設定する

［フォント］、［色］をクリックするとフォントの種類や色が設定できます。

右側でプレビューが確認できます。

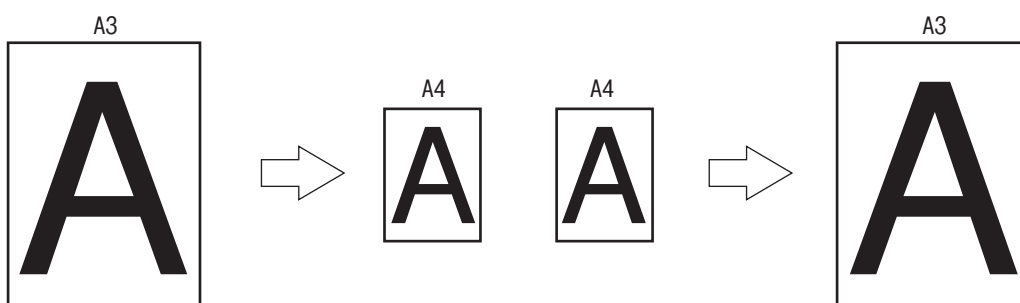
5 ［OK］をクリックして、［ウォーターマークの編集］ダイアログを閉じる

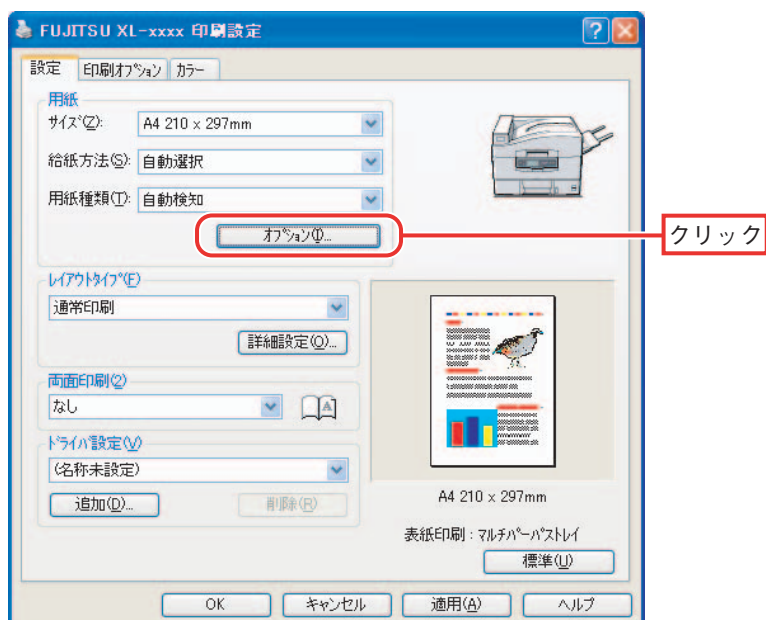
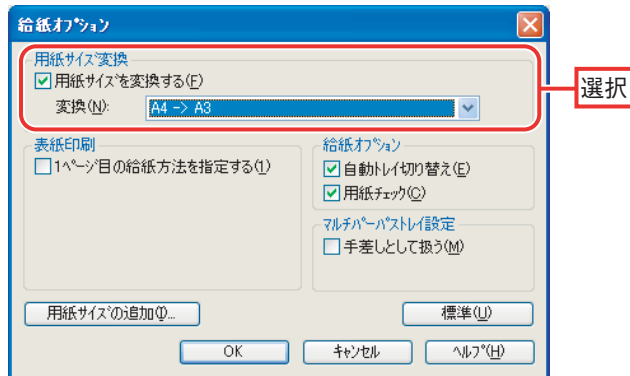
6. ❷に戻るので、❹で登録したウォーターマークを選択し、[OK] をクリックする

7. [OK] をクリックして、[印刷オプション] ダイアログを閉じる

8. 印刷を実行する

ドキュメントサイズと違うサイズの用紙に拡大／縮小して印刷する

印刷するドキュメントには手を加えずに、編集サイズと異なる用紙サイズに合わせ、拡大または縮小して印刷することができます。

1. [設定] ダイアログの [オプション] をクリックする

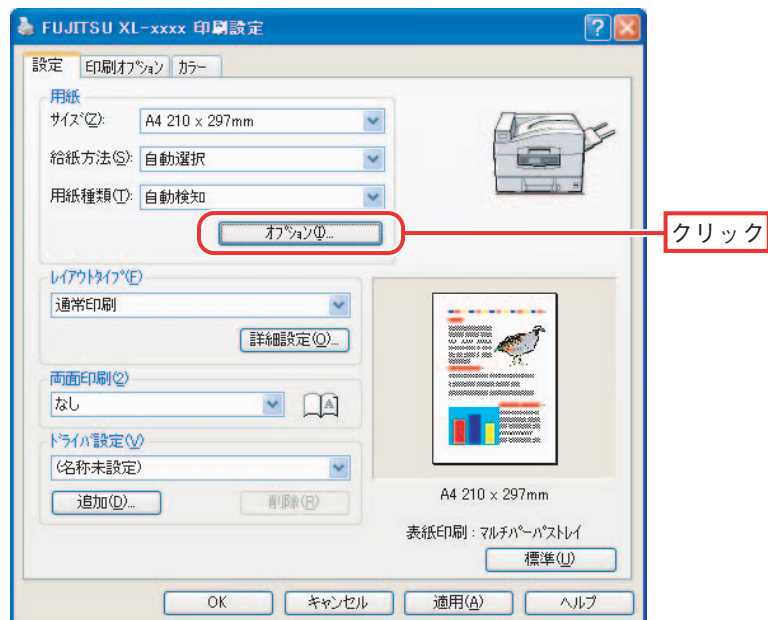
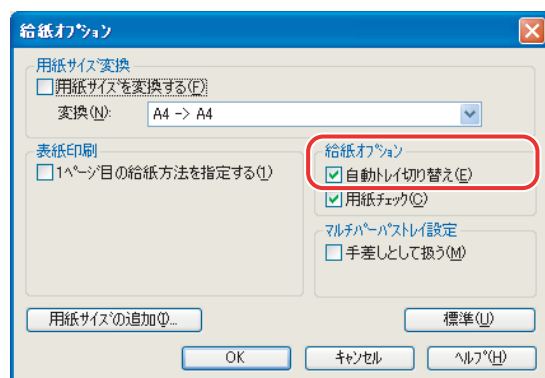
[給紙オプション] ダイアログが表示されます。

2. ［用紙サイズを変換する］を☑にし、変換する用紙サイズを選択し、［OK］をクリックする

3. ［OK］をクリックして、［設定］ダイアログを閉じる

4. 印刷を実行する

同じ用紙サイズで大量に印刷する

トレイ 1 ～ 5（トレイ 2 ～ 5 はオプション）、マルチパーパストレイに同じ用紙をセットしておくと、印刷中にトレイの用紙がなくなっても、用紙がある他のトレイから継続して印刷することができます。

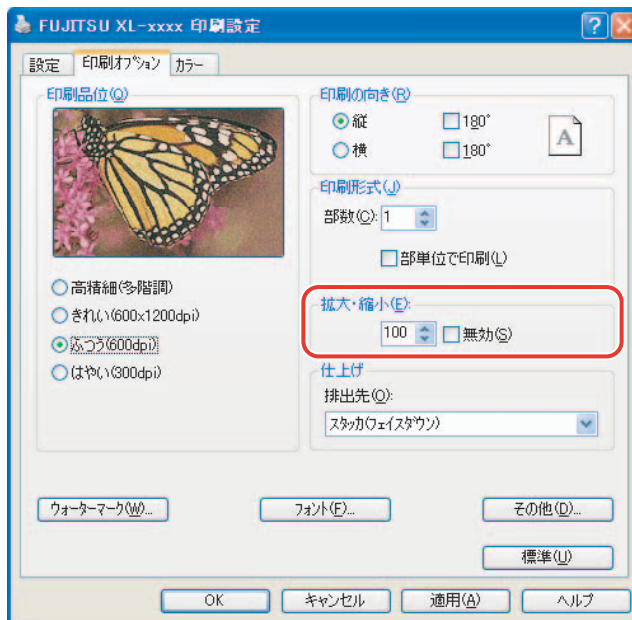
［設定］ダイアログの［オプション］をクリックする

［給紙オプション］ダイアログが表示されます。

2 ［自動トレイ切り替え］を☑にし、［OK］をクリックする

3 ［OK］をクリックして、［設定］ダイアログを閉じる

4 印刷を実行する

アプリケーションで作成したデータを拡大または縮小して印刷する

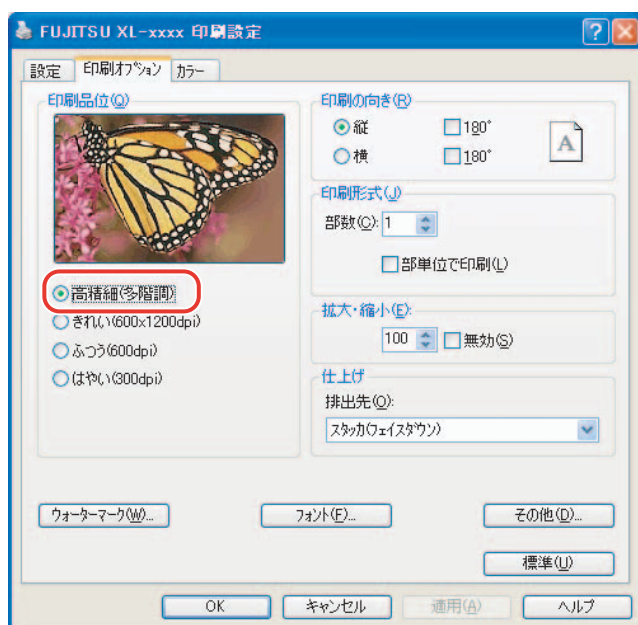
印刷する用紙サイズを変更せずに、イメージを拡大縮小する場合の倍率を設定して印刷することができます。
とじ代の設定などでイメージがうまく収まらなくなったときの調整に使うことができます。

1. ［印刷オプション］ダイアログの［拡大・縮小］設定で拡大率または縮小率を設定する

2. ［OK］をクリックして、［印刷オプション］ダイアログを閉じる

3. 印刷を実行する

よりきれいに印刷する

階調性を重視した高精細印刷をすることができます。

1 ［印刷オプション］ダイアログの「印刷品位」設定で［高精細（多階調）］を設定する

2 ［OK］をクリックして、［印刷オプション］ダイアログを閉じる

3 印刷を実行する

ガイド

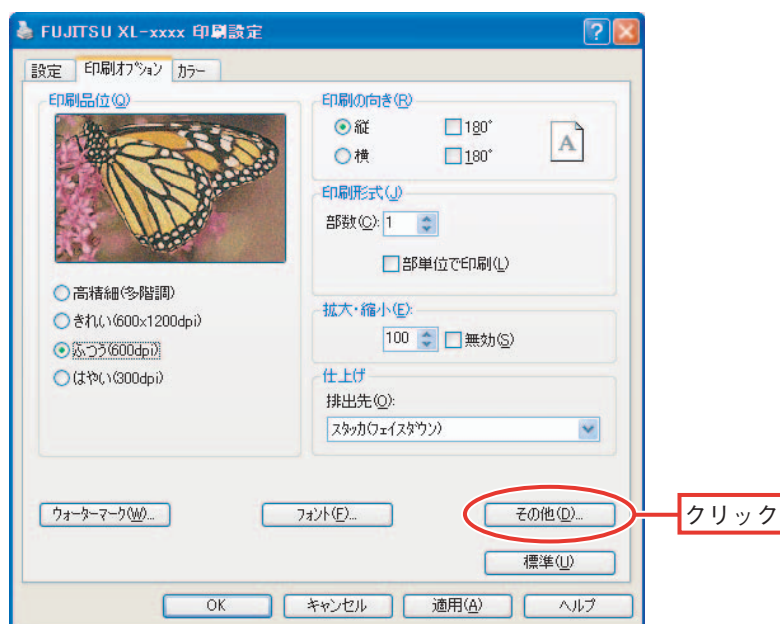
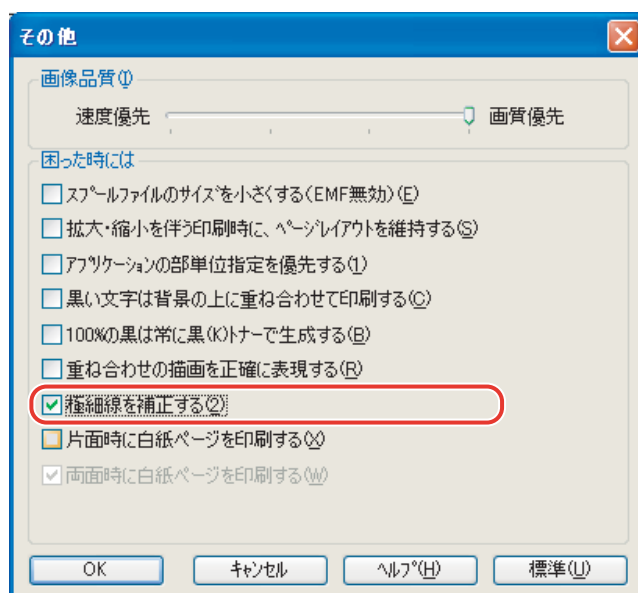
「高精細（多階調）」で印刷する場合は、オプションのプリンタ RAM モジュールを増設してください。

参照 プリンタ RAM モジュールによる印刷可能範囲の目安は、『取扱説明書』「第 3 章　オプションの装着」「オプション品のご紹介」「プリンタ RAM モジュール」参照

極細線が細くなりすぎるのを防いで印刷する

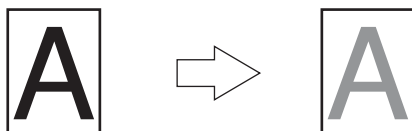
アプリケーションから極細線が指定された場合に細くなりすぎるのを防いで印刷することができます（この機能は初期設定で☑になっています）。

1 ［印刷オプション］ダイアログの［その他］をクリックする

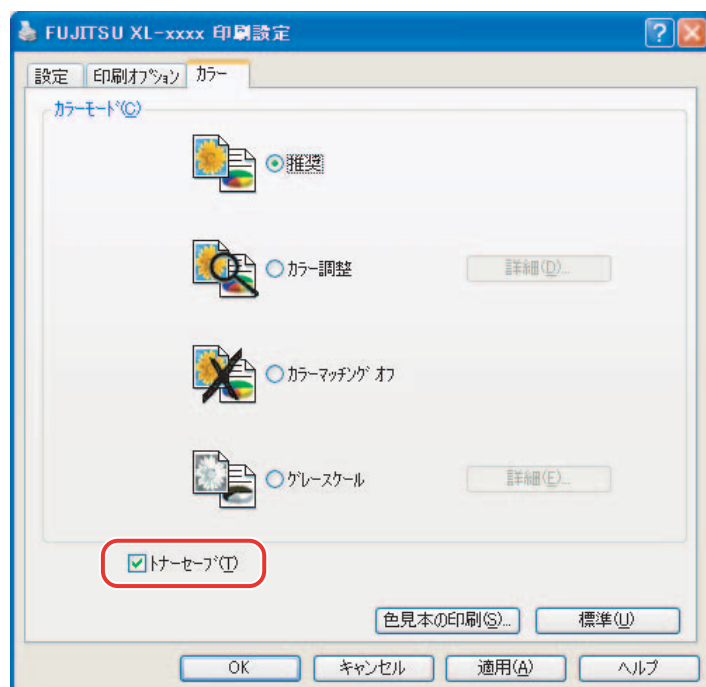
［その他］ダイアログが表示されます。

2 ［極細線を補正する］を☑にし、［OK］をクリックする

3 ［OK］をクリックして、［印刷オプション］ダイアログを閉じる

4 印刷を実行する

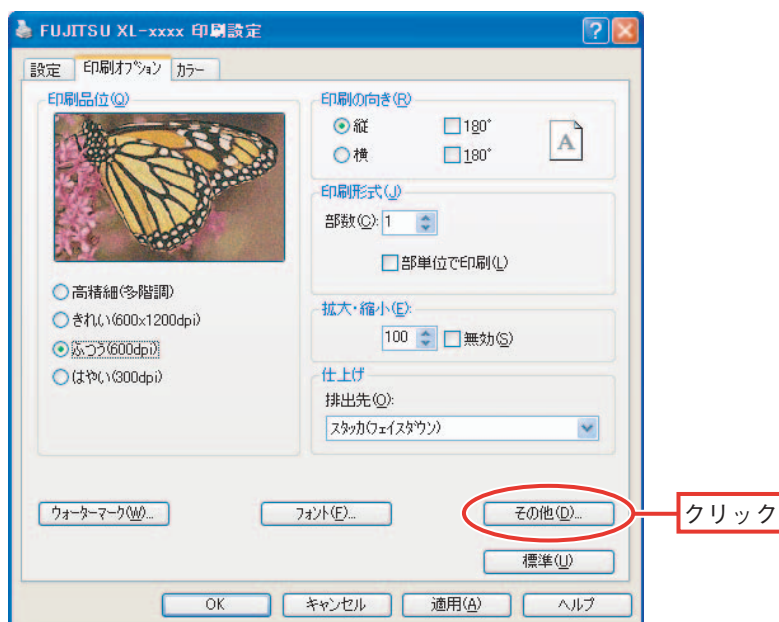
トナーを節約して印刷する

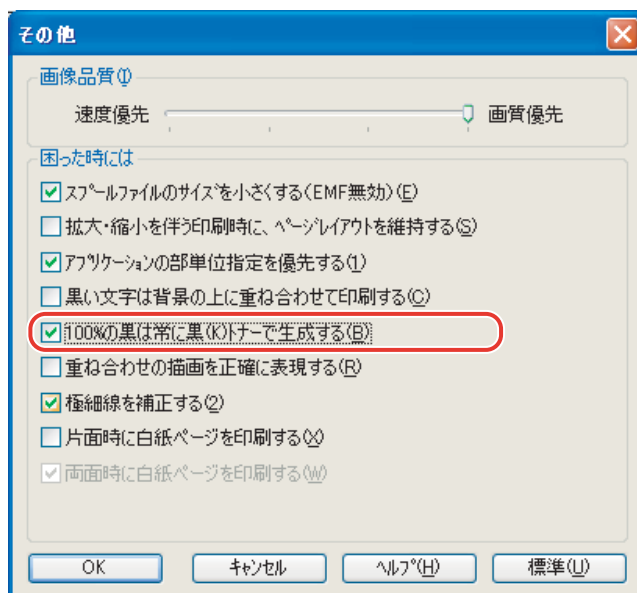
試し印刷などでトナーの消費量を節約して印刷することができます。

お願い

100%黒の色には無効です。
トナーを節約する場合は、カラーモードで「グレースケール」以外を選択してください。

1 ［カラー］ダイアログの［トナーセーブ］を☑にし、［OK］をクリックする

2 印刷を実行する

100%の黒を黒トナーのみで印刷する

[印刷オプション] ダイアログの [その他] をクリックする

[その他] ダイアログが表示されます。

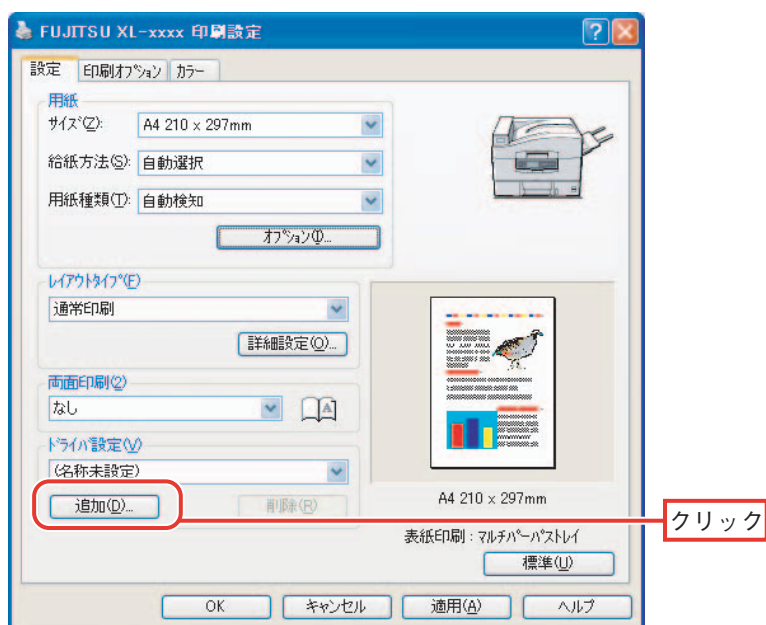
2 [100% の黒は常に黒（K）トナーで生成する] を ☑ にし、[OK] をクリックする

3 ［OK］をクリックして、［印刷オプション］ダイアログを閉じる

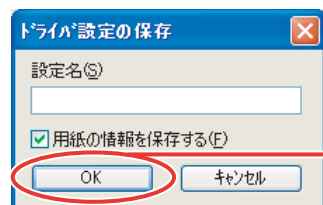
4 印刷を実行する

プリンタドライバの設定を保存する

プリンタドライバで 1 度設定した内容（用紙サイズ、用紙種類、給紙口など）に、設定名をつけて保存することができます。

1 ［設定］ダイアログで［追加］をクリックする

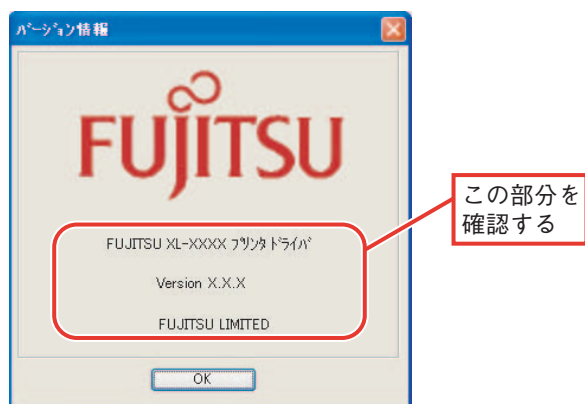
［ドライバ設定の保存］ダイアログが表示されます。

2 ［設定名］を入力し、［OK］をクリックする

「用紙の情報を保存する」場合は☑して、［OK］をクリックする

保存された［設定名］が［設定］ダイアログの［ドライバ設定］リストボックスに表示されます。

保存した設定を使用する場合は、1 の［ドライバ設定］で設定名を選択すると、設定内容が反映されます。

プリンタドライバのバージョン確認

［デバイスオプション］ダイアログの［バージョン情報］ボタンをクリックすると
以下のダイアログが表示されます。

参照　ダイアログの開き方は、「プロパティの開き方」（143 ページ）参照

プリンタドライバの更新

プリンタドライバをバージョンアップする場合は、「プリンタドライバの削除」（193 ページ）でプリンタドライバを削除してから、新しいプリンタドライバをインストールしてください。

参照　「第２章　ネットワークを利用しないプリンタの接続」（25 ページ）参照

参照　「第３章　ネットワークを利用した プリンタの接続」（59 ページ）参照

プリンタドライバの削除

他の Windows で本製品を使用していて、プリンタドライバを削除せずに Windows をアップグレードしたときや、プリンタを使用しなくなったときは、次の手順でプリンタドライバを削除します。
Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 の場合は、管理者権限でログオンしてください。

Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合

※画面は Windows 2000 の場合です。

1 削除するプリンタを選択する

・Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、削除するプリンタをクリックする
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックし、削除するプリンタをクリックする

2 ［ファイル］メニューから［削除］をクリックする

3 ［はい］をクリックする

ガイド

通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。
・「警告：通常使うプリンタは削除されています。'XXXX' が新しく通常使うプリンタに設定されます。」（XXXX はプリンタ名）
・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

4 OS により以下の操作を行う

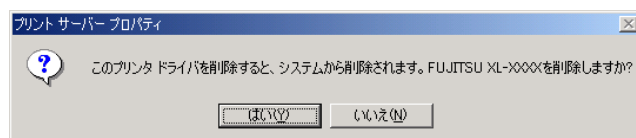
・Windows 98/Me/NT 4.0 の場合
Windows を再起動する
・Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合
5～8を行う

Windows 98/Me/NT 4.0 の場合は、Windows を再起動すればプリンタドライバの削除は終了です。
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、引き続き5～8の操作を行います。

5 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックし、［ドライバ］ダイアログをクリックする

6 「インストールされたプリンタ ドライバ」リストから、削除したいプリンタ用のプリンタ ドライバを選択し、［削除］をクリックする

7 ［はい］をクリックする

ドライバの削除が終わったら［閉じる］をクリックして、［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログを終了します。

8 Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を再起動します。

お 願 い

プリンタをプリンタケーブルで接続しているとき、再起動後にプラグアンドプレイによって添付の CD-ROM を挿入するようにメッセージが表示される場合があります。このときは、［キャンセル］をクリックしてください。

Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008の場合

1 「プリンタ］フォルダ、または「デバイスとプリンター」フォルダを開く

・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
①［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする
・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
①［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックする

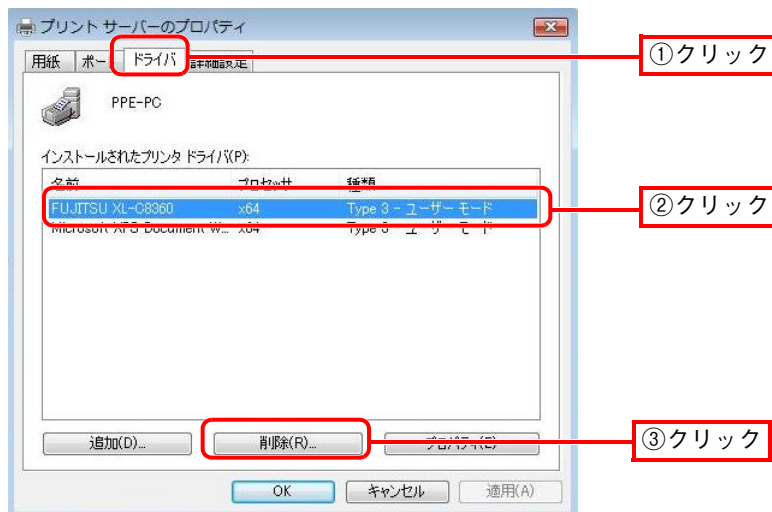
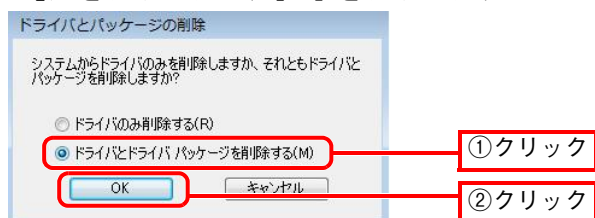
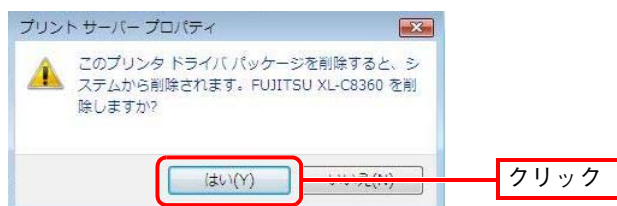
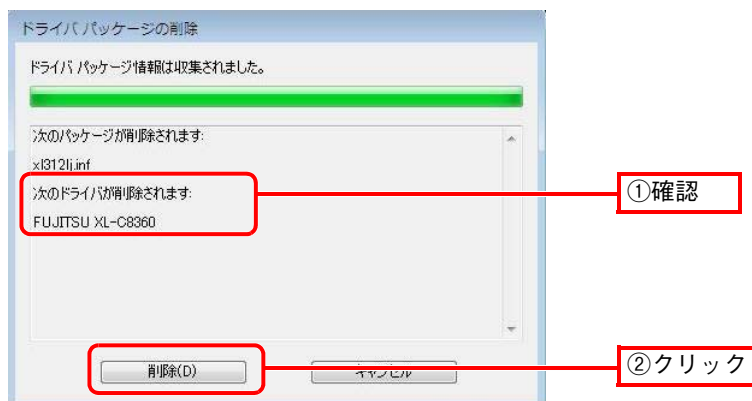
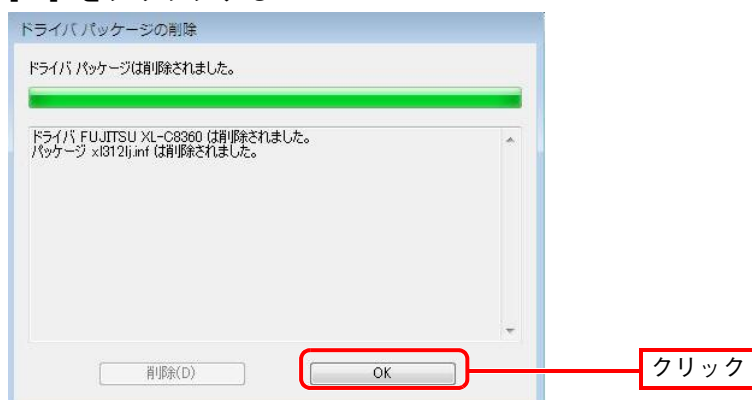
2 削除するプリンタを右クリックして、「削除」または「デバイス削除」をクリックする

Windows Vista で「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は［続行］をクリックする

3 ［はい］をクリックする

4 「サーバーのプロパティ」フォルダ、または「プリントサーバーのプロパティ」フォルダを開く

・Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合
①「プリンタ」フォルダの何もない部分を右クリックし、表示されたメニューから［管理者として実行］－［サーバーのプロパティ］の順にクリックする。
「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、［続行］をクリックする
・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
①「デバイスとプリンター」フォルダでプリンターを選択する
②「プリントサーバーのプロパティ」をクリックする

5 ①「ドライバー」（または「ドライバ」）タブをクリックし、②削除するドライバー（またはドライバパッケージ）をクリックし、③「削除」をクリックする

6 「ドライバとドライバパッケージを削除する」(または「ドライバーとパッケージ」) をクリックし、[OK] をクリックする

7 [はい] をクリックする

8 削除するドライバパッケージを確認し、[削除] をクリックする

9 [OK] をクリックする

10 [閉じる] をクリックする

第6章
添付ソフトウェアの機能と利用方法

この章では、添付ソフトウェアの機能と利用方法について説明します。

FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合

LPR 印刷を行うには、FUJITSU LPR ユーティリティを使用します。ここでは、FUJITSU LPR ユーティリティのインストール方法、機能、削除方法について説明します。

ガイド

Windows 98/Me/NT 4.0 の場合、ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストールを行っていれば、FUJITSU LPR ユーティリティはインストールされています。

参照 「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（62 ページ）参照

お願い

Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008/Windows x64 Edition の場合、FUJITSU LPR ユーティリティは使用できませんので、インストールしないでください。

FUJITSU LPR ユーティリティをインストールする

FUJITSU LPR ユーティリティをインストールし、プリンタポートを設定することにより LPR 印刷ができます。次の手順に従って、FUJITSU LPR ユーティリティのインストール、およびプリンタポートの設定を行ってください。

添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

ガイド

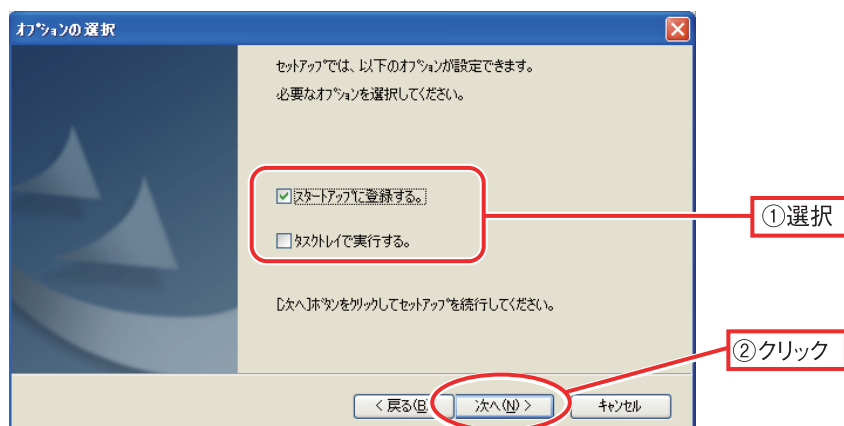
インストーラの画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

2 「FUJITSU LPR ユーティリティ」を選択する

以降は画面の指示に従ってインストールします。

「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよくお読みください。
「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、次へをクリックすると「インストール先の選択」画面が表示されます。

3 インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックする

4 スタートアップに登録するかどうか、タスクバーに登録するかどうかを選択し、[次へ] をクリックする

ガイド

- 「スタートアップに登録する」を ☑ にすると、パソコンを起動した際に「FUJITSU LPR ユーティリティ」のメインウィンドウを表示します。
- 「タスクバーに登録する」を ☑ にすると、タスクバーに「FUJITSU LPR ユーティリティ」のアイコンを登録します。アイコンをクリックするとメインウィンドウを表示します。
- 「スタートアップに登録する」「タスクバーに登録する」を ☐ にしても、印刷を開始すると自動で「FUJITSU LPR ユーティリティ」が起動します。

5 「プログラムフォルダの選択」画面でプログラムフォルダを確認し、[次へ] をクリックする

引き続き「プリンタの追加」を行う場合は「セットアップの完了」画面で「はい、FUJITSU LPR ユーティリティを起動します」を☑にし、［完了］をクリックする

FUJITSU LPR ユーティリティが起動します。

以上でインストールは完了です。

プリンタを追加する

●準備

プリンタドライバはインストールしておいてください。

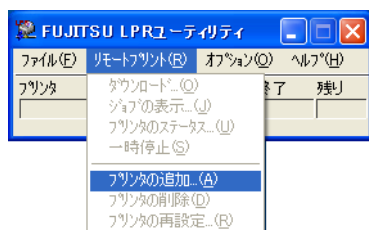
FUJITSU LPR ユーティリティを起動する

［スタート］－［プログラム］（Windows XP/Window Server 2003 のときは、［すべてのプログラム］）－［FUJITSU］－［FUJITSU LPR ユーティリティ］の順にクリックし、［FUJITSU LPR ユーティリティ］をクリックする

FUJITSU LPR ユーティリティのインストール時に次の設定にしていた場合は、FUJITSU LPR ユーティリティは起動しています。その場合は 2 へ進んでください。

・「☑ スタートアップに登録する」にした

・「セットアップの完了」画面で「☑ はい、FUJITSU LPR ユーティリティを起動します」で、［完了］をクリックした

2 ［リモートプリンタ］メニューの「プリンタの追加」をクリックする

3 プリンタを選択し、「IP アドレス」にプリンタの IP アドレスを半角とピリオド「XXX. XXX. XXX. XXX」の形式で入力し、［詳細設定］をクリックする

（※画面はプリンタ名：FUJITSU XL-xxxx、IP アドレス：192.168.100.100 の設定例です。）

ガイド

［検索］をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。

4 ［詳細設定］をクリックする

5 「LPR バイトカウントを有効にする」を ☑ にし、［OK］をクリックする

6 「プリンタの追加」画面で、［OK］をクリックする

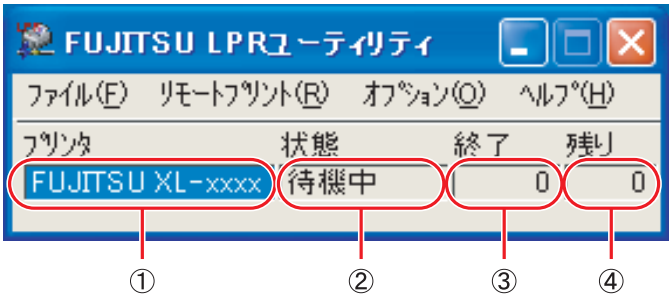
メインウィンドウに XL-xxxx が追加されます。

以上でインストールとプリンタの設定は完了です。

FUJITSU LPR ユーティリティの機能

FUJITSU LPR ユーティリティの機能について説明します。

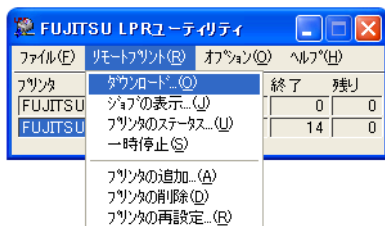
メインウィンドウ

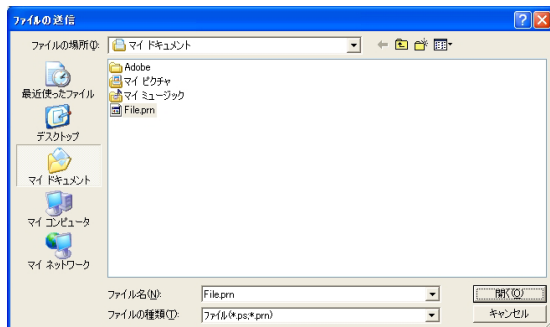
メインウィンドウでは、FUJITSU LPR ユーティリティのステータスを表示できます。

<table>
<tr><td>①</td><td>プリンタ</td><td colspan="2">登録されているプリンタ名を表示する。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">②</td><td rowspan="9">状態</td><td colspan="2">FUJITSU LPR ユーティリティのプリンタポートの状態を表示する。</td></tr>
<tr><td>状態</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>待機中</td><td>プリンタポートが待機中の状態</td></tr>
<tr><td>接続中</td><td>プリンタに接続を試みている状態</td></tr>
<tr><td>送信中 - **%</td><td>プリンタにデータを送信している状態
%表示は送信済みの割合</td></tr>
<tr><td>停止中</td><td>［リモートプリント］メニューで一時停止された、もしくはエラーが発生して送信を停止している状態</td></tr>
<tr><td>問合せ中</td><td>プリンタのステータスを問い合わせている状態</td></tr>
<tr><td>未接続</td><td>［スタート］－［設定］－［プリンタ］（Windows XP/Windows Server 2003 では、［プリンタと FAX］）フォルダからプリンタが削除された、もしくは、プリンタの IP アドレスが正しく設定されていない状態
印刷できない状態</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>③</td><td>終了</td><td colspan="2">送信が終了したジョブ数を表示する。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>残り</td><td colspan="2">送信が終了していないジョブ数を表示する。</td></tr>
</table>

●ファイルのダウンロード

印刷データファイルをプリンタに送信することができます。

1. プリンタを選択する

2. ［リモートプリント］メニューの「ダウンロード」を選択する

3. ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックする

ファイルがダウンロードされ、印刷が開始されます。

ガイド

他機種のプリンタの印刷データファイルを、ファイルのダウンロードで印刷することはできません。他機種のプリンタの印刷データファイルを選択し、［開く］をクリックすると、プリンタ本体の故障の原因となります。

●ジョブの表示、削除、転送

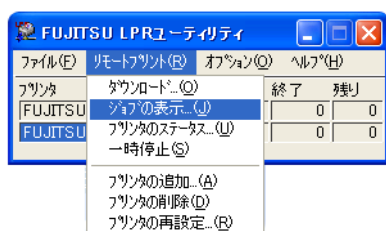
印刷ジョブを表示したり、削除したりすることができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れなどで印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

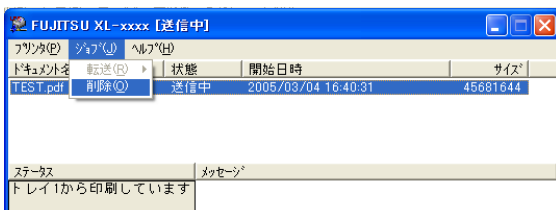
お願い

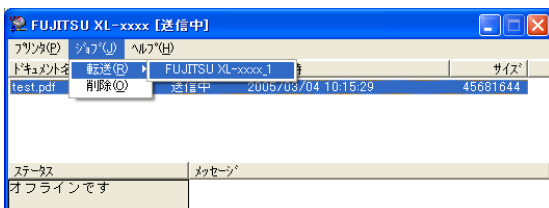
他機種のプリンタへの転送はできません。

1. プリンタを選択する

2. ［リモートプリント］メニューの「ジョブの表示」を選択する

ジョブが表示されます。

3. 印刷ジョブを削除する場合は、削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの「削除」を選択する

ジョブが削除されます。

4. 印刷ジョブを転送する場合は、転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの「転送」をクリックし転送先のプリンタを選択する

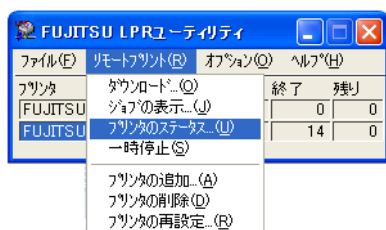
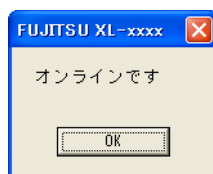
転送先のプリンタにジョブが送られます。

ガイド

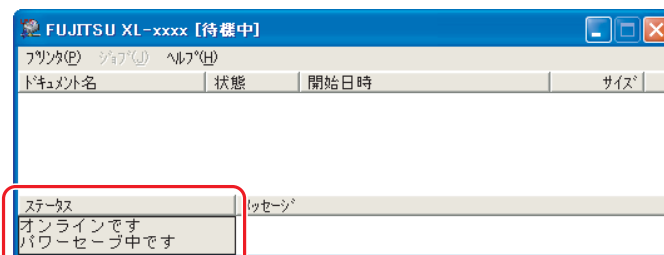
転送できるプリンタは、あらかじめ FUJITSU LPR ユーティリティに設定されている必要があります。
ジョブの自動転送の設定については、「ジョブの自動転送」（208 ページ）を参照してください。

●プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示できます。

1 プリンタを選択する

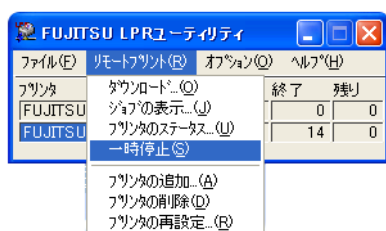
2 ［リモートプリント］メニューの「プリンタのステータス」を選択する

プリンタのステータスが表示されます。

ガイド

プリンタのステータスは、［リモートプリンタ］メニューの「ジョブの表示」、［ステータス］でも確認できます。

●一時停止

印刷データの送信を停止したり、停止状態を解除したりすることができます。

プリンタを選択する

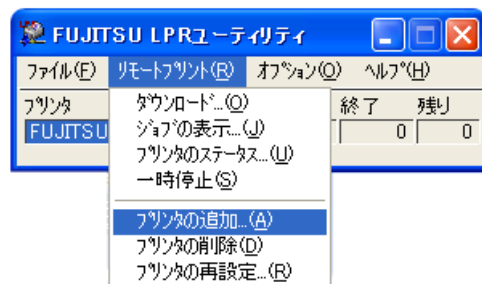
[リモートプリント]メニューの「一時停止」を選択する

状態欄は「停止中」になり、メニューにはチェックがつきます。
一時停止中に選択すると、一時停止状態を解除します。
送信中のジョブを一時停止すると、「現在送信中のジョブが再送信になりますがよろしいですか?」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックするとジョブの送信をいったん中止します(一時停止解除後再送信)。
「いいえ」がクリックされたら一時停止を解除し、送信を続けます。

●プリンタの追加

印刷先のポートを FUJITSU LPR ポートに変更することができます。

ガイド

すでにFUJITSU LPRユーティリティに登録されているプリンタは追加できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」(211 ページ)を選択してください。
また、FUJITSU LPR ユーティリティにはプリンタを 30 台まで登録することができます。

1 [リモートプリント]メニューの「プリンタの追加」を選択する

2 「プリンタ」を選択し、「IP アドレス」にプリンタの IP アドレスを半角とピリオドで「XXX. XXX. XXX. XXX」の形式で入力し、［詳細設定］をクリックする

（※画面はプリンタ名：FUJITSU XL-xxxx_1、IP アドレス：192.168.100.101 の設定例です。）

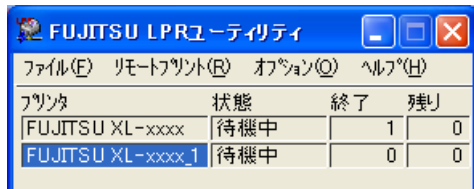
ガイド

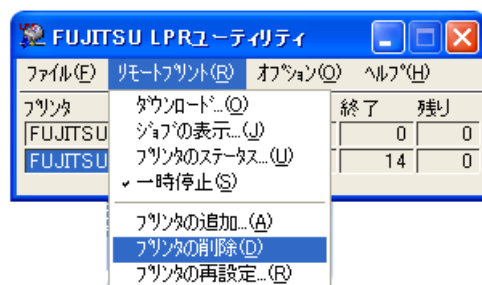
［検索］をクリックし、ネットワーク上のプリンタを選択すると IP アドレスを設定できます。

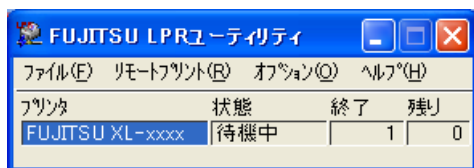
3 「LPR バイトカウントを有効にする」を ☑ にし、［OK］をクリックする

ガイド

- 「LPR バイトカウントを有効にする」を ☑ にしないと、データ数をチェックしない、信頼性の低い通信になります。必ずチェックを付けてください。
- ［プリンタ］には、［プリンタ］（Windows XP/Windows Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」）フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。
- ［検索］をクリックしてネットワーク上のプリンタを検索することもできます。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

●プリンタの削除

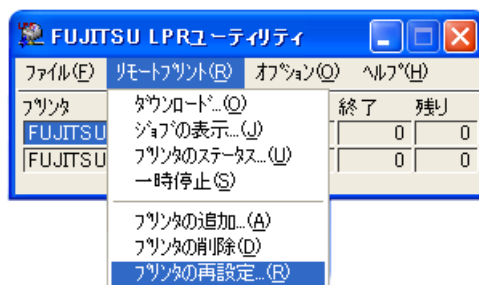
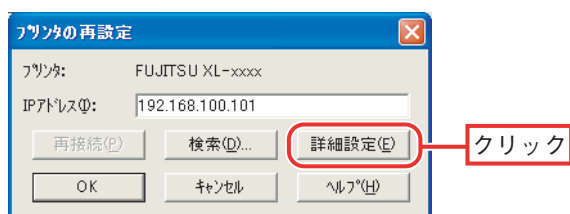
1. プリンタを選択する
2. ［リモートプリント］メニューの「プリンタの削除」を選択する

3. 削除のメッセージが表示され、「はい」をクリックする

メインウィンドウからプリンタが削除されます。

●ジョブの自動転送

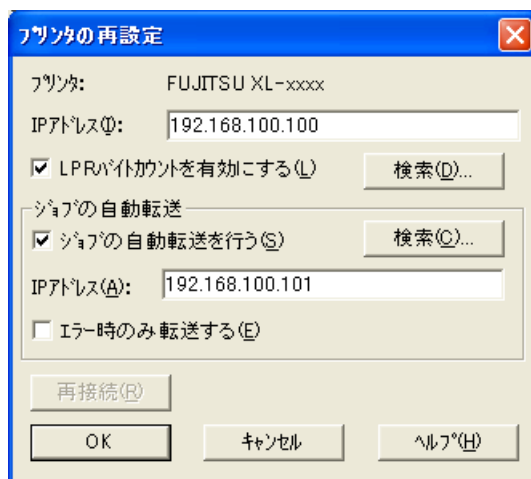
プリンタが使用中やオフライン、用紙切れなどで印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

他機種のプリンタへの転送はできません。

1. プリンタを選択する

2 ［リモートプリント］メニューの「プリンタの再設定」を選択する

3 ［詳細設定］ボタンをクリックする

4 「ジョブの自動転送を行う」を☑にし、転送先となるプリンタの IP アドレスを入力する

（※画面はIPアドレス：192.168.100.101 のプリンタへ自動転送する場合の設定例です。）

ガイド

［検索］をクリックして、ネットワーク上のプリンタを検索することもできます。

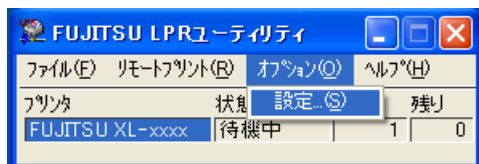
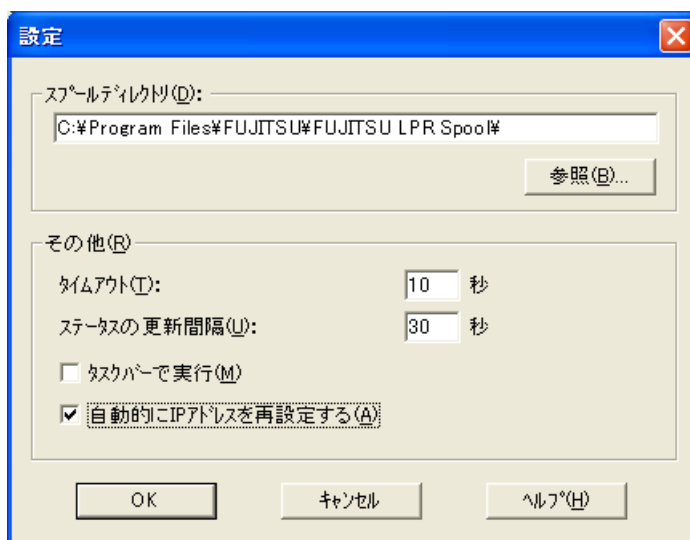
5 ［OK］をクリックする

● IP アドレスの自動再設定

DHCP サーバに接続しプリンタの電源を入れるたびにプリンタの IP アドレスが変更になる場合、変更された IP アドレスを検索し自動的に再設定することができます。

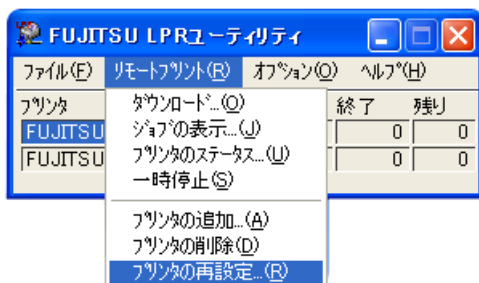
ガイド

検索対象は、FUJITSU LPRユーティリティの検索範囲設定に従います。

1. [オプション] メニューの「設定」を選択する

2. 「自動的に IP アドレスを再設定する」を ☑ にする

3. [OK] をクリックする

●プリンタの再設定

すでに FUJITSU LPR ユーティリティに登録されているプリンタの設定ができます。

プリンタを選択する

2 ［リモートプリント］メニューの「プリンタの再設定」を選択する

3 必要な項目を再度設定する

「プリンタの追加」（206 ページ）、「ジョブの自動転送」（208 ページ）で設定できる項目が再設定の対象となります。

FUJITSU LPR ユーティリティを削除する

1 タスクバーにある FUJITSU LPR ユーティリティアイコンを右クリックする

アイコンが表示されていない場合は、3 へ進んでください。

2 表示されるメニューの「終了」を選択する

3 FUJITSU LPR ユーティリティの削除を起動する

・Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合
　［スタート］－［プログラム］－［FUJITSU］－［FUJITSU LPR ユーティリティ］を選択し、［FUJITSU LPR ユーティリティの削除］をクリックする
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
　［スタート］－［すべてのプログラム］－［FUJITSU］－［FUJITSU LPR ユーティリティ］を選択し、［FUJITSU LPR ユーティリティの削除］をクリックする

4 削除を確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックする

FUJITSU LPR ユーティリティのアンインストールが行われます。

ガイド

FUJITSU LPRユーティリティのインストール先のフォルダやスプール先のフォルダに、インストール後に追加したファイルが存在すると、フォルダを削除できません。あらかじめ、余分なファイルを削除してから［FUJITSU LPR ユーティリティの削除］を行ってください。

Network Extension

FUJITSU LPR ユーティリティ、または FJRAW ポートでネットワークに接続された XL プリンタの情報を表示し、設定に反映するには Network Extension を使用します。
ここでは、Network Extension のインストール方法、機能、アンインストール方法について説明します。

ガイド

インストーラからプリンタドライバをインストールすると、ネットワーク接続に必要な FUJITSU LPR ユーティリティ、または FJRAW ポートと Network Extension が自動的にインストールされます。

Network Extension をインストールする

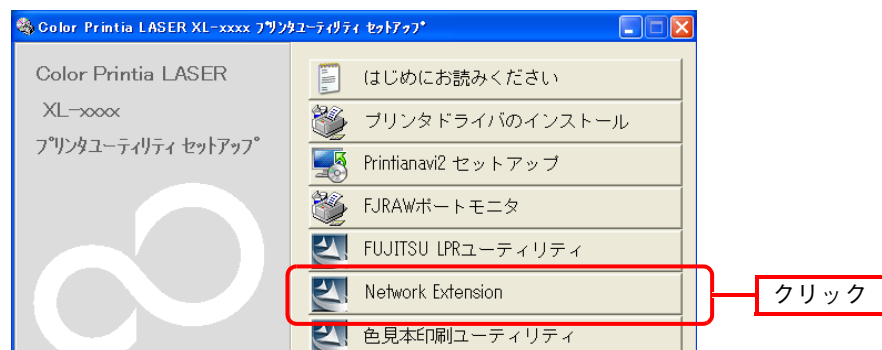
1 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

ガイド

- インストーラの画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- Windows Vista/7/Windows Server 2008 の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

2 「Network Extension」を選択する

以降はダイアログの指示に従ってインストールします。

Windows Vista/7/Windows Server 2008 でユーザーアカウント制御画面が表示されたら「続行」(または「はい」)をクリックします。
「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよくお読みください。
「はい」をクリックすると、インストールを開始します。

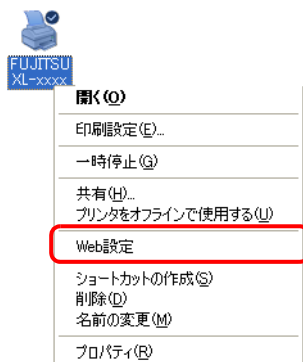
［完了］をクリックする

以上でインストールは完了です。

Network Extension の機能

メニュー表示

Network Extension がインストールされると、対応したプリンタを選択して右クリックしたときに表示されるメニューに、「Web 設定」が追加されます。

ガイド

「Web 設定」は Windows 7/Windows Server 2008 では表示されません。

項　目	内　容
Web 設定	Color Printia LASER Internet Service を起動します。 参照 「第 7 章　Web サーバ機能（Color Printia LASER Internet Service）」（233 ページ）参照

［デバイスオプション］ダイアログ

Network Extension をインストールすることにより、プリンタドライバの［デバイスオプション］ダイアログの［プリンタ情報を取得する］ボタンでプリンタ情報を取得することができます。

「第 5 章　プリンタドライバの機能と利用方法」「［デバイスオプション］ダイアログ」（165 ページ）参照

Network Extension を削除する

1 Network Extension の削除を起動する

・Windows Me/98/NT 4.0/2000/Windows Server 2003 の場合
①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［アプリケーションの追加と削除］をクリックする
②「FUJITSU　Network Extension」を選択し、画面の指示に従って削除する

・Windows XP の場合
①［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］をクリックする
②「FUJITSU Network Extension」を選択し、画面の指示に従って削除する

・Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 の場合
①［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラム］の［プログラムのアンインストール］をクリックする
②「FUJITSU Network Extension」を選択し、画面の指示に従って削除する

カラー調整ユーティリティ

カラー調整ユーティリティは、ディスプレイに表示される色とプリンタで出力される色が近づくように色を調整するソフトウェアです。

ガイド

カラー調整ユーティリティで設定した値は、プリンタドライバの［カラー］ダイアログー［カラー調整詳細設定］ダイアログー「RGB 設定」メニューにある［ユーザ設定］で選択することができます。

お願い

カラー調整ユーティリティは、サーバを経由した共有プリンタ、または IPP での印刷では使用できません。ローカル接続にするか、IP アドレスを指定してプリンタをご使用ください。

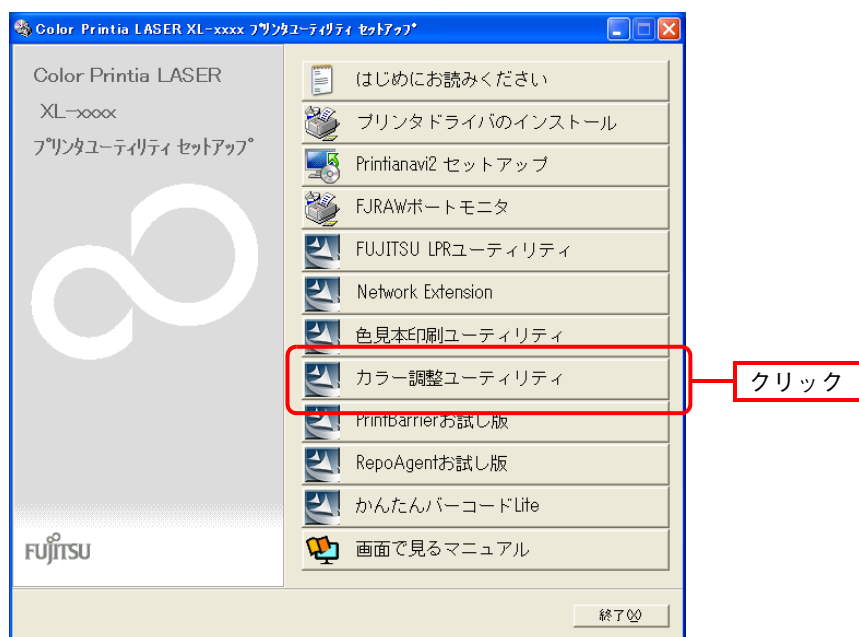
カラー調整ユーティリティをインストールする

1 **添付の CD-ROM をパソコンにセットする**

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

ガイド

・インストーラの画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
・Windows Vista/7/Windows Server 2008 の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

2 「カラー調整ユーティリティ」を選択し、［インストール］をクリックする

Windows Vista/7/Windows Server 2008 でユーザーアカウント制御画面が表示されたら「続行」（または「はい」）をクリックします。
「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよくお読みください。
「はい」をクリックすると「インストール先の選択」画面が表示されます。

3 以降は、画面の指示に従ってインストールします。

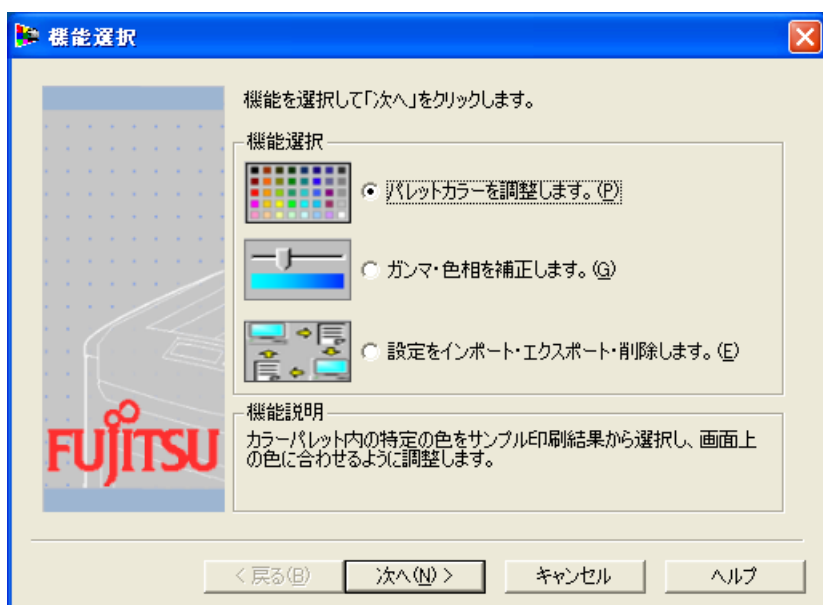
4 「完了」をクリックする

以上でインストールは完了です。

カラー調整ユーティリティの起動方法

［スタート］－［プログラム］（Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 では［すべてのプログラム］）－［FUJITSU］－［カラー調整ユーティリティ］の順にクリックし、［カラー調整ユーティリティ］をクリックしてください。

カラー調整ユーティリティの機能

［機能選択］ダイアログ

項　目	内　容
パレットカラーを調整します	オフィス向けアプリケーションでよく利用されるカラーパレットの色を、プリンタで印刷した色見本サンプルの中から選択することによって、モニタで表示されているカラーパレットの色に近い色に調整します。
ガンマ・色相を補正します	出力色の全体的な傾向を調整することができます。 ガンマの調整では色の全体的な明暗の傾向を調整します。 色相／明度・彩度の調整では色再現域の頂点の色となる RGB、CMY の各色の色相／明度・彩度を調整することで、出力色を全体的に調整します。
設定をインポート・エクスポート・削除します	本ユーティリティを使用して保存した設定を、別のコンピュータで利用する場合に、設定のインポート／エクスポートを行います。また不要になった設定を削除することもできます。

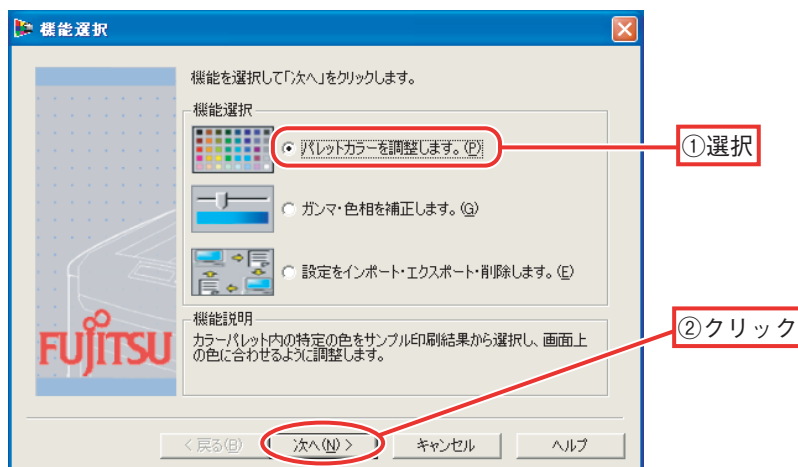
お願い

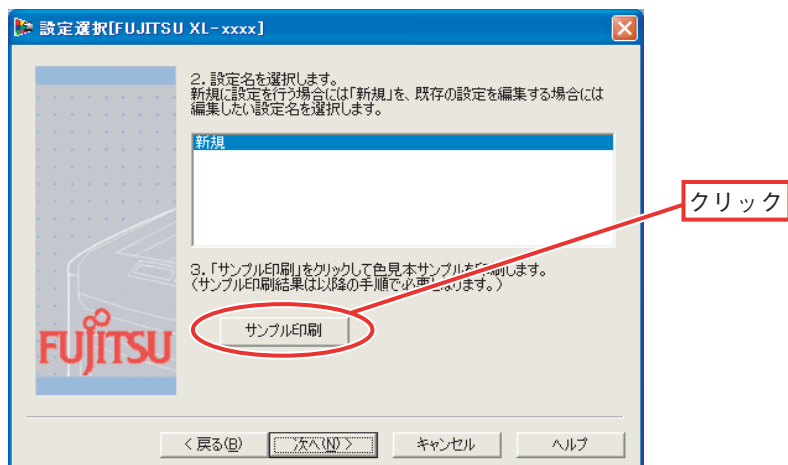
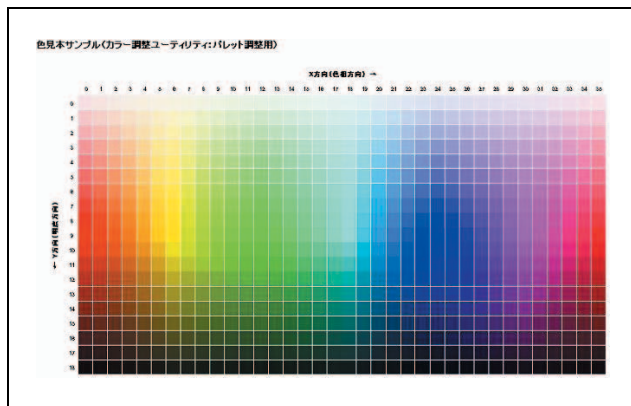
RGB カラースペース以外のカラースペースで表現された印刷データ（例えば CMYK データ）に対して調整結果は有効になりません。

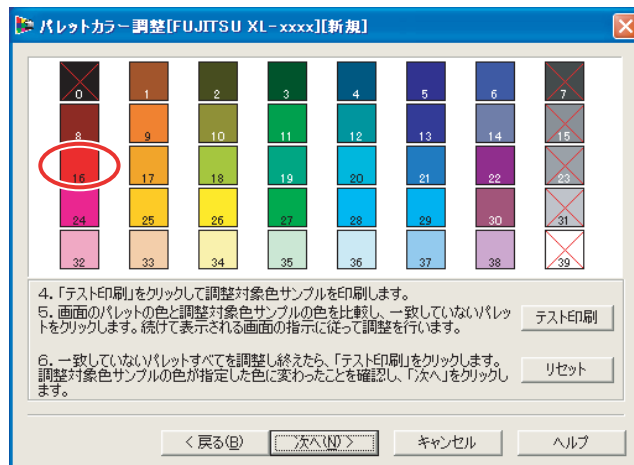
パレットカラーを変更してカラーマッチングする

1. **カラー調整ユーティリティを起動する**

［スタート］－［プログラム］（Windows XP/Vista/Windows Server 2003/2008 では［すべてのプログラム］）－［FUJITSU］－［カラー調整ユーティリティ］の順にクリックし、［カラー調整ユーティリティ］をクリックしてください。

2. **「パレットカラーを調整します」を選択し、［次へ］をクリックする**

3. **「プリンタ選択」画面で、対象プリンタを選択し、［次へ］をクリックする**

4. **「設定選択」画面が表示されたらリストボックスから設定を選択し、［サンプル印刷］をクリックする**

次のようなサンプルが印刷されます。

❺ ［次へ］をクリックする

「パレットカラー調整」画面が表示されます。

❻ ［テスト印刷］をクリックする

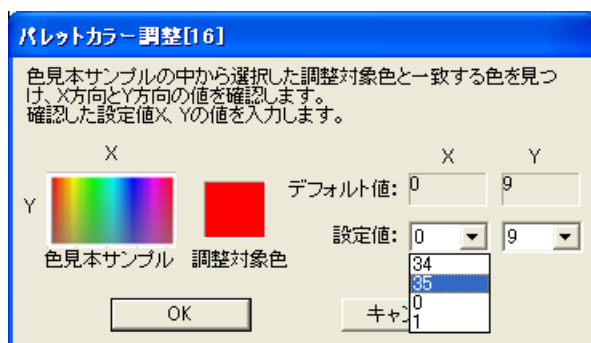
「調整対象色サンプル」が印刷されます。

❼ 「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較し、異なる色があった場合は、調整を行う

以下は❺の赤丸部分のパレットカラーを調整する場合の例です。

❽ 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックする

「調整値入力」画面が表示されます。

9 X 値、Y 値のプルダウンで調整可能な範囲を確認する

ガイド

全体のバランスが考慮されるため、調整可能な範囲は色により異なります。

10 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認する

11 確認した X 値と Y 値を選択し、[OK] をクリックする

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

12 [テスト印刷] をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷する。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルに近づいているか確認し、[次へ] をクリックする

他にも調整したい色がある場合は、8～12を繰り返します。

13 設定の名前を入力し、[保存] をクリックする

14 [OK] をクリックする

お願い

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択] にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了] をクリックしてください。

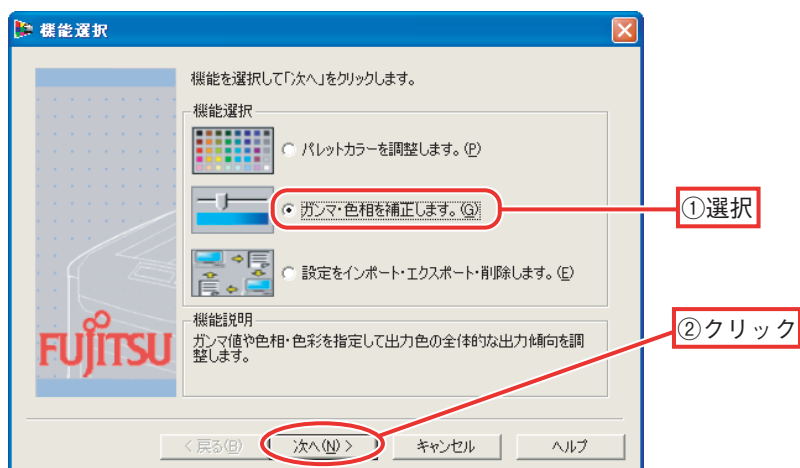
15 [完了] をクリックする

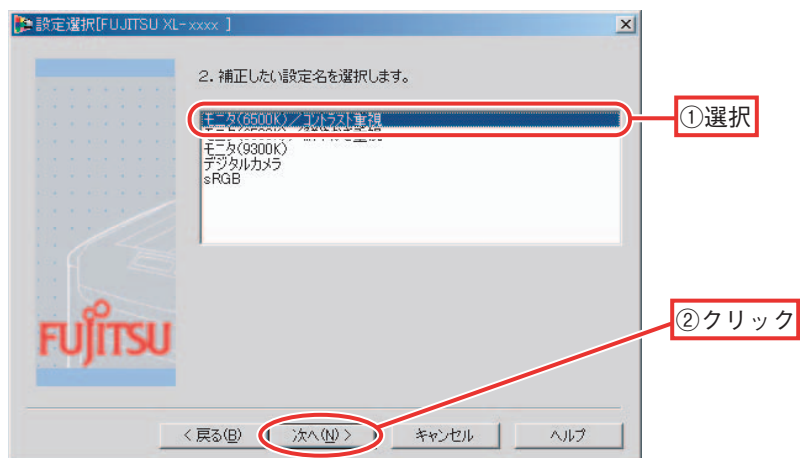
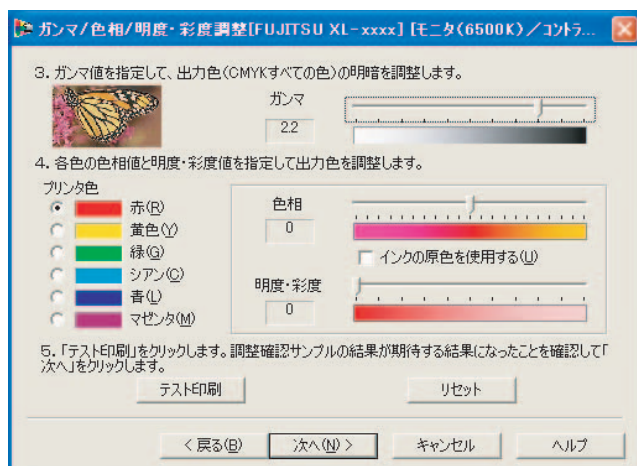
以上でパレットカラー調整値の作成は完了です。

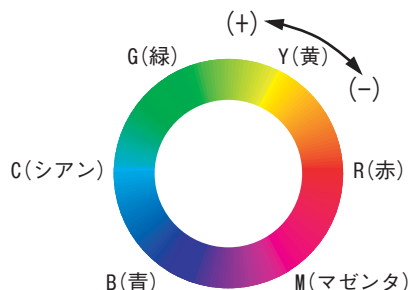
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングする

1 カラー調整ユーティリティを起動する

［スタート］－［プログラム］（Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 では［すべてのプログラム］）－［FUJITSU］－［カラー調整ユーティリティ］の順にクリックし、［カラー調整ユーティリティ］をクリックしてください。

2 「ガンマ・色相を補正します」を選択し、［次へ］をクリックする

3 「プリンタ選択」画面で、対象プリンタを選択し、［次へ］をクリックする

4 リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックする

ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整する

ガイド

- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色を切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（+）または逆方向（－）に各色を調整します。例えば、Y（黄）のスライドバーを（+）方向に動かすと G（緑）に近づき、（－）方向に動かすと R（赤）に近づきます。

- ［インクの原色を使用する］にチェックを付けると、プリンタの色相に一致させることができ、以下のように印刷します。

色相	印刷トナー
R	イエロー 50% + マゼンタ 50%
Y	イエロー 100%
G	シアン 50% + イエロー 50%
C	シアン 100%
B	マゼンタ 50% + シアン 50%
M	マゼンタ 100%

6 ［テスト印刷］をクリックする

「調整確認サンプル」が印刷されます。

7 調整結果を確認し、［設定］をクリックする

希望する調整結果が得られない場合は、5、6を繰り返します。

8 設定名を入力し、［保存］をクリックする

9 ［OK］をクリックする

お願い

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［完了］をクリックしてください。

10 ［完了］をクリックする

以上でガンマ値・色相を補正した調整値の作成は完了です。

カラー調整ユーティリティで作成した調整値の使い方

●アプリケーションから印刷する際の指定

1 お使いのアプリケーションの［ファイル］メニューの「印刷」を選択する

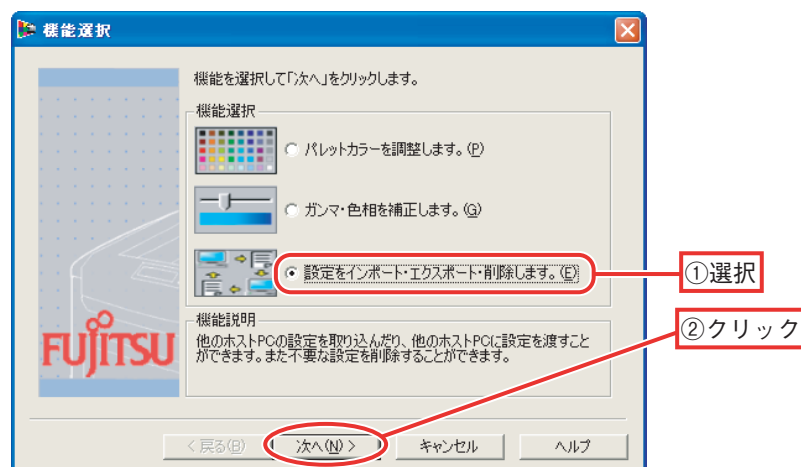
2 ［プロパティ］（Windows XP では［詳細設定］）をクリックする

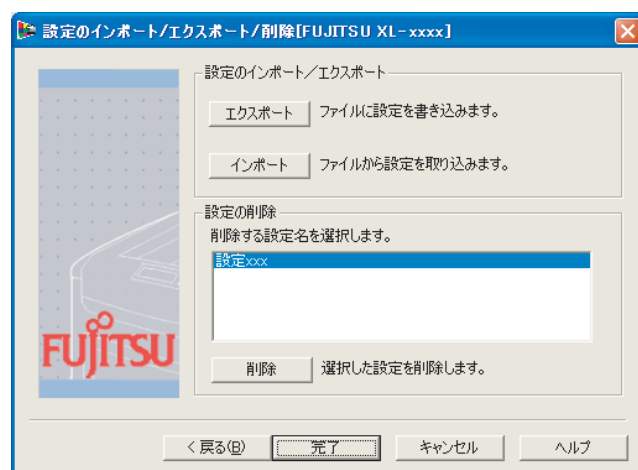
3 ［カラー］ダイアログの「カラーモード」で「カラー調整」を選択し、［詳細］ボタンをクリックする

4 ［カラー調整詳細設定］ダイアログの「RGB カラー設定」で［ユーザ設定］を☑し、カラー調整ユーティリティで作成した設定名を選択する

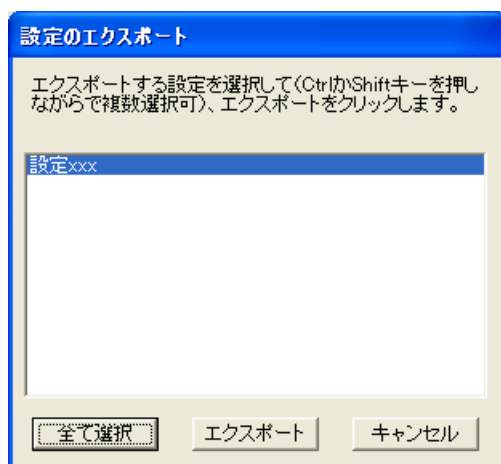
カラー調整ユーティリティで作成した調整値を、他のPCと共有または削除する

1. カラー調整ユーティリティを起動する
   ［スタート］－［プログラム］（Windows XP/Vista/Windows Server 2003/2008 では［すべてのプログラム］）－［FUJITSU］－［カラー調整ユーティリティ］の順にクリックし、［カラー調整ユーティリティ］をクリックしてください。

2. 「設定をインポート・エクスポート・削除します」を選択し、［次へ］をクリックする

3. 「プリンタ選択」画面でプリンタを選択し、［次へ］をクリックする

4. 「設定のインポート / エクスポート / 削除」画面で、行う処理を選択する

●設定をエクスポートする

① ［エクスポート］をクリックする

② ［設定のエクスポート］ダイアログで「エクスポートする設定」をリストボックスから選択、または［全て選択］をクリックし、［エクスポート］をクリックする

③ 設定を保存するフォルダ名を設定し、［保存］をクリックする

④ ［設定のエクスポート］ダイアログで設定がフォルダに格納されたことを確認し、［OK］をクリックする

以上でエクスポートは完了です。

●設定をインポートする

① ［インポート］をクリックする

② ［ファイルを開く］ダイアログでCCMファイル（拡張子：ccm）を選択し、［開く］をクリックする

●設定を削除する

① 「設定の削除」で削除する設定名をリストボックスから選択し、［削除］をクリックする

② 「この設定を削除しますか？」警告画面で、削除してよければ［はい］をクリックする

5 **［設定のインポート / エクスポート / 削除］ダイアログで、［完了］をクリックする**

カラー調整ユーティリティを削除する

カラー調整ユーティリティの削除を起動する

・Windows Me/98/NT 4.0/2000/Windows Server 2003 の場合
　①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［アプリケーションの追加と削除］をクリックする
　②「FUJITSU カラー調整ユーティリティ」を選択し、画面の指示に従って削除する
・Windows XP の場合
　①［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］をクリックする
　②「FUJITSU カラー調整ユーティリティ」を選択し、画面の指示に従って削除する
・Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 の場合
　①［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラム］の［プログラムのアンインストール］をクリックする
　②「FUJITSU カラー調整ユーティリティ」を選択し、画面の指示に従って削除する

以上で　カラー調整ユーティリティの削除は完了です。

色見本印刷ユーティリティ

色見本印刷ユーティリティはプリンタでRGB色の色見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのようなRGB値の指定を行えばよいかを確認することができます。

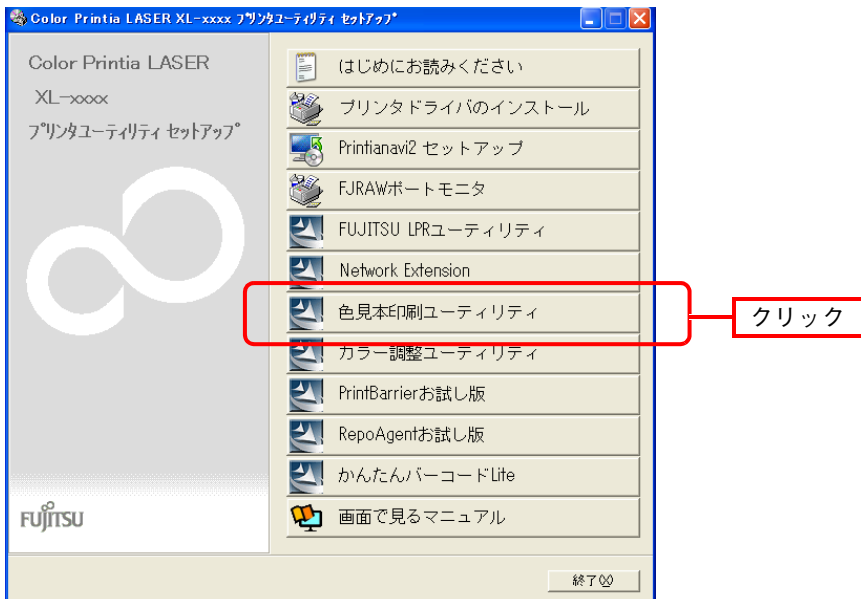
色見本印刷ユーティリティをインストールする

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする

インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

ガイド

- インストーラの画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROMの内容を表示し、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- Windows Vista/7/Windows Server 2008 の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

2 「色見本印刷ユーティリティ」を選択する

Windows Vista/7/Windows Server 2008 でユーザーアカウント制御画面が表示されたら「続行」（または「はい」）をクリックします。

「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよくお読みください。

「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、次へをクリックすると「インストール先の選択」画面が表示されます。

以降は画面の指示に従ってインストールします。

3 ［完了］をクリックする

以上でインストールは完了です。

色見本印刷ユーティリティの機能

色見本印刷ユーティリティは、あらかじめ用意された 168 色のシンプル色見本、またはカスタマイズしたカスタム色見本を印刷できます。ここでは、印刷方法とカスタマイズの方法を説明します。

色見本印刷ユーティリティを起動する

1 ［スタート］－［プログラム］（Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 は［すべてのプログラム］）－［FUJITSU］－［色見本印刷ユーティリティ］を順に選択し、［色見本印刷ユーティリティ］をクリックする

シンプル色見本を印刷する

1 「シンプル色見本」画面の［印刷］をクリックする

2 プリンタを選択する

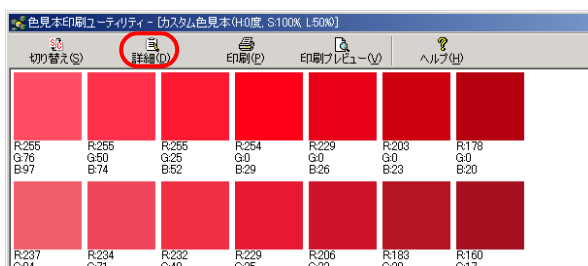
［OK］をクリックする

色見本が印刷されます。（3 ページ：168 色）

カスタム色見本を印刷する

シンプル色見本で、確認したい色がない場合は、カスタム色見本で好みの色を印刷することができます。

「シンプル色見本」画面で［切替］をクリックする

「カスタム色見本」が表示されます。

［詳細］をクリックする

希望の色がモニタ画面に表示されるまで、3 つのバーを調整し、調整後、[閉じる] をクリックする

色相	色相を変更します。0 は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。 増加 0
彩度	鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色（グレー）となります。 彩度 100 ↓ 彩度 0
明度	濃さを変更します。明度が最大（100%）の場合には白、最も暗くなる（0%）と黒となります。 明度 0　明度 100

4 [印刷] をクリックする

5 プリンタを選択する

6 [OK] をクリックする

プリンタから 1 ページ印刷されます。

7 色見本に希望する色が見つからない場合は、2 から繰り返す

アプリケーションで希望の色を印刷する

印刷された色見本から印刷したい色の、RGB 値を確認する

1 で確認した RGB 値をアプリケーションで設定し、印刷する

ガイド

・アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。
・カラーマッチング機能を持っているアプリケーションや、RGB 以外の色空間で色を扱うアプリケーションなど、お使いのアプリケーションによっては色見本の RGB 値を入力できない場合があります。
また、入力可能であっても実際に印刷された結果が希望する色見本の色と異なる場合があります。

色見本印刷ユーティリティを削除する

インストールした「色見本印刷ユーティリティ」が不要になった場合は、「色見本印刷ユーティリティ」を削除することができます。

色見本印刷ユーティリティの削除を起動する

・Windows 98/Me/NT 4.0/2000/Windows Server 2003 の場合
①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［アプリケーションの追加と削除］の順にクリックする
②［FUJITSU 色見本印刷ユーティリティ］を選択し、画面の指示に従って削除する
・Windows XP の場合
①［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］の順にクリックする
②［FUJITSU 色見本印刷ユーティリティ］を選択し、画面の指示に従って削除する
・Windows Vista/7/Windows Server 2008 の場合
①［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラム］の［プログラムのアンインストール］の順にクリックする
②［FUJITSU 色見本印刷ユーティリティ］を選択し、画面の指示に従って削除する

以上で色見本印刷ユーティリティの削除は完了です。

第7章
Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service)

Color Printia LASER Internet Serviceでは、Webブラウザから、インターネットやLAN（TCP/IP）に接続されたXLプリンタに関して次のことができます。
・プリンタの状態を参照する
・ネットワークに関する設定を変更する

この章では、Color Printia LASER Internet Serviceの使い方について説明します。

概　要

ここでは、Color Printia LASER Internet Service をご使用になるうえで必要なことがらについて説明します。

Color Printia LASER Internet Service とは

Color Printia LASER Internet Service は、インターネットや LAN（TCP/IP）に接続された XL プリンタの状態を参照、印刷したり、プリンタのネットワークに関する設定を変更したりするためのコンテンツです。
プリンタに直接搭載されているため、Web ブラウザがインストールされたパソコンであれば、専用ソフトのインストールなしで使用することができます。

動作環境

Color Printia LASER Internet Service は、以下の製品版 Web ブラウザで動作します。
・ Netscape Communicator 7.0 以上
・ Microsoft Internet Explorer 5.0 以上

なお、ご使用になるブラウザで次の機能を使用可能にしておいてください（設定方法の詳細については、Web ブラウザの取扱説明書やヘルプ等を参照してください）。
・ JavaScript（必須）
　ステータス表示の自動更新や設定時の処理に JavaScript を使用しているため、JavaScript 未対応のブラウザでは正しく動作しません。
・ スタイルシート（推奨）
　スタイルシートが使用できない場合でも、Color Printia LASER Internet Service の機能には差し支えありませんが、表示が見にくくなる場合があります。
・ Cookie の使用（任意）
　Cookie が使用可能な場合は、ユーザ（Web ブラウザ）ごとにジョブリストのジョブキュー表示項目とステータス表示の自動更新に関する設定を行うことができます。Cookie を使用したくない場合は、プリンタ側に設定された初期設定で動作するようにも設定できます。

「ステータスウィンドウ」「更新間隔」（248 ページ）参照

「[ジョブリスト] タブ」（285 ページ）参照

Color Printia LASER Internet Service の使い方

ここでは、Color Printia LASER Internet Service の使い方について説明します。

準備

Color Printia LASER Internet Service をご使用になるには、プリンタの IP アドレスの設定が済んでいることが必要です。
また、プリンタが LAN に接続され、電源が入っていることを確かめてから操作を行ってください。

IP アドレスの設定方法は、『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

Color Printia LASER Internet Service で設定できる項目

タブ	メニュー	設定できる項目	設定値（工場出荷時に登録される初期設定）		参照先
プリンタ	一般プリンタ設定	プリンタ識別情報	プリンタ名	プリンタ名	「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「一般プリンタ設定」（257 ページ）
			設置場所	設定なし	
			プリンタの管理番号	設定なし	
			管理者の連絡先	設定なし	
	印刷メニュー	印刷方法	ジョブオフセット	オン	「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「印刷メニュー（印刷方法）」（258 ページ）
			OHP 検出	自動	
			モノクロ印刷速度	モード 1	
		印刷位置	X（横）補正	0.00	「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「印刷メニュー（印刷位置）」（259 ページ）
			Y（縦）補正	0.00	
			両面印刷 X（横）補正	0.00	
			両面印刷 Y（縦）補正	0.00	
	メディアメニュー	トレイ構成	トレイ 1	A5/A6	「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「メディアメニュー」（260 ページ）
			マルチパーパストレイ	A4	
			マルチパーパストレイ用紙サイズ	210 × 297 mm	
	カラーメニュー	通常設定	UCR	少ない	「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「カラーメニュー」（262 ページ）
			CMY 100％濃度	無効	
		カスタム設定	自動濃度補正モード	自動	
			濃度補正	設定なし	
			色ずれ補正	設定なし	

タブ	メニュー	設定できる項目	設定値（工場出荷時に登録される初期設定）		参照先
プリンタ	プリンタ構成メニュー	パワーセーブに関する設定	パワーセーブ移行時間	60 分	「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「プリンタ構成メニュー」（263 ページ）
			電力制御	普通	
		エラーに関する設定	ジャムリカバリ	オン	
		タイムアウトに関する設定	タイムアウト印刷	40 秒	
	インターフェースメニュー	パラレル	双方向モード	有効	「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「インターフェースメニュー（パラレル）」（264 ページ）
			ECP（双方向高速通信）	有効	
			ACK 幅	狭い	
			ACK/BUSY タイミング	ACK in BUSY	
			I-PRIME	無効	
		USB	スピード	480Mbps	「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「インターフェースメニュー（USB）」（265 ページ）
			ソフトリセット	無効	
			シリアル番号	有効	
	保存 / 復元	設定値を保存する			［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「保存／復元メニュー」（265 ページ）
		保存した設定値に戻す			
ネットワーク	一般ネットワーク設定	HUB との接続	HUB との接続の設定	Auto Negotiation	「［ネットワーク］タブ（管理者モードのみ）」「一般ネットワーク設定」（268 ページ）
	TCP/IP	IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法	自動取得	「［ネットワーク］タブ（管理者モードのみ）」「TCP/IP」（269 ページ）
		追加設定	DNS サーバアドレス（プライマリ）	設定なし	
			DNS サーバアドレス（セカンダリ）	設定なし	

タブ	メニュー	設定できる項目	設定値（工場出荷時に登録される初期設定）			参照先
ネットワーク	Email	Email 送信設定	SMTP 送信		無効	「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「Email（送信設定）」（271 ページ）
			SMTP サーバ名		設定なし	
			送信元アドレス		設定なし	
			セキュリティ設定	SMTP ポート番号	25	「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「SMTP セキュリティ設定」（272 ページ）
				SMTP 認証	無効	
			付加情報設定			「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「付加情報設定」（273 ページ）
			その他	返信先 Email アドレス	設定なし	「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「その他」（273 ページ）
		障害通知設定	障害通知アドレス		設定なし	「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「障害情報」（274 ページ）
		障害通知条件参照			設定なし	
	SNMP Trap	プリンタ Trap 設定	プリンタ Trap コミュニティ名設定		public	「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「SNMP Trap」（282 ページ）
			プリンタ Trap アドレス設定		設定なし	
			プリンタ Trap 送信条件設定		設定なし	
	IPP	基本的な設定	IPP		有効	「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「IPP（基本的な設定）」（283 ページ）
			管理者からの連絡事項		設定なし	
		認証の設定	認証		none	「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「IPP（認証の設定）」（284 ページ）
			ユーザー名 / パスワード		設定なし	
ジョブリスト	ジョブキュー	ジョブキュー表示項目設定			ドキュメント名	「[ジョブリスト] タブ」「ジョブキュー」（285 ページ）
					ジョブ状態	
					コンピュータ名	
					ユーザー名	

タブ	メニュー	設定できる項目	設定値（工場出荷時に登録される初期設定）		参照先
セキュリティ	プロトコル ON/OFF	サービス	Web サービス（ポート番号 :80）	有効	「[セキュリティ] タブ（管理者モードのみ）」「プロトコル ON/OFF」（288 ページ）
			IPP サービス（ポート番号 :631）	有効	
			SNMP サービス	有効	
		ポート番号	Web	80	
			SMTP	25	
	IP フィルタリング	IP フィルタリングの設定	IP フィルタリング	無効	「[セキュリティ] タブ（管理者モードのみ）」「IP フィルタリング」（289 ページ）
			IP フィルタリングの範囲	設定なし	
			管理者 IP アドレスの保存	設定なし	
	パスワード設定 / 変更	管理者のパスワード変更	新しい管理者のパスワード	PrintiaLaser	「[セキュリティ] タブ（管理者モードのみ）」「パスワードの設定 / 変更」（293 ページ）
		SNMP Read コミュニティの設定	新しい SNMP Read コミュニティ	public	
		SNMP Write コミュニティの設定	新しい SNMP Write コミュニティ	public	
メンテナンス	設定 / 情報の印刷	設定ページの印刷	設定内容	設定なし	「[メンテナンス] タブ（管理者モードのみ）」「設定 / 情報の印刷」（295 ページ）
			Network Information	設定なし	
			テスト印刷	設定なし	
			フォントリスト	設定なし	
			エラーログ	設定なし	
	再起動 / 初期化	プリンタの再起動		設定なし	「[メンテナンス] タブ（管理者モードのみ）」「再起動 / 初期化」（296 ページ）
		ネットワークの再起動		設定なし	
		プリンタの初期化		設定なし	
	LAN の規模の設定	LAN		普通	「[メンテナンス] タブ（管理者モードのみ）」「LAN の規模の設定」（297 ページ）
	HEX ダンプ	HEX ダンプモード		設定なし	「[メンテナンス] タブ（管理者モードのみ）」「HEX ダンプ」（297 ページ）

タブ	メニュー	設定できる項目	設定値（工場出荷時に登録される初期設定）		参照先
リンク	リンク編集メニュー	サポートリンク 5 件（＊）		設定あり	「[リンク] タブ」「リンク」(298 ページ)
		その他のリンク 5 件		設定なし	

＊サポートリンクの初期設定
ドライバダウンロード
http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html
テクニカルサポート
http://www.fmworld.net/biz/fmv/contact/
消耗品の注文
https://www.coworco.com/servlet/LoginUser
製品情報
http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/ac001.html
富士通のホームページ
http://jp.fujitsu.com/
上記 URL 情報は工場出荷時に変更されることがあります。
その場合は、管理者モードに切り替えて URL 情報を更新してください。

Color Printia LASER Internet Service を表示する

Web ブラウザからの表示

Web ブラウザを起動し、Color Printia LASER Internet Service の URL を次のどちらかの方法で指定します。

・DNS サーバで登録した名前を指定する場合
「http://」の後に、DNS サーバで設定したホスト名＋ドメイン名を指定します。
例：http://xlprn.xxx.fujitsu.com
（ホスト名：xlprn、ドメイン名：xxx.fujitsu.com の場合）

・IP アドレスで指定する場合
「http://」の後に、直接プリンタの IP アドレスを指定します。
例：http://192.168.100.100
（プリンタの IP アドレスが 192.168.100.100 の場合）

お願い

IP アドレスに 1 桁、または 2 桁の数値が含まれる場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
正しい入力例：http://192.168.0.11
誤った入力例：http://192.168.000.011
（プリンタの IP アドレスが 192.168.0.11 の場合）

ガイド

・セキュリティの「Web サービス」を「無効」に設定している場合、Color Printia LASER Internet Service が表示されません。この場合はオペレータパネルで［管理者メニュー］－［Network setup］－［Web］を［Enable］に設定してください。
・プリンタの IP アドレスがわからない場合は、FUJITSU LPR ユーティリティでネットワークに接続されたプリンタを検索するか、設定内容をプリンタのオペレータパネルで確認してください。

参照 『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」参照

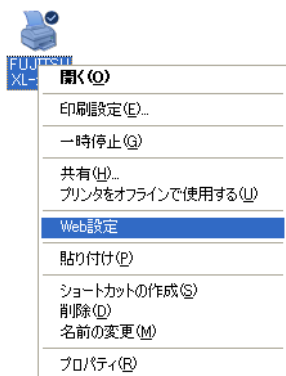
プリンタアイコンからの表示

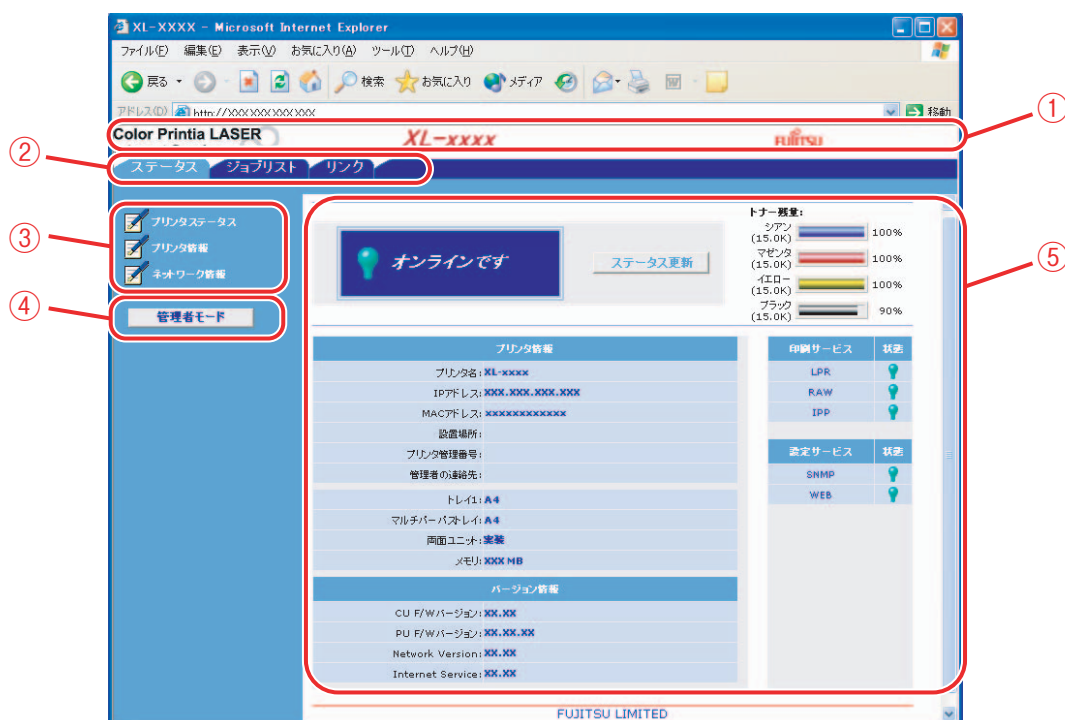
Network Extension がインストールされていれば、プリンタアイコンから起動できます。

「プリンタフォルダ」、または「プリンタと FAX フォルダ」を開く

・Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合
　［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
　［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックする
・Windows Vista の場合
　［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする

2 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「Web 設定」をクリックする

ガイド

「Web 設定」は Windows 7/Windows Server 2008 では表示されません。

指定した URL でプリンタに正しく接続されると、次のようなウィンドウが表示されます。
（※ウィンドウの例は Windows XP 、Microsoft Internet Explorer です。）

①	タイトル	タイトルロゴとプリンタモデル名を表示します。
②	カテゴリタブ	各カテゴリに移動するタブ（リンク）を表示します。
③	メニュー	カテゴリ内のリンク先メニューを表示します。
④	管理者モード切り替えボタン	ユーザーモードから管理者モードへ切り替えます。 参照 「管理者モードとユーザーモードの切り替え」（242 ページ）参照
⑤	情報	［カテゴリ］タブで選択したトップメニューの情報やメニューで選択した情報を表示します。

ガイド

一部の項目では、ヘルプを参照できます。
をクリックすると詳しい説明を表示します。

基本操作

管理者モードとユーザーモードの切り替え

Color Printia LASER Internet Service には、ユーザーモードと管理者モードの 2 種類のモードがあります。
ユーザーモードでは、ステータス、ジョブリスト、リンクの 3 種類のカテゴリタブを表示します。
管理者モードでは、ステータス、プリンタ、ネットワーク、ジョブリスト、セキュリティ、メンテナンス、リンクの 7 種類のカテゴリタブを表示し、各カテゴリタブの設定を変更することができます。

●管理者モードに切り替える

ユーザーモード画面の［管理者モード］をクリックする

■ユーザーモード画面

XL-XXXX - Microsoft Internet Explorer

Color Printia LASER Internet Service　XL-xxxx　FUJITSU

ステータス　ジョブリスト　リンク

プリンタステータス
プリンタ情報
ネットワーク情報

クリック

管理者モード

オンラインです　ステータス更新

トナー残量:
シアン (15.0K) 100%
マゼンタ (15.0K) 100%
イエロー (15.0K) 100%
ブラック (15.0K) 90%

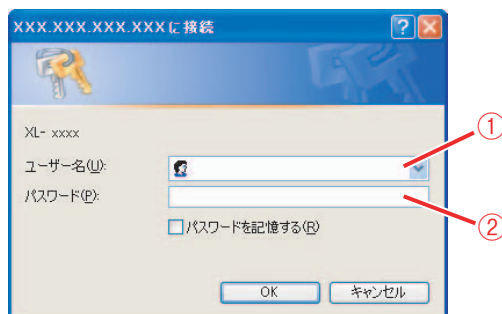
プリンタ情報	
プリンタ名:	XL-xxxx
IPアドレス:	xxx.xxx.xxx.xxx
MACアドレス:	xxxxxxxxxxxx
設置場所:	
プリンタ管理番号:	
管理者の連絡先:	
トレイ1:	A4
マルチパーパストレイ:	A4
両面ユニット:	実装
メモリ:	XXX MB

バージョン情報	
CU F/Wバージョン:	XX.XX
PU F/Wバージョン:	XX.XX.XX
Network Version:	XX.XX
Internet Service:	XX.XX

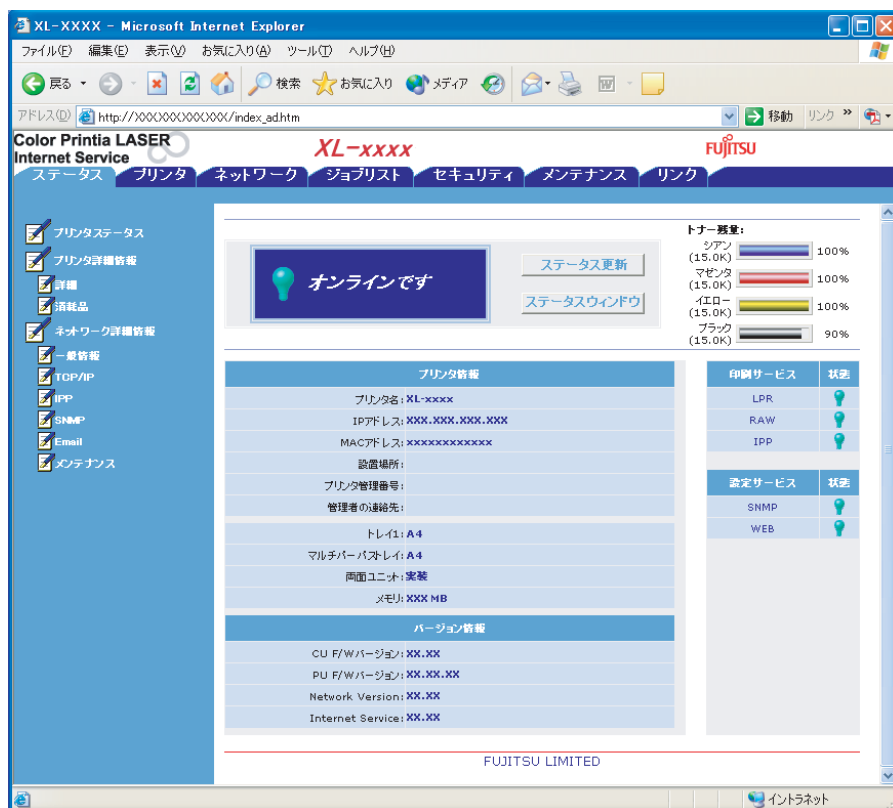
印刷サービス	状態
LPR	
RAW	
IPP	

設定サービス	状態
SNMP	
WEB	

FUJITSU LIMITED

ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されるので、入力して［OK］をクリックする

①	ユーザー名	xladmin 固定です。
②	パスワード	初期値は「PrintiaLaser」です。

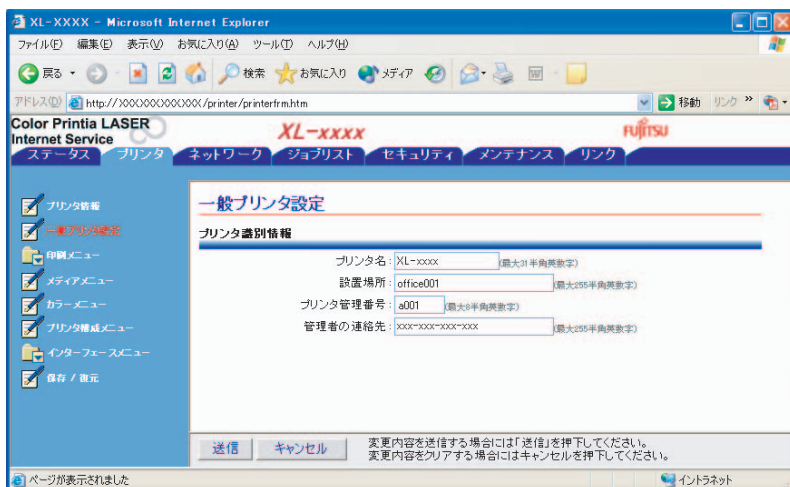
管理者モード画面が表示されます。

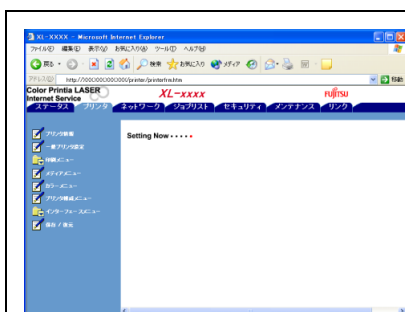
■管理者モード画面

●ユーザーモードに切り替える

管理者モードからユーザーモードへの切り替えは、もう一度ブラウザで Color Printia LASER Internet Service を表示してください。

参照 「Color Printia LASER Internet Service を表示する」（239 ページ）参照

プリンタの設定の変更（管理者モードのみ）

必要に応じてプリンタの設定を変更し、［送信］をクリックします。
［送信］をクリックする前に［キャンセル］をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
（※画面は［プリンタ］タブ「一般プリンタ設定」メニューでの設定画面の例です。）

お願い

［送信］をクリックせずに他のウィンドウを表示すると、入力した値は設定されることなく削除されます。他のページの情報を設定したり、表示したりする前に、必ず［送信］をクリックして設定を更新してください。

［送信］をクリックすると設定した内容をプリンタに送信、書き込みます。
設定内容を反映するため、プリンタがリセットされ左のウィンドウが表示されます。

ガイド

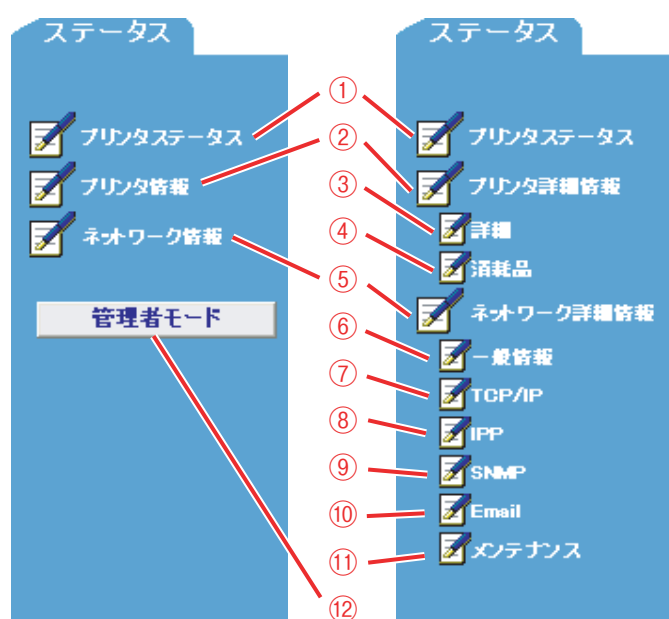
環境によっては、次のウィンドウが表示される場合があります。

各ウィンドウの詳細

Color Printia LASER Internet Service の各ウィンドウについて説明します。

［ステータス］タブ

［ステータス］タブでは、プリンタステータス、プリンタ情報、ネットワーク情報が確認できます。

■ユーザーモード　　■管理者モード

	メニュー名	機能の概略
①	プリンタステータス	プリンタの状態（正常、警告やエラーが発生しているか）や、プリンタの情報を表示します。 参照 「プリンタステータス」（246 ページ）参照
②	プリンタ情報 （管理者モード： プリンタ詳細情報）	プリンタの詳細情報を表示します。「詳細」「消耗品」の情報が含まれています。 （ユーザーモードではプリンタの装置情報のみ表示） 参照 「プリンタ詳細情報（管理者モード）」（249 ページ）参照
③	詳細	プリンタの情報を表示します。
④	消耗品	消耗品、定期交換部品の使用状況や印刷枚数を表示します。
⑤	ネットワーク情報 （管理者モード： ネットワーク詳細情報）	詳細情報を表示します。「一般情報」「TCP/IP」「IPP」「SNMP」「Email」「メンテナンス」の情報が含まれています。 参照 「ネットワーク情報」（250 ページ）参照
⑥	一般情報	プリンタ名、MAC アドレスなどの一般情報を表示します。

	メニュー名	機能の概略
⑦	TCP/IP	IP アドレス、アドレスの取得方法などの TCP/IP ステータス情報を表示します。
⑧	IPP	IPP ステータスの情報を表示します。
⑨	SNMP	SNMP Trap ステータスの情報を表示します。
⑩	Email	Email ステータスの情報を表示します。
⑪	メンテナンス	設定サービスの情報を表示します。
⑫	［管理者モード］ボタン	管理者モードになります。 ユーザ名とパスワードの入力が必要です。

プリンタステータス

	メニュー名	機能の概略
①	状態表示ウィンドウ	プリンタの状態を表示します。オペレータパネルの 1 行目の内容が表示されます。 エラーの場合はエラー内容が表示されます。
②	［ステータス更新］	ステータスタブのプリンタの状態表示内容を更新します。
③	［ステータスウィンドウ］	ステータスウィンドウ（248 ページ）を開きます。
④	トナー残量	トナー残量を色別に表示します。 プリンタに装着しているトナーの容量に合わせ、（5.0K）または（15.0K）が表示されます。
⑤	エラー情報	エラー / 警告情報を表示します。 エラー / 警告情報がない場合には表示されません。（318 ページ） エラー情報の詳細については をクリックしてください。 参照 「第 8 章　こんなときには」「メッセージ表」（319 ページ）参照

	メニュー名	機能の概略	
⑥	プリンタ情報	プリンタ名	プリンタ名を表示します。
		IP アドレス	IP アドレスを表示します。
		MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
		設置場所	設置場所を表示します。
		プリンタ管理番号	プリンタの管理番号を表示します。
		管理者の連絡先	管理者の連絡先を表示します。
		トレイ 1 ～ n	トレイの用紙サイズを表示します。トレイ 2 ～ n は、オプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。
		マルチパーパストレイ	マルチパーパストレイの用紙サイズを表示します。
		両面ユニット	両面ユニットの実装、未実装を表示します。
		メモリ	プリンタに実装されているすべての RAM 容量を表示します。
⑦	バージョン情報	CU F/W バージョン	CU ファームウェアの版数を表示します。
		PU F/W バージョン	PU ファームウェアの版数を表示します。
		Network Version	ネットワークファームウェアの版数を表示します。
		Internet Service	Internet Service の版数を表示します。
⑧	印刷サービス	LPR	各印刷サービスの状態を表示します。 ランプ点灯（緑色）時にサービスが使用できます。
		RAW	
		IPP	
⑨	設定サービス	SNMP	各設定サービスの状態を表示します。 ランプ点灯（緑色）時にサービスが使用できます。
		WEB	

●ステータスウィンドウ

①	リフレッシュボタン	クリックすると、ステータスウィンドウ（プリンタの状態）を更新します。
②	ホームボタン	クリックすると、ステータスタブを開きます。
③	ステータスランプ	プリンタのステータスをランプの色で表現します。 緑（左）：点灯時 - 印刷可、消灯時 - 印刷不可 黄（中）：点灯時 - 注意レベルのエラーあり、クリックするとエラー情報が表示されます。 赤（右）：点滅時 - 警告レベルのエラーあり、クリックするとエラー情報が表示されます。
④	富士通ロゴ	クリックすると、富士通のホームページを開きます。
⑤	更新間隔	ステータスウィンドウ（プリンタの状態）を更新する間隔を表示します。 30 秒、1 分、5 分、10 分、1 時間 および OFF（自動で更新しない）を選択し、設定できます。
⑥	Location	設置場所を表示します。 ［プリンタ］タブ－［一般プリンタ設定］－［プリンタ識別情報］の［設置場所］で設定された内容を表示します。 参照 「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「一般プリンタ設定」（257 ページ）参照
⑦	Asset No.	プリンタの管理番号を表示します。 ［プリンタ］タブ－［一般プリンタ設定］－［プリンタ識別情報］の［プリンタ管理番号］で設定された内容を表示します。 参照 「［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）」「一般プリンタ設定」（257 ページ）参照
⑧	IP Address	プリンタの IP アドレスを表示します。

プリンタ情報

■プリンタ情報（ユーザーモード）

■プリンタ詳細情報（管理者モード）

①	プリンタ装置情報（管理者モード：プリンタ詳細情報）	トレイ 1 ～ n	トレイの用紙サイズを表示します。 トレイ 2 ～ n は、オプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。
		マルチパーパストレイ	マルチパーパストレイの用紙サイズを表示します。
		両面ユニット	オプションの両面ユニットの実装、未実装を表示します。
		メモリ	プリンタに実装されているすべての RAM 容量を表示します。
		プリンタ管理番号	プリンタの管理番号を表示します。
		PU F/W バージョン	PU ファームウェアの版数を表示します。
		CU F/W バージョン	CU ファームウェアの版数を表示します。
②	消耗品情報	トナー残量	トナー残量を色別に表示します。 プリンタに装着しているトナーの容量に合わせ、（5.0K）または（15.0K）が表示されます。
		ドラム使用量	ドラムの使用量を色別に表示します。
		ベルトユニット・定着器使用量	ベルトユニット、定着器使用量を表示します。
		装置寿命カウンタ	装置寿命を使用量で表示します。
		印刷ページ数	印刷ページ数を表示します。 両面印刷を行った場合は2カウントになります。
		給紙回数	給紙回数をトレイ別に表示します。
③	［「詳細情報」を印刷する］		管理者モード時のみの機能です。 プリンタ詳細情報を印刷します。
④	［保存用の「詳細情報」を開く］		管理者モード時のみの機能です。 お使いのブラウザの［ファイル］メニューの保存機能を使用し、表示しているページを保存します。

ネットワーク情報

■ユーザーモード

■管理者モード

ネットワーク詳細情報
プリンタ名：XL-xxxx
設置場所：
プリンタ管理番号:
管理者の連絡先：
①
一般情報
プリンタ名：XL-xxxx
Network Version：xx.xx
Internet Service：xx.xx
MACアドレス：xxxxxxxxxxxx
ハブとの接続の設定：Auto Negotiation
ハブとの接続状態：OK（100BASE-TX FULL）
ネットワークステータス
プリンタ宛パケット受信数：xxxxx
パケット送信数：xxxxx
パケット受信数：xxxxx
送信エラーパケット数：0
不良パケット受信数：0
②
TCP/IP ステータス
IPアドレス設定：自動
アドレスの取得方法：サーバのアドレス(10.171.200.6)
IPアドレス：xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク：xxx.xxx.xxx.xxx
ゲートウェイアドレス：xxx.xxx.xxx.xxx
Webアドレス：http://xxx.xxx.xxx.xxx/
Webポート番号：80
DNSサーバ(プライマリ)：xxx.xxx.xxx.xxx
DNSサーバ(セカンダリ)：xxx.xxx.xxx.xxx
④
IPPステータス
IPP：有効
IPPを使用して印刷するときは、次のいずれかのURIを使用してください。
：http://xxx.xxx.xxx.xxx/ipp
：http://xxx.xxx.xxx.xxx:/ipp
管理者からの連絡事項：
認証：none
⑤
SNMP Trapステータス
プリンタTrapコミュニティ名：public
⑥
Emailステータス
Email送信ステータス
SMTP送信：無効
SMTPサーバ：
プリンタEmailアドレス：
返信先Emailアドレス：
SMTPポート番号：25
Email送信先
Emailアドレス1：
Emailアドレス2：
Emailアドレス3：
Emailアドレス4：
Emailアドレス5：
SMTP認証
SMTP認証：無効
ユーザID：
Emailコメント
⑦
メンテナンス
Webサービス(ポート番号:80)：有効
IPPサービス(ポート番号:631)：有効
SNMPサービス：有効
LANの規模の設定：普通
ネットワークチップのチェック：OK
フラッシュROMのチェック：OK
⑧
「詳細情報」を印刷する
保存用の「詳細情報」を開く
⑨

①	一般情報	プリンタ名	プリンタ名を表示します。
		Network Version（＊）	ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。
		Internet Service（＊）	Internet Service のバージョンを表示します。
		MAC アドレス（＊）	プリンタの MAC アドレスを表示します。設定の変更はできません。
		ハブとの接続の設定	ハブとの接続方法を表示します。
		ハブとの接続状態	ハブとの接続状態を表示します。
		ネットワークステータス	ネットワークステータスを表示します。
		プリンタ宛パケット受信数	プリンタ宛パケット受信数を表示します。
		パケット送信数	パケット送信数を表示します。
		パケット受信数	パケット受信数を表示します。
		送信エラーパケット数	送信エラーパケット数を表示します。
		不良パケット受信数	不良パケット受信数を表示します。
②	TCP/IP ステータス	IP アドレス設定	IP アドレス設定を表示します。 参照 「TCP/IP」（269 ページ）参照
		IP アドレスの取得方法（＊）	IP アドレスの取得方法を表示します。 参照 「TCP/IP」（269 ページ）参照
		IP アドレス（＊）	プリンタの IP アドレスを表示します。
		サブネットマスク（＊）	プリンタのサブネットマスクを表示します。
		ゲートウェイアドレス（＊）	プリンタのゲートウェイアドレスを表示します。
		Web アドレス	プリンタの Web アドレス（URL）を表示します。
		Web ポート番号	Web ポート番号を表示します。
		DNS サーバ（プレイマリ）（＊）	DNS サーバ（プレイマリ）アドレスを表示します。
		DNS サーバ（セカンダリ）（＊）	DNS サーバ（セカンダリ）アドレスを表示します。
ユーザモード時は（＊）の項目が表示されます。			

③	サービス （ユーザーモードのみ）	LPR サービス	LPR サービスの有効 / 無効を表示します。
		RAW サービス	RAW サービスの有効 / 無効を表示します。
		IPP サービス	IPP サービスの有効 / 無効を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「IPP（基本的な設定）」（283 ページ）参照
		SNMP サービス	SNMP サービスの有効 / 無効を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「Email」「Email（送信設定）」（271 ページ）参照
		Web サービス	Web サービスの有効 / 無効を表示します。 参照「[セキュリティ] タブ（管理者モードのみ）」「プロトコル ON/OFF」（288 ページ）参照
④	IPP ステータス	IPP	IPP の有効 / 無効を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「IPP（基本的な設定）」（283 ページ）参照
		URL	IPP 印刷を行う場合の URL を表示します。
		管理者からの 連絡事項	管理者からの連絡事項を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「IPP（基本的な設定）」（283 ページ）参照
		認証	認証設定を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「IPP（基本的な設定）」（283 ページ）参照
⑤	SNMPTrap ステータス	プリンタ Trap コミュニティ名	プリンタTrapコミュニティ名を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「SNMP Trap」（282 ページ）参照
⑥	Email ステータス	SMTP 送信	SMTP 送信の有効 / 無効を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「Email（送信設定）」（271 ページ）参照
		SMTP サーバ	SMTP サーバのドメイン名または IP アドレスを表示します。
		プリンタ Email アドレス	送信元アドレス（プリンタのアドレス）を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ）」「Email（送信設定）」（271 ページ）参照

⑥	Email ステータス	返信先 Email アドレス	送信がエラーになった際の返信アドレスを表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ)」「Email（送信設定)」(271 ページ）参照
		SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を表示します。
		Email 送信先	Email の送信先を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ)」「障害情報」(274 ページ)参照
		SMTP 認証	SMTP 認証の有効 / 無効を表示します。
		ユーザ ID	ユーザ ID を表示します。 参照 「Email（送信設定）」(271 ページ)「SMTP セキュリティ設定」(272 ページ）参照
		Email コメント	Email コメントを表示します。 参照 「Email（送信設定)」(271 ページ)「付加情報設定」(273 ページ）参照
⑦	メンテナンス	Web サービス	Web サービスのポート番号と有効 / 無効を表示します。 参照 「[セキュリティ] タブ（管理者モードのみ）」「プロトコル ON/OFF」(288 ページ）参照
		IPP サービス	IPP サービスのポート番号と有効 / 無効を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ)」「IPP(基本的な設定)」(283 ページ）参照
		SNMP サービス	SNMP サービスの有効 / 無効を表示します。 参照 「[ネットワーク] タブ（管理者モードのみ)」「Email（送信設定)」(271 ページ）参照
		LAN の規模設定	LAN の規模を表示します。 参照 「[メンテナンス] タブ（管理者モードのみ)」「LAN の規模の設定」(297 ページ）参照
		ネットワーク チップのチェック	ネットワークチップのチェック状態を表示します。
		フラッシュROM の チェック	フラッシュROM のチェック状態を表示します。
⑧	[「詳細情報」を印刷する]		プリンタ詳細情報を印刷します。
⑨	[保存用の「詳細情報」を開く]		お使いのブラウザの［ファイル］メニューの保存機能を使用し表示しているページを保存します。

［プリンタ］タブ（管理者モードのみ）

ここでは、プリンタの情報やプリンタに関する情報が確認できます。

メニュー一覧

	メニュー名		機能の概略
①	プリンタ情報		プリンタの装置情報を確認することができます。 参照 「プリンタ情報」（249 ページ）参照
②	一般プリンタ設定		ネットワーク上で確認できるプリンタの識別情報を設定します。 参照 「一般プリンタ設定」（257 ページ）参照
③	印刷メニュー	印刷方法	オフセット排紙、OHP 検出、モノクロ印刷速度の設定をします（プリンタドライバ使用時は、プリンタドライバの設定が優先されます）。 参照 「印刷メニュー（印刷方法）」（258 ページ）参照
		印刷位置	印刷位置の調整値を設定します。
④	メディアメニュー		各トレイの用紙サイズを設定します（プリンタドライバ使用時は、プリンタドライバの設定が優先されます）。 参照 「メディアメニュー」（260 ページ）参照
⑤	カラーメニュー		出力する色の濃度調整、色の位置ずれ補正等を設定します。 参照 「カラーメニュー」（262 ページ）参照
⑥	プリンタ構成メニュー		パワーセーブへの移行時間、エラー発生時の動作タイムアウト等を設定します。 参照 「プリンタ構成メニュー」（263 ページ）参照

	メニュー名		機能の概略
⑦	インターフェースメニュー	パラレル	パラレルインターフェースを設定します。 参照 「インターフェースメニュー（パラレル）」（264 ページ）参照
		USB	USB インターフェースを設定します。 参照 「インターフェースメニュー（USB）」（265 ページ）参照
⑧	保存／復元		現在のメニューの設定を保存、または保存しているメニューの設定に変更します。 参照 「保存／復元メニュー」（265 ページ）参照

プリンタ情報

表示される項目は次の通りです。

①	プリンタ情報	現在のプリンタ情報を表示します。 参照 設定の変更は「一般プリンタ設定」（257 ページ）参照
②	プリンタ装置情報	現在のプリンタの装置情報を表示します。 参照 設定の変更は「メディアメニュー」（260 ページ）参照

一般プリンタ設定

①	プリンタ識別情報	プリンタ名	プリンタ名を設定します（半角英数31文字以内）。初期値は、プリンタの機種名＋ xxxxxx（xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁）です。
		設置場所	設置場所を設定します（半角英数 255 文字以内）。
		プリンタ管理番号	プリンタ管理番号を設定します（半角英数 8 文字以内）。
		管理者の連絡先	管理者の連絡先を設定します（半角英数 255 文字以内）。
②	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

印刷メニュー（印刷方法）

①	印刷に関する設定	ジョブオフセット	オフセットをするかしないかを設定します。 設定項目：オン、オフ オンにすると、印刷ジョブごとにプリンタの上部のスタッカ（排紙口）に排出される用紙の位置をずらします。 部数印刷を行った場合に、用紙を取り分けやすくなります。
②	用紙に関する設定	OHP 検出	OHP 用紙を自動検出するかどうかを設定します。 設定項目：自動、無効
③	その他	モノクロ印刷速度	モノクロページの印刷速度を設定します。 モード 1： カラー／モノクロが混在したデータの処理に応じて最適な印刷速度になります。 ただし、カラーページの印刷後は、すべてカラー印刷速度（A4 印刷時は 36ppm）になります。 モード 2： カラー印刷速度（A4 印刷時は 36ppm）になります。 モード 3： モノクロ印刷速度（A4 印刷時は 40ppm）になります。
④	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
⑤	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

印刷メニュー（印刷位置）

①	印刷位置	X（横）補正	1 面目のスキャン方向の印刷位置を微調整します。 両面印刷時は裏面の調整になります。
		Y（縦）補正	1 面目の送り方向の印刷位置を微調整します。 両面印刷時は裏面の調整になります。
		両面印刷 X（横）補正	両面印刷の場合、2 面目のスキャン方向の印刷位置を微調整します。 両面印刷時は表面の調整になります。
		両面印刷 Y（縦）補正	両面印刷の場合、2 面目の送り方向印刷位置を微調整します。 両面印刷時は表面の調整になります。
②	[送信]		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

メディアメニュー

①	トレイ構成	マルチパーパストレイ	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。
②	ユーザー設定	トレイに特殊なサイズの用紙をセットしたい	をクリックすると「用紙サイズ指定」画面を表示します。マルチパーパストレイにセットする用紙のサイズを設定します。 設定を有効にする場合は、トレイ構成の「用紙サイズ」を「カスタム」に設定してください。 参照 「用紙サイズ指定」(261 ページ)参照
		トレイ 1 で A5/A6、はがき / 往復はがきのいずれかを使用したい	をクリックすると「用紙検知メニュー」画面を表示します。トレイ 1 に A5、A6、はがき、往復はがきをセットした場合の検知サイズを設定します。 参照 「用紙検知メニュー」(261 ページ)参照
③	[送信]	設定した内容をプリンタに送信、反映します。	
④	[キャンセル]	変更内容をクリアします。	

●用紙サイズ指定

①	用紙サイズ指定	マルチパーパストレイ用紙サイズ指定（幅）	マルチパーパストレイにセットする用紙の幅を 76 ～ 328mm の範囲で指定します。
		マルチパーパストレイ用紙サイズ指定（長さ）	マルチパーパストレイにセットする用紙の長さを 90 ～ 1200mm の範囲で指定します。
②	［送信］		設定した内容プリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

●用紙検知メニュー

①	用紙検知メニュー	トレイ 1　A5/A6 用紙	トレイ 1 に A5、A6、はがき、往復はがきをセットする場合の検知サイズを設定します。 使用するサイズに合わせた設定を行わないと、印刷ジョブごとに「サイズ不一致」エラーが表示されます。 A5/A6：A5、往復はがきをセットすると A5、A6、はがきをセットすると A6 と認識します。 はがき：A5、往復はがきをセットすると往復はがき、A6、はがきをセットするとはがきと認識します。
②	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

カラーメニュー

①	通常設定	UCR	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色のトナーで表現されている部分から、シアン、マゼンタ、イエローの 3 色のトナーを取り除き、これをブラックに置き換える割合を選択します。 シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック 4 色のトナーで表現されている部分にトナーがのりすぎてベトベト感があったり、用紙のカールが発生したりしたときは、「普通」や「多い」を選択すると、トナーののり過ぎやカール量が軽減されることがあります。 選択項目：少ない、普通、多い
		CMY 100% 濃度	CMY（シアン、マゼンタ、イエロー）濃度を有効とするかどうかを設定します。 無効の場合は、階調補正機能により CMY100% 階調値に対して CMY の 100% 出力とならない場合があります。 有効の場合は、CMY の 100% 出力となり、ベタ画像の多い印刷が鮮やかになる場合があります。
②	カスタム設定	自動濃度補正モード	濃度補正と階調補正を自動で行うかを選択します。 自動： プリンタは自動的に濃度補正を実行し、階調補正に反映します。 手動： プリンタは自動的に濃度補正を行いません。
		濃度補正	［実行］をクリックすると、プリンタはただちに濃度補正を行い、階調補正に反映します。
		色ずれ補正	［実行］をクリックすると、プリンタはただちに色ずれ補正を行います。
③	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
④	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

ガイド

印刷中に濃度補正および色ずれ補正を設定すると、設定が反映されないことがあります。

プリンタ構成メニュー

①	パワーセーブに関する設定	パワーセーブ移行時間	パワーセーブ（省電力モード）に移行する時間を設定します。 5 分、15 分、30 分、60 分、240 分から選択できます。 ›››››› をクリックすると「パワーセーブ移行時間」画面を表示します。 参照 「パワーセーブ移行時間」（263 ページ）参照
		電力制御	電力消費を設定します。「普通」「低い」から選択できます。「低い」にすると、電力消費は低くすることができますが、印刷性能が低下します。
②	エラーに関する設定	ジャムリカバリ	ジャムリカバリを行うかどうか設定します。「オン」「オフ」から選択できます。「オン」にすると、印刷中に紙づまりが発生した場合、復旧後に紙づまりが発生したページの再印刷をします。
③	タイムアウトに関する設定	タイムアウト印刷	印刷ジョブの受信中に受信が途絶えた場合に、後続のデータを待つ時間を設定します。 オフ（0 秒）、5 ～ 300（秒）の範囲で設定できます。
④	[送信]		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
⑤	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

●パワーセーブ移行時間

①	パワーセーブ移行時間	パワーセーブ	パワーセーブの有効 / 無効を設定します。 「無効」にするとプリンタは省電力モードに入らなくなります。
②	[送信]		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

インターフェースメニュー（パラレル）

①	パラレルメニュー	双方向モード	双方向通信をサポートするかを選択します。 有効：双方向通信をサポートします。 無効：双方向通信をサポートしません。
		ECP（双方向高速通信）	パラレルおよび双方向モードが有効の場合に、双方向高速通信（ECP）をサポートするかを選択します。 有効：より高速な通信を行うことができます。 無効：双方向通信（ニブル）をサポートします。
		ACK 幅	双方向通信（ニブル）受信時の受信速度を設定します。ACK 幅が短いほど、高速で受信することができます。通常は、初期値のまま使用してください。
		ACK/BUSY タイミング：	双方向通信受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。通常は、初期値のまま使用してください。 ただし、初期値のまま使用して、受信できない場合には ACK While BUSY に変更してください。
		I-PRIME	I-PRIME 信号の有効時間 / 無効を設定します。 パラレルインターフェースの受信バッファをクリアする場合に、"I-PRIME" 機能を使用するソフトウェアがあります。そのようなソフトウェアを使用し、パラレルインターフェースをリセットしたい場合には、本項目は有効に設定しておく必要があります。
②	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

インターフェースメニュー（USB）

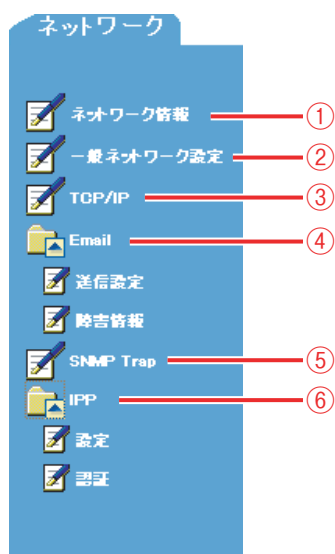
①	USB メニュー	スピード（初期設定：480Mbps）	USB インターフェースの最大転送速度を設定します。
		ソフトリセット（初期設定：無効）	ソフトリセットコマンドの有効 / 無効を設定します。USB インターフェースの受信バッファをクリアする場合に、" ソフトリセット " 機能を使用するソフトウェアがあります。そのようなソフトウェアを使用し、USB インターフェースをリセットしたい場合には、本項目を有効に設定しておく必要があります。
		シリアル番号	シリアル番号は PC が接続されている USB デバイスを識別するために使用します。 シリアル番号をホストに送信するしないを選択することができます。 Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 では、シリアル番号をプリンタが送信することでプリンタドライバの出力先が変化しなくなります。
②	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

保存／復元メニュー

設定値を保存する	［実行］をクリックすると、現在の設定値を保存します。
保存した設定値に戻す	［実行］をクリックすると、現在の設定値を保存した設定値に戻します。

［ネットワーク］タブ（管理者モードのみ）

［ネットワーク］タブではネットワーク情報、Email 設定、SNMP 設定が確認できます。

メニュー一覧

	メニュー名		機能の概略
①	ネットワーク情報		ネットワークの設定情報を確認することができます。 参照 「ネットワーク情報」（267 ページ）参照
②	一般ネットワーク設定		HUB との接続の設定をします。 参照 「一般ネットワーク設定」（268 ページ）参照
③	TCP/IP		TCP/IP に関する情報を設定します。 参照 「TCP/IP」（269 ページ）参照
④	Email	送信設定	プリンタにエラー / 警告が発生したときなど、ステータスが変化したことを Email で通知するための設定をします。 参照 「Email（送信設定）」（271 ページ）参照
		障害情報	プリンタのステータスの変化をどのように通知するのか詳細な設定を行います。 参照 「障害情報」（274 ページ）参照
⑤	SNMP Trap		プリンタにエラーが発生したときなど、ステータスが変化したことを SNMP で通知するための設定をします。 参照 「SNMP Trap」（282 ページ）参照
⑥	IPP	設定	IPP 印刷の基本的な設定をします。 参照 「IPP（基本的な設定）」（283 ページ）参照
		認証	IPP 印刷の認証設定をします。 参照 「IPP（認証の設定）」（284 ページ）参照

ネットワーク情報

表示される項目は次の通りです。

①	一般情報	Network Version	ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。
		Internet Service	Internet Service のバージョンを表示します。
		MAC アドレス	プリンタの MAC アドレスを表示します。
②	TCP/IP ステータス	IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を表示します。 参照 「TCP/IP」（269 ページ）参照
		IP アドレス	プリンタの IP アドレスを表示します。
		サブネットマスク	プリンタのサブネットマスクを表示します。
		ゲートウェィアドレス	プリンタのゲートウェイアドレスを表示します。
		DNS サーバ（プライマリ）	DNS サーバ（プレイマリ）アドレスを表示します。
		DNS サーバ（セカンダリ）	DNS サーバ（セカンダリ）アドレスを表示します。
③	サービス	LPR サービス	LPR サービスの有効 / 無効を表示します。
		RAW サービス	RAW サービスの有効 / 無効を表示します。
		IPP サービス	IPP サービスの有効 / 無効を表示します。
		SNMP サービス	SNMP サービスの有効 / 無効を表示します。
		Web サービス	Web サービスの有効 / 無効を表示します。

一般ネットワーク設定

①	HUB との接続	HUB との接続の設定	HUB とのリンク方法を設定します。 Auto Negotiation にすると、すべての HUB に対して接続方法を自動的に選択し、接続を試みます。
②	[送信]		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

TCP/IP

①	現在の設定	IP アドレス	現在の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを表示します。
		IP アドレスの取得方法	現在の IP アドレスの取得方法を表示します。 IP アドレスが固定の場合は、表示されません。
②	設定変更	IP アドレスの取得方法の選択	IP アドレスの取得方法を自動で取得するか、手動で設定するかを設定します。 「IP アドレスを手動で設定します」を選択すると、固定 IP アドレスを設定する「IP アドレスの設定」が表示されます。 参照 「IP アドレスの設定」（270 ページ）参照 DNS サーバの設定を変更する場合は、（追加設定）をクリックすると、「その他の TCP/IP 設定の変更」の画面が表示されます。 参照 「その他の TCP/IP 設定の変更」（270 ページ）参照
③	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
④	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

● IP アドレスの設定

①	IP アドレスの設定	IP アドレス	固定 IP アドレスを設定します。
		サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ アドレス	ゲートウェイアドレスを設定します。
②	[OK]		「IP アドレスの設定」の画面を閉じます。
③	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

●その他の TCP/IP 設定の変更

①	DNS サーバ	DNS サーバアドレス (プライマリ)	DNS サーバアドレス(プライマリ)を設定します。
		DNS サーバアドレス (セカンダリ)	DNS サーバアドレス(セカンダリ)を設定します。
②	[OK]		「その他の TCP/IP 設定の変更」の画面を閉じます。
③	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

Email（送信設定）

（※画面はすべてのメニューが表示されたものです。）

Email送信設定

① ステップ1. SMTP送信設定
プリンタがEmailを送信するためのプロトコルを設定することが出来ます。
無効を選択した場合は、ステップ2以降は設定する必要はありません。
SMTP送信: 有効

② ステップ2. 送信アドレス設定
プリンタがEmailを送信する際に経由するSMTPサーバのアドレスを設定します。
SMTPサーバ名: Emailサーバのアドレスを入力してください。(最大64半角英数字)
送信テスト: テスト実行
送信元アドレス(本プリンタのアドレス)を設定します。
プリンタEmailアドレス: Emailの送信を有効にするために必要です。(最大64半角英数字)

③ ステップ3. 詳細設定
SMTPプロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。
>>詳細
■ セキュリティ設定 ››››››
■ 付加情報設定 ››››››
■ その他 ››››››

④ 送信 ⑤ キャンセル
変更内容を送信する場合には「送信」を押下してください。
変更内容をクリアする場合にはキャンセルを押下してください。

①	SMTP 送信設定	Email 送信の有効 / 無効を設定します。 設定を「有効」にすると、ステップ 2 の［テスト実行］ボタンが有効になります。また「ステップ 3. 詳細設定」が表示されます。	
②	送信アドレス設定	SMTP サーバ名	プリンタがEmailを送信する際に経由するSMTPサーバ名または、IP アドレスを設定します（半角英数 64 文字以内）。
		プリンタ Email アドレス	プリンタから送信するEmailの送信元のメールアドレスを設定します（半角英数 64 文字以内）。
		［テスト実行］ボタン	Email の送信テストを実行します。
③	詳細設定	「>> 詳細」をクリックすると、SMTP プロトコルのさらに詳細な設定ができます。	
		セキュリティ設定	SMTP プロトコルのポート番号を変更する場合に››››››をクリックすると「SMTP セキュリティ設定」の画面を表示します。 参照 「SMTP セキュリティ設定」（272 ページ）参照
		付加情報設定	Email送信時にメールの文末に追加する内容を設定します。 参照 「付加情報設定」（273 ページ）参照
		その他	Email 送信がエラーになった場合に、エラー通知を送信するアドレスを設定します。 参照 「その他」（273 ページ）参照
④	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
⑤	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

ガイド

・「SMTP　サーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定で、DNS サーバの設定が必要です。
・メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

● SMTP セキュリティ設定

①	SMTP セキュリティ設定	SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を 1 ～ 65535 の範囲で設定します。
		SMTP 認証	SMTP 認証の有効 / 無効を設定します。「有効」を選択すると「ユーザ ID」「パスワード」設定が表示されます。
		ユーザ ID	ユーザ ID を設定します（半角英数 64 文字以内）。
		パスワード	パスワードを設定します（半角英数64文字以内）。
②	[OK]		設定した内容を反映し、画面を閉じます。
③	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

ガイド

「ユーザ ID」と「パスワード」を間違えると、メール送信機能が正常に働きません。注意してください。

●付加情報設定

①	付加情報設定	プリンタモデル	プリンタモデルを Email に付加する場合に ☑ にします。
		ネットワーク インターフェース	ネットワークインターフェースを Email に付加する場合に ☑ にします。
		プリンタ管理番号	プリンタ管理番号を Email に付加する場合に ☑ にします。
		プリンタ名	プリンタ名を Email に付加する場合に ☑ にします。
		設置場所	設置場所を Email に付加する場合に ☑ にします。
		IP アドレス	IP アドレスを Email に付加する場合に ☑ にします。
		MAC アドレス	MAC アドレスを Email に付加する場合に ☑ にします。
		プリンタ URL	プリンタURLをEmailに付加する場合に ☑ にします。
		コメント	Email に付加するコメントを入力します（半角英数 63 文字以内）。
②	[OK]		設定した内容を反映し、画面を閉じます。
③	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

●その他

①	その他	返信先 Email アドレス	Email 送信がエラーになった場合にエラーを通知する Email アドレスを設定します（半角英数 78 文字以内）。
②	[OK]		設定した内容を反映し、画面を閉じます。
③	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

障害情報

プリンタのステータスが変化したときに、Email 送信をするための詳細な設定を行います。

①	障害通知条件設定	アドレス1～アドレス5	プリンタのステータスが変化したときに Email を送信するアドレスを入力します。送信先アドレスは 5 件まで設定できます（半角英数 78 文字以内）。
		［設定］ボタン	Email アドレスを入力し、クリックすると Email アドレスごとの「障害通知設定」の画面を表示します。 参照「障害通知設定（ステップ 1）」（275 ページ）参照
		［コピー］ボタン	クリックすると、「設定のコピー」の画面を表示します。障害通知設定内容をコピーすることができます。 参照「設定のコピー」（276 ページ）参照

②	障害通知条件参照	［現在の設定一覧参照］ボタン	クリックすると、現在の設定一覧を表示します。 参照「設定一覧」（276 ページ）参照
③		アドレス	設定内容を表示するアドレスを選択します。
④		送信条件	条件を設定する項目を表示します。
⑤		障害レベル	警告 / エラーを表示します。
⑥		障害発生時の通知	現在の障害が発生したときに通知する時間を表示します。表内の設定値をクリックすることで、通知条件設定を変更することができます。
⑦		説明	送信条件に該当する内容を表示します。
⑧	［送信］ボタン		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
⑨	［キャンセル］ボタン		変更内容をクリアします。

ガイド

［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

●障害通知設定（ステップ 1）

Email アドレスを入力し、［設定］をクリックすると表示されます。
障害を通知する方法を選択します。

参照　詳細については「発生した障害を Email で通知する」（277 ページ）参照

●設定一覧

［現在の設定一覧参照］をクリックすると以下のような画面が表示されます。

送信条件	障害レベル	初期設定値	アドレス1	アドレス2	アドレス3	アドレス4	アドレス5
		定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知
Emailアドレスの設定		無し	設定済み	－	－	－	－
消耗品	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
メンテナンスユニット	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
用紙の補充	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
印刷中の用紙	警告	－	－	－	－	－	－
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
フラッシュメモリ	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
印刷の結果	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
インタフェースの異常	警告	－	－	－	－	－	－
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
その他	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎

送信条件	障害レベル	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知
消耗品	警告	即時	即時	即時	即時	即時	即時
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時
メンテナンスユニット	警告	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時
用紙の補充	警告	15分後	15分後	15分後	15分後	15分後	15分後
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時
印刷中の用紙	警告	－	－	－	－	－	－
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
フラッシュメモリ	警告	－	－	－	－	－	－
印刷の結果	警告	－	－	－	－	－	－
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
インタフェースの異常	警告	－	－	－	－	－	－
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
その他	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後

参照　詳細については「発生した障害を Email で通知する」（277 ページ）参照

●設定のコピー

①	設定のコピー	コピー元の Email アドレス	コピー元の Email アドレスを表示します。
		コピー先の Email アドレス	コピー先の Email アドレスに ☑ します。複数の選択ができます。
②	［コピー］		クリックすると、指定したアドレスの障害通知設定内容をコピーします。
③	［閉じる］		「設定のコピー」の画面を閉じます。

●発生した障害を Email で通知する

ガイド

Email 送信設定で、送信設定が必要です。

参照 「Email（送信設定）」（271 ページ）参照

1 「Email」メニューの「障害情報」をクリックする

2 障害通知先の Email アドレスを入力し、[設定] をクリックする

（※画面の Email アドレスは設定例です。）

障害通知設定

プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するための設定を行うことができます。
本機能を使用する場合にはEmailの送信設定を行ってください。(受信設定は必要ありません)

障害通知条件設定

プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するアドレスを設定することが出来ます。

アドレス1:	test1@xxx.jp.fujitsu.com	設定 コピー 設定内容を任意の通知先にコピーできます
アドレス2:		設定 コピー
アドレス3:		設定 コピー
アドレス4:		設定 コピー
アドレス5:		設定 コピー

(最大78半角英数字)
例:jsmith@abc.co.com

①入力
②クリック

3 障害の通知方法を選択し、[ステップ 2 へ] をクリックする

・「定期的な通知」を選択した場合（ステップ 2）

「障害発生時の通知」を設定する場合は、「障害発生時の通知」を選択した場合（279 ページ）へ進んでください。

① 「障害通知間隔設定」で Email を送信する間隔を 1 ～ 24 時間の範囲で設定します。

ガイド

設定時間内で通知対象のエラーが発生しない場合は、Email 送信は行われません。

② 「障害通知条件設定」で通知対象のエラー種別を☑にし、［OK］をクリックします。

以上で、「定期的な通知」の障害通知条件の設定は完了です。

❹へ進んでください。

・「障害発生時の通知」を選択した場合（ステップ 2）

① 「障害通知条件設定」で通知対象のエラー種別を ☑ にし、［OK］をクリックします。

障害発生時の通知の設定(アドレス1:test1@xxx.jp.fujitsu.com)

障害通知条件設定

Emailに記載して通知する条件にチェックをしてください。
チェックがされていない項目は通知する内容に含まれません。

送信条件			説明
消耗品	警告	☑	ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ等消耗品に関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。例)ドラムカートリッジ寿命ニアエンド
	エラー	☑	ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ等消耗品に関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。例)ドラムカートリッジ寿命
メンテナンスユニット	警告	☑	トナーセンサー、定着器等メンテナンスユニットに関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。例)定着器寿命ニアエンド
	エラー	☑	トナーセンサー、定着器等メンテナンスユニットに関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。例)定着器寿命
用紙の補充	警告	☑	用紙の残り枚数に関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。例)トレイの用紙が残りわずか
	エラー	☑	用紙の残り枚数に関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。例)トレイの用紙無し
印刷中の用紙	警告	☐	印刷中の用紙に関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。例)用紙サイズ変更要求
	エラー	☑	印刷中の用紙に関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。例)用紙走行ジャム
フラッシュメモリ	警告	☐	フラッシュメモリに関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。例)ディスクオペレーションエラー
印刷の結果	警告	☐	印刷の結果に関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。例)無効なデータの受信
	エラー	☑	印刷の結果に関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。例)メモリ不足
インターフェースの異常	警告	☐	インターフェースに関する警告が発生した場合に、Emailに掲載されます。例)無効なLANカードのスイッチ押下
	エラー	☑	インターフェースに関するエラーが発生した場合に、Emailに掲載されます。例)ネットワークエラー
その他	エラー	☑	サービスコールが発生した場合に、Emailに記載されます。

OK　戻る

② ①で ☑ にすると、それぞれで「詳細設定」画面が表示されます。
❸のステップ 1 で設定した各アドレスについて、Email を通知する条件を設定することができます（ただし、時間は 1 時間刻みで 0 〜 48 までです）。

ガイド

・通知対象のエラー種別を ☑ にすると、送信条件ごとに「詳細設定」画面が表示され、Email 送信の発信遅延を設定できます（1 時間は 1 時間単位で 0 〜 48 時間まで設定できます）。

・遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
・遅延時間を「0 時間 0 分」に設定すると、エラーが発生すると即時に Email が送信されます。

❷の画面に戻る

障害通知条件の設定内容を確認する場合は、❷の画面で［現在の設定一覧参照］をクリックします。
確認が終了したら［閉じる］をクリックしてください。

送信条件	障害レベル	初期設定値	アドレス1	アドレス2	アドレス3	アドレス4	アドレス5
		定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知
Emailアドレスの設定		無し	設定済み	–	–	–	–
消耗品	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
メンテナンスユニット	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
用紙の補充	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
印刷中の用紙	警告	–	24時間毎	–	–	–	–
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
フラッシュメモリ	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
印刷の結果	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
インタフェースの異常	警告	–	24時間毎	–	–	–	–
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
その他	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎

送信条件	障害レベル	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知
消耗品	警告	即時	即時	即時	即時	即時	即時
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時
メンテナンスユニット	警告	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時
用紙の補充	警告	15分後	15分後	15分後	15分後	15分後	15分後
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時
印刷中の用紙	警告	–	–	–	–	–	–
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
フラッシュメモリ	警告	–	–	–	–	–	–
印刷の結果	警告	–	–	–	–	–	–
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
インタフェースの異常	警告	–	–	–	–	–	–
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
その他	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後

ガイド

Email アドレスごとの障害通知条件を比較する場合は、❷の「障害通知条件参照」リストボックスで、比較するアドレス（アドレス 1 ～アドレス 5）を選択すると設定内容が表示されます。

障害通知条件参照

[現在の設定一覧参照]

現在設定されているEmailを通知する条件を、各アドレス毎に参照することが出来ます。
参照したいアドレスを選択してください。

アドレス1　アドレス2

送信条件	障害レベル	アドレス1 障害発生時の通知	アドレス2 障害発生時の通知	説明
消耗品	警告	即時	即時	トナー、ドラムカートリッジ
	エラー	即時	即時	
メンテナンスユニット	警告	2時間後	2時間後	ベルトユニット、定着器
	エラー	即時	即時	
用紙の補充	警告	15分後	15分後	用紙、OHP
	エラー	即時	即時	
印刷中の用紙	警告	-	-	カバーオープン、紙詰まり
	エラー	2時間後	2時間後	
フラッシュメモリ	警告	-	-	
印刷の結果	警告	-	即時	不完全な印刷
	エラー	2時間後	2時間後	
インターフェースの異常	警告	-	-	ネットワーク、USB
	エラー	2時間後	2時間後	
その他	エラー	2時間後	2時間後	

設定条件の表の設定値をクリックすることで、通知条件設定を変更することができます。

5 ［送信］をクリックする

プリンタに設定値が送信、反映されます。

以上で設定は終了です。

SNMP Trap

SNMP Trap

プリントサーバはプリンタのステータスが変化した時にメッセージ(SNMP Trap)を送信するための設定を行うことができます。
Trapはプリンタステータスを監視するために使用しているSNMPネットワークモニタリングユーティリティで受信できます。

①
プリンタTrap設定

SNMPネットワークモニタリングユーティリティが本プリンタから発信した情報を受信できるように設定します。

ステップ1. プリンタTrapコミュニティ名設定
通常は初期値のまま使用してください。
プリンタTrapコミュニティ名設定 : public (最大31半角英数字)

ステップ2. プリンタTrapアドレス設定
Trapを通知する対象となる機器のIPアドレス5件を設定することが出来ます。
アドレス1: 0.0.0.0 (半角英数字)例: 192.168.99.99
アドレス2: 0.0.0.0
アドレス3: 0.0.0.0
アドレス4: 0.0.0.0
アドレス5: 0.0.0.0

ステップ3. プリンタTrap送信条件設定
ステップ2で設定した各アドレスについて、Trapを通知する条件を設定することが出来ます。

送信条件	アドレス1	アドレス2	アドレス3	アドレス4	アドレス5
Trap送信許可	□	□	□	□	□
プリンタ再起動	□	□	□	□	□
不正Trap受信	□	□	□	□	□
オンライン	□	□	□	□	□
オフライン	□	□	□	□	□
用紙なし	□	□	□	□	□
用紙ジャム	□	□	□	□	□
カバーオープン	□	□	□	□	□
プリンタエラー	□	□	□	□	□

② 送信 ③ キャンセル
変更内容を送信する場合には「送信」を押下してください。
変更内容をクリアする場合にはキャンセルを押下してください。

<table>
<tr><td rowspan="3">①</td><td rowspan="3">プリンタ
Trap 設定</td><td>ステップ 1</td><td>プリンタ Trap
コミュニティ名設定</td><td>Trap発行時のコミュニティ名を設定します。
通常は初期値のまま使用してください（半角英数 31 文字以内）。</td></tr>
<tr><td>ステップ 2</td><td>プリンタ Trap
アドレス設定</td><td>Trap発行先の IP アドレスを設定します。
5 件まで設定することができます。</td></tr>
<tr><td>ステップ 3</td><td>プリンタ Trap
送信条件設定</td><td>ステップ 2 で設定した各アドレスについて、Trap を通知する条件を設定します。</td></tr>
<tr><td>②</td><td colspan="2">[送信]</td><td colspan="2">設定した内容をプリンタに送信、反映します。</td></tr>
<tr><td>③</td><td colspan="2">[キャンセル]</td><td colspan="2">変更内容をクリアします。</td></tr>
</table>

IPP（基本的な設定）

「IPP」メニューの「設定」をクリックすると表示されます。

①	基本的な設定	IPP	IPP 印刷の有効／無効を設定します。
		管理者からの連絡事項	管理者からの連絡事項を入力します（半角英数 127 文字以内）。 入力された内容の確認は［ステータス］タブの「ネットワーク詳細情報」の IPP ステータスに表示されます。 参照 「［ステータス］タブ」「ネットワーク情報」（250 ページ）参照
②	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

IPP（認証の設定）

「IPP」メニューの「認証」をクリックすると表示されます。

IPP設定

①　認証の設定

認証: none

もし認証を「basic」に設定したときは、以下の「ユーザー名」と「パスワード」を設定して下さい。
また次の文字列は「ユーザー名」として使用しないで下さい。「:、;、"、&、<、=、>、?」
「ユーザー名」と「パスワード」を全てクリアする場合は「全てクリア」ボタンを押下してください。

全てクリア

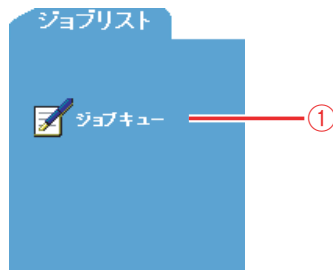
	ユーザー名(最大63半角英数字)	パスワード(最大16半角英数字)
1		
2		
3		
4		
45		
46		
47		
48		
49		
50		

②送信　③キャンセル

変更内容を送信する場合には「送信」を押下してください。
変更内容をクリアする場合にはキャンセルを押下してください。

①	認証の設定	認証	none または basic を設定します。 「basic」を設定する場合は、プリンタのプロパティの設定が必要です。 参照　「IPP 印刷の設定」「アカウントの使用について（Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008（R2 以外）のみ対応）」（114 ページ）参照
		ユーザー名、パスワード	IPP 印刷を許可するユーザー名（半角英数 63 文字以内）とパスワード（半角英数 16 文字以内）を設定します。 最大 50 まで登録できます。
		［全てクリア］	認証の設定リストに入力した内容をすべてクリアします。
②	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

［ジョブリスト］タブ

［ジョブリスト］タブでは、プリンタが受信している印刷ジョブの一覧およびジョブキューページを設定できます
［ジョブキュー］ページでは特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。

	メニュー名	機能の概略
①	ジョブキュー	ジョブキューページの設定をします。 参照 「ジョブキュー」（285 ページ）参照

ジョブキュー

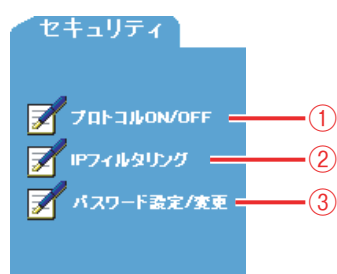
①	ジョブキュー	ジョブキュー 表示項目設定	ジョブキューページで表示する項目を［追加>>］ボタン、［<< 削除］ボタンで選択します。
②	［初期設定］		クリックすると初期設定になります。
③	［すべて削除］		選択した「表示項目」をすべて削除します。
④	［開く］		ジョブキューページを表示します。
⑤	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

●ジョブキューページ

［開く］ボタンをクリックすると、次のようなウィンドウが表示されます。
（※画面は、すべての項目を表示した例です。）

①	キャンセル	☑ し、ジョブキャンセルをクリックすると、ジョブ（印刷）をキャンセルします。	
②	ドキュメント名	受信している印刷ジョブのファイル名を表示します。	例）Microsoft Word　Test.doc
③	ジョブ状態	ジョブに対するプリンタの状態を表示します。	表示　：　意味 free　：未処理 preinterpreting　：先読み中 waiting　：編集待ち processing　：編集中 processed　：編集完了 printing　：印刷中 canceling　：キャンセル中 finished　：終了
④	コンピュータ名	印刷ジョブの送信元のWindowsに登録しているコンピュータ名を表示します。	例）FMV-XXXXXX
⑤	ユーザー名	印刷ジョブの送信元のWindowsに登録しているユーザー名を表示します。	例）Fujitsu
⑥	ジョブ種類	ジョブの種類を表示します。	表示　：　意味 local　：設定内容、フォントリスト、エラーログ、またはテスト印刷 normal　：通常印刷ジョブ unknown　：未定ジョブ
⑦	印刷済み面数	印刷済みのページ数を表示します。	例）5
⑧	送信時間	印刷ジョブの送信開始時間、日付を表示します。	例）17:19:09 2005/02/27
⑨	送信ポート	印刷ジョブの送信ポート名を表示します。	例）FJLPR01
⑩	［ジョブキャンセル］	クリックすると選択したジョブをキャンセルします。	
⑪	［更新］	クリックすると最新の情報に更新します。	

［セキュリティ］タブ（管理者モードのみ）

［セキュリティ］タブでは、使用しないプロトコルの停止、IP アドレスによるプリンタへのアクセス制限、管理者用パスワードの設定 / 変更をすることができます。

	メニュー名	機能の概略
①	プロトコル ON/OFF	使用しないネットワークプロトコルを、ネットワークサービスの停止を設定します。 参照 「プロトコル ON/OFF」（288 ページ）参照
②	IP フィルタリング	IP アドレスによる印刷 / 設定のアクセス制限をするかしないかを設定します。 参照 「IP フィルタリング」（289 ページ）参照
③	パスワード設定 / 変更	管理者のパスワードを変更します。 参照 「パスワードの設定 / 変更」（293 ページ）参照

プロトコルON/OFF

①	サービス	Web サービス	Web サービス（Color Printia LASER Internet Service）の有効／無効を設定します。 本サービスを無効にした場合、Web ブラウザでプリンタの URL を指定したときに「404 Not Found」と表示され Web サービスが利用できなくなります。 設定を元に戻す場合はプリンタのオペレータパネルから操作する必要があります。
		IPP サービス	IPP サービスの有効 / 無効を設定します。
		SNMP サービス	SNMP サービスの有効 / 無効を設定します。
②	ポート番号	Web	Web のポート番号を設定します。
		SMTP	SMTP のポート番号を設定します。
③	[送信]		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
④	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

IPフィルタリング

IPフィルタリング
①
ステップ1. IPフィルタリングの設定
IPフィルタリング: 無効
(注意!!)IPフィルタリングを有効にすると、ステップ2で設定した範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。
②
ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。
IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力して下さい。
IPアドレスは、"."で区切られた半角の数字を使用して下さい。(例:123.45.6.0)
IP アドレス 0.0.0.0の入力はできません。
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。
優先度
アドレス範囲の番号
IPアドレスの範囲
開始アドレス
終了アドレス
印刷
設定
低
高
0.0.0.0
④
アドレス範囲バーの表示/更新
⑤
非表示
設定とアドレス範囲バーの色の関係
印刷 設定 色
有効 有効
有効 無効
無効 有効
無効 無効
③
ステップ3. 管理者IPアドレスの保存
管理者のIPアドレスをIPフィルタリングの対象外とすることができます。
登録できる管理者のIPアドレスは1つだけです。
プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストのIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。
したがって、あなたのホストのアドレスと、表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
「設定される管理者IPアドレス」に何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者のIPアドレス」の欄を空欄にして下さい。
登録されている管理者IPアドレス: 0.0.0.0
あなたのホストのIPアドレス: xxx.xxx.xxx.xxx
設定される管理者IPアドレス: 0.0.0.0
⑥
送信
⑦
キャンセル
変更内容を送信する場合には「送信」を押下してください。
変更内容をクリアする場合にはキャンセルを押下してください。

<table>
<tr><td>①</td><td>IP フィルタリングの設定</td><td colspan="3">IP フィルタリングの有効 / 無効を設定します。
設定を有効にすると、設定した範囲以外の IP アドレスからのアクセスができなくなります。
設定を有効にした場合、IP アドレスの範囲を設定する必要があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">②</td><td rowspan="6">IP アドレスの範囲を設定</td><td>優先度</td><td colspan="2">IP アドレスの範囲が重なった場合にどちらを優先するか設定します。</td></tr>
<tr><td>アドレス範囲の番号</td><td colspan="2">アドレス範囲の番号を表示します。
最大 10 まで範囲を設定できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">IP アドレスの範囲</td><td>開始アドレス</td><td>アクセスを許可する
開始 IP アドレスを入力します。</td></tr>
<tr><td>終了アドレス</td><td>アクセスを許可する
終了 IP アドレスを入力します。</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td colspan="2">印刷を許可するかしないかを設定します。許可する場合に ☑ にします。</td></tr>
<tr><td>設定</td><td colspan="2">設定を許可するかしないかを設定します。許可する場合に ☑ にします。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>管理者 IP アドレスの保存</td><td colspan="3">管理者の IP アドレスを IP フィルタリングの対象外として設定します。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>[アドレス範囲バーの表示 / 更新]</td><td colspan="3">クリックすると設定した IP アドレスの範囲をアドレス範囲バーとして色別に表示します。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>[非表示]</td><td colspan="3">アドレス範囲バーを非表示にします。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>[送信]</td><td colspan="3">設定した内容をプリンタに送信、反映します。</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>[キャンセル]</td><td colspan="3">変更内容をクリアします。</td></tr>
</table>

●プリンタへのアクセス制限（IP フィルタリング）をしたいとき

「IP フィルタリング」をクリックする

「IP フィルタリング」の設定を「有効」にする

IPフィルタリング

ステップ1. IPフィルタリングの設定

IPフィルタリング: 有効

(注意!!)IPフィルタリングを有効にすると、ステップ2で設定した範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を設定し、印刷 / 設定を許可するかどうか設定する

印刷 : 印刷が可能です。

設定 : Internet Service からの設定および変更が可能です。

(例 : 192.168.0.0 ～ 192.168.0.10 : 印刷 / 設定許可、192.168.0.11 ～ 192.168.0.50 : 印刷 / 設定拒否、192.168.0.51 ～ 192.168.0.100 : 印刷許可の場合)

ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。

IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力して下さい。
IPアドレスは、".''で区切られた半角の数字を使用して下さい。(例:123.45.6.0)
IP アドレス 0.0.0.0の入力はできません。
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。

また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	192.168.0.0	192.168.0.10	☑	☑
	2	192.168.0.51	192.168.0.100	☑	☐
	3	0.0.0.0	0.0.0.0	☐	☐
	4	0.0.0.0	0.0.0.0	☐	☐
	5	0.0.0.0	0.0.0.0	☐	☐

ガイド

- 印刷 / 設定を許可するホストの範囲を IP アドレスを使用して、入力してください。
- IP アドレスは、"." で区切られた半角の数字を使用してください。
- IP アドレス 0.0.0.0 は、入力できません。
- IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ 2 の指定にかかわらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

［アドレス範囲バーの表示 / 更新］をクリックする

設定を行った IP アドレスの範囲が正しいかどうか確認します。
IP アドレスの範囲を修正したい場合は、該当する IP アドレスを入力し直してください。
再度 IP アドレスの範囲を確認する場合は、［アドレス範囲バーの表示 / 更新］をクリックします。

5 「設定される管理者 IP アドレス」の値を必要に応じて設定する

ガイド

「管理者 IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。

6 「ステップ 1」から「ステップ 3」の設定を確認し、［送信］をクリックする

プリンタに設定値が送信、反映されます。

以上で IP アドレスによるアクセス制限の設定は完了です。

パスワードの設定/変更

パスワード設定/変更

①管理者のパスワードを変更できます。

新しい管理者のパスワード: ●●●●●●●●●●●●● (最大15半角英数字)

新しいパスワードの再入力: ●●●●●●●●●●●●● (最大15半角英数字)

SNMPコミュニティの設定

②SNMP Read コミュニティの変更

新しいSNMP Readコミュニティ: ●●●●●● (最大15半角英数字)

新しいSNMP Readコミュニティの再入力: ●●●●●● (最大15半角英数字)

"SNMP Readコミュニティ"はSNMPを使用してプリンタの設定を行うときに必要です。
この設定を変更することで、SNMPを使用したプリンタの設定変更を制限できます。

③SNMP Writeコミュニティの設定

新しいSNMP Writeコミュニティ: ●●●●●● (最大15半角英数字)

新しいSNMP Writeコミュニティの再入力: ●●●●●● (最大15半角英数字)

"SNMP Writeコミュニティ"は、SNMPを使用してプリンタの設定を行うときに必要です。
初期値は"public"です。
この設定を変更することで、SNMPを使用したプリンタの設定変更を制限できます。

④送信 ⑤キャンセル

変更内容を送信する場合には「送信」を押下してください。
変更内容をクリアする場合にはキャンセルを押下してください。

①	管理者のパスワードを変更できます	新しい管理者のパスワード	新しい管理者のパスワードを入力します。
		新しいパスワードの再入力	新しいパスワードを再入力します。
②	SNMP コミュニティの変更	新しい SNMP Read コミュニティ	新しい SNMP Read コミュニティを入力します。
		新しい SNMP Read コミュニティの再入力	新しい SNMP Read コミュニティを再入力します。
③	SNMP Write コミュニティの設定	新しい SNMP Write コミュニティ	新しいSNMP Write コミュニティを入力します。
		新しい SNMP Write コミュニティの再入力	新しいSNMP Write コミュニティを再入力します。
④	[送信]	設定した内容をプリンタに送信、反映します。	
⑤	[キャンセル]	変更内容をクリアします。	

●パスワードを変更したいとき

1. 「パスワード設定 / 変更」をクリックする

2. 「管理者のパスワードを変更できます。」で新しいパスワードを入力する

「新しいパスワードの入力」に新しいパスワードを入力したら、確認のため、「新しいパスワードの再入力」に再度同じパスワードを入力してください。

パスワード設定/変更

管理者のパスワードを変更できます。

新しい管理者のパスワード: ●●●●●●●●●●●●● (最大15半角英数字)

新しいパスワードの再入力: ●●●●●●●●●●●●● (最大15半角英数字)

3. [送信] をクリックする

プリンタに設定値が送信、反映されます。

以上でパスワードの変更は完了です。

［メンテナンス］タブ（管理者モードのみ）

［メンテナンス］タブでは、プリンタの各種設定の印刷、プリンタの再起動などを行います。

	メニュー名	機能の概略
①	設定 / 情報の印刷	設定内容、Network Information、テスト印刷 フォントリスト、エラーログの印刷をします。 参照 「設定 / 情報の印刷」（295 ページ）参照
②	再起動 / 初期化	プリンタ、プリンタのネットワークの再起動、プリンタ設定の初期化をします。 参照 「再起動 / 初期化」（296 ページ）参照
③	LAN の規模の設定	LAN の規模を設定します。 参照 「LAN の規模の設定」（297 ページ）参照
④	HEX ダンプ	受信したデータをすべて 16 進数で表示します。 参照 「HEX ダンプ」（297 ページ）参照

設定 / 情報の印刷

		設定可能項目	設定時の動作
①	設定ページの印刷	設定内容	設定内容を印刷する場合に ◉ します。
		Network Information	ネットワーク情報を印刷する場合に ◉ します。
		テスト印刷	テスト印刷をする場合に ◉ にします。
		フォントリスト	フォントリストを印刷する場合に ◉ にします。
		エラーログ	エラーログを印刷する場合に ◉ にします。
②	［印刷］		クリックすると ◉ にした内容を印刷します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

再起動/初期化

再起動/初期化

① プリンタの再起動

○プリンタを再起動します。
プリンタのメモリにある印刷ジョブは消去されます。
プリンタを再起動するためには、ラジオボタンをチェックして、「送信」ボタンを押下して下さい。

② ネットワークの再起動

○プリンタのネットワークを再起動します。
現在のプリンタとの接続は切断されます。
プリンタのネットワークを再起動するためには、ラジオボタンをチェックして、「送信」ボタンを押下して下さい。

③ プリンタの初期化

○プリンタの設定を初期化します。
初期化するためには、ラジオボタンをチェックして、「送信」ボタンを押下して下さい。

④ 送信 ⑤ キャンセル
変更内容を送信する場合には「送信」を押下してください。
変更内容をクリアする場合にはキャンセルを押下してください。

①	プリンタの再起動	プリンタを再起動します。	プリンタを再起動する場合に ◉ にします。再起動時にプリンタのメモリにある印刷ジョブは削除されます。
②	ネットワークの再起動	プリンタのネットワークを再起動します。	プリンタのネットワーク設定だけを再起動する場合に ◉ にします。
③	プリンタの初期化	プリンタの設定を初期化します。	プリンタの設定（ネットワーク設定）をすべて初期化する場合に ◉ にします。
④	[送信]		◉ にした内容をプリンタに送信、反映します。
⑤	[キャンセル]		変更内容をクリアします。

お願い

- プリンタの再起動、ネットワークの再起動中は再起動が完了するまで Internet Service は利用できません。
- プリンタの初期化を行った場合は、プリンタの IP アドレス等を再設定するまで Internet Service は利用できません。

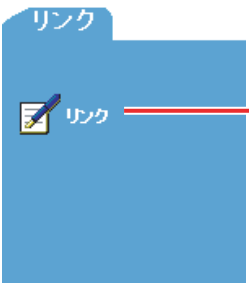
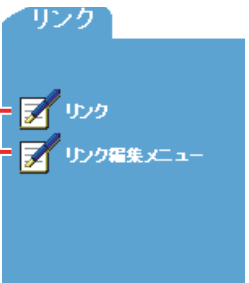
LANの規模の設定

①	LAN の規模の設定	LAN	普通または小規模を設定します。 普通： 通常は、この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つ大規模な LAN にも対応します。ただし、コンピュータが 2、3 台の小規模な LAN に接続するとプリンタの起動時間が長くなります。 小規模：コンピュータが 2、3 台の小規模 LAN から大型の LAN まで対応します。ただし、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
②	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

HEX ダンプ

①	HEX ダンプ	HEX ダンプ	プリンタを HEX ダンプモードにする場合に ☑ にします。HEX ダンプモードを終了するには電源を OFF してください。HEX ダンプモード時は、受信したデータをすべて 16 進数で印刷します。
②	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

[リンク] タブ

[リンク]タブでは、プリンタに関するURLや管理者の設定したURLへのリンクを表示できます。管理者モードでは「サポートリンク」の編集や新たに「その他のリンク」を5件まで登録できます。

	メニュー名	機能の概略
①	リンク	リンクの一覧を表示します。
②	リンク編集メニュー	リンクメニューで表示されるタイトル名とURLを編集します。

リンク

クリックすると、あらかじめ指定されたURLへリンクします。
ドライバのダウンロード、消耗品の注文などが設定されています。

リンク編集メニュー（管理者モードのみ）

設定できる項目は次のとおりです。

①	リンク編集メニュー	サポートリンク 5 件	URL を 5 件まで設定できます。URL は 1 ～ 255 文字の半角英数字を入力してください。
		その他のリンク 5 件	タイトルと URL を 5 件まで設定できます。タイトルは 1 ～ 40 文字、URL は 1 ～ 255 文字の半角英数字を入力してください。
②	［送信］		設定した内容をプリンタに送信、反映します。
③	［キャンセル］		変更内容をクリアします。

「サポートリンク」では URL の編集ができます。
「その他のリンク」では、タイトル /URL の編集ができます。

第8章
こんなときには

この章では、プリンタドライバ、添付ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明します。

ソフトウェアに関するトラブルシューティング

セットアップ時のトラブルシューティング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

プリンタドライバのインストール中に警告ダイアログが表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告ダイアログが表示されることがあります。ここでは、注意が必要な以下の現象（メッセージ）について説明します。

《現 象 1》

「Windows の CD-ROM を挿入してください」というメッセージが表示された。

《対 処》

製造元とモデルの選択ダイアログで［ディスク使用］をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとすると表示されるメッセージです。
インストールをキャンセルして、再度、プリンタ添付の CD-ROM からプリンタドライバをインストールし直すことをお勧めします。

参照　「第 2 章　ネットワークを利用しないプリンタの接続」（25 ページ）参照

参照　「第 3 章　ネットワークを利用した プリンタの接続」（59 ページ）参照

《現 象 2》

［バージョンの競合］または［ファイルの上書き確認］や、「このコンピュータには、より新しいバージョンのドライバが既にインストールされています。」というメッセージが表示された。

《対 処》

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。
［はい］をクリックして、現在のファイルをそのまま使うようにしてください。

《現 象 3》

「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

《対 処》

クライアントの OS（Windows）用のプリンタドライバが、サーバ側に追加（または代替）インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。
いったんインストールを中断し、サーバに追加（または代替）ドライバをインストールしてからクライアントでネットワークインストールを行うか、クライアント側で CD-ROM からプリンタドライバをインストールしてください。
サーバ側に追加（または代替）ドライバをインストールする方法、およびクライアント側でのプリンタドライバのインストール方法については、「第 4 章　プリンタ共有の設定」（117 ページ）を参照してください。

USBインターフェースのときにプリンタが検出されない

《現 象》

最初にプリンタとパソコンを USB インターフェースで接続したところ、「デバイスドライバーは正しくインストールされませんでした」と表示された。（7/2008 R2）

《対 処 1》

7/2008 R2 の場合、プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続していると「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」というメッセージが表示されます。その場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールし直してください。

1. 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2. 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

   インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

   ガイド

   ・インストーラの画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
   ・Windows Vista/7/Windows Server 2008 の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

3. 「USB/ パラレルでプリンタを使用する」を選択する

   「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

   「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示された場合には、「このドライバー ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

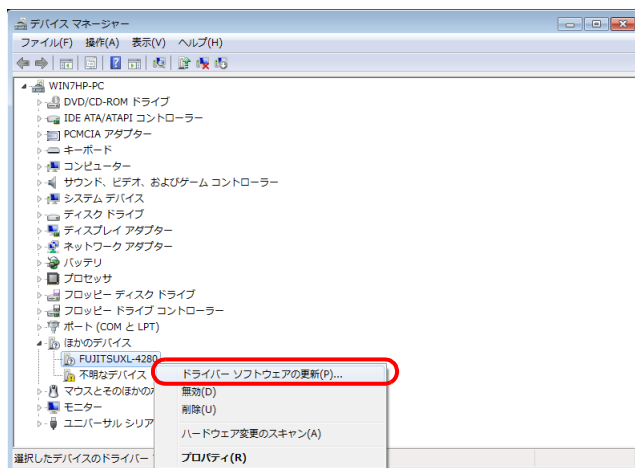
4. インストール処理が完了するまで（コマンドプロンプトの画面が閉じるまで）待ちます

5. プラグアンドプレイの準備が完了したことを示すメッセージが表示されます。

6. 「スタート」－「デバイスとプリンター」の順にクリックする

7. 「デバイスとプリンター」フォルダの何もない部分で右クリックし、表示された一覧から「デバイスマネージャー」を選ぶ

   「デバイスマネージャー」ウィンドウが表示されます。

8 「ほかのデバイス」の下にある「FUJITSU XL-xxxx」(XL-xxxx はプリンター名)を選び、右クリックでメニューを開いて、「ドライバー ソフトウェアの更新」を選ぶ

9 「ドライバー ソフトウェアの更新」ウィンドウで、「ドライバー ソフトウェアの最新版を自動検索します」をクリックする

10 プリンタードライバーのインストールが完了したら「閉じる」をクリックする

「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンターアイコンが追加されていれば、プリンタードライバーのインストールは完了です。

《現 象》

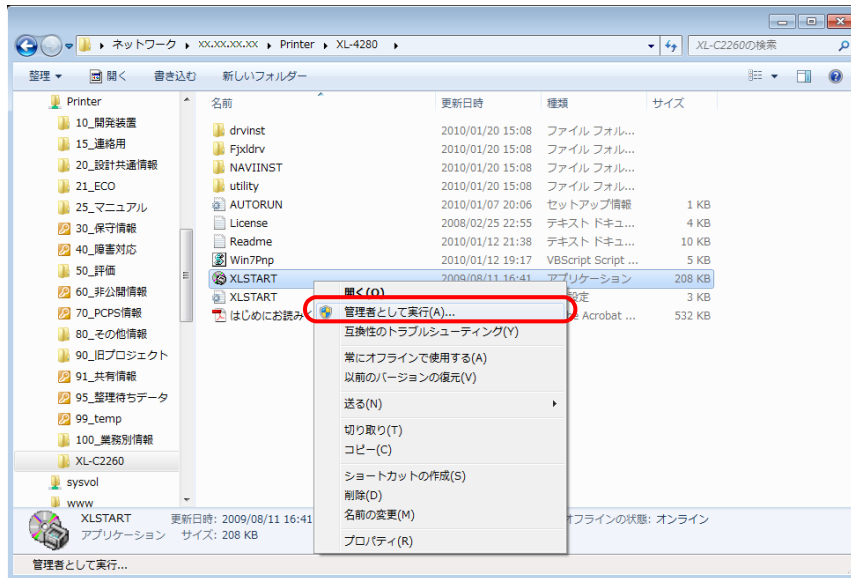
ネットワークの共有サーバ上に置いてあるプリンタードライバーから直接セットアップを起動した場合に、セットアップメニューから［USB/ パラレルでプリンタを使用する］をクリックすると、「スクリプトの読み込みに失敗しました(ログオン失敗)。」というエラーが出る場合がある。

《対 処 1》

サーバ上のファイルへのアクセス権限が不足している場合などに、セットアップの起動に失敗することがあります。この場合には、以下のいずれかの方法で再度セットアップを起動してください。

・一度ローカルのパソコン上にプリンタードライバーをコピーしてから、セットアップを起動する。

セットアップを起動する際に、アイコンを右クリックしてメニューを開き、「管理者として実行」を選択してセットアップを起動する。

《現 象》

USB インターフェースでプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない（Windows 98/Me/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008（R2 以外））。

《対 処 1》

次の点を確認してください。

・プリンタの電源は入っていますか
　プリンタの電源を入れてください。

参照　『取扱説明書』「第 2 章　プリンタ本体の設置」「電源の投入」参照

・USB ケーブルの規格は合っていますか
　USB 1.1 または 2.0 に準拠したケーブルを使用してください。
・USB ケーブルは正しく接続されていますか
　USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

参照　『取扱説明書』「第 2 章　プリンタ本体の設置」「ケーブルの接続」参照

・Windows 95/3.1 から Windows 98/Me にアップグレードしましたか。
　Windows 95/3.1 から Windows 98/Me にアップグレードしたパソコンでは動作保証できません。
　Windows 98/Me をクリーンインストールしたパソコンを使用してください。

・パソコンは USB に対応していますか。
　デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。

お使いのパソコンが USB に対応している場合は、［デバイスマネージャ］ダイアログに USB のホストコントローラと「USB ルートハブ」が表示されます。

［デバイスマネージャ］ダイアログは、次の操作で表示します。

- Windows 98/Me
  ［マイコンピュータ］－［コントロールパネル］－［システム］－［デバイスマネージャ］タブを開き、［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］の下を確認します。
- Windows 2000
  ［マイコンピュータ］－［コントロールパネル］－［システム］－［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックして［デバイスマネージャ］ダイアログを開き、［USB (Universal Serial Bus) コントローラ］の下を確認します。
- Windows XP/Windows Server 2003
  ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］を開き、「関連項目」の中から［システム］－［ハードウェア］－［デバイスマネージャ］タブを開き、［USB (Universal Serial Bus) コントローラ］の下を確認します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  ［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。「クラシック表示」になっていない場合は「クラシック表示」をクリックしてから、「デバイスマネージャ」をダブルクリックします。「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は［続行］をクリックし、表示されたウィンドウで「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の下を確認します。

パラレルインターフェースのときにプリンタが検出されない

《現 象》

最初にプリンタとパソコンをパラレルインターフェースで接続したところ、「デバイスドライバーは正しくインストールされませんでした」と表示された。(7/2008 R2)

《対 処》

「USB インターフェースのときにプリンタが検出されない」にある「最初にプリンタとパソコンを USB インターフェースで接続したところ、「デバイスドライバーは正しくインストールされませんでした」と表示された。(7/2008 R2)」の手順をご覧になり、プリンタドライバをインストールし直してください。

参照　「USB インターフェースのときにプリンタが検出されない」(303 ページ)参照

ネットワークに接続できない

《現 象》

ネットワークに接続できない。

《対 処》

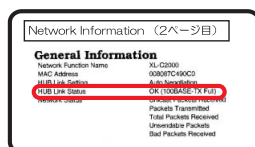
次の点を確認してください。

・プリンタ LAN ケーブルが抜けている、または抜けかかっていませんか。
シャットダウンして電源を切り、LAN ケーブルを差し込み直してください。
・プリンタ LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
プリンタの電源を入れてから LAN ケーブルを接続すると、ネットワークで確認できないことがあります。
再度、シャットダウンして電源を切り、LAN ケーブルを接続してから電源スイッチを [|] 側に倒して電源を入れてください。
・プリンタ LAN ケーブルの種類は正しいですか。
ツイストペアケーブルを使用してください。
100Mbps で使用する場合は、カテゴリー 5 またはエンハンスドカテゴリー 5 のツイストペアケーブルを使用してください。
・プリンタの Ethernet タイプは正しいですか。

1 オペレータパネルの管理者用メニュー[Network Setup]ー[HubLink Setting]を「Auto Negotiate」にしてプリンタLAN ケーブルとハブユニットを接続する

2 オペレータパネルを操作し、[プリンタ情報印刷] ー [Network Information] で「Network Information」を印刷する

3 Network Information の「General Information」-「HUB Link Status」が「OK (***)」と記載されていることを確認する

「Link Fail」の場合は、4 に進んでください。

オペレータパネルの管理者用メニューの［Network Setup］－［HubLink Setting］をハブユニットのEthernetタイプに合わせて設定し直す

❷～❸を行い、プリンタのEthernetタイプを正しく設定する

・他のネットワーク機器が同じIPアドレスになっていませんか。
プリンタがIPアドレスを自動取得設定していても、同一ネットワーク内の他のネットワーク機器が同じIPアドレスを手動設定していると、正しくネットワークに接続できません。
設定内容の一覧や他のネットワーク機器を確認し、IPアドレスを正しく設定してください。
・IPアドレスなどのネットワーク環境を確認します。
IPアドレスなどが変更されている可能性もあります。
オペレータパネルを操作し、［プリンタ情報印刷］－［Network Information］で「Network Information」を印刷し、次の項目を確認してください。「IP Address」「Subnet Mask」「Gateway Address」は正しく設定されていますか。
また、ネットワーク環境から移動した場合、ネットワーク機能の初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。設定が違っている場合は、正しく設定してください。

参照 『取扱説明書』「第2章　プリンタ本体の設置」「設定一覧の印刷」参照

参照 『取扱説明書』「第5章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IPアドレスの設定」参照

・IPフィルタリングの設定は正しいですか。
IPフィルタリングを有効にすると、設定したIPアドレス範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

参照 「［セキュリティ］タブ（管理者モードのみ）」「IPフィルタリング」（289 ページ）参照

《現 象》

ネットワーク障害が発生しネットワークに接続できない。

《対 処》

次の点を確認してください。
・プリンタのEthernetタイプは正しいですか。
プリンタのEthernetタイプの設定がハブユニットの規格と一致しない場合、ネットワーク障害の原因となります。
ハブユニットの規格を調べたうえで、次のように対処してください。

1 プリンタLAN ケーブルを抜く

ネットワーク障害は解消されます。

3 プリンタをシャットダウンして、電源を切る

4 プリンタLAN ケーブルを接続する

プリンタの電源スイッチを［ I ］側に倒して、電源を入れる

ネットワーク障害は解消され、プリンタも使用できます。

《現 象》

IP アドレスが電源を入れるたびに変わってしまう。

《対 処》

次の点を確認してください。

・プリンタの IP アドレスが DHCP サーバから取得するように設定されていませんか。
固定の IP アドレスを割り当てる場合は、オペレータパネルの管理者用メニュー［Network Setup］－［IP Address Set］を「Manual」に設定してから、［IP Address］で IP アドレスを入力してください。

IP アドレスの設定方法は、『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

プリンタの設定情報を取得できない

《現 象 1》

プリンタドライバの［デバイスオプション］ダイアログの［プリンタの情報を取得する］をクリックしても、プリンタの設定情報が取得できない。または、［プリンタの情報を取得する］が選択できない。

《対 処》

オペレータパネルを操作し、管理者用メニュー［Nerwork Setup］－［SNMP］が「Enable」になっているか確認してください。「Disable」の場合は「Enable」に変更してください。

『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」参照

・Network Extension がインストールされているか確認してください。
Network Extension がインストールされていないと［プリンタの情報を取得する］は選択できません。
Network Extension をインストールしてください。

参照　「Network Extension」（212 ページ）参照

運用時のトラブルシューティング

プリンタを運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

印刷ができない

《現 象》

テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷ができない。

《対 処 1》

プリンタの状態およびケーブル接続を確認します。
次の点を確認してください。

・プリンタの電源が入っていますか。
・パラレルケーブル、USB ケーブル、または LAN ケーブルが正しく接続されていますか。
・プリンタがエラー状態になっていませんか。
　プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、印刷可能状態にしてください。
・プリンタ切替器を使用していませんか。
　プリンタとの通信が異常となったり、プリンタの故障の原因となったりするおそれがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

《対 処 2》

IP アドレスなどのネットワーク環境を確認します。
IP アドレスなどが変更されている可能性もあります。
オペレータパネルを操作し、［プリンタ情報印刷］－［Network Information］で「Network Information」を印刷し、次の項目を確認してください。「IP Address」「Subnet Mask」「Gateway Address」は正しく設定されていますか。
また、ネットワーク環境を移動した場合、ネットワーク機能の初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。設定が違っている場合は、正しく設定してください。

参照　『取扱説明書』「第 2 章　プリンタ本体の設置」「設定一覧の印刷」参照

参照　ネットワーク初期化の詳細は 『取扱説明書』「第 1 章　お使いになる前に」「各部の名称と機能」「TEST スイッチ」参照

参照　『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」「オペレータパネルで行える、主な設定と操作」「IP アドレスの設定」参照

《対 処 3》

IP フィルタリングによる印刷制限の設定を確認します。
Internet Service の［セキュリティ］タブ（管理者モード）－［IP フィルタリング］で設定を確認してください。

参照　「第 7 章　Web サーバ機能」「［セキュリティ］タブ（管理者モードのみ）」「IP フィルタリング」（289 ページ）参照

《対 処 4》

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

プリンタフォルダを開く

・Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合
　［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
　［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックする
・Windows Vista/Windows Server 2008 の場合
　［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする

2 **［プリンタ］フォルダから該当するプリンタをダブルクリックする**

3 **表示されるウィンドウのタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認する**

停止状態のときは、［プリンタ］メニューおよび［ドキュメント］メニューの「一時停止」を解除します。

《現　象》

FJRAW ポートが印刷できない。

《対　処》

オペレータパネルを操作し、管理者用メニュー［Nerwork Setup］－［SNMP］が「Enable」になっているか確認してください。「Disable」の場合は「Enable」に変更してください。

『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」参照

《現　象》

IPP ポートでの印刷できない、あるいはアクセス拒否になる。

《対　処 1》

Internet Service で［ネットワーク］タブ「IPP 設定」－「基本的な設定」の「IPP」が「有効」になっているか確認してください。また、［セキュリティ］タブ「プロトコル ON/OFF」－「サービス」の「IPP サービス」が「有効」になっているか確認してください。「無効」の場合は「有効」に変更してください。

「［ネットワーク］タブ」「IPP（基本的な設定）」（283 ページ）参照

「IPP 印刷の設定」（102 ページ）参照

《対　処 2》

Internet Service の［ネットワーク］タブ「IPP 設定」－「認証の設定」は正しく設定されていますか。設定内容を確認し、正しく設定してください。

「［ネットワーク］タブ」「IPP（認証の設定）」（284 ページ）参照

「IPP 印刷の設定」（102 ページ）参照

《現 象》

Windows 98/Me から印刷ができない。

《対 処 1》

パソコン側にアダプタが認識されているか確認します。
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ネットワーク］－［ネットワークの設定］タブの順にクリックし、［現在のネットワークコンポーネント］で「TCP/IP → ***」（*** はアダプタ名）が表示されているか確認してください

《対 処 2》

パソコン側の IP アドレスなどが正しく設定されているか確認します。
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ネットワーク］－［ネットワークの設定］タブ－［現在のネットワークコンポーネント］－［TCP/IP -> ***］（*** はアダプタ名）の［プロパティ］で「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を正しく設定してください。

《現 象》

Windows NT 4.0 から印刷ができない。

《対 処 1》

パソコン側に TCP/IP が組み込まれているか確認します。
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ネットワーク］の順にクリックし、［プロトコル］タブの［ネットワークプロトコル］で［TCP/IP プロトコル］が表示されているか確認してください。

《対 処 2》

パソコン側の IP アドレスなどが正しく設定されているか確認します。
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ネットワーク］－［プロトコル］タブ－［ネットワークプロトコル］－［TCP/IP プロトコル］の［プロパティ］で「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を正しく設定してください。

《現 象》

Windows 2000 から印刷ができない。

《対 処 1》

パソコン側に TCP/IP が組み込まれているか確認します。
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ネットワークとダイヤルセットアップ］－［ローカルエリア接続］の順にクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP)］が表示されているか確認してください。

《対 処 2》

パソコン側の IP アドレスなどが正しく設定されているか確認します。
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ネットワークとダイヤルセットアップ］－［ローカルエリア接続］－［プロパティ］－［インターネットプロトコル（TCP/IP)］の［プロパティ］で「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を正しく設定してください。

《現 象》

Windows XP から印刷ができない。

《対 処 1》

パソコン側に TCP/IP が組み込まれているか確認します。
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット接続］－［ネットワーク接続］－［ローカルエリア接続］の順にクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が表示されているか確認してください。

《対 処 2》

パソコン側の IP アドレスなどが正しく設定されているか確認します。
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット接続］－［ローカルエリア接続］－［プロパティ］－［インターネットプロトコル（TCP/IP）］の［プロパティ］で「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を正しく設定してください。

《現 象》

Windows Server 2003 から印刷ができない。

《対 処 1》

パソコン側に TCP/IP が組み込まれているか確認します。
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワーク接続］－［ローカルエリア接続］の順にクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が表示されているか確認してください。

《対 処 2》

パソコン側の IP アドレスなどが正しく設定されているか確認します。
［スタート］－［コントロールパネル］－［ローカルエリア接続］－［プロパティ］－［インターネットプロトコル（TCP/IP）］の［プロパティ］で「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を正しく設定してください。

《現 象》

Windows Vista/Windows Server 2008 から印刷ができない。

《対 処 1》

パソコン側に TCP/IP が組み込まれているか確認します。
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークの状態とタスクの表示］－［ネットワーク接続の管理］－［ローカルエリア接続］の順にクリックし、［プロパティ］をクリックします。「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は［続行］をクリックし、［インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）］が表示されていることを確認してください。

《対 処 2》

パソコン側の IP アドレスが正しく設定されているか確認します。
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークの状態とタスクの表示］－［ネットワーク接続の管理］－［ローカルエリア接続］の順にクリックし、［プロパティ］をクリックします。「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は［続行］をクリックし、［インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）］の［プロパティ］で「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を正しく設定してください。

《現 象》

Windows 7/Windows Server 2008 R2 から印刷ができない。

《対 処 1》

パソコン側に TCP/IP が組み込まれているか確認します。
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークの状態とタスクの表示］－［アダプターの設定の変更］－［ローカルエリア接続］の順にクリックし、［プロパティ］をクリックします。
［インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）］が表示されていることを確認してください。

《対 処 2》

パソコン側の IP アドレスが正しく設定されているか確認します。
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークの状態とタスクの表示］－［アダプターの設定の変更］－［ローカルエリア接続］の順にクリックし、［プロパティ］をクリックします。
［インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）］の［プロパティ］で「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を正しく設定してください。

印刷が開始されるまでに時間がかかる

《現 象》

最初の 1 ページ目が印刷されるまでに数十秒から 1 分以上かかる。

《対 処》

プリンタが節電状態になっていた場合は、定着器の温度が上がるまで準備中となります。
節電状態に入るまでの時間を必要に応じて変更してください。

印刷結果がプリンタドライバの設定と違う

《現 象》

アプリケーションから印刷を行ったが、印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と違っている。

《対 処》

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。
このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。
このような場合は、［プリンタのプロパティ］（Windows 98/Me）や［印刷設定］（Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008）、［ドキュメントの既定値］（Windows NT 4.0）で設定を変更しても反映されません。
印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

参照 「プリンタドライバで設定できる内容」（145 ページ）参照

FUJITSU LPR ユーティリティ使用時のトラブル

《現 象》

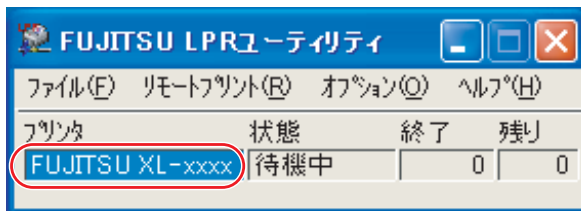
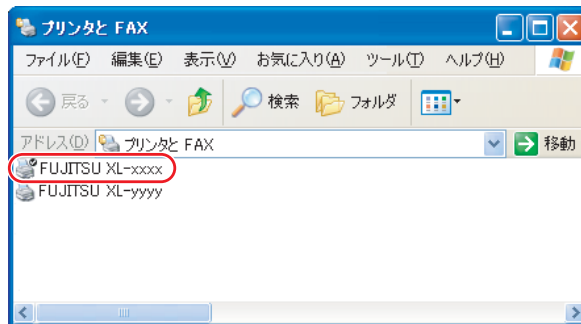
「FUJITSU LPR ユーティリティ」のメインウィンドウの状態欄が <未接続> になり印刷ができない。

《対 処》

次の点を確認してください。

・FJLPR Port の IP アドレスは正しく設定されていますか。
　メインウィンドウで、使用しているプリンタを選択してから［リモートプリントメニュー］－［プリンタの再設定］の順にクリックし、［IP アドレス］がプリンタの IP アドレスを正しく設定してください。

・メインウィンドウの［プリンタ］欄の名称と、［スタート］－［設定］－［プリンタ］（Windows XP/Windows Server 2003 では、［プリンタと FAX］）フォルダの名称が一致していますか。

メインウィンドウの［プリンタ］欄の名称

［プリンタ］フォルダの名称

メインウィンドウの［プリンタ］欄の名称と［プリンタ］フォルダの名称が一致していない場合は、FUJITSU LPR ユーティリティでプリンタを削除し、［プリンタの追加］で再設定を行うか、［プリンタ］フォルダの名称をメインウィンドウの［プリンタ］欄と同じ名称に変更してください。

・［スタート］－［設定］－［プリンタ］（Windows XP/Windows Server 2003 では［プリンタと FAX］）フォルダからプリンタが削除されていませんか。
　［プリンタ］フォルダからプリンタが削除されている場合は、FUJITSU LPR ユーティリティのプリンタも削除し、設定し直してください。

参照　「プリンタを追加する」（200 ページ）参照

参照　「FUJITSU LPR ユーティリティの機能」（202 ページ）参照

《現 象》

IP アドレスの検索 / 設定ができない。
ジョブの自動転送ができない。
プリンタのステータスが表示できない。

《対 処》

オペレータパネルを操作し、管理者用メニュー［Network Setup］－［SNMP］が「Enable」になっているか確認してください。
「Disable」の場合は「Enable」に変更してください。

参照　『取扱説明書』「第 5 章　オペレータパネルの操作」参照

LPR ポート使用時のトラブル

《現 象》

Windows NT 4.0 から印刷ができない。

《対 処》

「Microsoft　TCP/IP 印刷サービス」が設定されているか確認します。
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ネットワーク］の順にクリックし、［サービス］タブの［ネットワークサービス］で［Microsoft TCP/IP 印刷］が表示されるか確認してください。サービスが設定されていない場合は、設定してください。

《現 象》

Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 から印刷ができない。

《対 処》

プリンタの IP アドレスを正しく指定しているか確認します。
プリンタの IP アドレスの各オクテットの先頭を「0」にしていませんか。「192.169.002.010」ではなく「192.169.2.10」のように設定してください。

Color Printia LASER Internet Service使用時のトラブル

《現 象》

Color Printia LASER Internet Service に接続できない。

《対 処 1》

次の点を確認してください。
・ プリンタの電源が入っていますか。
・ プリンタ LAN ケーブルが抜けている、または抜けかかっていませんか。
　シャットダウンして電源を切り、プリンタ LAN ケーブルを差し込み直してください。

《対 処 2》

次の点を確認してください。

・インターネットアドレスは正しく入力されていますか。
 インターネットアドレスをもう一度確認してください。それでも接続できない場合は IP アドレスを使用してください。
・IP アドレスは正しく入力されていますか。
 IP アドレスが変更されている可能性もあります。
 オペレータパネルを操作し、［プリンタ情報印刷］－［Network Information］で「Network Information」を印刷し、「IP Address」を確認してください。
・Web 設定は有効になっていますか。
 オペレータパネルを操作し、管理者用メニュー［Nerwork Setup］－［Web］が「Enable」になっているか確認してください。「Disable」の場合は「Enable」に変更してください。

参照 『取扱説明書』「第 5 章 オペレータパネルの操作」参照

《現 象》

［ステータス更新］が機能しない。
各カテゴリタブでメニューの項目を選択しても、情報の画面が更新されない。

《対 処》

Web ブラウザのメニューを使用して、更新してみてください。
また、使用しているパソコンの OS や Web ブラウザが適切かどうかを確認してください。

《現 象》

パスワードを忘れて、設定を変更できない。

《対 処》

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、プリンタネットワーク機能の初期化を行ってください。
手順は取扱説明書「第 1 章 お使いになる前に」「各部の名称と機能」「TEST スイッチ」を参照してください。
ただし、この場合はネットワークに関する設定がすべて工場出荷時の値に初期化されます。ネットワークの設定を初期化する前に、設定内容の一覧を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。

参照 『取扱説明書』「第 1 章 お使いになる前に」「各部の名称と機能」「TEST スイッチ」参照

メール受信時のトラブル

《現 象》

メールがエラーとなり送信できない。

《対 処》

次の点を確認してください。

・SMTP サーバが正常に作動していますか。
　ネットワーク管理者に確認してください。
・SMTP サーバの IP アドレスが正しく入力されていますか。
　Internet Service で正しい IP アドレスを入力してください。
・送信する通知項目が正しく設定されていますか。
　Internet Service で、メールで通知したい項目をチェックしてください。
・送信先メールアドレスが正しく入力されていますか。
　Internet Service で、正しい送信先を指定してください。

参照　「第 7 章 Web サーバ機能」「Email（送信設定）」（271 ページ）参照

エラー情報

Color Printia LASER Internet Service 利用時に表示されるメッセージについて説明します。

トップページにおけるエラー情報、およびステータスウィンドウにおける表示メッセージは、エラーと警告に分けられます（本情報は、E-Mail サービスで通知されるステータス情報と同一です）。

●トップページのエラー情報

・エラー発生時：赤色のメッセージを表示
・警告発生時　：黄色のメッセージを表示

●ステータスウィンドウの表示メッセージ（管理者モード）

ステータスウィンドウでは下記のとおりランプが点滅します。点滅しているランプをクリックするとメッセージが表示されます。

・エラー発生時：赤（右側）ランプが点滅
・警告発生時　：黄（真中）ランプが点灯

これらのメッセージは英語で表示されますが、以下の内容を意味します。また、メッセージは優先度の高いものから表示されますので、優先度の低いメッセージは、優先度の高いメッセージの発生要因が解除されるまで表示されないことがあります。

優先度は以下の表中の順に従います。

メッセージ表

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
高	エラー	Service Call Required	プリンタに異常が発生しています。
↑	エラー	Cover Open for Upper Cover	トップカバーが開いています。
	エラー	Cover Open for Tray1 Cover	トレイ 1 サイドカバーが開いています。
	エラー	Cover Open for Tray2 Cover	トレイ 2 サイドカバーが開いています。
	エラー	Cover Open for Tray3 Cover	トレイ 3 サイドカバーが開いています。
	エラー	Cover Open for Tray4 Cover	トレイ 4 サイドカバーが開いています。
	エラー	Cover Open for Tray5 Cover	トレイ 5 サイドカバーが開いています。
	エラー	Cover Open for Duplex Unit	両面ユニットカバーが開いています。
	エラー	Cover Open for Side Cover	サイドカバーが開いています。
	エラー	Cover Open for Eject Cover	排出部サイドカバーが開いています。
	エラー	Waste Toner Box Missing	廃トナーボックスが正しくセットされていないか、またはフロントカバーが開いています。
	エラー	Belt Missing	ベルトユニットが正しくセットされていません。
	エラー	Fuser Missing	定着器が正しくセットされていません。
	エラー	Drum Missing for Black	ブラックドラムカートリッジが正しくセットされていません。
	エラー	Drum Missing for Yellow	イエロードラムカートリッジが正しくセットされていません。
	エラー	Drum Missing for Magenta	マゼンタドラムカートリッジが正しくセットされていません。
	エラー	Drum Missing for Cyan	シアンドラムカートリッジが正しくセットされていません。
	エラー	Improper Toner Lock Lever Position for Black	ブラックトナーカートリッジのロックレバーの位置が正しくありません。
	エラー	Improper Toner Lock Lever Position for Yellow	イエロートナーカートリッジのロックレバーの位置が正しくありません。
	エラー	Improper Toner Lock Lever Position for Magenta	マゼンタトナーカートリッジのロックレバーの位置が正しくありません。
	エラー	Improper Toner Lock Lever Position for Cyan	シアントナーカートリッジのロックレバーの位置が正しくありません。
	エラー	Waste Toner Transfer Error	廃トナー搬送部が動作していません。
	エラー	Waste Toner Full	廃トナーボックスがいっぱいです。
	エラー	Fuser Release Position Sensor Error	定着器が正しくセットされていません。
	エラー	Drum Life Error for Black	ブラックドラムカートリッジの寿命です。
	エラー	Drum Life Error for Yellow	イエロードラムカートリッジの寿命です。
	エラー	Drum Life Error for Magenta	マゼンタドラムカートリッジの寿命です。
	エラー	Drum Life Error for Cyan	シアンドラムカートリッジの寿命です。
（低）	エラー	Duplex Unit Error	両面ユニットが正しくセットされていません。

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
（高）	エラー	Paper Feed Jam for Duplex Unit	両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。
	エラー	Paper Feed Jam	トップカバー部付近、ベルトユニット付近、用紙排出部付近で紙づまりが発生しました。
	エラー	Paper Feed Jam for Side Cover	サイドカバー部付近、用紙排出部付近で紙づまりが発生しました。
	エラー	Paper Input Jam for Tray1 Cover	トレイ1サイドカバー付近で紙づまりが発生しました。
	エラー	Paper Input Jam for Tray2 Cover	トレイ2サイドカバー付近で紙づまりが発生しました。
	エラー	Paper Input Jam for Tray3 Cover	トレイ3サイドカバー付近で紙づまりが発生しました。
	エラー	Paper Input Jam for Tray4 Cover	トレイ4サイドカバー付近で紙づまりが発生しました。
	エラー	Paper Input Jam for Tray5 Cover	トレイ5サイドカバー付近で紙づまりが発生しました。
	エラー	Paper Input Jam for Side Cover	サイドカバー付近で紙づまりが発生しました。
	エラー	Paper Size Error for Tray1	トレイ1から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Size Error for Tray2	トレイ2から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Size Error for Tray3	トレイ3から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Size Error for Tray4	トレイ4から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Size Error for Tray5	トレイ5から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Size Error for MPTray	マルチパーパストレイから指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Feed Jam for Tray1	トレイ1から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Feed Jam for Tray2	トレイ2から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Feed Jam for Tray3	トレイ3から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Feed Jam for Tray4	トレイ4から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Feed Jam for Tray5	トレイ5から指定サイズと異なる長さの用紙を給紙しました。
	エラー	Paper Thick Error	同じトレイで厚さの異なる用紙を検出しました。
	エラー	Toner Sensor Error for Black	ブラックトナーセンサーに異常が発生しています。

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
（高）	エラー	Toner Sensor Error for Yellow	イエロートナーセンサーに異常が発生しています。
	エラー	Toner Sensor Error for Magenta	マゼンタトナーセンサーに異常が発生しています。
	エラー	Toner Sensor Error for Cyan	シアントナーセンサーに異常が発生しています。
	エラー	Paper Jam for Duplex Unit	両面ユニット付近に用紙が残っています。
	エラー	Paper Jam	トップカバー部付近、ベルトユニット付近、用紙排出部付近に用紙が残っています。
	エラー	Paper Jam for Side Cover	サイドカバー部付近に用紙が残っています。
	エラー	Paper Jam for Tray1 Cover	トレイ 1 サイドカバー 付近に用紙が残っています。
	エラー	Paper Jam for Tray2 Cover	トレイ 2 サイドカバー 付近に用紙が残っています。
	エラー	Paper Jam for Tray3 Cover	トレイ 3 サイドカバー 付近に用紙が残っています。
	エラー	Paper Jam for Tray4 Cover	トレイ 4 サイドカバー 付近に用紙が残っています。
	エラー	Paper Jam for Tray5 Cover	トレイ 5 サイドカバー 付近に用紙が残っています。
	エラー	Toner Not Installed for Black	ブラックトナーカートリッジが装着されていません。
	エラー	Toner Not Installed for Yellow	イエロートナーカートリッジが装着されていません。
	エラー	Toner Not Installed for Magenta	マゼンタトナーカートリッジが装着されていません。
	エラー	Toner Not Installed for Cyan	シアントナーカートリッジが装着されていません。
	エラー	Incompatible Toner for Black	使用できないブラックトナーカートリッジが付いています。
	エラー	Incompatible Toner for Yellow	使用できないイエロートナーカートリッジが付いています。
	エラー	Incompatible Toner for Magenta	使用できないマゼンタトナーカートリッジが付いています。
	エラー	Incompatible Toner for Cyan	使用できないシアントナーカートリッジが付いています。
	エラー	Toner Out for Black	ブラックトナーがなくなりました。
	エラー	Toner Out for Yellow	イエロートナーがなくなりました。
	エラー	Toner Out for Magenta	マゼンタトナーがなくなりました。
	エラー	Toner Out for Cyan	シアントナーがなくなりました。
	エラー	Memory Over Flow	メモリがいっぱいになりました。
	エラー	Paper Cassette Open for Tray1	トレイ 1 にカセットが入っていません。
（低）	エラー	Paper Cassette Open for Tray2	トレイ 2 にカセットが入っていません。

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
（高）	エラー	Paper Cassette Open for Tray3	トレイ 3 にカセットが入っていません。
	エラー	Paper Cassette Open for Tray4	トレイ 4 にカセットが入っていません。
	エラー	Paper Cassette Open for Tray5	トレイ 5 にカセットが入っていません。
	エラー	Unsuitable Size for Tray1	トレイ 1 に使用できないサイズの用紙がセットされているか、用紙ガイドが正しい位置にありません。
	エラー	Unsuitable Size for Tray2	トレイ 2 に使用できないサイズの用紙がセットされているか、用紙ガイドが正しい位置にありません。
	エラー	Unsuitable Size for Tray3	トレイ 3 に使用できないサイズの用紙がセットされているか、用紙ガイドが正しい位置にありません。
	エラー	Unsuitable Size for Tray4	トレイ 4 に使用できないサイズの用紙がセットされているか、用紙ガイドが正しい位置にありません。
	エラー	Unsuitable Size for Tray5	トレイ 5 に使用できないサイズの用紙がセットされているか、用紙ガイドが正しい位置にありません。
	エラー	Face Down Stacker Error	フェイスダウンスタッカの用紙がいっぱいです。
	エラー	Face Up Stacker Error	フェイスアップスタッカの用紙がいっぱいです。
	エラー	Paper Overfilled for MPTray	マルチパーパストレイの用紙が多すぎます。
	エラー	Paper Overfilled for Tray1	トレイ 1 の用紙が多すぎます。
	エラー	Paper Overfilled for Tray2	トレイ 2 の用紙が多すぎます。
	エラー	Paper Overfilled for Tray3	トレイ 3 の用紙が多すぎます。
	エラー	Paper Overfilled for Tray4	トレイ 4 の用紙が多すぎます。
	エラー	Paper Overfilled for Tray5	トレイ 5 の用紙が多すぎます。
	エラー	Lift Up Error for MPTray	マルチパーパストレイの用紙を給紙できません。
	エラー	Lift Up Error for Tray1	トレイ 1 の用紙を給紙できません。
	エラー	Lift Up Error for Tray2	トレイ 2 の用紙を給紙できません。
	エラー	Lift Up Error for Tray3	トレイ 3 の用紙を給紙できません。
	エラー	Lift Up Error for Tray4	トレイ 4 の用紙を給紙できません。
	エラー	Lift Up Error for Tray5	トレイ 5 の用紙を給紙できません。
	エラー	Paper Out for MPTray	マルチパーパストレイの用紙がありません。
	エラー	Paper Out for Tray1	トレイ 1 の用紙がありません。
	エラー	Paper Out for Tray2	トレイ 2 の用紙がありません。
	エラー	Paper Out for Tray3	トレイ 3 の用紙がありません。
	エラー	Paper Out for Tray4	トレイ 4 の用紙がありません。
	エラー	Paper Out for Tray5	トレイ 5 の用紙がありません。
（低）	エラー	NETWORK INITIAL	ネットワーク初期化中です。

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
（高）	エラー	Stacker Cover Closed	フェイスアップスタッカが閉じています。
	エラー	Size or Media Mismatch for MPTray	マルチパーパストレイの用紙がプリンタドライバで指定した用紙と異なっています。
	エラー	Size or Media Mismatch for Tray1	トレイ1の用紙がプリンタドライバで指定した用紙と異なっています。
	エラー	Size or Media Mismatch for Tray2	トレイ2の用紙がプリンタドライバで指定した用紙と異なっています。
	エラー	Size or Media Mismatch for Tray3	トレイ3の用紙がプリンタドライバで指定した用紙と異なっています。
	エラー	Size or Media Mismatch for Tray4	トレイ4の用紙がプリンタドライバで指定した用紙と異なっています。
	エラー	Size or Media Mismatch for Tray5	トレイ5の用紙がプリンタドライバで指定した用紙と異なっています。
	警告	Cancel Job Request	印刷ジョブのキャンセルを確認中です。
	警告	Paper Request for MPTray	マルチパーパストレイに用紙を入れてください。
	警告	Could Not Duplex.:Too Thick Paper	用紙が厚いため両面印刷ができませんでした。
	警告	Invalid Data	無効なデータを受信しました。
	警告	Storage Error	フラッシュメモリアクセスエラーが発生しています。
	警告	Collate Fail:Too Many Pages	部単位印刷でメモリがいっぱいになりました。
	警告	Storage Write Protect	フラッシュメモリへの書き込みは禁止されています。
	警告	Paper Cassette Open for Tray1	トレイ 1 にカセットが入っていません。
	警告	Paper Cassette Open for Tray2	トレイ 2 にカセットが入っていません。
	警告	Paper Cassette Open for Tray3	トレイ 3 にカセットが入っていません。
	警告	Paper Cassette Open for Tray4	トレイ 4 にカセットが入っていません。
	警告	Paper Cassette Open for Tray5	トレイ 5 にカセットが入っていません。
	警告	Lift Up Warning	トレイの用紙セットエラーが発生しています。
	警告	Job Offset Home Sensor Error	ジョブオフセットエラーが発生しています。
	警告	Drum Life Error for Black	ブラックドラムカートリッジを交換してください。
	警告	Drum Life Error for Yellow	イエロードラムカートリッジを交換してください。
	警告	Drum Life Error for Magenta	マゼンタドラムカートリッジを交換してください。
	警告	Drum Life Error for Cyan	シアンドラムカートリッジを交換してください。
（低）	警告	Toner Out for Black	ブラックトナーがなくなりました。

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
（高）	警告	Toner Out for Yellow	イエロートナーがなくなりました。
↓	警告	Toner Out for Magenta	マゼンタトナーがなくなりました。
	警告	Toner Out for Cyan	シアントナーがなくなりました。
	警告	Waste Toner Full	廃トナーボックスを交換してください。
	警告	Belt Life Error	ベルトユニットを交換してください。
	警告	Fuser Life Error	定着器を交換してください。
	警告	Waste Toner Near Full	廃トナーボックスの寿命が近づいています。
	警告	Belt Life Warning	ベルトユニットの寿命が近づいています。
	警告	Fuser Life Warning	定着器の寿命が近づいています。
	警告	Drum Life Warning for Black	ブラックドラムカートリッジの寿命が近づいています。
	警告	Drum Life Warning for Yellow	イエロードラムカートリッジの寿命が近づいています。
	警告	Drum Life Warning for Magenta	マゼンタドラムカートリッジの寿命が近づいています。
	警告	Drum Life Warning for Cyan	シアンドラムカートリッジの寿命が近づいています。
	警告	Non Paper Sense Error	用紙厚センサーの測定値が規定外です。
	警告	Paper Sense Error	用紙厚センサーに異常が発生しています。
	警告	Toner Low for Black	ブラックトナーが少なくなっています。
	警告	Toner Low for Yellow	イエロートナーが少なくなっています。
	警告	Toner Low for Magenta	マゼンタトナーが少なくなっています。
	警告	Toner Low for Cyan	シアントナーが少なくなっています。
	警告	Hopping Roller Life Error for Tray1	トレイ１のホッピングローラを交換してください。
	警告	Hopping Roller Life Error for Tray2	トレイ２のホッピングローラを交換してください。
	警告	Hopping Roller Life Error for Tray3	トレイ３のホッピングローラを交換してください。
	警告	Hopping Roller Life Error for Tray4	トレイ４のホッピングローラを交換してください。
	警告	Hopping Roller Life Error for Tray5	トレイ５のホッピングローラを交換してください。
	警告	Hopping Roller Life Error for MPTray	マルチパーパストレイのホッピングローラを交換してください。
低	警告	Printer Life Error	装置寿命に達しました。

カラーデータ印刷時のトラブル

カラー調整ユーティリティ使用時のトラブル

《現 象》

カラー調整ユーティリティが使用できない。

《対 処 1》

管理者権限で Windows にログオンしていますか。
Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 でご使用になる場合は、管理者権限で Windows にログオンしてください。

《対 処 2》

サーバを経由した共有プリンタ、または IPP での印刷ではありませんか。
サーバを経由した共有プリンタ、または IPP での印刷では、カラー調整ユーティリティをご使用できません。ローカル接続するか、IP アドレスを指定してプリンタをご使用ください。

参照 「ネットワークを利用しないプリンタの接続」（25 ページ）参照

参照 「ネットワークを利用した プリンタの接続」（59 ページ）参照

《現 象》

ディスプレイと同じ色に調整されない。

《対 処》

カラー調整を登録してから期間が経っている場合は、再度カラー調整を行ってください。

参照 「第 6 章　添付ソフトウェアと機能の利用方法」「カラー調整ユーティリティ」（215 ページ）参照

色見本印刷ユーティリティ使用時のトラブル

《現 象》

希望する色が印刷できない。

《対 処 1》

色見本を印刷したときのプリンタドライバの設定とアプリケーションで印刷する際のプリンタドライバの設定を合わせてください。
プリンタドライバの設定が違っていたり、わからなかったりする場合には、色見本を再度印刷してください。

《対 処 2》

色見本を印刷してから期間が経っている場合は、再度色見本を印刷してください。

参照 「第 6 章　添付ソフトウェアの機能と利用方法」「色見本印刷ユーティリティ」（227 ページ）参照

ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本製品添付のソフトウェアをご使用になる際の留意事項について説明します。

Windows をアップグレードする場合

Windows をアップグレードする場合、XL プリンタドライバおよび XL プリンタ関連ソフトウェアをあらかじめ削除（アンインストール）してから、アップグレードを行ってください。各ソフトウェアは、アップグレード完了後、再インストールしてください。

削除（アンインストール）を行わずに Windows をアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処方法について、以下で説明します。

●プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、Windows 添付のドライバに置き換わる、およびアップグレード前のドライバが登録されたままになることがあります。
この状態では、Printia XL ドライバが提供している機能が使用できない、または正しく印刷が行えないなどの現象が発生する場合があります。
プリンタドライバを削除し、再度インストールしてください。

参照 「プリンタドライバの削除」（193 ページ）参照

参照 「第 2 章　ネットワークを利用しないプリンタの接続」（25 ページ）参照

参照 「第 3 章　ネットワークを利用した プリンタの接続」（59 ページ）参照

●関連ソフトウェア

FUJITSU LPR ユーティリティ、Network Extension、色見本印刷ユーティリティ、カラー調整ユーティリティがインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、Printianavi のポート（Printianavi Network Port）が新規に作成できなくなる場合があります。この場合は、ネットワークポートモニタを削除（アンインストール）してから、最新版のネットワークポートモニタをインストールしてください。

Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 環境で使用時の留意事項

インストール、アンインストール時の注意事項

Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 で「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM に収められている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログオンしてください。
一般ユーザでログオンした場合は、正しくインストールまたはアンインストールできないことがあります。
一般ユーザでインストールまたはアンインストールして正常に動作しなくなった場合は、管理者権限でログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

Windows 2000/Windows Server 2003/2008 クラスタ環境について

クラスタ環境での動作は保証していません。

Citrix 製品、および Windows ターミナル環境での利用について

本製品は、「Citrix XenDesktop」「Citrix XenApp」(旧称「Citrix Presentation Server」「MetaFrame」)および、Windows ターミナルサービス環境下で使用できます。
なお、動作確認環境などは随時更新されます。最新の情報につきましては、富士通製品情報ページの「Citrix 製品 , Windows ターミナルサービス対応状況」をご覧ください。
http://www.fmworld.net/biz/printer/support/metaframe/
※上記 URL は、本マニュアル発行時点のものです。

プリンタ接続形態

プリンタマッピングにより自動作成されるプリンタへ印刷を行う環境での利用が可能です。
この場合、あらかじめクライアント環境の端末にプリンタケーブルや、ネットワークで直接接続されたプリンタを定義しておく必要があります。

その他の留意事項

・ マッピングプリンタへの印刷中止操作は、ターミナルウィンドウではなくクライアント端末にインストールしているプリンタの印刷キューから印刷を中止してください。

付 録

ここでは、プリンタドライバや添付ソフトウェアを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

用語の解説

● DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

IP アドレスの自動割り付けシステムです。クライアントが TCP/IP 通信を行うときに、必要に応じてサーバから IP アドレスをもらい、通信終了後はサーバに IP アドレスを戻します。

● DNS（Domain Name System）

ホスト名から IP アドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

● HTTP（HyperText Transfer Protocol）

インターネット上の WWW サーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。HTML（HyperText Markup Language）文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。

IETF（Internet Engineering Task Force）によって RFC として規格化されています。XL シリーズの IPP 対応機種では、HTTP/1.1 をサポートしています。

● IPP（Internet Printing Protocol）

RFC として規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコル HTTP（HyperText Transfer Protocol）を使用しており、LAN を超えた環境でもアクセスできることが特徴です。

● LPR（Line Printer Remote）

TCP/IP 標準の印刷制御プロトコルです。Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 では、UNIX 用印刷サービスまたは TCP/IP 印刷サービスとして標準添付されています。

● MIB

SNMP では、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視、管理するための動作状況に関するデータを MIB（Management Information Base : 管理情報ベース）といいます。

本製品は MIB- Ⅱおよび PrinterMIB をサポートしています。

● RAW 印刷

Windows 2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 に実装されている標準 TCP/IP ポートモニタにおける RAW プロトコル印刷をサポートします。本製品では、ポート番号を 9100 に固定しています。

● RFC（Request For Comments）

インターネットの研究開発機関 IETF（Internet Engineering Task Force）がとりまとめている文書群を指します。一般的には TCP/IP の規格書として知られています。

● SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器が SNMP をサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP 管理マネージャソフトから、SNMP メッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB（Management Information Base : 管理情報ベース）を読み込んだり、逆にそれを設定したりすることで、接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

・ SNMP メッセージ
SNMP によるエージェントの管理は以下の 5 種類のメッセージを使って行われます。
なお、本製品では SetRequest はサポートしていません。

メッセージ種別	説明	メッセージの送信方向
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ→エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント→マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント→マネージャ

PrintBarrier の概要

「PrintBarrier」を使用すると、印刷機能を持つアプリケーションであれば、種類を問わず、印刷データを利用したさまざまな機能を利用できるようになります。
「PrintBarrier」による印刷機能を利用することにより、印刷コストの削減と、効率的な印刷を実現できます。
クライアント（Standard）の機能に加え、サーバ（Enterprise）を利用することで印刷管理も可能です。

●特　長

・印刷コストの削減
- プレビュー上で詳細確認と不要なページのカット
- 縮小印刷による印刷用紙の削減
- 印刷データのファイル保存
- 印刷枚数制限（Enterprise）

・印刷セキュリティの強化
- ヘッダ / フッタ / 背景の追跡情報印刷
- 管理者設定による追跡情報の強制印字（Enterprise）
- ログ収集／レポート出力（Enterprise）

●動作環境

・対応 OS
- Enterprise…Windows 2000 Server/Windows Server 2003
- Standard…Windows 2000 Professional/Windows XP/Vista

※ Windows x64 Edition には対応しておりません。

●「PrintBarrier お試し版」の機能制限

・PrintBarrier Standard のすべての機能が使用できます。Enterprise 機能は含みません。
・プレビュー左下に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。
・プレビュー表示 30 回で製品購入をうながすメッセージを表示します。

●「PrintBarrier」についてのお問い合わせ先

※お問い合わせ先は、本マニュアル発行時点のものです。

問い合わせ先	株式会社富士通アドバンストエンジニアリング
お問い合わせ用 URL	http://jp.fujitsu.com/group/fae/contact/
製品情報 URL	http://jp.fujitsu.com/group/fae/services/product/barrier/

RepoAgent の概要

「RepoAgent」は、ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。
さまざまなビジネス帳票を、ワープロを使用する感覚でビジュアルに作成できます。また、帳票の印刷はアプリケーションから制御できます。

●特　長

・帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上
　ワープロを使用する感覚で手軽に帳票設計ができ、帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上します。また、運用中に会社のロゴを変更するといった作業も、帳票印刷プログラムを変更することなく対応できます。
・多彩な帳票設計
　以下の多彩な表現手段の提供により、複雑な帳票もかんたんに設計できます。
　罫線、網かけ、文字装飾、バーコード（11 種）、画像、
　データ内容に応じた小計 / 見出し / 改ページの自動挿入など
・容易なアプリケーション連携
　アプリケーション側では、帳票に埋め込むデータを CSV テキスト形式で出力し、RepoAgent を呼び出すだけで帳票印刷を実現できます。CSV テキストは Unicode にも対応しています。
　また、アプリケーションからの呼び出しインターフェースには、コマンド、API、ActiveX コントロール、Java クラスの 4 種類を用意しています。お使いの開発環境や運用形態に応じて選択できます。

●動作環境

・対応 OS
　- Windows 2000/XP/Vista/7
　- Windows Server 2003/2008/2008 R2
　※ Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 の各 x64 Edition には対応しておりません。

●「RepoAgent お試し版」の機能制限

・お試し版で作成したレポート定義ファイルは、RepoAgent では使用できません。
・用紙の背景に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。

●「RepoAgent」についてのお問い合わせ先

※お問い合わせ先は、本マニュアル発行時点のものです。

問い合わせ先	株式会社富士通北陸システムズ
電話	076-244-9575
FAX	076-241-4590
E-Mail	repoagent@cs.jp.fujitsu.com
URL	http://jp.fujitsu.com/fjh/services/package/repoagent/
電話によるお問い合わせ	
	月～金、9:00 ～ 17:30（祝日・年末年始などの休業日を除く）

かんたんバーコード Lite の概要

「かんたんバーコード Lite」は、パソコンでバーコードを簡単に作成するためのソフトウェアです。

●特　長

以下のバーコードを作成することができます。

・JAN 標準
・JAN 短縮
・Code 3 of 9
・Industrial 2 of 5
・Interleaved 2 of 5
・NW-7
・UPC-A（アドオン指定あり）
・UPC-E（アドオン指定あり）
・カスタマ（郵便番号用バーコード）
・QR コード（モデル 1）
・QR コード（モデル 2）
・QR コード（マイクロ）

●動作環境

・対応 OS
- Windows 2000/XP/Vista/7
- Windows Server 2003/2008/2008 R2

※ Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 の各 x64 Edition には対応しておりません。

●「かんたんバーコード Lite」についてのお問い合わせ先

※お問い合わせ先は本マニュアル発行時点のものです。

問い合わせ先	株式会社富士通北陸システムズ
電話	076-244-9575
FAX	076-241-4590
E-Mail	fjh-barcode@cs.jp.fujitsu.com
URL	http://jp.fujitsu.com/fjh/services/package/barcode/

電話によるお問い合わせ
月～金、9:00 ～ 17:30（祝日・年末年始などの休業日を除く）

プリンタドライバおよびソフトウェアの入手方法

最新版のプリンタドライバおよび FUJITSU LPR ユーティリティ、Network Extension、色見本印刷ユーティリティ、カラー調整ユーティリティは、インターネットの「富士通製品情報ページ」からダウンロードすることができます。
「富士通製品情報ページ」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。下記に示した URL よりダウンロードしてください。
富士通製品情報ページ　　http://www.fmworld.net/biz/

ガイド

- 上記 URL は、本マニュアル発行時現在のものです。
- 「富士通製品情報ページ」をご利用になる際は、Web ブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- 添付の CD-ROM には、製品出荷時での最新版が収められており、「富士通製品情報ページ」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバおよびソフトウェアのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

プリンタドライバのバージョンは、以下の方法で確認できます。

● Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
2. 使用するプリンタのアイコンをクリックする
3. プリンタのプロパティを表示する
   ･Windows 98/Me
   ［ファイル］メニュー－［プロパティ］をクリックする
   ･Windows NT 4.0
   ［ファイル］メニュー－［ドキュメントの既定値］をクリックする
   ･Windows 2000
   ［ファイル］メニュー－［印刷設定］をクリックする
4. 「デバイスオプション」ダイアログを表示し、［バージョン情報］をクリックする

● Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. ［スタート］－［プリンタと FAX］を選択する
2. 使用するプリンタアイコンをクリックする
3. ［ファイル］メニュー－［プロパティ］の順にクリックする
4. 「デバイスオプション」ダイアログを表示し、［バージョン情報］をクリックする

● Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合

1. ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックする
2. 使用するプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］を選択する
3. 「デバイスオプション」ダイアログを表示し、［バージョン情報］をクリックする

参照 「プリンタドライバのバージョン確認」（191 ページ）参照

● Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. ［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックする

2. 使用するプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［印刷設定］を選択する

3. ［設定］ダイアログを表示し、［バージョン情報］をクリックする

索 引

い

う

え

お

か

き

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ひ

ふ

ほ

み

め

ゆ

よ

り

オンラインマニュアル
ソフトウェア編

B5WY-1281-03 Z0-00

発行日　2010 年 10 月

発行責任　富士通株式会社